

平成17年度～平成24年度

印西市内遺跡発掘調査報告書

2014

印西市教育委員会

例 言

1. 本書は、平成17年度調査の大畑遺跡（第2地点）・木戸場遺跡（第1地点）・馬場遺跡（第4地点第1・2次）、平成18年度調査の迎山遺跡・前戸遺跡（第2地点）・木戸場遺跡（第2地点）・竜崖遺跡・馬場遺跡（第6地点）、平成19年度調査の八夜台遺跡（第1地点）、平成20年度調査の天神前遺跡・天神台遺跡（第14地点）、平成21年度調査の松崎V遺跡（第2地点）、平成22年度調査の吉高一本松遺跡・中郷遺跡（第1地点）・天神台遺跡（第15地点）・道作古墳群・八夜台遺跡（第2地点）・向新田遺跡（第3地点）、平成23年度調査の向ノ地遺跡（平成23年度）・中郷遺跡（第2地点）・馬場遺跡（第7地点）・木戸場遺跡（第3地点）、平成24年度調査の瓜堀込第2遺跡・花作遺跡・川崎遺跡（第1・2地点）・大越台遺跡（第2地点）・油免遺跡（第4地点）の発掘調査報告書である。
2. 発掘調査は、印西市教育委員会生涯学習課が行った。整理作業と原稿執筆は印西市より委託を受けて公益財団法人印旛郡市文化財センターが実施した。
3. 調査組織は以下の通りである。

発掘調査（平成17～24年度）

調査主体者	小野寺正教	印西市教育委員会教育長	（平成17～24年度9月）
	大木 弘	印西市教育委員会教育長	（平成24年度10月～ ）
調査事務	藤代武雄	印西市教育委員会生涯学習スポーツ課長	（平成17年度）
	山口和善	印西市教育委員会生涯学習スポーツ課長	（平成18年度）
		同生涯学習課長	（平成19年度）
	岩井太一	印西市教育委員会生涯学習課長	（平成20～21年度）
	佐瀬義行	印西市教育委員会生涯学習課長	（平成22～23年度）
	勝田広義	印西市教育委員会生涯学習課長	（平成24年度）
	伊藤哲之	印西市教育委員会生涯学習スポーツ課文化班主査	（平成17年度）
		同副主幹	（平成18年度）
		印西市教育委員会生涯学習課文化班副主幹	（平成19年度）
	鈴木圭一	印西市教育委員会生涯学習スポーツ課文化班副主査	（平成17～18年度）
		印西市教育委員会生涯学習課文化班同主査補	（平成20～22年度）
		同主査	（平成23～24年度）
	野村優子	印西市教育委員会生涯学習課文化班主査補	（平成19～20年度）
	小池康久	印西市教育委員会生涯学習課文化班主査	（平成20～21年度）
	横尾早紀	印西市教育委員会社会教育課文化班主事	（平成21～24年度）
	小那木康淳	印西市教育委員会生涯学習課文化班主査	（平成22～24年度）
	杉山祐一	印西市教育委員会生涯学習課文化班主任主事	（平成22～24年度）
	根本岳史	印西市教育委員会生涯学習課文化班学芸員	（平成24年度）

整理作業・原稿執筆（平成25年度）

調査主体者	大木 弘	印西市教育委員会教育長
調査事務	山崎 剛	印西市教育委員会生涯学習課長
	小池康久	印西市教育委員会生涯学習課文化班副主幹

大野徳強 印西市教育委員会生涯学習課文化班主査
鈴木圭一 印西市教育委員会生涯学習課文化班主査
能勢幸枝 印西市教育委員会生涯学習課文化班主査補
根本岳史 印西市教育委員会生涯学習課文化班学芸員

整理担当者 日暮冬樹 公益財団法人印旛郡市文化財センター上席調査研究員

4. 発掘調査を実施した遺跡は次の通りである。

発掘調査は平成17～24年度にかけて実施した。以下、(1)調査の種別・調査面積・調査期間・調査担当者、(2)調査に至る経緯について概要を記す。

平成17年度

馬場遺跡（第4地点 第1次）（千葉県印西市小林2820番1）

- (1) 確認調査・上層120㎡／2,400㎡・平成17年7月11日・調査担当者：鈴木圭一
- (2) グループホーム建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

馬場遺跡（第4地点 第2次）（千葉県印西市小林2820番2、2810番7）

- (1) 確認調査・上層22㎡／87.66㎡・平成17年11月16日・調査担当者：鈴木圭一
- (2) グループホーム建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

木戸場遺跡（第1地点）（千葉県印西市船尾字木戸場424番3、424番4）

- (1) 確認調査・上層160㎡／495.86㎡・平成18年1月18日・調査担当者：鈴木圭一
- (2) 個人住宅建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

大畑遺跡（第2地点）（千葉県印西市大森字前畑1988番）

- (1) 確認調査・上層77㎡／232.48㎡・平成18年3月6日～平成18年3月7日・調査担当者：鈴木圭一
- (2) 個人住宅建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

平成18年度

木戸場遺跡（第2地点）（千葉県印西市船尾字木戸場424番5）

- (1) 確認調査・上層40㎡／330.59㎡・平成18年4月5日
本調査・上層71.5㎡・平成18年4月6日～平成18年4月19日・調査担当者：鈴木圭一
- (2) 個人住宅建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

前戸遺跡（第2地点）（千葉県印西市松崎字中郷395番1）

- (1) 確認調査・上層158㎡／1,299㎡・平成18年4月25日～平成18年4月27日・調査担当者：鈴木圭一
- (2) 資材置き場及び駐車場建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

迎山遺跡（千葉県印西市鹿黒字向地697番2、698番2、699番3）

- (1) 確認調査・上層21.5㎡／585.37㎡・平成18年5月17日・調査担当者：鈴木圭一
- (2) 個人住宅建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、文化財の取り扱いについ

て協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

竜崖遺跡（千葉県印西市浦部547番）

- (1) 確認調査・上層24㎡／110㎡・平成18年11月10日・調査担当者：鈴木圭一
- (2) 携帯電話無線基地建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

馬場遺跡（第6地点）（千葉県印西市小林字馬場2810番2、3）

- (1) 確認調査 上層180㎡／1,849㎡・平成19年1月24日・調査担当者：鈴木圭一
- (2) 資材置き場及び駐車場建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

平成19年度

八夜台遺跡（第1地点）（千葉県印西市大森字下宿2264番2）

- (1) 確認調査・上層107㎡／345.76㎡ 本調査 上層50㎡
平成19年6月18日～平成19年6月21日・調査担当者：野村優子
- (2) 個人住宅建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺構に影響を及ぼす範囲について、本調査を実施した。

平成20年度

天神台遺跡（第14地点）（千葉県印西市大森字曾谷窪2427番7、10）

- (1) 確認調査・上層210㎡／2,100㎡・平成21年1月14日～平成21年1月16日・調査担当者：鈴木圭一
- (2) 駐車場建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

天神前遺跡（千葉県印西市小林字天神前1929番3 他）

- (1) 確認調査 上層80㎡／777㎡・平成21年2月17日～平成21年2月18日・調査担当者：鈴木圭一
- (2) 墓地造成に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

平成21年度

松崎V遺跡（第2地点）（千葉県印西市松崎字境田1440番1の一部）

- (1) 確認調査・上層44㎡／330㎡・平成21年5月27日
本調査・上層78㎡・平成21年6月9日～平成21年6月16日・調査担当者：鈴木圭一
- (2) 個人住宅建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。その結果を受けて、遺構に影響を及ぼす範囲について、本調査を実施した。

平成22年度

吉高一本松遺跡（千葉県印西市吉高字小手1786番1 他）

- (1) 確認調査・上層160㎡／1558㎡・平成22年6月15日～平成22年6月18日・調査担当者：杉山祐一
- (2) 老人福祉施設建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

天神台遺跡（第15地点）（千葉県印西市大森字呑内2233番5 他）

- (1) 確認調査・上層62㎡／617.17㎡・平成22年8月3日・調査担当者：杉山祐一

- (2) 駐車場建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

向新田遺跡（第3地点）（千葉県印西市武西字庚塚1267番2 他）

- (1) 確認調査・上層498㎡／4,978㎡・平成22年5月18日～平成22年5月25日・調査担当者：杉山祐一
- (2) 老人福祉施設建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

道作古墳群（千葉県印西市小林字馬場2826番5）

- (1) 確認調査・上層114㎡／4,181㎡・平成22年9月28日～平成22年10月4日・調査担当者：鈴木圭一
- (2) 1号墳の同溝範囲を確認するために、確認調査を実施した。

八夜台遺跡（第2地点）（千葉県印西市大森字下宿2264番1）

- (1) 確認調査・上層33㎡／326.87㎡ 本調査105㎡
平成23年1月25日～平成25年1月31日・調査担当者：杉山祐一
- (2) 個人住宅建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。その結果を受けて、遺構に影響を及ぼす範囲について本調査を実施して記録保存をした。

中郷遺跡（第1地点）（千葉県印西市松崎字中郷478番3 他）

- (1) 確認調査・上層32㎡／320.4㎡ 本調査214㎡
平成23年1月7日～平成23年1月14日・調査担当者：杉山祐一
- (2) 個人住宅建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。その結果を受けて、遺構に影響を及ぼす範囲について、本調査を実施した。

平成23年度

馬場遺跡（第7地点）（千葉県印西市小林字花作2721番7、9）

- (1) 確認調査・上層32㎡／302.66㎡ 本調査77.35㎡
平成23年5月13日～平成23年5月20日・調査担当者：杉山祐一
- (2) 個人住宅建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。その結果を受けて、遺構に影響を及ぼす範囲について本調査を行い記録保存した。

向ノ地遺跡（千葉県印西市船尾字向ノ地582番）

- (1) 確認調査・上層52㎡／514㎡・平成23年7月5日～平成23年7月6日・調査担当者：杉山祐一
- (2) 墓地造成に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

木戸場遺跡（第3地点）（千葉県印西市船尾字木戸場424番1）

- (1) 確認調査・上層13.5㎡／71㎡・平成23年10月17日・調査担当者：杉山祐一
- (2) 駐車場建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

中郷遺跡（第2地点）（千葉県印西市松崎字中郷533番4）

- (1) 確認調査・上層38㎡／380㎡・平成24年3月8日・調査担当者：杉山祐一

- (2) 個人住宅建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

平成24年度

花作遺跡（千葉県印西市小林字花作2606番、2593番の一部）

- (1) 確認調査・上層113㎡／989㎡・平成24年5月1日～平成24年5月2日・調査担当者：根本岳史
- (2) 個人住宅建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

瓜堀込第2遺跡（千葉県印西市岩戸字道作1844番1 他）

- (1) 確認調査・上層82㎡／1,441㎡・平成24年5月31日・調査担当者：杉山祐一
- (2) 資材置き場建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

川崎遺跡（千葉県印西市竹袋字稲荷峠265番2）

- (1) 確認調査・上層204㎡／991㎡・平成24年6月19日～平成24年6月20日・調査担当者：根本岳史
- (2) 駐車場建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

大越台遺跡（第2地点）（千葉県印西市高西新田字大越台220番2 他）

- (1) 確認調査 上層493㎡／3,072㎡・平成24年6月11日～平成24年6月15日・調査担当者：根本岳史
- (2) 農地造成、資材置き場の建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

川崎遺跡（第2地点）（千葉県印西市竹袋字稲荷峠265番2、265番6、265番10）

- (1) 確認調査・上層598㎡／4,790㎡・平成24年10月9日～平成24年10月16日・調査担当者：根本岳史
- (2) 駐車場建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

油免遺跡（第4地点）（千葉県印西市船尾字向窪782番1、786番5の一部、785番6の一部）

- (1) 確認調査・上層77.36㎡／319.76㎡・平成24年12月19日・調査担当者：根本岳史
- (2) 個人住宅建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

5. 本書に使用した写真は、遺構は調査担当者、遺物は杉原豊（有限会社スギハラ）が撮影している。
6. 測量業務は、馬場遺跡（第7地点）・八夜台遺跡（第2地点）・中郷遺跡（第1地点）・松崎V遺跡における水準測量を寺田測量設計株式会社が実施している。
7. 出土遺物及び図面・写真は、印西市教育委員会が保管している。
8. 発掘調査から報告書刊行まで、下記の機関・個人のご指導・ご教示を賜った。（敬称略、順不同）
文化庁・千葉県教育庁生涯学習部文化課・柴田徹・宮内勝巳

凡 例

1. 遺構番号が付してある場合は、原則として発掘調査時の番号を踏襲している。
2. 第1～6図は国土地理院発行の1/25,000『竜ヶ崎』『白井』『小林』を使用し、各遺跡の地形図には1/2,500『印西市基本図』を縮小して用いている。
3. トレンチ配置図及び個別遺構図の用例は次の通りである。

T = トレンチ 住 = 竪穴住居跡 土 = 土坑 K = 攪乱等 溝 = 溝状遺構 道 = 道路状遺構

- (1) 方位は磁北を表し、標高は東京湾平均海水面からのものである。
 - (2) トレンチ脇の数字は、表土厚 (cm) である。
 - (3) 遺構にかかわる挿図の縮尺は、図中にスケールで示した。
4. 遺物実測図及び写真図版の用例は以下の通りである。
 - (1) 遺物実測図の縮尺は、鉄製品・土製品・銭貨が1/2、径復元品は1/4を原則として、大型土器はそれぞれ図中に示した。
 - (2) 径復元の出来ない土器・陶磁器の破片は断面図のみ図示した。
 - (3) 遺物写真の縮尺は任意である。
 - (4) 遺物観察表の法量は、カッコ内に推定値を標記した。その他は、現存値である。
 - (5) 遺物実測図中のスクリーントーンの用例



赤彩



黒色処理

本文目次

例言

凡例

第1章 周辺の遺跡	1
第2章 調査の成果	5
1. 大畑遺跡（第2地点）	5
2. 木戸場遺跡（第1地点）	5
3. 馬場遺跡（第4地点第1次）	6
4. 馬場遺跡（第4地点第2次）	8
5. 迎山遺跡	14
6. 前戸遺跡（第2地点）	14
7. 木戸場遺跡（第2地点）	14
8. 竜崖遺跡	17
9. 馬場遺跡（第6地点）	24
10. 八夜台遺跡（第1地点）	24
11. 天神前遺跡	24
12. 天神台遺跡（第14地点）	24
13. 松崎V遺跡（第2地点）	26
14. 吉高一本松遺跡	26
15. 中郷遺跡（第1地点）	30
16. 天神台遺跡（第15地点）	35
17. 道作1号墳（周溝確認調査第2次）	36
18. 八夜台遺跡（第2地点）	36
19. 向新田遺跡（第3地点）	36
20. 向ノ地遺跡	43
21. 中郷遺跡（第2地点）	43
22. 馬場遺跡（第7地点）	43
23. 木戸場遺跡（第3地点）	44
24. 瓜堀込第2遺跡	44
25. 花作遺跡	49
26. 川崎遺跡（第1地点）	49
27. 大越台遺跡（第2地点）	49
28. 川崎遺跡（第2地点）	49
29. 油免遺跡（第4地点）	49
第3章 まとめ	62

挿 図 目 次

第1図	遺跡位置図(1)……………	2	第32図	中郷遺跡(第1地点)1・2号住居跡図・1号住居跡出土遺物(1)……………	31
第2図	遺跡位置図(2)……………	2	第33図	中郷遺跡(第1地点)1号住居跡出土遺物(1)……………	32
第3図	遺跡位置図(3)……………	3	第34図	中郷遺跡(第1地点)1・2号住居跡出土遺物(2)、3・4号住居跡 同出土遺物 ……	33
第4図	遺跡位置図(4)……………	3	第35図	中郷遺跡(第1地点)4号住居跡 他出土遺物……………	34
第5図	遺跡位置図(5)……………	4	第36図	天神台遺跡(第15地点)トレンチ遺構配置図…	35
第6図	遺跡位置図(6)……………	4	第37図	道作1号墳(周溝確認調査第2次)周辺地形図・トレンチ遺構配置図……………	37
第7図	大畑遺跡(第2地点)周辺地形図・トレンチ遺構配置図・1・2号住居跡……………	7	第38図	道作1号墳(周溝確認調査第2次)土層断面図・出土遺物……………	38
第8図	大畑遺跡(第2地点)出土遺物……………	8	第39図	八夜台遺跡(第2地点)トレンチ遺構配置図・出土遺物(1)……………	39
第9図	木戸場遺跡(第1・2・3地点)周辺地形図…	9	第40図	八夜台遺跡(第2地点)出土遺物(2)……	40
第10図	木戸場遺跡(第1地点)トレンチ遺構配置図…	9	第41図	向新田遺跡(第3地点)周辺地形図……	41
第11図	木戸場遺跡(第1地点)1号住居跡……	10	第42図	向新田遺跡(第3地点)トレンチ遺構配置図・出土遺物……………	42
第12図	木戸場遺跡(第1地点)2号住居跡……	11	第43図	向ノ地遺跡周辺地形図・トレンチ配置図44	
第13図	木戸場遺跡(第1地点)1号掘立柱建物跡・1号柵列・2号柵列……………	12	第44図	馬場遺跡(第7地点)トレンチ遺構配置図・遺構平面図……………	45
第14図	木戸場遺跡(第1地点)2号・3号掘立柱建物跡、1号・2号土坑 出土遺物……	13	第45図	馬場遺跡(第7地点)遺構図・出土遺物(1)……	46
第15図	馬場遺跡(第4・5・6地点)周辺地形図…	15	第46図	馬場遺跡(第7地点)出土遺物(2)……	47
第16図	馬場遺跡(第4・6地点)トレンチ遺構配置図…	15	第47図	馬場遺跡(第7地点)出土遺物(3)……	48
第17図	馬場遺跡(第4地点)出土遺物……………	16	第48図	木戸場遺跡(第3地点)トレンチ遺構配置図・出土遺物……………	48
第18図	馬場遺跡(第6地点)出土遺物……………	16	第49図	瓜堀込第2遺跡周辺地形図・トレンチ遺構配置図……………	50
第19図	迎山遺跡周辺地形図・トレンチ遺構配置図・出土遺物……………	17	第50図	花作遺跡周辺地形図・トレンチ遺構配置図・出土遺物……………	51
第20図	前戸遺跡(第2地点)周辺地形図・トレンチ遺構配置図・出土遺物……………	18	第51図	川崎遺跡(第1・2地点)周辺地形図、川崎遺跡(第1地点)トレンチ遺構配置図・出土遺物……………	52
第21図	木戸場遺跡(第2地点)トレンチ遺構配置図・1号住居跡出土遺物……………	19	第52図	大越台遺跡(第2地点)周辺地形図・トレンチ遺構配置図 出土遺物(1)……………	53
第22図	木戸場遺跡(第2地点)1号住居跡出土遺物 2号住居跡出土遺物 ……	20	第53図	大越台遺跡15トレンチ図……………	54
第23図	木戸場遺跡(第3地点)3・4号住居跡同出土遺物・ピット群 同出土遺物……	21	第54図	大越台遺跡出土遺物(2)……………	55
第24図	竜崖遺跡周辺地形図・トレンチ遺構配置図・出土遺物……………	22	第55図	大越台遺跡出土遺物(3)……………	56
第25図	天神前遺跡周辺地形図・トレンチ遺構配置図・出土遺物……………	22	第56図	大越台遺跡出土遺物(4)……………	57
第26図	八夜台遺跡(第1・2次)周辺地形図、八夜遺跡(第1地点)トレンチ遺構配置図・1号溝・出土遺物……………	23	第57図	大越台遺跡出土遺物(5)……………	58
第27図	天神台遺跡(第14・15地点)周辺地形図、天神台遺跡(第14地点)トレンチ遺構配置図・出土遺物……………	25	第58図	大越台遺跡出土遺物(6)……………	59
第28図	松崎V遺跡(第2地点)周辺地形図・1号住居跡 同出土遺物……………	27	第59図	川崎遺跡(第2地点)トレンチ遺構配置図・出土遺物……………	60
第29図	松崎V遺跡跡(第2地点)1号住居跡出土遺物(2)……………	28	第60図	油免遺跡(第4地点)周辺地形図・トレンチ遺構配置図・出土遺物……………	61
第30図	吉高一本松遺跡周辺地形図・トレンチ遺構配置図・出土遺物……………	29			
第31図	中郷遺跡(第1・2地点)周辺地形図、中郷遺跡(第1地点)トレンチ遺構配置図……	30			

表 目 次

第1表 大畑遺跡（第2地点）遺物観察表……64	第14表 吉高一本松遺跡遺物観察表遺物観察表…69
第2表 木戸場遺跡（第1地点）遺物観察表……64	第15表 中郷遺跡（第1地点）遺物観察表……69
第3表 馬場遺跡（第4地点第1次）遺物観察表…65	第16表 道作1号墳（周溝確認調査第2次）……70
第4表 馬場遺跡（第4地点第2次）遺物観察表…65	第17表 八夜台遺跡（第2地点）遺物観察表……70
第5表 迎山遺跡遺物観察表……65	第18表 向新田遺跡（第3地点）遺物観察表……71
第6表 前戸遺跡（第2地点）遺物観察表……65	第19表 中郷遺跡（第2地点）遺物観察表……71
第7表 木戸場遺跡（第2地点）遺物観察表……65	第20表 馬場遺跡（第7地点）遺物観察表……72
第8表 竜崖遺跡遺物観察表……67	第21表 木戸場遺跡（第3地点）遺物観察表……73
第9表 馬場遺跡（第6地点）遺物観察表……67	第22表 花作遺跡遺物観察表……73
第10表 八夜台遺跡（第1地点）遺物観察表……67	第23表 川崎遺跡（第1地点）遺物観察表……74
第11表 天神前遺跡遺物観察表……67	第24表 大越台遺跡（第2地点）遺物観察表……74
第12表 天神台遺跡（第14地点）遺物観察表……68	第25表 川崎遺跡（第2地点）遺物観察表……76
第13表 松崎V遺跡（第2地点）遺物観察表……68	第26表 油免遺跡（第4地点）遺物観察表……76

写真図版目次

PL 1

●大畑遺跡（第2地点）作業風景、1号竪穴建物、1・2号土坑完掘 ●木戸場遺跡（第1地点）重機稼働状況、1・2号竪穴建物跡完掘、1・2・3号掘立柱建物跡完掘、掘立柱建族群完掘、1・2号土坑完掘、調査区遠景 ●前戸遺跡（第2地点）調査前風景、1 T 遺構検出状況

PL 2

●前戸遺跡（第2地点）2 T 遺構検出状況
●木戸場遺跡（第3地点）1号竪穴建物跡・同カマド部遺物出土状況、2号竪穴建物跡土層断面図・同調査区完掘、3号竪穴建物跡土層断面図、1号柵列完掘 ●竜崖遺跡 調査前風景、トレンチ配置・同遺構検出状況 ●馬場遺跡（第6地点）トレンチ配置、3 T・6 T トレンチ遺構検出状況 ●八夜台遺跡（第1地点）1号溝完掘・土層断面

PL 3

●八夜台遺跡（第1地点）埋戻 ●天神前遺跡遺構検出状況 ●天神台遺跡（第14地点）調査

前風景、4 T・11 T 遺構検出状況 ●松崎V遺跡（第2地点）調査前風景、1号竪穴建物跡完掘・同カマド完掘 ●吉高一本松遺跡 作業風景、トレンチ遺構検出状況 ●中郷遺跡（第1地点）1・2・3号竪穴建物跡完掘、1号竪穴建物跡かまど

PL 4

●中郷遺跡（第1地点）4号竪穴建物跡・同炉跡完掘 ●天神台遺跡（第15地点）遺構検出状況 ●道作1号墳（周溝確認調査第2次）2 T・3 T・4 T 遺構検出状況 ●八夜台遺跡（第2地点）1号竪穴建物跡完掘・同遺物出土状況・同土層断面・同カマド、1号土坑完掘、調査区全景 ●向新田遺跡（第3地点）1 T・3 T・8 T 遺構検出状況

PL 5

●向ノ地遺跡重機稼働状況、1 T・2 T 遺構検出状況 ●中郷遺跡（第2地点）1 T・2 T 遺構検出状況、埋戻し状況
馬場遺跡（第7地点）遺構検出状況、1号竪穴

- 建物跡完掘・遺物出土状況・カマド・土層断面、
2号竪穴建物跡完掘・遺物出土状況・土層断面、
3号竪穴建物跡完掘
- PL6
●馬場遺跡（第7地点）3号竪穴建物跡遺物出土状況・A A'土層断面、4・5号竪穴建物跡完掘、4号竪穴建物跡遺物出土状況・土層断面、5号竪穴建物跡土層断面、1・2号土坑完掘、全景 ●木戸場遺跡（第3地点）作業風景、1号竪穴建物跡検出状況・土層断面 ●瓜堀込第2遺跡 作業風景、1 T遺構検出状況
- PL7
●瓜堀込第2遺跡 2 T遺構検出状況 ●花作遺跡 1 T・4 T・5 T・6 T・9 T遺構検出状況、埋戻し ●川崎遺跡1 T・3 T・5 T遺構検出状況、全景 ●大越台遺跡（第2地点）調査前風景、1 T・2 T遺構検出状況
- PL8
●大越台遺跡（第2地点）15 T遺物出土状況・土層断面、埋戻し ●川崎遺跡（第2地点）調査前風景、3 T・6 T・9 T・12 T・18 T遺構検出状況 ●油免遺跡（第4地点）調査前風景、4 T・6 T遺構検出状況、1号溝検出状況・完掘
- PL9
大畑遺跡（第2地点）、木戸場遺跡（第1地点）馬場遺跡（第4地点第1次・第2次）、迎山遺跡、前戸遺跡（第2地点）出土遺物
- PL10
木戸場遺跡（第2地点）出土遺物
- PL11
竜崖遺跡、馬場遺跡（第6地点）、天神前遺跡、八夜台遺跡（第1地点）、天神台遺跡（第14地点）、松崎V遺跡（第2地点）(1)出土遺物
- PL12
松崎V遺跡（第2地点）(2)、吉高一本松遺跡出土遺物
- PL13
中郷遺跡（第1地点）(1)出土遺物
- PL14
中郷遺跡（第1地点）(2)、中郷遺跡（第2地点）、道作1号墳、八夜台遺跡（第2地点）出土遺物
- PL15
向新田遺跡（第3地点）、馬場遺跡（第7地点）(1)出土遺物
- PL16
馬場遺跡（第7地点）(2)出土遺物
- PL17
馬場遺跡（第7地点）(3)、木戸場遺跡（第3地点）、花作遺跡、川崎遺跡（第1地点・第2地点）、大越台遺跡（第2地点）(1)出土遺物
- PL18
大越台遺跡（第2地点）(2)出土遺物
- PL19
大越台遺跡（第2地点）(3)、油免遺跡（第4地点）(1)出土遺物
- PL20
油免遺跡（第4地点）(2)出土遺物

第1章 周辺の遺跡

印西市北西部に位置する手賀沼の南岸では、竜崖遺跡（1）・大越台遺跡（2）が調査された。浦部にある松山2号墳（3）は、7世紀初頭の直径23mの円墳であり、切石積み箱式石棺に追葬された人骨が発見された。南方の台地奥には、旧石器時代の石器集中地点が多数発見された木苧峠跡（4）、縄文時代前期の土偶が出土した一本桜遺跡（5）、弥生時代土器棺墓が見つかった羽中遺跡（6）がある。大塚前遺跡（7）では古瓦・瓦塔が出土しており、古代の寺院跡が想定されている。

大森周辺では、大畑遺跡（8）・迎山遺跡（9）・八夜台遺跡（10）・天神台遺跡（11）が調査された。この周辺には、弥生時代から古墳時代前期の集落跡である古新田遺跡（12）、7世紀後半の横穴式石室を持つ上宿古墳（13）がある。曾谷窪遺跡（14）では、奈良・平安時代の製鉄関連遺構が発見されている。木下別所廃寺（15）は、飛鳥山田寺系の竜角寺式軒瓦が出土し、曾谷ノ窪瓦窯跡（16）ではその瓦を生産していたと見られている。

神崎川と新川の北部では、樹枝状に開析された台地上の向新田遺跡（17）・向ノ地遺跡（18）・木戸場遺跡（19）・油免遺跡（20）・中郷遺跡（21）・前戸遺跡（22）・松崎V遺跡（23）が調査された。松崎I（24）・II（25）・III（26）・IV（27）遺跡では、旧石器時代から中世に至るまで数多い調査結果がもたらされている。船尾白幡遺跡（28）は、旧石器時代の細石器、縄文時代中期・弥生時代の集落跡、奈良・平安時代の掘立柱建物群が発見されている。縄文時代の遺跡では、低地遺跡である西根遺跡（29）で、縄文時代後期の土器が大量に出土したほか、縄文時代飾り弓・古墳時代堰・小舟部材、奈良・平安時代木製人形・馬形といった貴重な遺物も出土している。古墳時代のものでは、7世紀中葉から後半にかけて築造された箱式石棺を持つ古墳3基が調査された船尾町田遺跡（30）が所在する。平安時代には、鳴神山遺跡（31）・白井谷奥遺跡（32）において大規模な集落跡が見つかり、鳴神山遺跡では道路関連の祭祀跡や仏教関係の墨書土器が出土している。

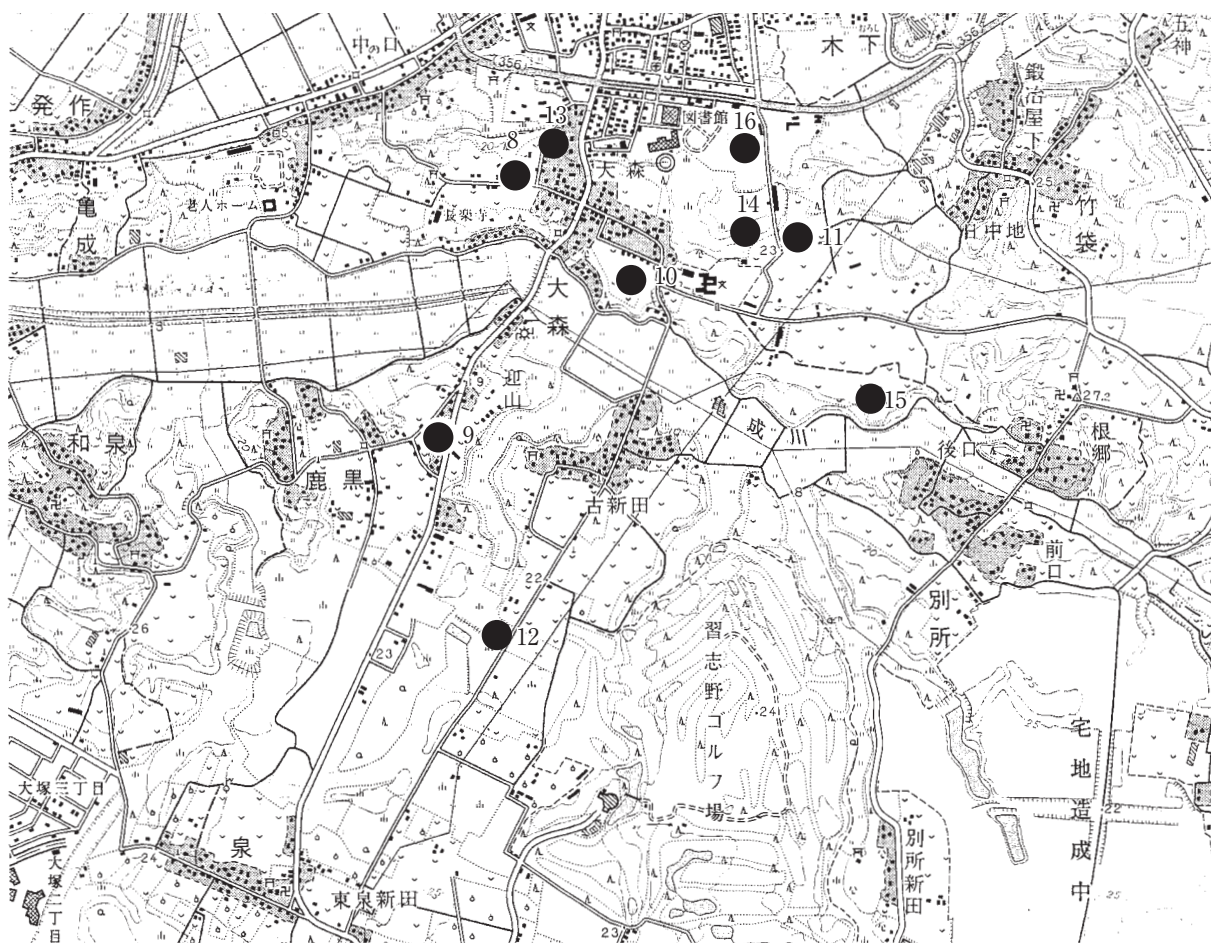
将監川南部の台地上では、花作遺跡（33）・馬場遺跡（34）・道作古墳群（35）・天神前遺跡（36）・川崎遺跡（37）が調査された。鶴塚古墳（38）は、4世紀末から5世紀初頭に築造された大型円墳であり、器台形埴輪が出土している。その周辺には小林古墳群（39）や浅間山古墳群（40）がある。駒形北遺跡（41）では古墳時代前期から奈良・平安時代の集落跡が営まれていた。東遺跡（42）では古墳時代後期から奈良・平安時代の掘立柱建物跡が多く見られる集落跡が確認され、馬込遺跡（43）では奈良・平安時代の瓦塔2基と鉄鉢形土器が出土している。小林城跡（44）は、発掘調査によって築城から廃城に至る過程が明らかにされている。

北印旛沼の南西岸に位置する吉高一本松遺跡（45）の周辺は、小規模ながら調査例が多い。吉高山王遺跡（46）は、吉高山王1号墳と平安時代住居跡が調査された。吉高浅間古墳（47）・吉高大谷遺跡（48）では弥生時代後期の集落跡が検出された。松虫間所遺跡（49）・萩原長原遺跡（50）も弥生時代を主とする遺跡である。吉高家老地遺跡（51）では、弥生時代の集落以外に縄文時代早期や古墳時代前期の遺構遺物が検出されている。周辺の古墳には、吉高浅間古墳・椎木1号墳（52）・2号墳（53）がある。中世の城館では萩原株木遺跡（54）・松虫陣屋跡（55）が調査されている。

一方、西印旛沼北岸の瓜堀込遺跡（56）付近の調査例は少ない。岩戸広台遺跡（57）は縄文時代早期の炬穴や7世紀から10世紀初頭に至る集落跡が調査されている。石神台貝塚（船作第1遺跡）（58）は縄文時代後期の加曾利B式を主体とする貝塚であり、戸ノ内遺跡（59）は縄文時代後期末安行式が主な貝塚である。他には、岩戸城跡（60）・船戸城跡（61）・師戸城跡（62）といった中世城館跡が分布する。



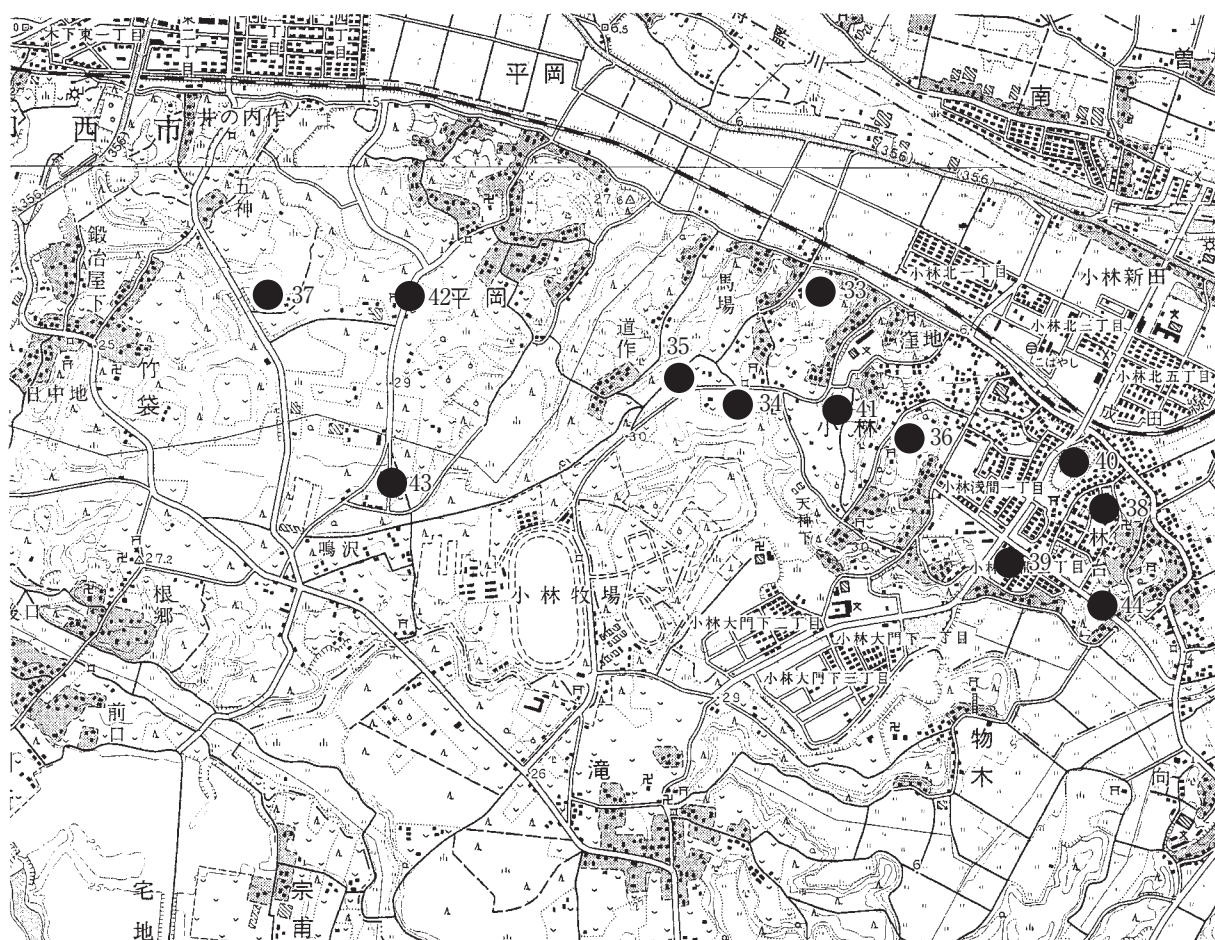
第1図 遺跡位置図(1)



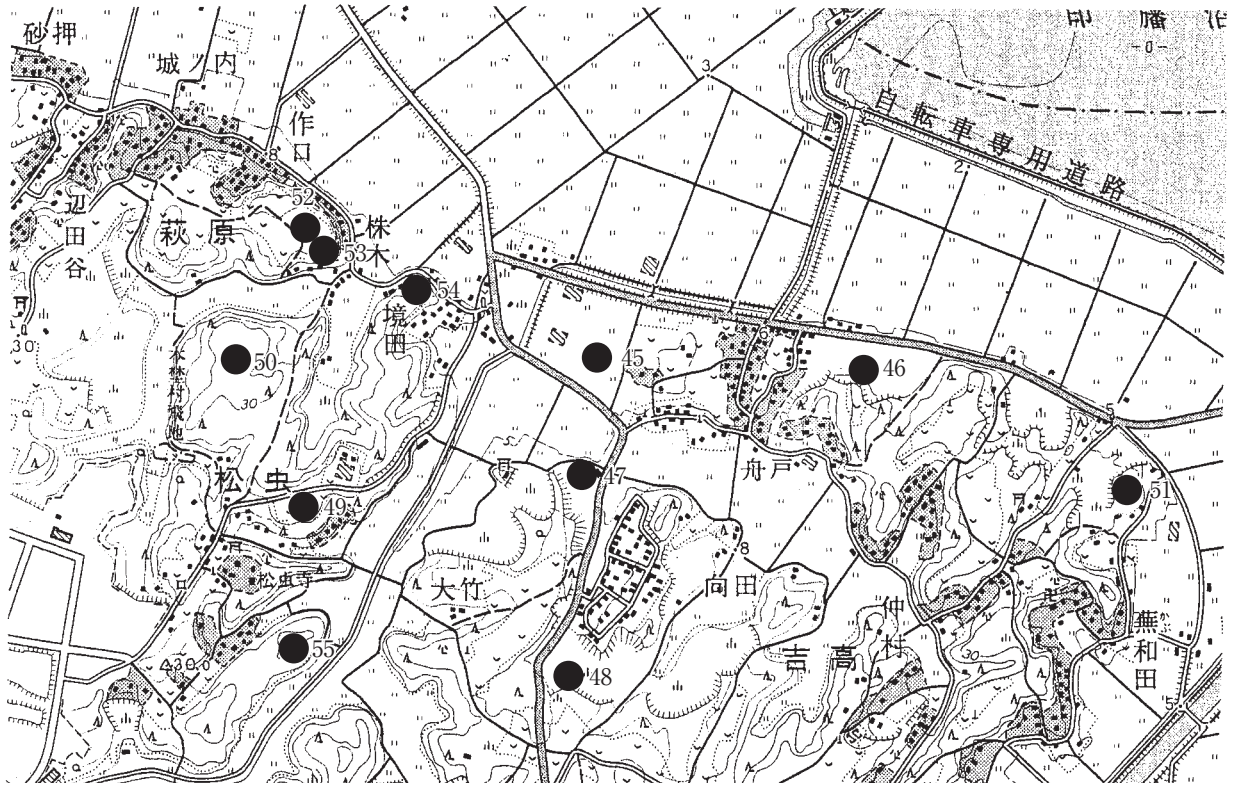
第2図 遺跡位置図(2)



第3図 遺跡位置図(3)



第4図 遺跡位置図(4)



第5図 遺跡位置図(5)



第6図 遺跡位置図(6)

第2章 調査の成果

1. 大畑遺跡（第2地点）（第7・8図、表1、PL1・9）

(1) 遺跡の立地 北に利根川、南に亀成川を臨む東西に延びた標高約24mの台地上。

(2) 調査履歴 今回の調査地点の北東部で平成15年に確認調査を実施し、その結果を受けて平成15・16年に本調査319.75㎡を実施した。その結果、縄文時代中期堅穴住居跡1軒、弥生時代後期堅穴住居跡1軒、奈良・平安時代堅穴住居跡1軒（9世紀前半）・掘立柱列2条・土坑2基が検出されている⁽¹⁾。

(3) 調査の方法 地形に沿ってトレンチを3本設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。

(4) 遺構と遺物 奈良・平安時代堅穴住居跡2軒が発見された。1号住居跡は、検出できた南西部のコーナー部分のみ精査された。そのうち南側壁と西側壁の一部は、攪乱によって立ち上がりの確認できなかった。規模は長軸4.4m以上、短軸4.1m以上、深さ約0.3mである。覆土は、一部焼土の混入が目立つが、自然堆積したものと思われる。ピットは3基確認されているが、それぞれの性格は不明である。P1のみ、土師器小片が出土している。

2号住居跡は大半が攪乱を受けているが、その底面には深さが約3～5cmある溝が検出されているほか、底面から紡錘車出土している点などから、住居跡と判断した。

建物跡の北側には、土坑が2基検出されている。1号土坑は、東部が攪乱によって失われ、一部調査区域外に出ている部分もあり、全貌がわからないが、長軸0.82m、短軸0.54m、深さ0.51mを測る。2号土坑も一部調査区域外に出ており、長軸0.74m、短軸0.44m、深さ0.4mである。

1・2トレンチからは遺物が出土せず、3トレンチのみ遺物が検出されており、土師器（約2,436g内1住出土約1,876g）、須恵器（約149g内1住出土約90g）、縄文土器（約17g）、近世以降の遺物（約98g）が出土している。

注(1) 飯島伸一 『平成15年度印西市内遺跡発掘調査報告書』印西市教育委員会 2004年

飯島伸一 『平成16年度印西市内遺跡発掘調査報告書』印西市教育委員会 2005年

2. 木戸場遺跡（第1地点）（第9～14図、表2、PL1・9・10）

(1) 遺跡の立地 新川の北部の樹枝状に侵食を受けた手賀沼南岸の標高約25mの台地上。木戸場遺跡第2地点の東側に隣接する。

(2) 調査の方法 地形に沿ってトレンチを3本設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。その後、本調査範囲を確定して、発見された遺構を精査した。

(3) 遺構と遺物 確認調査では、奈良・平安時代堅穴住居跡5軒・土坑7基、溝状遺構1条が想定されたが、最終的には堅穴住居跡2軒・掘立柱建物跡3棟・土坑2基・柵列2条が調査された。

1号住居跡は、長軸3.63m、短軸3.43m、深さ約0.1m、中央部付近にピット1基、南西コーナー付近に土坑が検出された。この土坑は貯蔵穴と思われるが、土層断面からすると、建物跡と関連しない遺構の可能性もある。周溝は東壁下部を除き、廻っている。床中央部には硬化面が認められた。1号溝と攪乱によって、カマドを含めて建物跡の一部が破壊されている。覆土は浅く、混入物が多い。1号堅穴建物跡からは、土師器約933g、須恵器約169g、支脚約204gが出土している。墨書土器が4点出土しており、そのうち2点は「生」の字である。

2号住居跡は、長軸5.26m、短軸5.2m、深さ約0.45m。かまどは北壁中央に所在する。柱穴4基、梯子ピット1基が検出された。周溝は北壁東部を除いて廻っている。覆土は混入物が多く不規則なため、人為的な埋め戻しの可能性がある。出土遺物は、土師器約3,898g、須恵器約162g、支脚約165g、縄文土器約300g、陶磁器約2gである。

1号掘立柱建物跡は、北東部の一部だけ検出できた。少なくとも梁行2間以上(4.05m)×桁行1間以上(2.4m)の大きさがある。主軸方位はN-32-E。柱穴の平面形は基本的に円形を呈し、柱穴規模や柱穴間距離は、ほぼ同一である。覆土は焼土やローム粒の混入が見られるが、自然堆積と考えられる。P1から土師器約48g、P2から土師器約128g・須恵器約17g、P3から土師器約179g、須恵器約9gが出土している。

2号掘立柱建物跡は、北側の一部のみ検出できた。少なくとも4間(8.5m)×2間以上(2.7m以上)の大きさであり、主軸方位はN-48-Eである。柱穴の平面形はほぼ円形を呈し、一部の柱穴には抜き取り痕が確認できる。覆土にはロームブロックが多量に混入しており、人為的堆積を示す。P1から土師器約5g、P2から土師器約13g、P3から土師器約42g、P4から土師器約36g、P5から土師器約40g、P6から土師器約35g、P7から土師器約13g・須恵器約22g、P8から土師器約120g・須恵器約5g・陶磁器約7gが出土している。

3号掘立柱建物跡も北側の一部のみ検出できた。少なくとも1間以上(2.6m以上)×1間(3.4m)の大きさであり、主軸方位はN-43-Wである。柱穴の平面形はほぼ円形である。その規模はほぼ同一である。3号掘立柱建物跡内側にもいくつかピットがあり、その組み合わせなど検討の余地があるかもしれない。P1から土師器約15g出土している。

1号柵列は、調査区北壁と西壁に接触し、その全貌は不明であるが溝によって結ばれた柱穴4基が検出し、その全長は6.3m以上になる。柱穴の平面形は円形で、上場から下場に行くにつれかなり直径が小さくなる。土師器約48gが出土している。

2号柵列は、調査区北西壁に接触し、全体の大きさが不明である。その長さ6.65m以上であり、布掘り状の溝によって結ばれた柱穴4基からなる。出土した遺物はなかった。

1号土坑は、3号掘立柱建物跡の柱穴と重複しており、切り合いから3号掘立柱建物跡より新しいことがわかる。1辺1m程度の隅丸方形を呈するようである。覆土にはロームブロックが混入しているが、レンズ状の堆積をしている。土師器約26gが出土している。

2号土坑は、調査区南側に一部が延びているため、その全容は不明であるが、直径1.2m程度の円形を呈していると思われる。覆土にはロームブロックが混入しており、レンズ状の堆積をしている。土師器約21gが出土している。

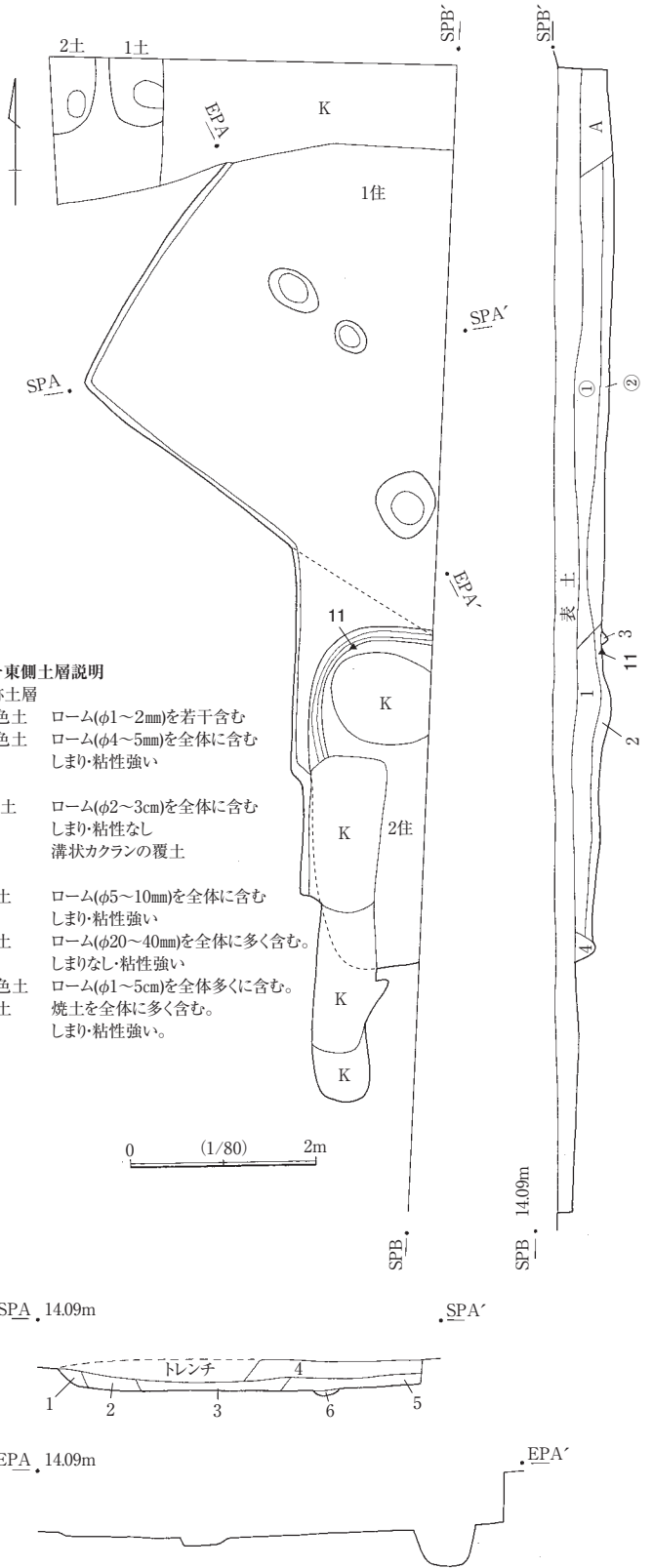
3号土坑は、0.48m×0.35mの楕円形を呈する。覆土の状況は不明。出土遺物もない。

なお、木戸場遺跡第1地点にて遺構外から出土した遺物は、土師器約556g・須恵器約693g・陶磁器約8g・縄文土器約33g・粘土塊約6gである。

3. 馬場遺跡(第4地点 第1次)(第15~18図、表3、PL9)

(1) 遺跡の立地 利根川の支流将監川に面した支谷に開析された標高約25mの台地上。馬場遺跡第5地点と第6地点の南側となる。

(2) 調査履歴 本報告書掲載分を含めて、平成11年に始まってこれまで7地点が発掘調査された⁽¹⁾。主に縄文時代後期と奈良・平安時代の集落跡が確認されており、一部には中近世の遺構も確認されている。注目さ



3号トレンチ東側土層説明

1号住居跡土層

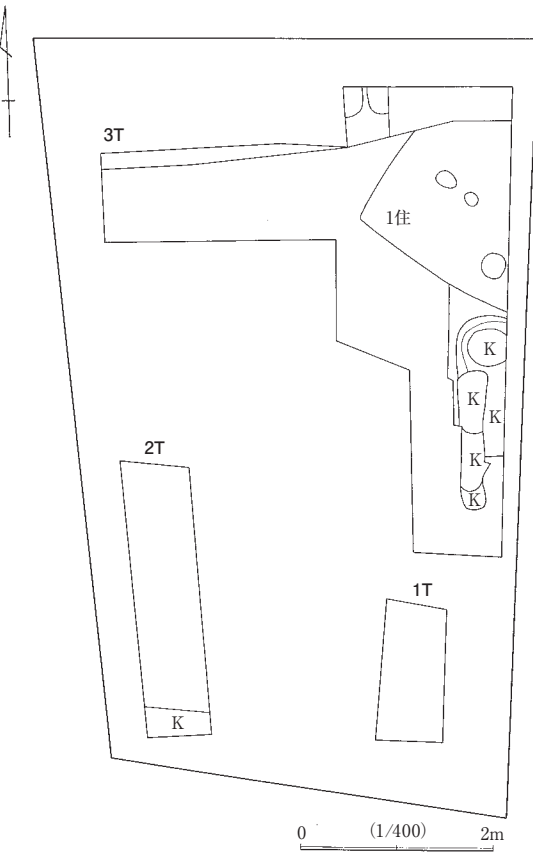
- ① 暗褐色土 ローム(φ1~2mm)を若干含む
- ② 黄褐色土 ローム(φ4~5mm)を全体に含む
しまり・粘性強い

北部擾乱

- A. 暗褐色土 ローム(φ2~3cm)を全体に含む
しまり・粘性なし
溝状カクランの覆土

南部擾乱

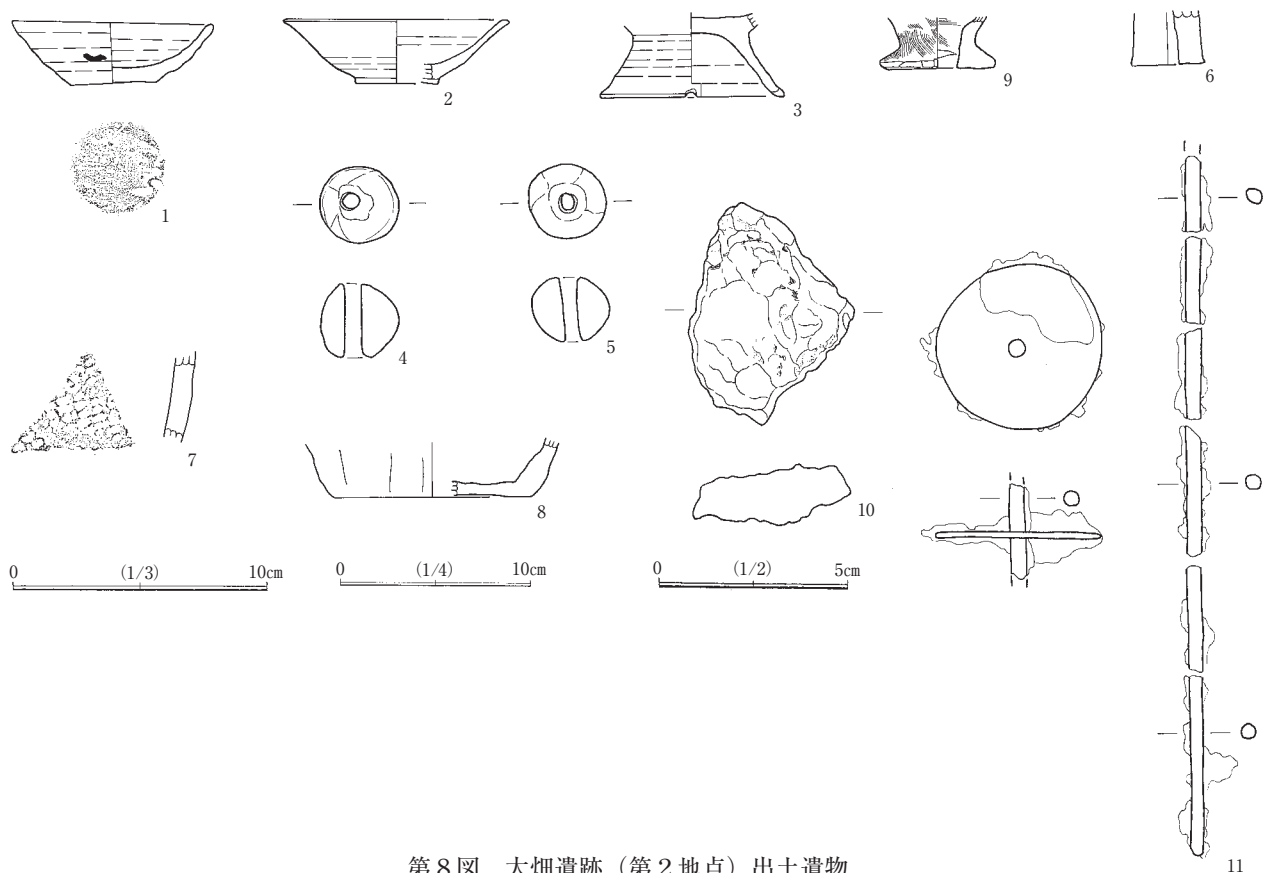
- 1. 暗褐色土 ローム(φ5~10mm)を全体に含む
しまり・粘性強い
- 2. 明褐色土 ローム(φ20~40mm)を全体に多く含む。
しまりなし・粘性強い
- 3. 暗黄褐色土 ローム(φ1~5cm)を全体多くに含む。
- 4. 赤褐色土 焼土を全体に多く含む。
しまり・粘性強い。



1号住居跡土層説明

- 1. 暗褐色土 ローム(φ1~2mm)を全体に含む しまり・粘性強い
- 2. 赤褐色土 ローム(φ1~2mm)を全体に含む。焼土を全体に多量に含む。
特に住居跡コーナー部分に堆積。しまり・粘性強い
- 3. 明褐色土 ローム(φ3~4cm)・焼土を全体に含む。 しまりあり、粘性強い
- 4. 暗褐色土 ローム(φ1~2mm)を若干含む
- 5. 黄褐色土 ローム(φ4~5mm)を全体に含む しまり・粘性強い

第7図 大畑遺跡(第2地点)周辺地形図・トレンチ遺構配置図・1号・2号住居跡図



第8図 大畑遺跡（第2地点）出土遺物

れる遺物として、縄文時代の土偶脚部や耳飾り片、奈良・平安時代「五千」の墨書土器などが出土している。また、古墳時代土師器も出土しており、該期の集落跡の所在も予想されている。

(3) 調査の方法 地形に沿ってトレンチを設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。

(4) 遺構と遺物 縄文時代後期堅穴住居跡1軒が検出され、近世塚2基が確認された。出土遺物は、縄文土器約31g・土師器約10g・須恵器約9g・瓦約22gである。出土した土師器坏の中に口縁部が端反りしているものが見受けられることから、9世紀後半を主体とする集落跡と想定される。

注(1) 板橋規子 『千葉県印西市馬場遺跡（第1地点）・北台塚』（財）印旛郡市文化財センター 2001年

小倉和重 『千葉県印西市馬場遺跡（第2地点）-印西市道18-042号線埋蔵文化財調査委託-』

（財）印旛郡市文化財センター 2002年

飯島伸一 『平成16年度印西市遺跡発掘調査報告書』印西市教育委員会 2005年

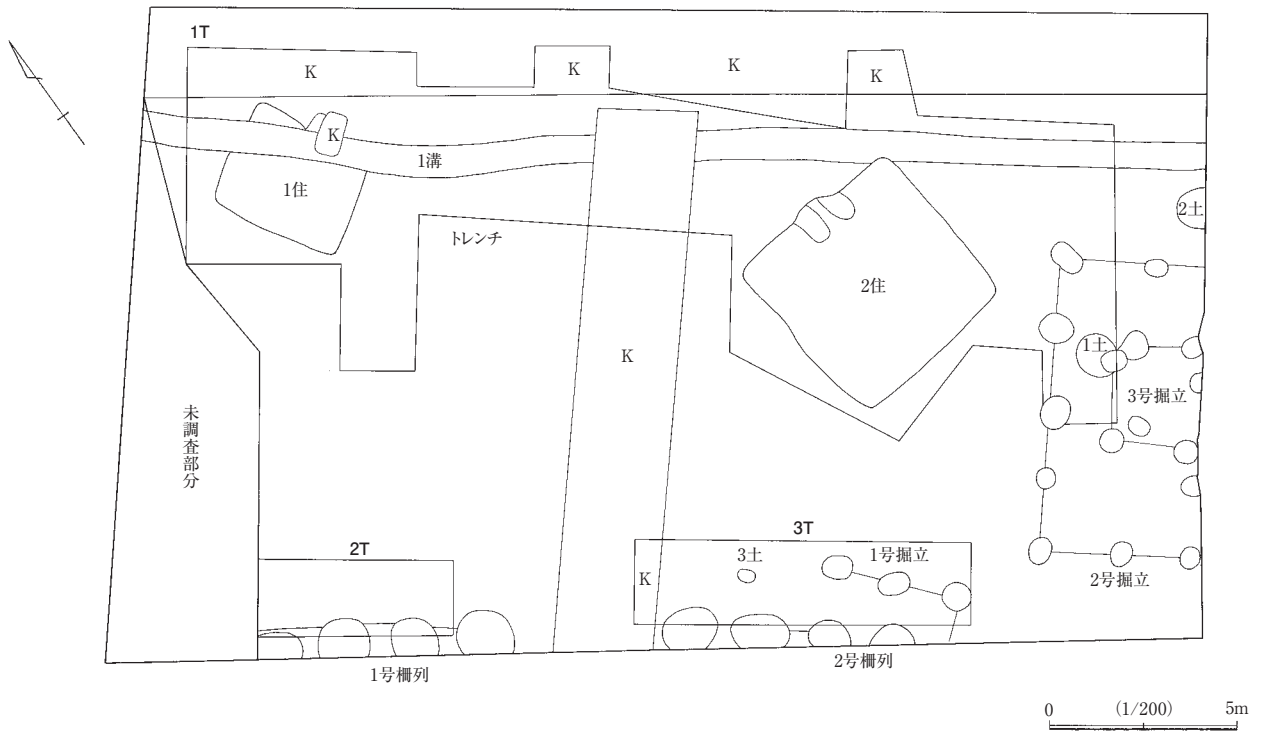
喜多裕明 『千葉県印西市道作1号墳（第2次）馬場遺跡第5地点（第1次・第2次）-印西市道00-031号線道作古墳群・馬場遺跡埋蔵文化財調査-』（財）印旛郡市文化財センター 2011年

4. 馬場遺跡（第4地点 第2次）（第15～18図、表4、PL9）

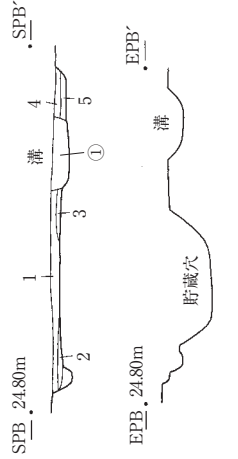
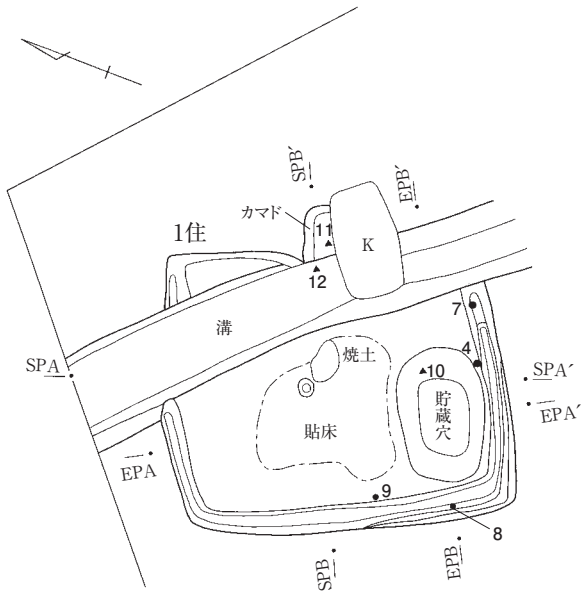
(1) 遺跡の立地 利根川の支流将監川に面した支谷に開析された標高約25mの台地上。馬場遺跡第5地点と範囲が重なる。



第9図 木戸場遺跡（第1・2・3地点）周辺地形図



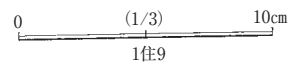
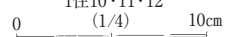
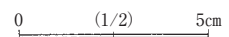
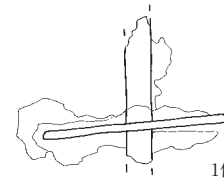
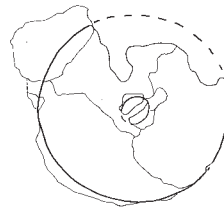
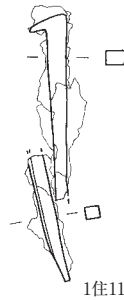
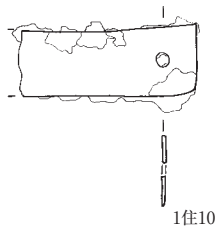
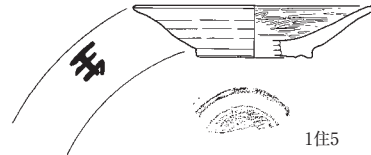
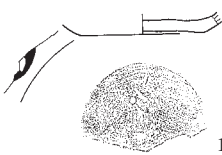
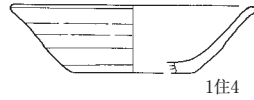
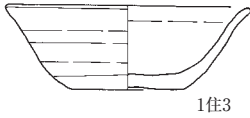
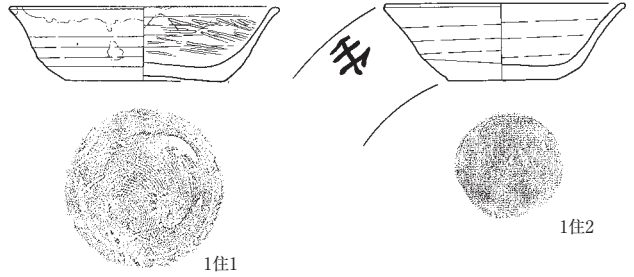
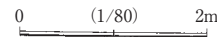
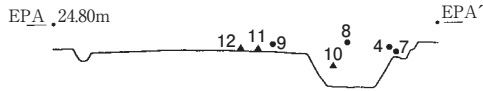
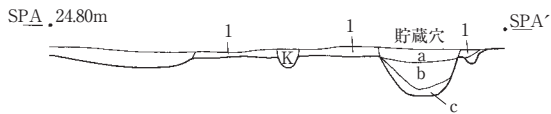
第10図 木戸場遺跡（第1地点）トレンチ遺構配置図



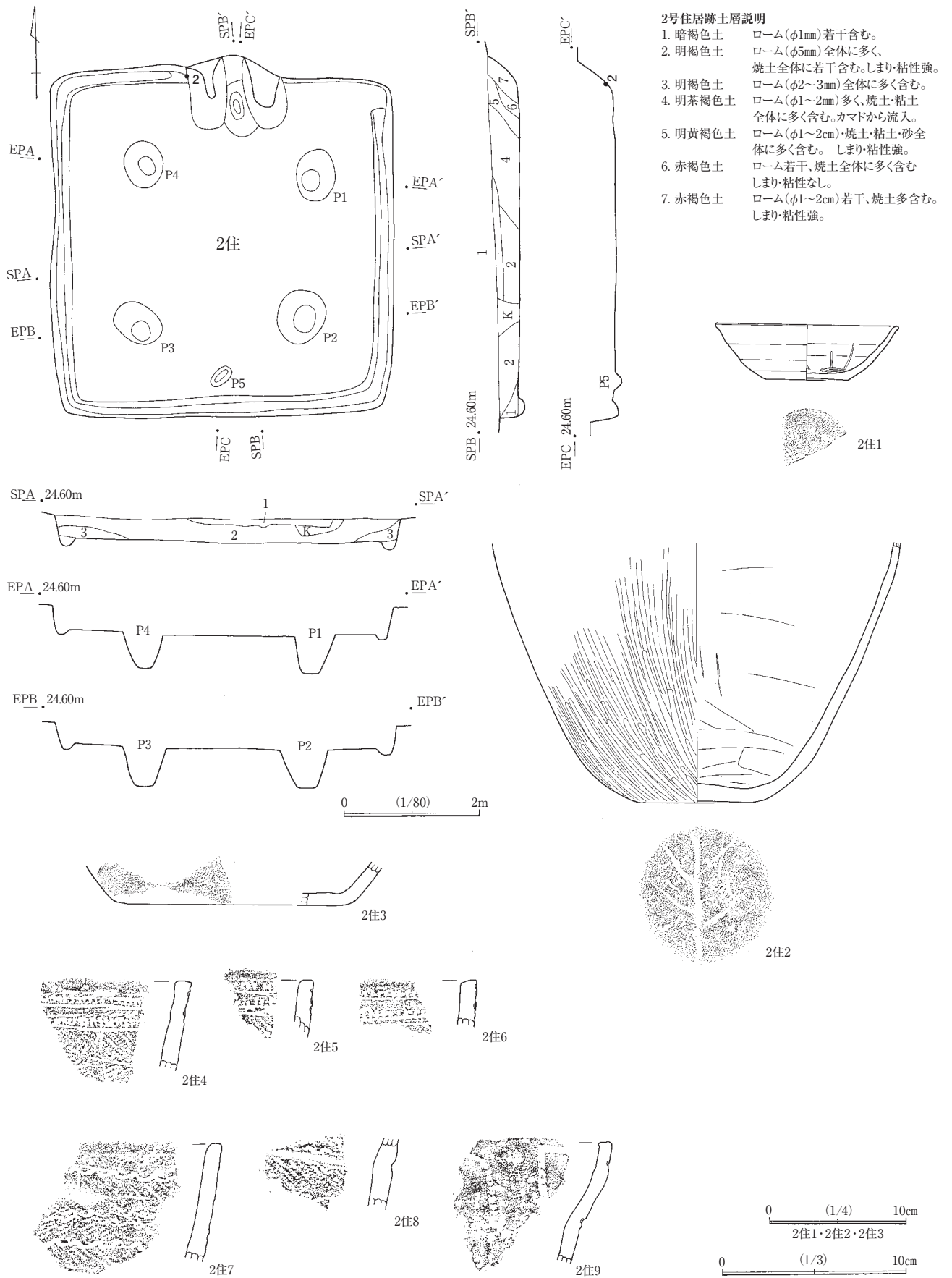
1号住居跡・1号溝土層説明

(溝「①」・1住「1~5」・貯蔵穴「a~c」)

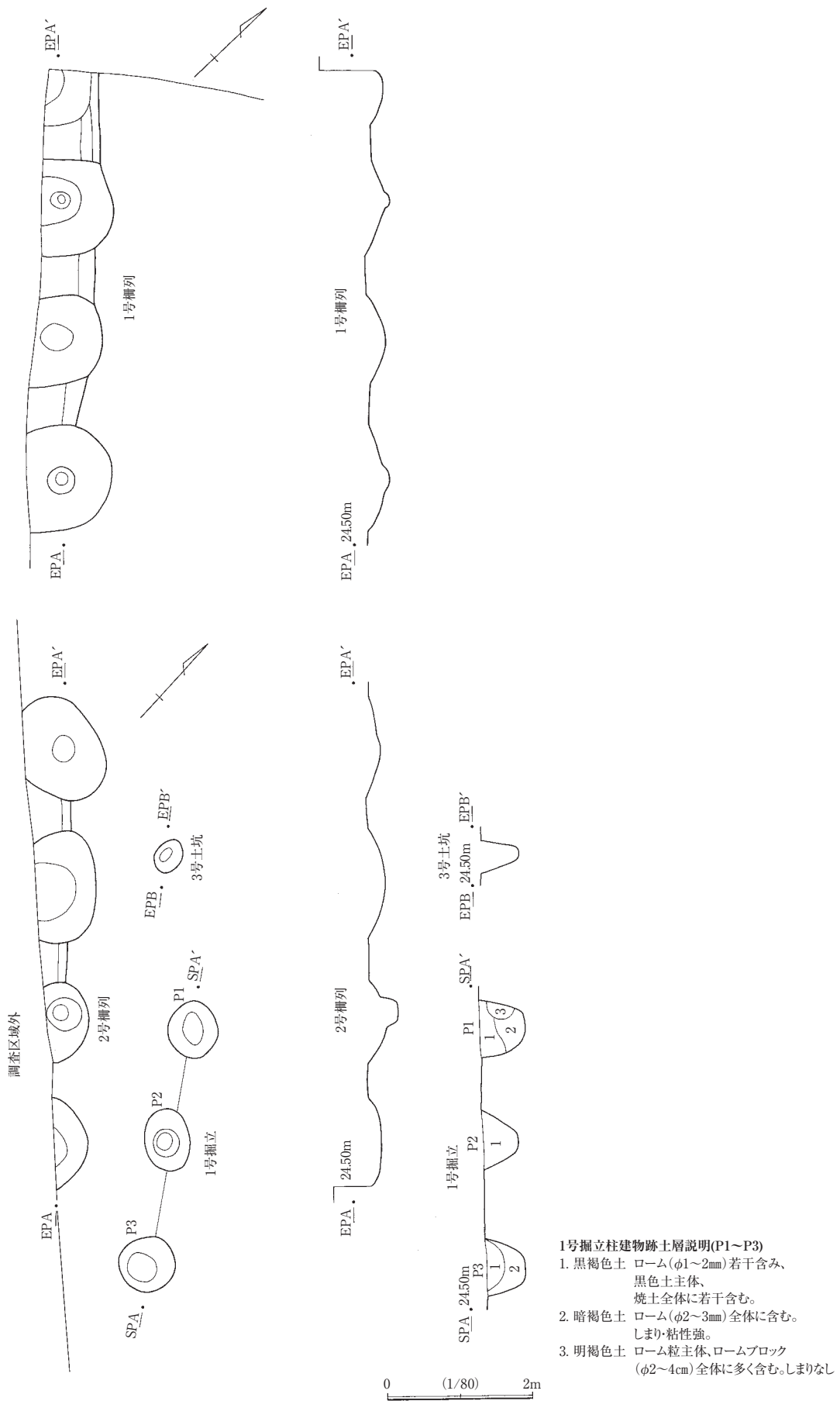
- ①. 明褐色土 ローム(φ2~3cm)多く含む。
- 1. 暗褐色土 ローム(φ1~3mm)・焼土若干含む
- 2. 明褐色土 ローム(φ3~4cm)全体に多く含む。
- 3. 赤褐色土 ローム(φ1~2mm)全体に含み、焼土多く含む。
- 4. 赤褐色土 ローム(φ2~4mm)全体に含み、焼土・粘土・砂多く含む。
- 5. 明茶褐色土 ローム(φ3~4mm)全体に多く、焼土・粘土・砂若干含む しまり・粘性強。
- a. 暗褐色土 ローム(φ2~3mm)・焼土全体に含む。
- b. 明褐色土 ローム(φ3cm)・焼土若干含む。しまり・粘性強。
- c. 暗黄褐色土 ローム(φ2~3cm)全体に多く含む。しまりなし、粘性あり。



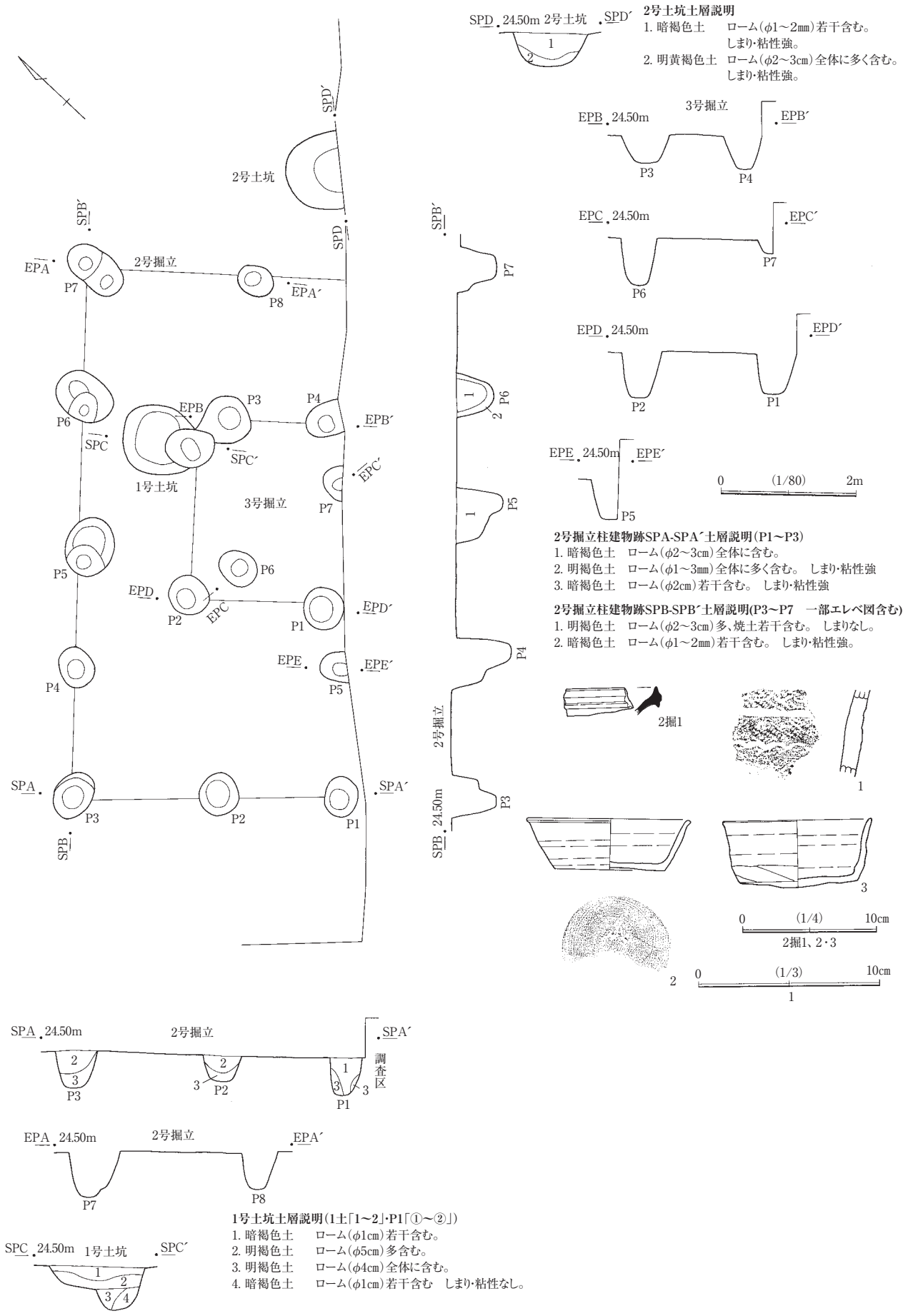
第11図 木戸場遺跡 (第1地点) 1号住居跡



第12図 木戸場遺跡(第1地点) 2号住居跡



第13図 木戸場遺跡(第1地点) 1号掘立柱建物跡・1号柵列・2号柵列



第14図 木戸場遺跡(第1地点) 2号・3号掘立柱建物跡、1号・2号土坑 出土遺物

- (2) **調査の方法** 地形に沿ってトレンチを設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (3) **遺構と遺物** 縄文時代土坑1基、中世溝状遺構（道路）1条、近世溝状遺構1条が検出された。溝状遺構は、馬場遺跡第5地点の1号道路状遺構であり、縄文時代土坑は馬場遺跡第5地点415号土坑にあたると思われる。なお、出土遺物は縄文土器約505g・土師器約299g・須恵器約17g・陶磁器約117g・在地系土師質土器73g・瓦約9gである。

5. 迎山遺跡（第19図、表5、PL9）

- (1) **遺跡の立地** 亀成川東岸の標高約23mの台地上。
- (2) **調査の方法** 既存の建物・駐車場を除いた部分にトレンチを3本設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (3) **遺構と遺物** 古墳時代前期堅穴住居跡2軒が検出され、土師器約34gが出土している。

6. 前戸遺跡（第2地点）（第20図、表6、PL1・9）

- (1) **遺跡の立地** 新川北東部の樹枝状に開析された標高約25mの台地上。
- (2) **調査履歴** 助千葉県埋蔵文化財センターによる平成9～15年にわたる調査⁽¹⁾と助印旛郡市文化財センターによる平成16年の調査⁽²⁾がある。旧石器時代から縄文時代早期・前期といった時代を遡る遺構・遺物や、古墳時代から奈良・平安時代に至る集落跡が確認された。溝状遺構から瓦塔が出土していることが注目される。
- (3) **調査の方法** 地形に沿ってトレンチ6本を設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (4) **遺構と遺物** 奈良・平安時代の堅穴住居跡3軒・土坑1基・溝状遺構1条・道路状遺構1条が検出され、奈良・平安時代土師器・須恵器が出土した。なお、遺物は縄文土器約94g・土師器約2,010g・須恵器約350g・支脚約35g・陶磁器約12g・在地系土師質土器約269g・瓦約35gが出土した。

注(1) 内田龍哉 他 『印西市新井堀Ⅱ遺跡・前戸遺跡 - 印西市道00-026号線道路改良に伴う埋蔵文化財調査報告書』(助千葉県埋蔵文化財センター 2004年

(2) 伊藤弘一 『千葉県印西市 前戸遺跡 - 印西市道00-016号線埋蔵文化財調査 -』(助印旛郡市文化財センター 2005年

7. 木戸場遺跡（第2地点）（第9・21～23図、表7、PL2・10）

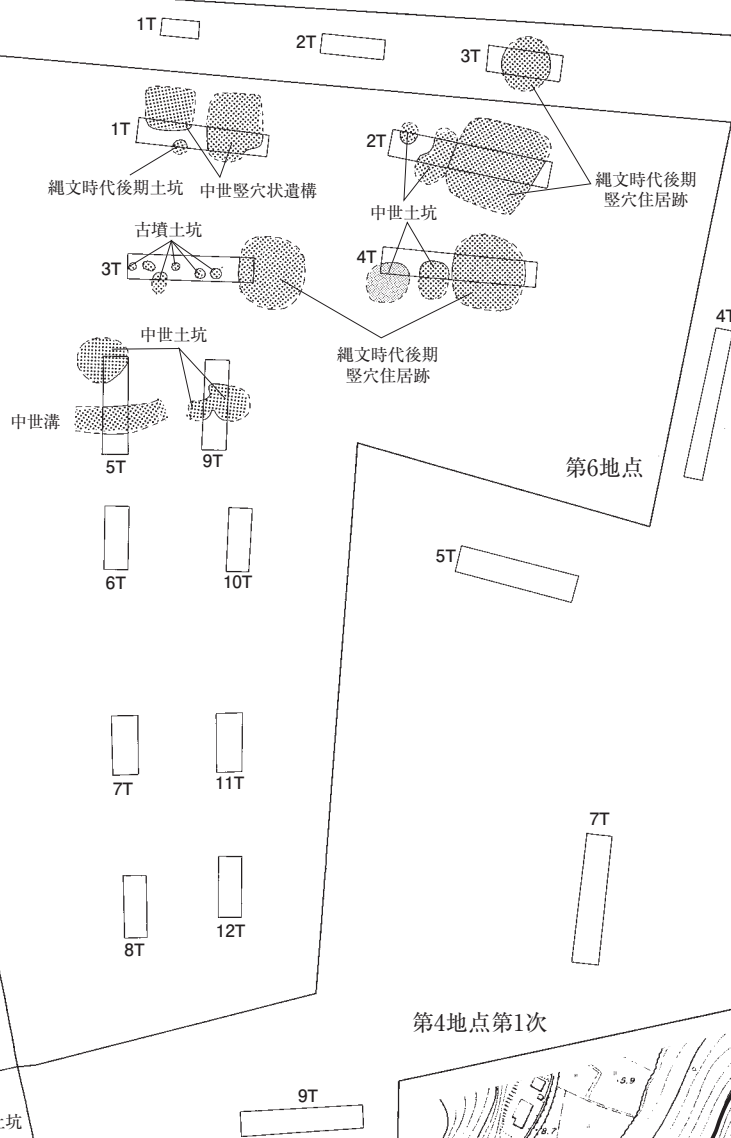
- (1) **遺跡の立地** 新川北部の樹枝状に侵食を受けた手賀沼南岸の標高約25mの台地上。木戸場遺跡第1地点の東側隣接地。木戸場遺跡第3地点の西側隣接地。
- (2) **調査の方法** 地形に沿ってトレンチを2本設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。本調査をするために、遺構が確認された部分の表土を除去し、その後工事によって影響を受ける遺構について精査して調査を終了した。
- (3) **遺構と遺物** 奈良・平安時代堅穴住居跡4軒、近世土坑5基が調査され、奈良・平安時代土師器・須恵器が出土した。

1号住居跡は、長軸約4.4m、短軸約4.28m、深さ約0.75mを測る。住居跡のほぼ南半分が精査された。カマドは西壁中央に位置し、周溝は調査した住居跡南部では確認された。検出できた柱穴は2基である。土層観察より覆土は埋め戻された様相を示す。1号堅穴建物跡から出土した遺物は、土師器約5,713g（P2約15g）・須恵器約2,670g・縄文土器約37g・陶磁器約7gであった。

第5地点

第4地点
第2次

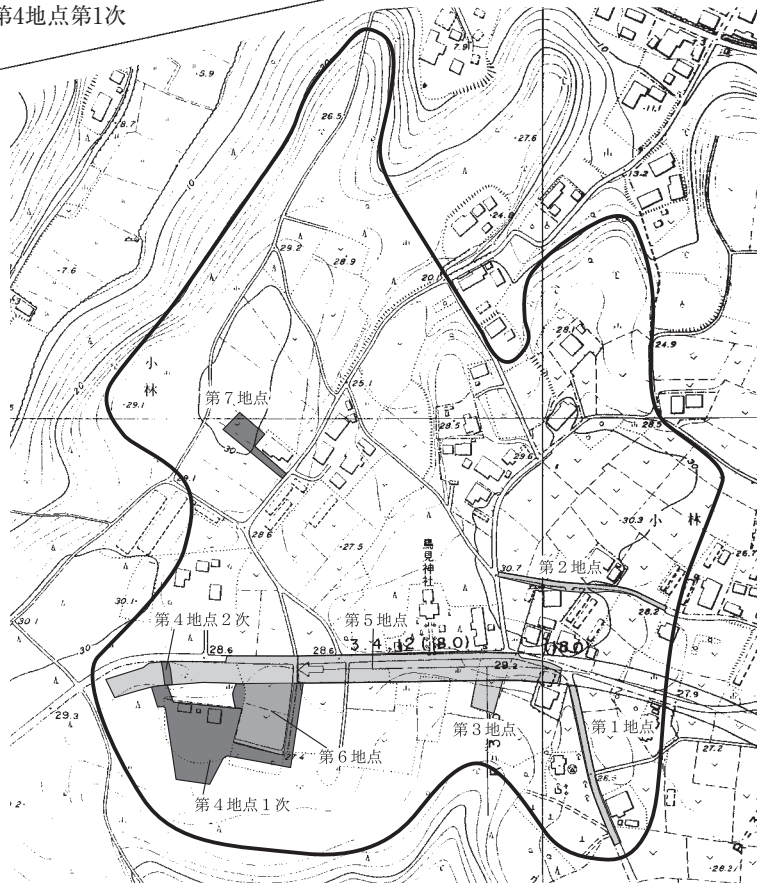
道路状遺構



縄文土坑 1T

0 (1/600) 20m

第4地点第1次

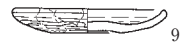
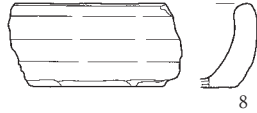
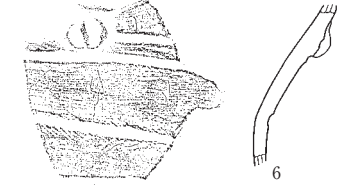
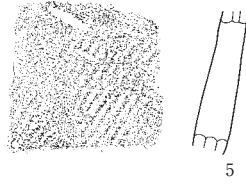
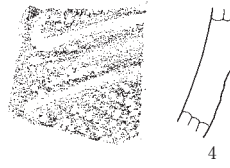
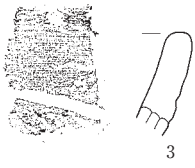
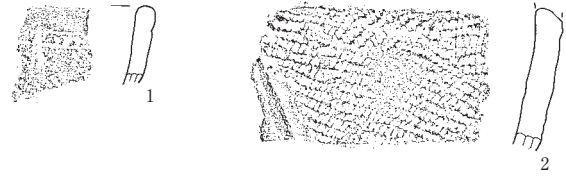
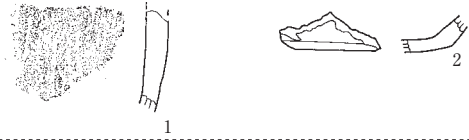


第16図 馬場遺跡 (第4・6地点) トレンチ遺構配置図

第15図 馬場遺跡 (第4・5・6・7地点) 周辺地形図

第1次

第2次

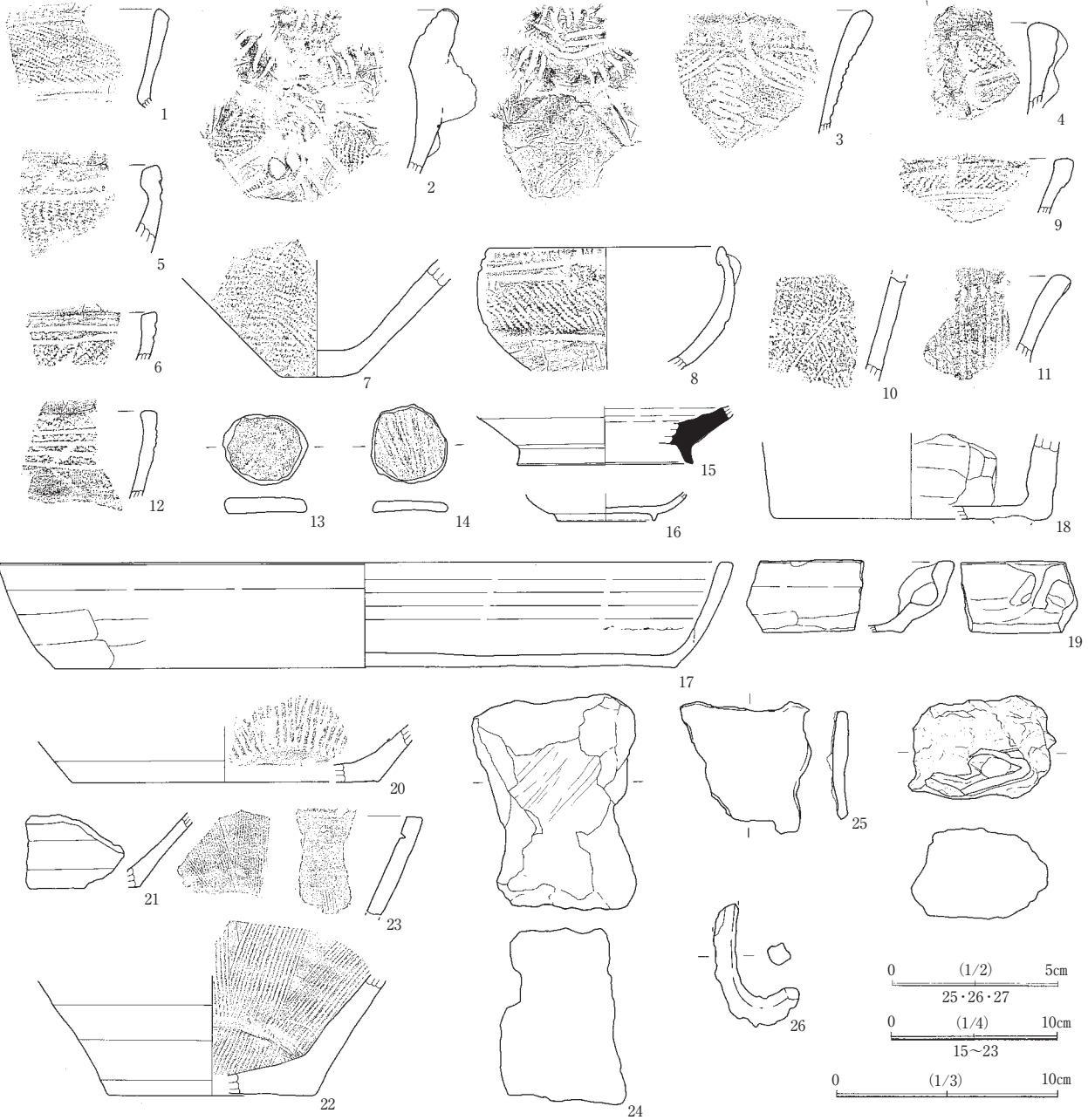


0 (1/4) 10cm

0 (1/5) 10cm

馬場遺跡(第4地点)第1・2次1~6

第17図 馬場遺跡(第4地点)出土遺物



第18図 馬場遺跡(第6地点)出土遺物



第19図 迎山遺跡周辺地形図・トレンチ遺構配置図・出土遺物

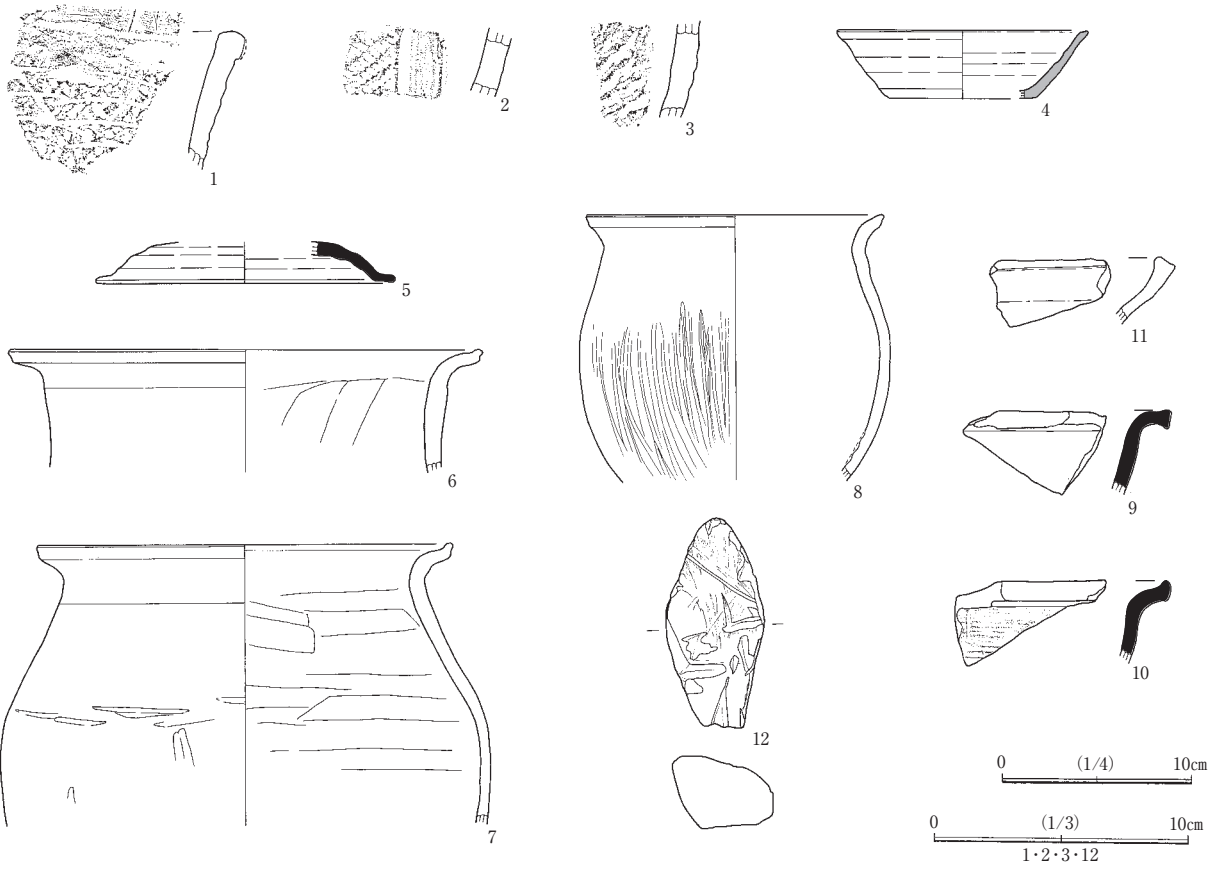
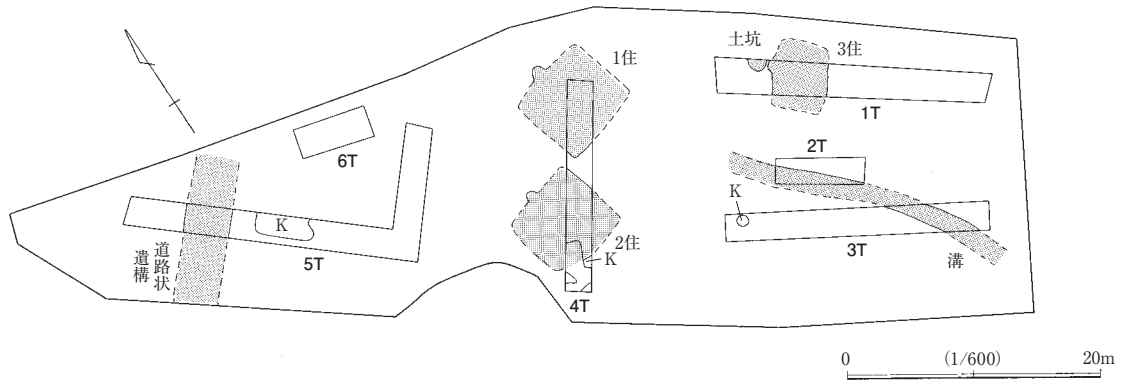
2号住居跡は、長軸約6.4m、短軸約5.8m、深さ約0.8mを測る。南西コーナー部分のみ精査された。精査された部分には周溝が廻り、柱穴1基が検出された。カマドは精査されなかったが、西壁中央に所在する。覆土は、埋め戻された様相を示す。出土遺物は、土師器約5,490g（内P1約145g）・須恵器約870g（内P1約9g）・支脚約52g（P1出土）・粘土塊約9g・陶磁器約16gであった。

3・4号住居跡は、所在を確認し、土層を記録して調査を終了した。これらの住居跡は北側を攪乱によって破壊されている。3号住居跡は長軸約4.24m、短軸約2.5m以上、深さ約0.65mを測る。出土した遺物は、土師器約3,745g・須恵器約730g・縄文土器約26gであった。4号住居跡は、長軸約4.1m、短軸約3m以上、深さ約0.72mを測る。覆土はかなり攪乱を受けている。出土遺物は、土師器約255g・須恵器約29g・縄文土器約68gであった。土層の観察から、3号住居跡は4号住居跡に切られており、遷移が推定される。

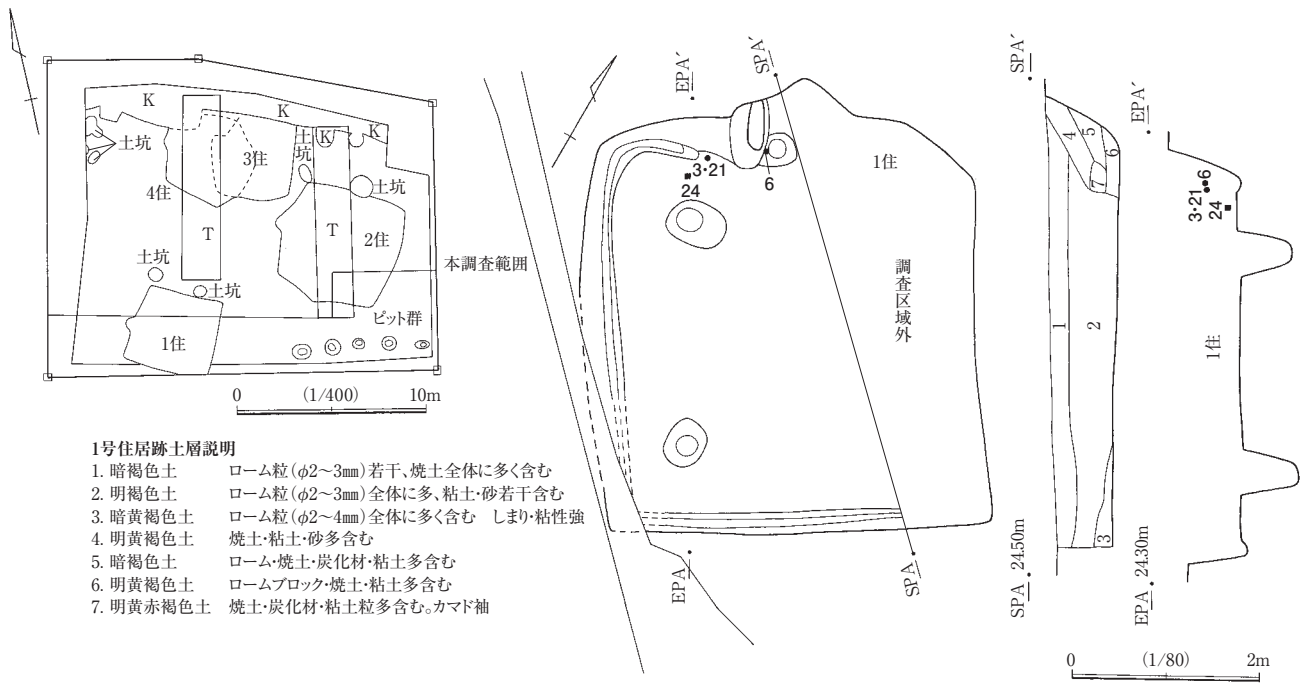
ピット群は5基のピットが、少し曲がりながら並んでいる。掘り込みは浅く、性格は不明である。遺構外から出土した遺物は、土師器約1,035g・須恵器約235g・縄文土器約162gであった。

8. 竜崖遺跡（第24図、表8、PL2・11）

- (1) 遺跡の立地 手賀沼東岸の標高約25mの台地上。
- (2) 調査の方法 地形に沿って、トレンチ3本を設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (3) 遺構と遺物 台地縁辺部に中世溝状遺構1条が検出され、縄文土器約280g、土師器約262g、須恵器約24gが出土した。

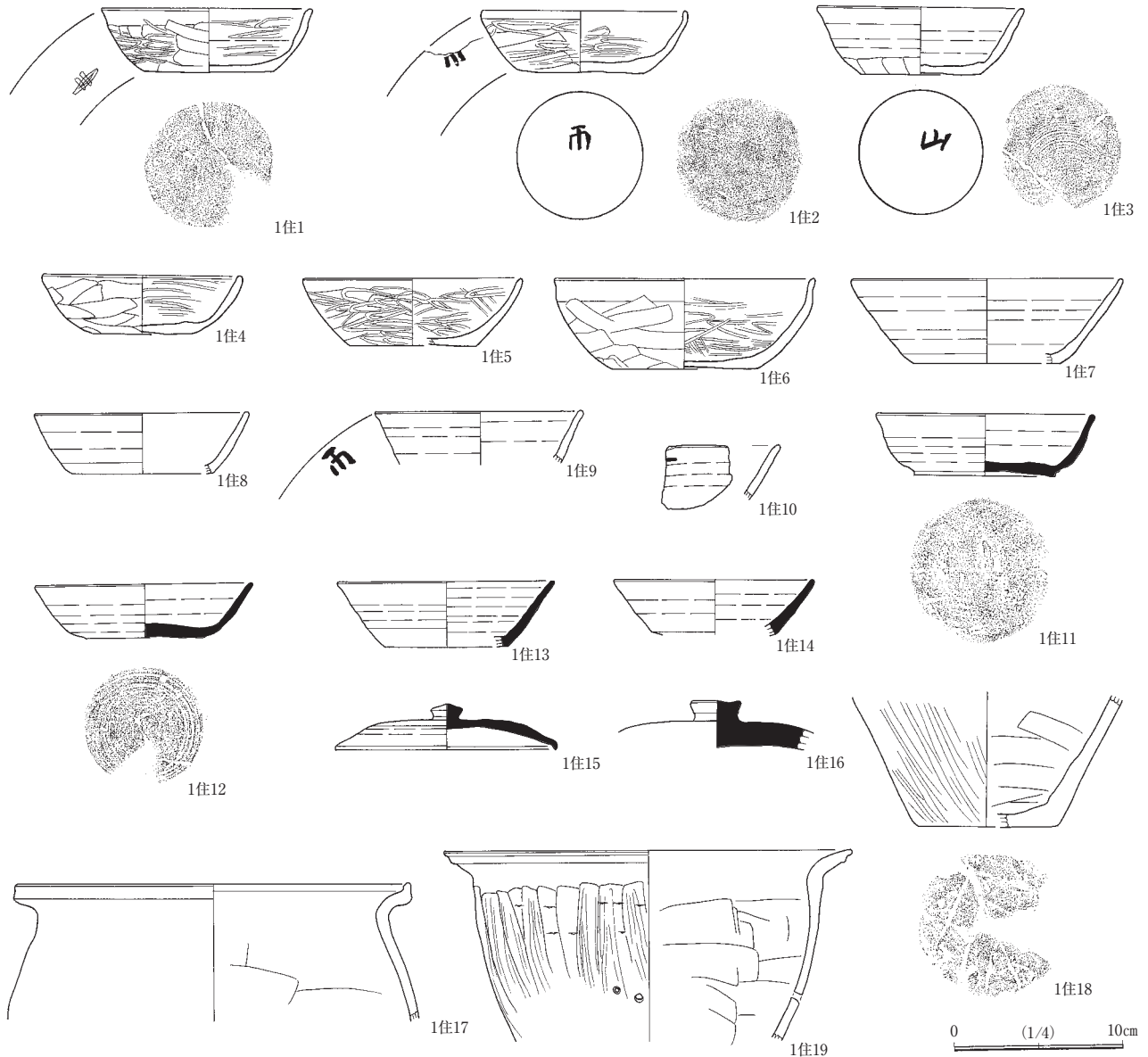


第20図 前戸遺跡（第2地点）周辺地形図・トレンチ遺構配置図・出土遺物

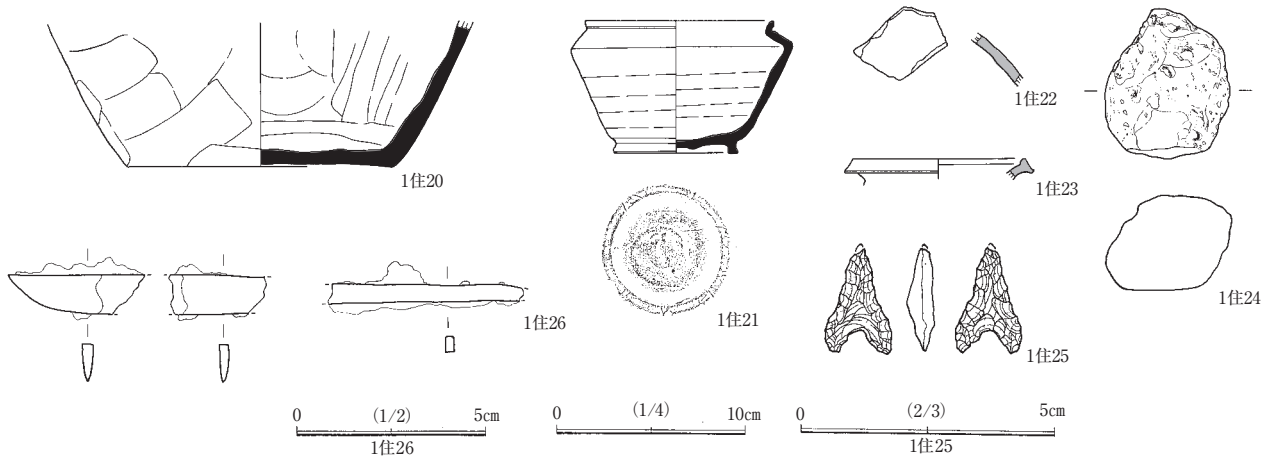


1号住居跡土層説明

- 1. 暗褐色土 ローム粒(φ2~3mm)若干、焼土全体に多く含む
- 2. 明褐色土 ローム粒(φ2~3mm)全体に多、粘土・砂若干含む
- 3. 暗黄褐色土 ローム粒(φ2~4mm)全体に多く含む しまり・粘性強
- 4. 明黄褐色土 焼土・粘土・砂多含む
- 5. 暗褐色土 ローム・焼土・炭化材・粘土多含む
- 6. 明黄褐色土 ロームブロック・焼土・粘土多含む
- 7. 明黄赤褐色土 焼土・炭化材・粘土粒多含む。カマド袖



第21図 木戸場遺跡(第2地点) トレンチ遺構配置図・1号住居跡 出土遺物(1)

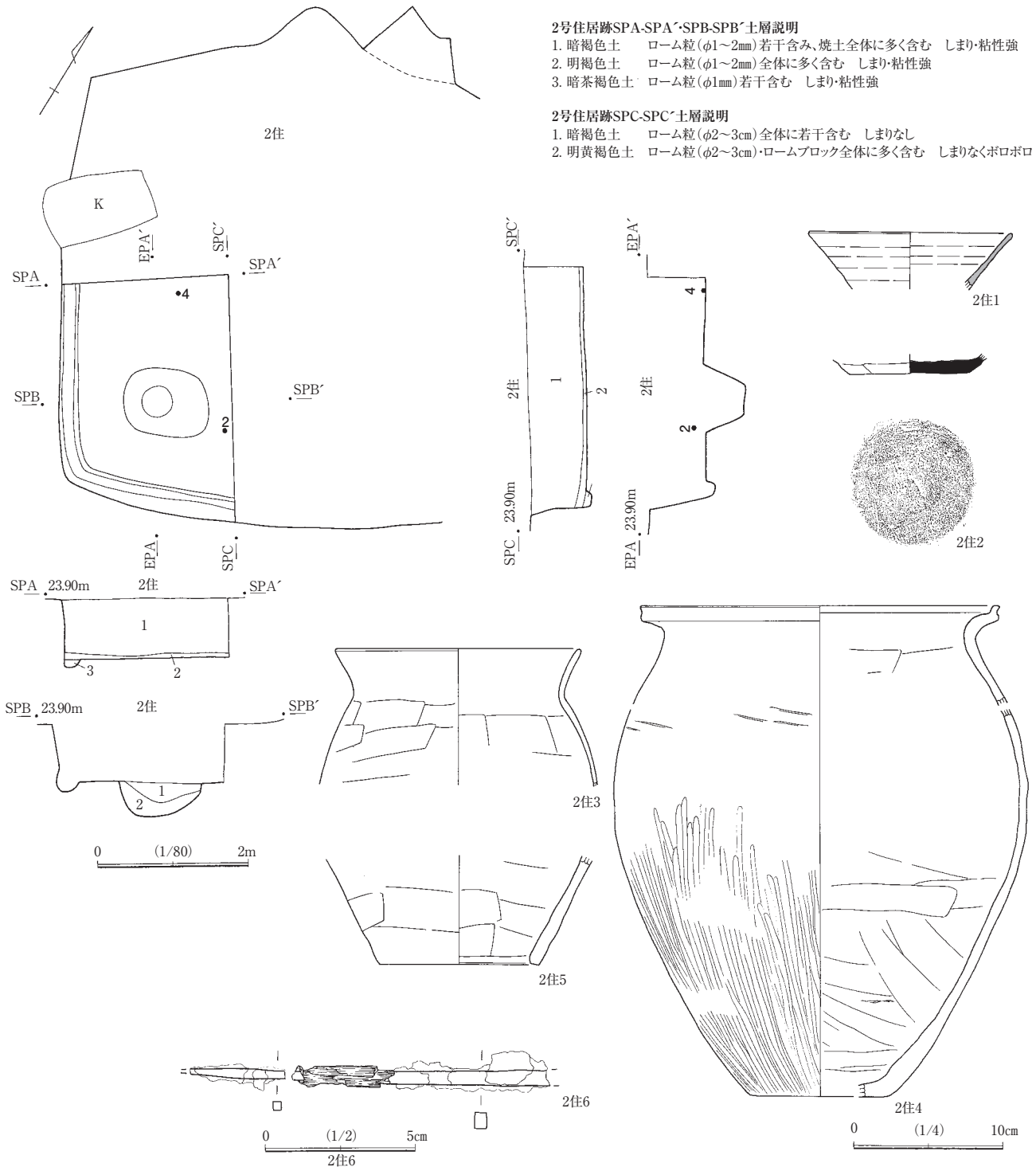


2号住居跡SPA-SPA'・SPB-SPB'土層説明

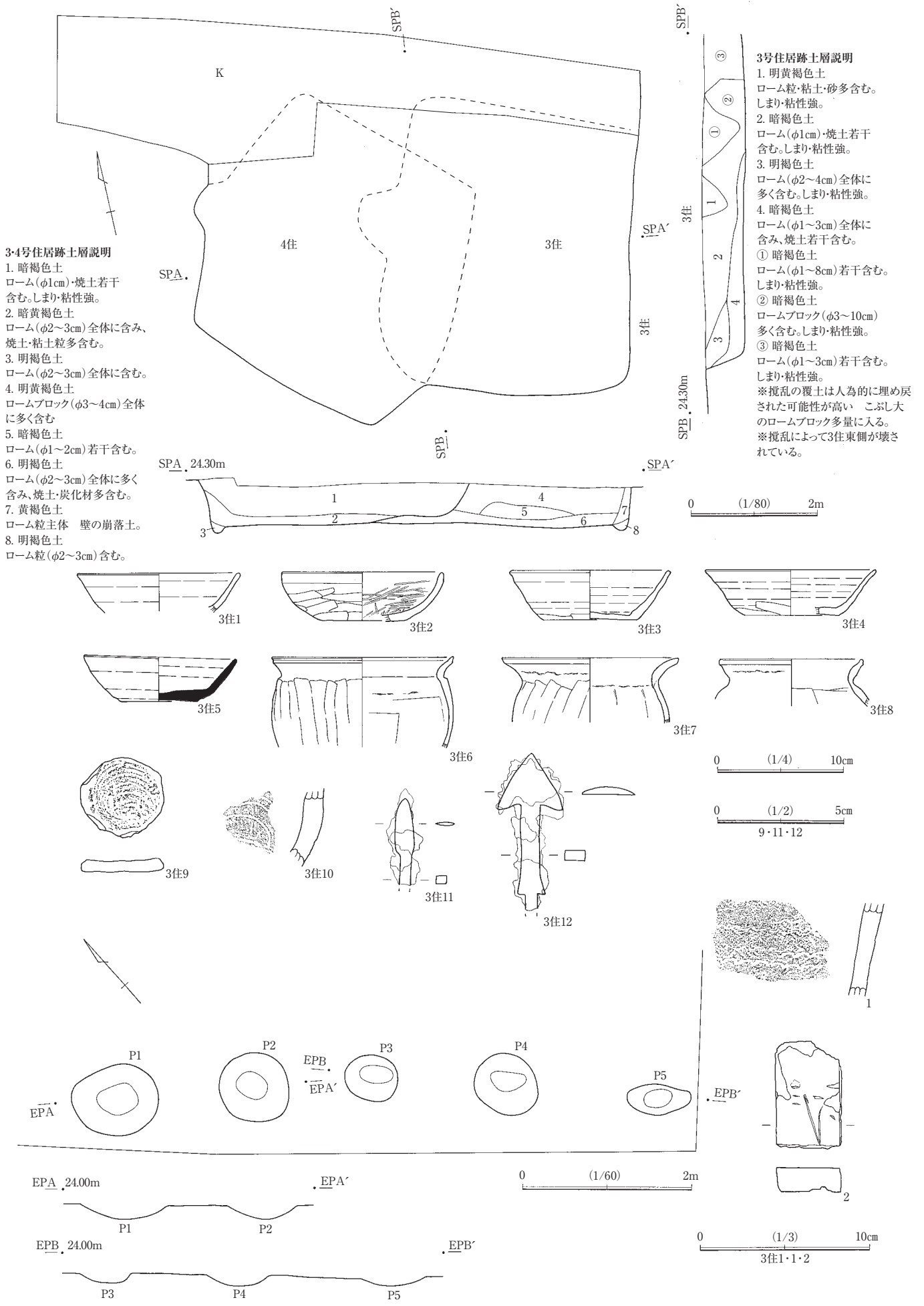
1. 暗褐色土 ローム粒(φ1~2mm)若干含む、焼土全体に多く含む しまり・粘性強
2. 明褐色土 ローム粒(φ1~2mm)全体に多く含む しまり・粘性強
3. 暗茶褐色土 ローム粒(φ1mm)若干含む しまり・粘性強

2号住居跡SPC-SPC'土層説明

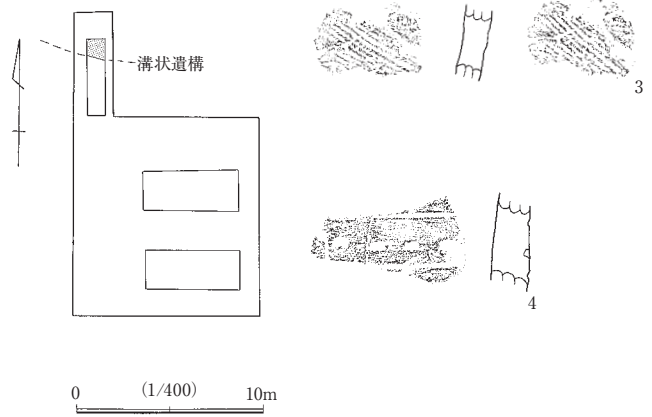
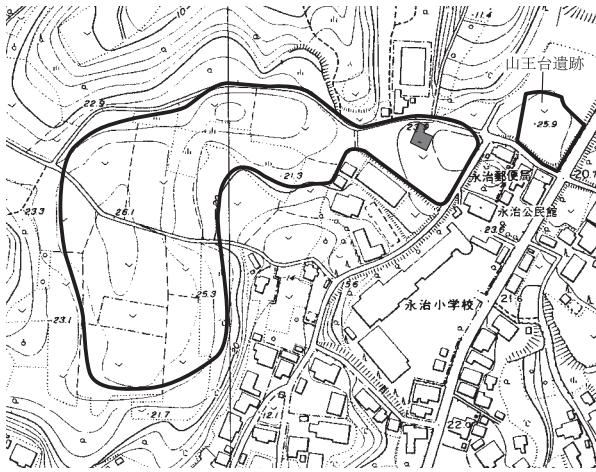
1. 暗褐色土 ローム粒(φ2~3cm)全体に若干含む しまりなし
2. 明黄褐色土 ローム粒(φ2~3cm)・ロームブロック全体に多く含む しまりなくボロボロ



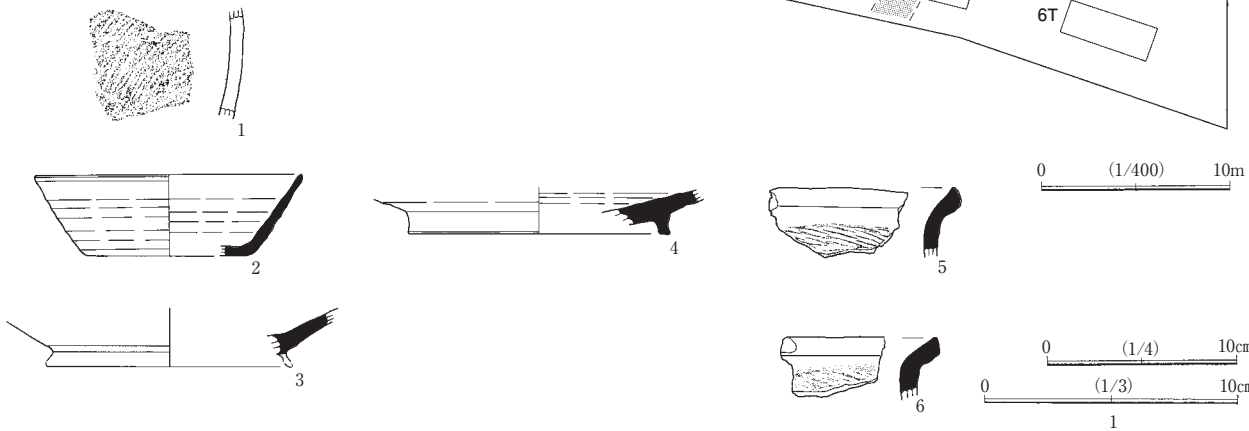
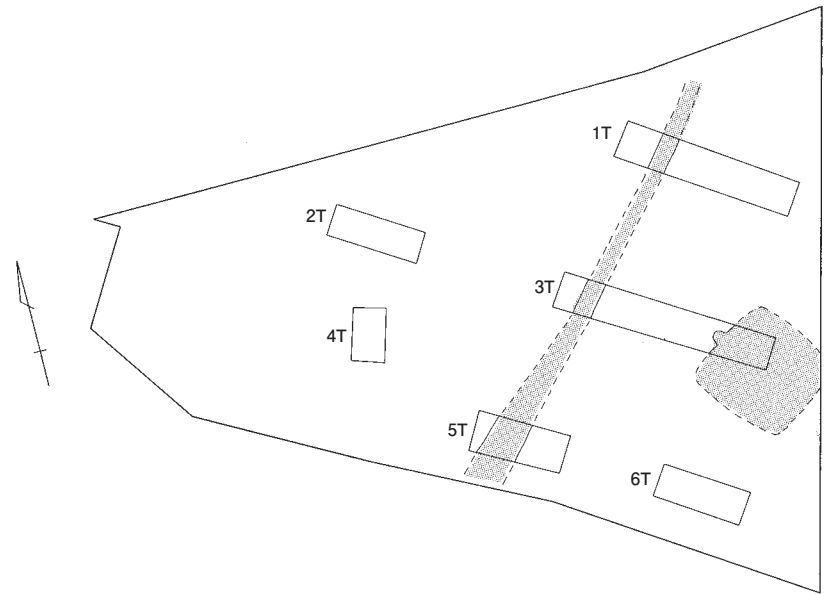
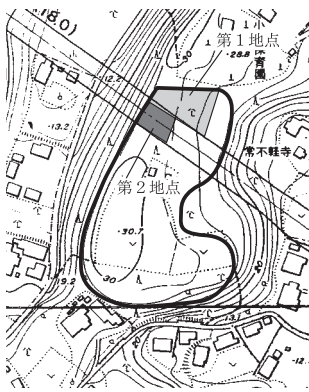
第22図 木戸場遺跡(第2地点)1号住居跡出土遺物(2) 2号住居跡 出土遺物



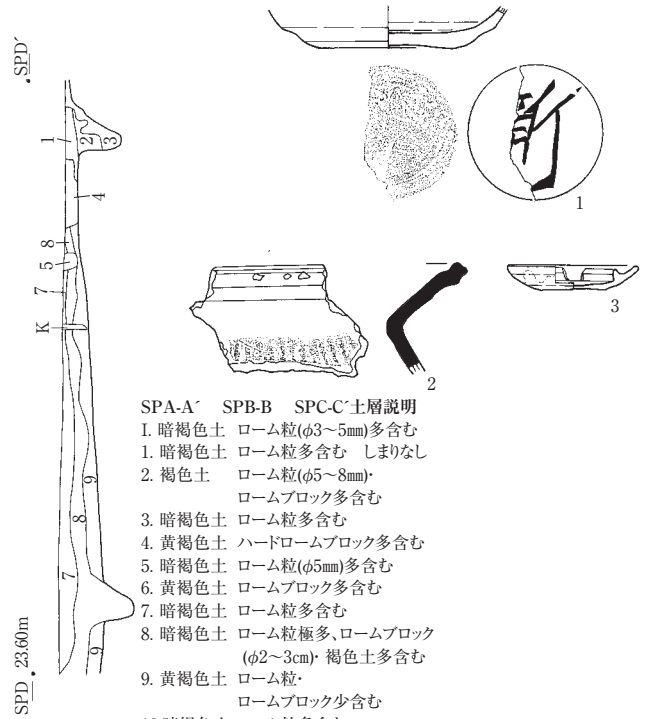
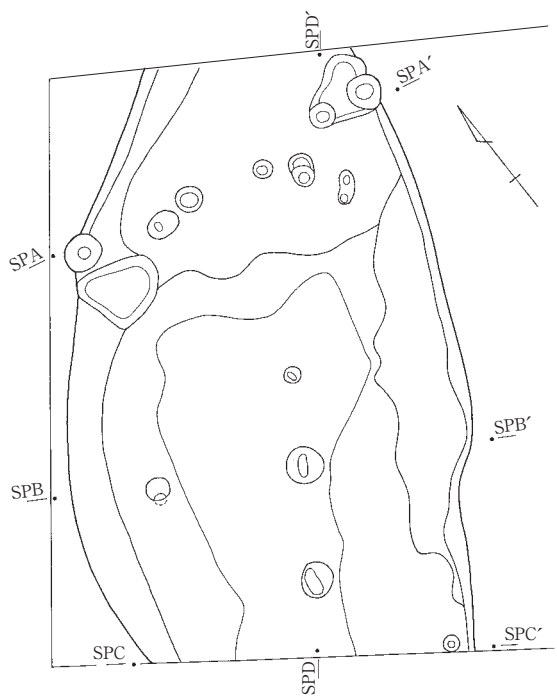
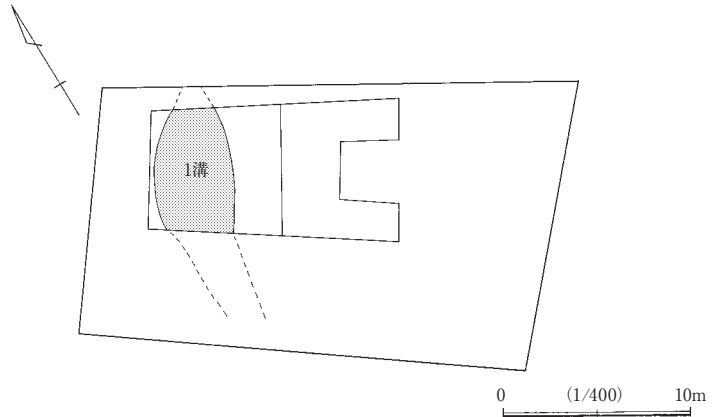
第23図 木戸場遺跡(第2地点)3・4号住居跡出土遺物・ピット群 同出土遺物



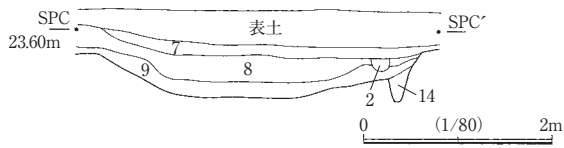
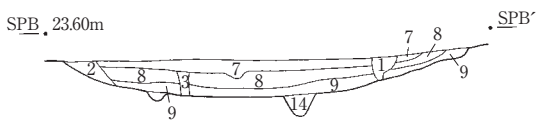
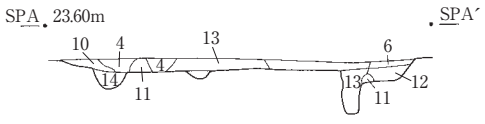
第24図 竜崖遺跡周辺地形図・トレンチ遺構配置図・出土遺物



第25図 天神前遺跡周辺地形図・トレンチ遺構配置図・出土遺物



- SPA-A' SPB-B SPC-C'土層説明**
1. 暗褐色土 ローム粒(φ3~5mm)多含む
 1. 暗褐色土 ローム粒多含む しまりなし
 2. 褐色土 ローム粒(φ5~8mm)・ロームブロック多含む
 3. 暗褐色土 ローム粒多含む
 4. 黄褐色土 ハードロームブロック多含む
 5. 暗褐色土 ローム粒(φ5mm)多含む
 6. 黄褐色土 ロームブロック多含む
 7. 暗褐色土 ローム粒多含む
 8. 暗褐色土 ローム粒極多、ロームブロック(φ2~3cm)・褐色土多含む
 9. 黄褐色土 ローム粒・ロームブロック少含む
 10. 暗褐色土 ローム粒多含む
 11. 暗褐色土 ロームブロック含む
 12. 褐色土 ローム粒多含む
 13. 褐色土 ロームブロック多含む



- SPD-D'土層説明**
1. 褐色土 ローム粒(φ3mm)多含む
 2. 褐色土 ローム粒(φ3mm)少含む
 3. 黄褐色土 ロームブロック極多含む
 4. 褐色土 ローム粒少含む
 5. 褐色土 ローム粒(φ5~10mm)少含む
 6. 不明
 7. 暗褐色土 ローム粒多含む
 8. 暗褐色土 ローム粒極多、ロームブロック(φ2~3cm)・褐色土多含む
 9. 黄褐色土 ローム粒・ロームブロック少含む

第26図 八夜台遺跡(第1・2次)周辺地形図、八夜台遺跡(第1地点)トレンチ遺構配置図・1号溝・出土遺物

9. 馬場遺跡（第6地点）（第15・16・18図、表9、PL2・11）

- (1) 遺跡の立地 馬場遺跡第4地点・第5地点に隣接している。
- (2) 調査の方法 地形に沿ってトレンチを12本設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (3) 遺構と遺物 縄文時代後期堅穴住居跡3軒・同土坑8基、中世堅穴状遺構2基・土坑7基・溝状遺構1条が検出され、縄文土器約1,513g・土師器約1,557g・須恵器約184g・陶磁器約304g・在地系土器1,395gが出土した。

10. 八夜台遺跡（第1地点）（第26図、表10、PL2・3・11）

- (1) 遺跡の立地 利根川と亀成川に挟まれた標高約23mの台地上。八夜台遺跡（第2地点）の北側に位置する。
- (2) 調査の方法 事業によって影響を及ぼす範囲の表土を重機によって除去し、確認できた遺構を精査した。
- (3) 遺構と遺物 溝状遺構1条が検出され、調査範囲内から土師器約2,009g・須恵器約311g・縄文土器約239g・中近世陶磁器約37gが出土した。1号溝状遺構は上幅約4.32m、下幅約1.28m、深さ約0.38mを測る。その時期は不明であるが、出土遺物の傾向から、とりあえず中世以前のものと考えておきたい。土層観察より覆土はレンズ状堆積を示すが、下層に較べると上層には混入物が多く、遺構が機能を失ってからしばらくして、次第に埋め立てられたように思われる。遺構の底部には土坑2基・ピット11基がある程度まとまって検出されており、柵列等の可能性もあるが定かではない。

11. 天神前遺跡（第25図、表11、PL3・11）

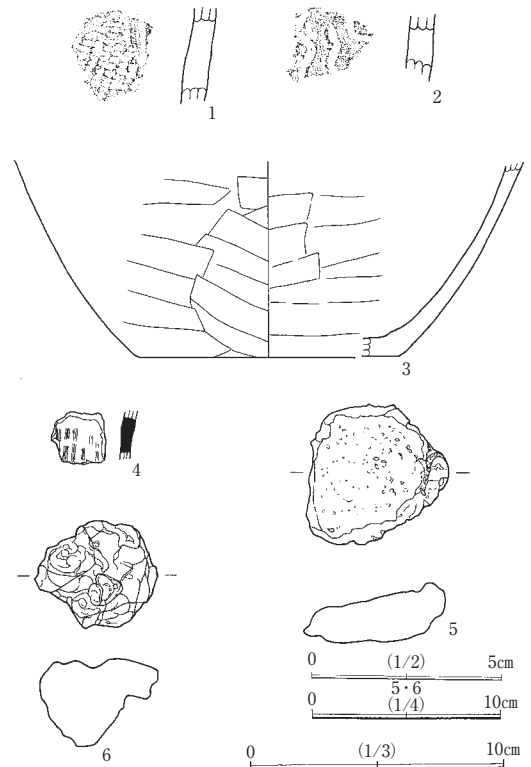
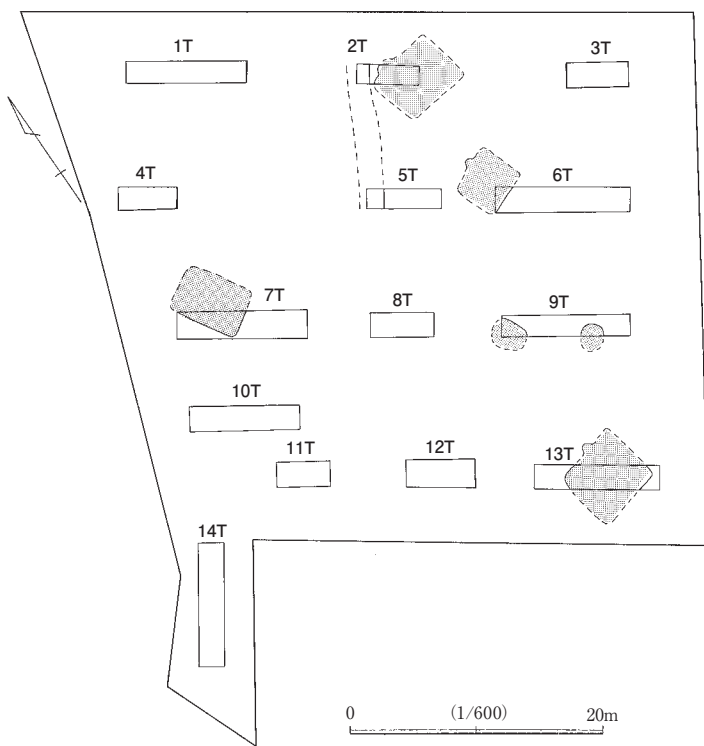
- (1) 遺跡の立地 北方に利根川を望む樹枝状に開析された標高約29mの台地上
- (2) 調査履歴 平成22年に（財）印旛郡市文化財センターによる調査が実施され、既に報告がなされている⁽¹⁾。この時には古墳時代住居跡1軒、奈良・平安時代住居跡7軒などが発見された。
- (3) 調査の方法 地形に沿ってトレンチを6本設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (4) 遺構と遺物 奈良・平安時代堅穴住居跡1軒、中近世溝状遺構1条を検出し、縄文土器約31g・土師器約359g・須恵器約294gが出土している。第2地点では出土していない縄文土器の出土が目される。

注(1) 広瀬千絵『千葉県印西市天神前遺跡』（財）印旛郡市文化財センター 2011年

12. 天神台遺跡（第14地点）（第27図、表12、PL3・11）

- (1) 遺跡の立地 北に利根川、南に亀成川を望む東西に延びた標高約25mの台地上。
- (2) 調査履歴 天神台遺跡の調査は、（財）印旛郡市文化財センターによる調査が多数実施されている。昭和60年に実施された学校建設に伴う調査（第1・2・3地点）が、天神台遺跡最初の調査である⁽¹⁾。平成元年にも鉄塔建設に伴う調査（第4地点）が実施された⁽²⁾。平成5年と同8年には福祉施設建設に伴う調査（第5地点）が実施されている⁽³⁾。平成10年には道路建設に伴う調査（第7地点）が行われた⁽⁴⁾。平成12～14年には個人住宅建設に伴う調査（第8・9・11地点）が実施された⁽⁵⁾。

印西市教育委員会による調査は、平成5年度⁽⁷⁾に実施した調査（第6地点）がある。平成13年には駐車場建設に伴う確認調査（58㎡／570㎡）が行われ（第10地点）、古墳時代前期住居跡2軒、奈良・平安時代住居跡4軒・同掘立柱建物跡1棟が検出され、遺構と同時代の土師器・須恵器が出土した。平成14年には社会福祉施設建設に伴う確認調査（550㎡／4,880㎡）が実施された。（第12地点）その結果、弥生時代後期住居跡1軒、古墳時代前期住居跡2軒、古墳時代後期住居跡1軒、奈良・平安時代住居跡1軒が検出され、縄文土器や土



第27図 天神台遺跡（第14・15地点）周辺地形図、天神台遺跡（第14地点）トレンチ遺構配置図・出土遺物

師器・須恵器（古墳時代、奈良・平安時代）が出土した。

天神台遺跡の調査は小規模なものが多いが、縄文時代から奈良・平安時代に至る大規模な遺跡の変遷が確認されている。

(3) **調査の方法** 地形に沿ってトレンチを設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。

(4) **遺構と遺物** 古墳時代後期竪穴住居跡 4 軒・土坑 2 基、中近世溝状遺構 1 条が検出され、縄文土器約 46g・土師器約 681g・須恵器約 59g が出土している。

注(1) 青山博 他 『千葉県印旛郡印西市天神台遺跡発掘調査報告書』(財印旛郡市文化財センター 1987年)

(2) 米田幸雄 他 『千葉県印旛郡印西市天神台・ヤジダ遺跡発掘調査報告書』(財印旛郡市文化財センター 1991年)

(3) 「印西市天神台呑内遺跡 (09-009)」(『財団法人印旛郡市文化財センター年報10-平成5年度-』1994年)、「印西市天神台遺跡 (第2次)」(『財団法人印旛郡市文化財センター年報12-平成7年度-』1997年)

(4) 野村優子 『千葉県印西市天神台遺跡』(財印旛郡市文化財センター 2000年)

(5) 小倉和重 他 『平成11年度・平成12年度印西市内遺跡発掘調査報告書』印西市教育委員会 2001年、佐藤晃雅『平成14年度印西市内遺跡発掘調査報告書』印西市教育委員会 2003年、大澤孝『千葉県印西市天神台遺跡 (第11地点) 発掘調査報告書』印西市教育委員会 2004年

(6) 飯島伸一 『平成15年度印西市内遺跡発掘調査報告書』印西市教育委員会 2004年

(7) 注(5) 小倉和重報告書参照

13. 松崎V遺跡 (第2地点) (第28・29図、表13、PL3・11・12)

(1) **遺跡の立地** 新川北岸の標高約25mの台地上。

(2) **調査履歴** (財千葉県文化財センターによる調査が平成14～15年にかけて行われた⁽¹⁾)。この調査対象面積は3,290㎡であり、確認調査のうえ、本調査が上層305㎡・下層120㎡にて実施された。その結果、旧石器時代の石器集中地点1ヶ所、縄文時代早期炉穴跡12基、古墳時代早期・奈良・平安時代住居跡3軒などが発見された。平成17年には印西市教育委員会による調査(第1地点)が実施されている⁽²⁾。

(3) **調査の方法** 地形に沿ってトレンチを設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。その後必要な範囲を拡張し遺構を精査した。

(4) **遺構と遺物** 奈良・平安時代竪穴住居跡2軒が検出され、縄文土器約214g・土師器5,365g・須恵器1,794g・支脚約111g・粘土塊約25g・瓦約10gが出土した。検出された2軒の竪穴住居跡の内、1軒のみ精査された。1号住居跡は、長軸約4.85m、短軸約5.08m、深さ約0.38mを測る。カマドは東壁中央にあり、周溝が東壁を除いて廻っている。住居内では柱穴4基、梯子ピット1基が検出された。平面形態から、柱は抜き取られた可能性が高い。覆土は混入物が多く、建物廃棄後、しばらくして埋められたと思われる。1層から完形に近い土器が多く出土している。

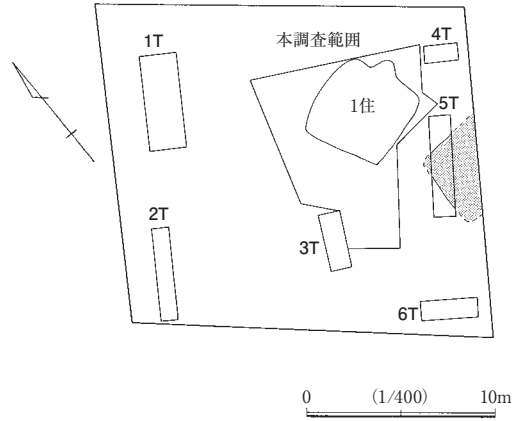
注(1) 大内千年 他 『松崎地区内陸工業用地造成整備事業埋蔵文化財調査報告書5』(財千葉県教育振興財団 2006年)

(2) 鈴木圭一 『平成17年度印西市内遺跡発掘調査報告書』印西市教育委員会 2006年

14. 吉高一本松遺跡 (第30図、表14、PL3・12)

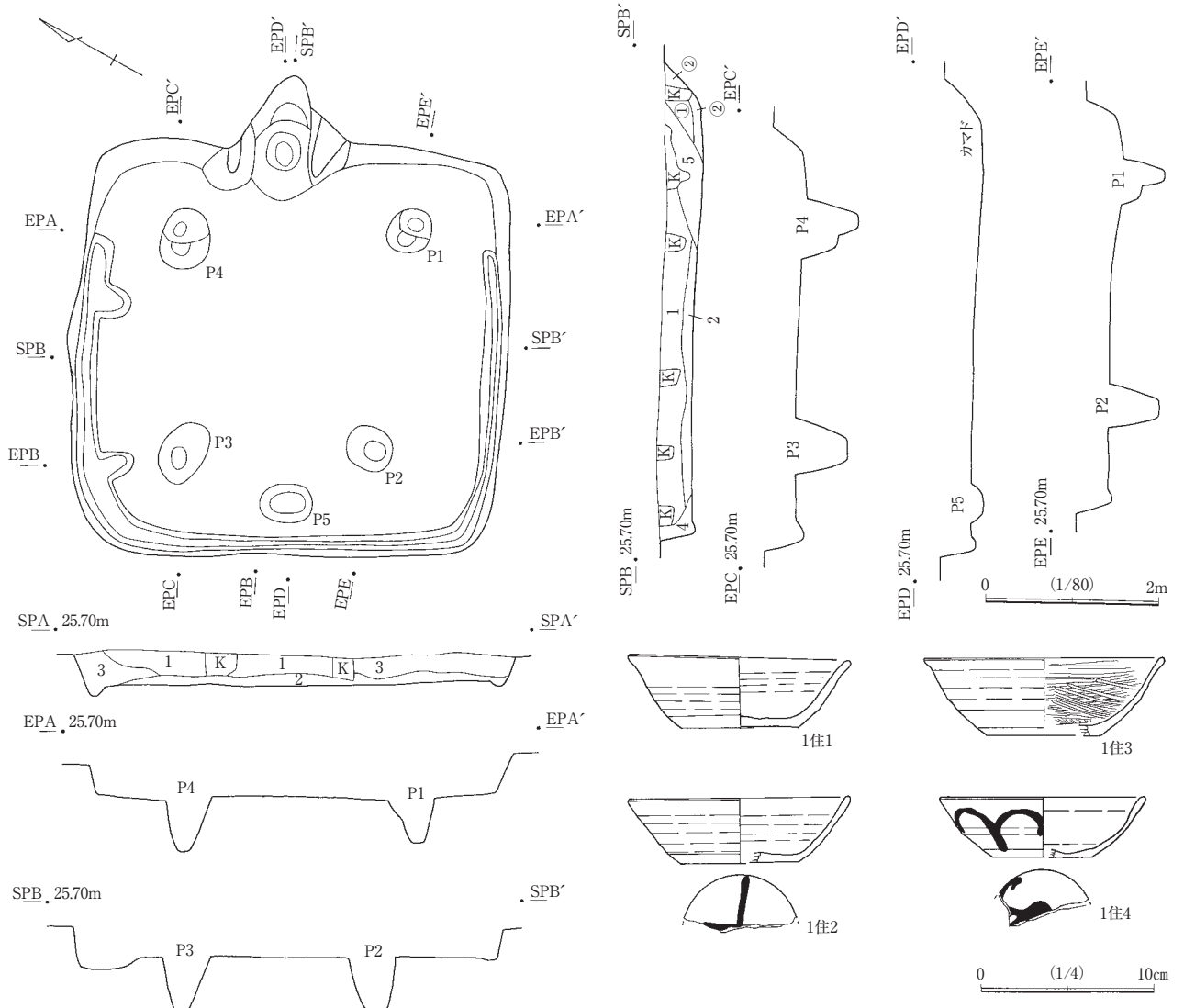
(1) **遺跡の立地** 松虫川南岸標高約10mの沖積地。

(2) **調査の方法** 地形に沿ってトレンチを3本設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。必要に応じてトレンチは拡張した。

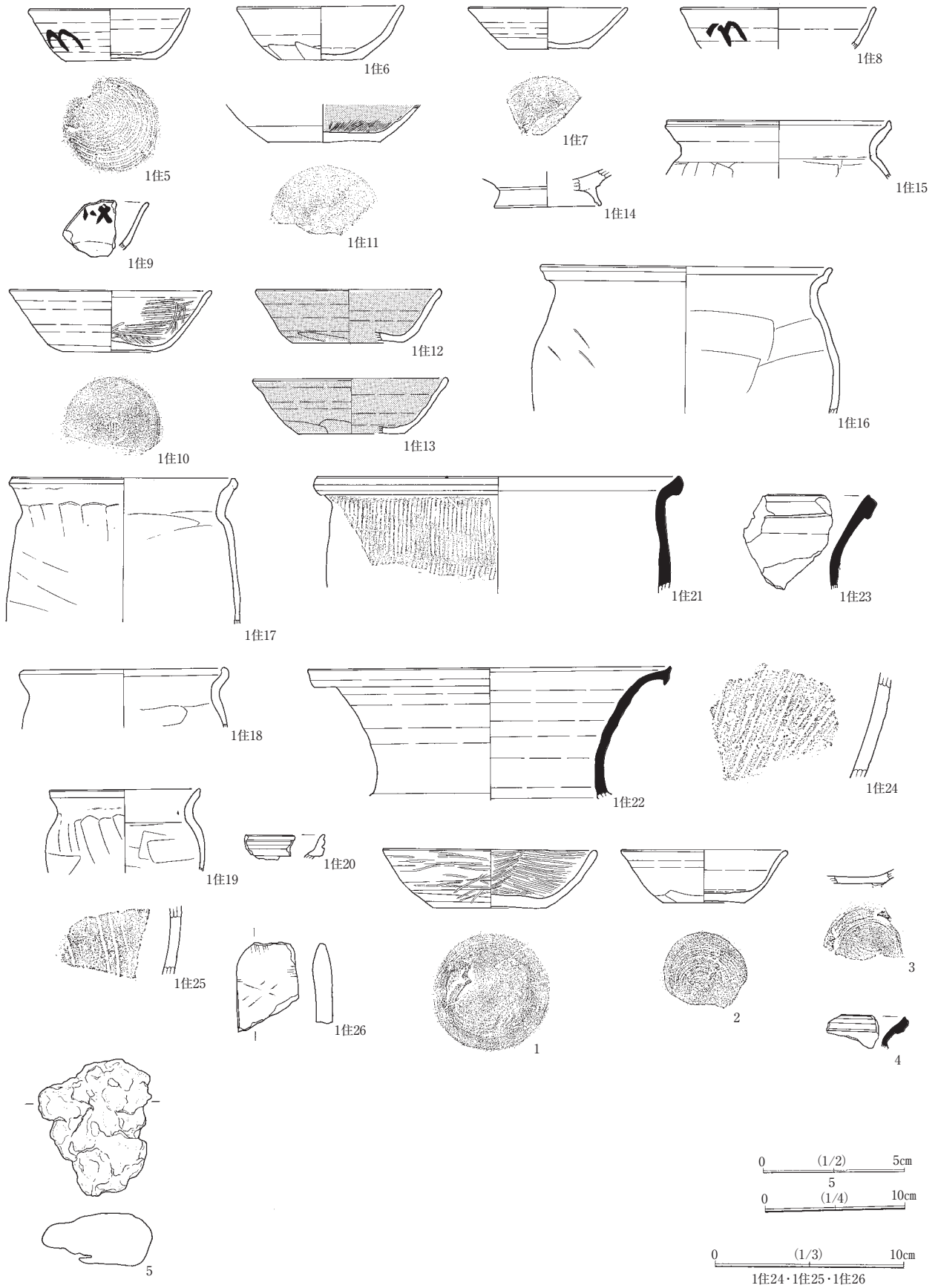


1号住居跡土層説明(カマドの覆土「①~②」)

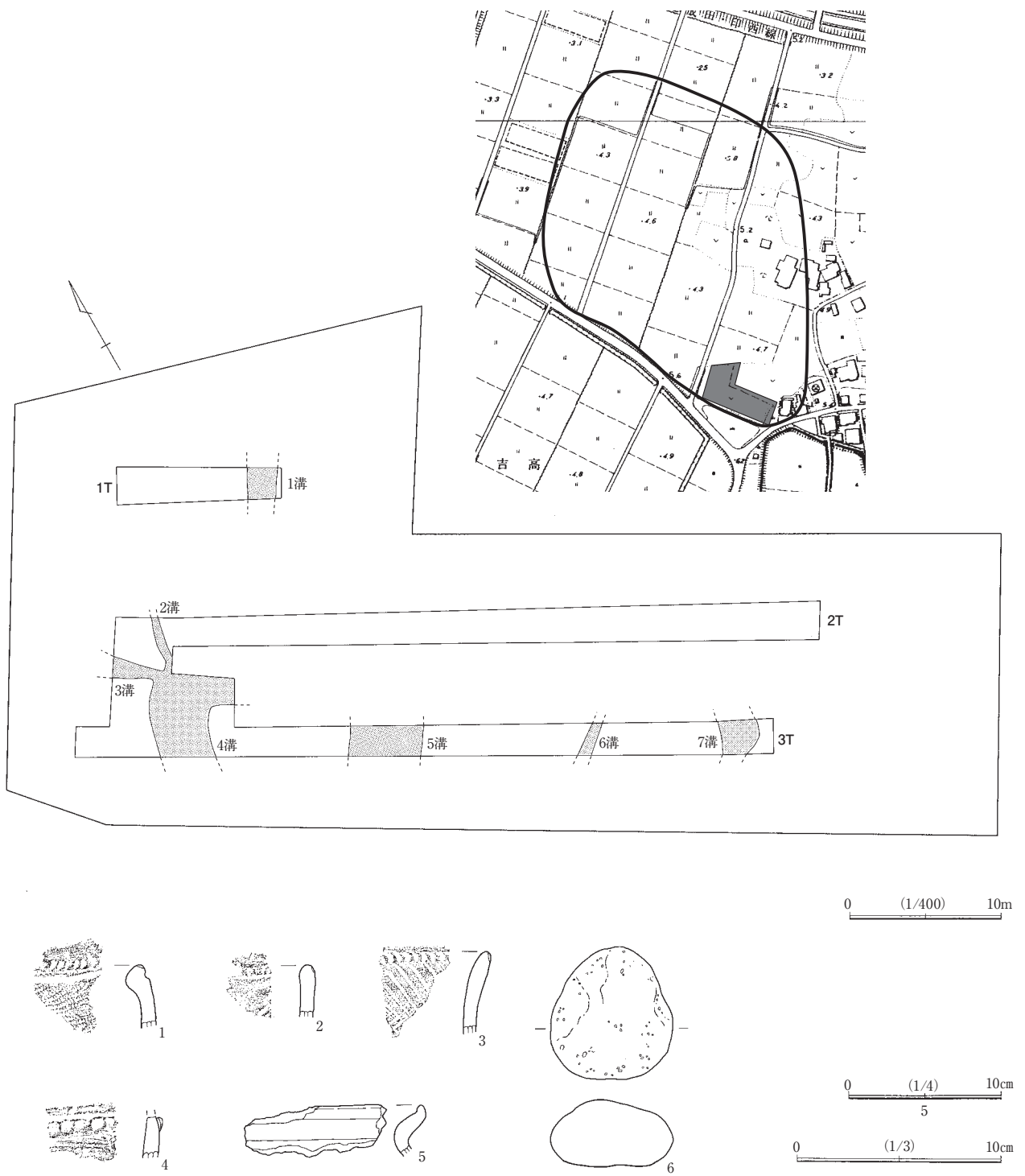
- 1. 黒褐色土 ロームブロック(φ1~2cm)少、焼土多含む。
- 2. 暗褐色土 ロームブロック(φ2~3cm)多、焼土若干含む
- 3. 明褐色土 ローム粒(φ5mm~1cm)多含む
- 4. 暗黄褐色土 ローム粒(φ1cm)多含む
- 5. 灰褐色土 ローム粒(φ1cm)・焼土・砂多含む
- ①. 明灰褐色土 焼土・ローム粒・砂多含む。
- ②. 赤褐色土 ローム粒(φ1cm)・焼土多含む。



第28図 松崎V遺跡(第2地点)周辺地形図・1号住居跡 同出土遺物



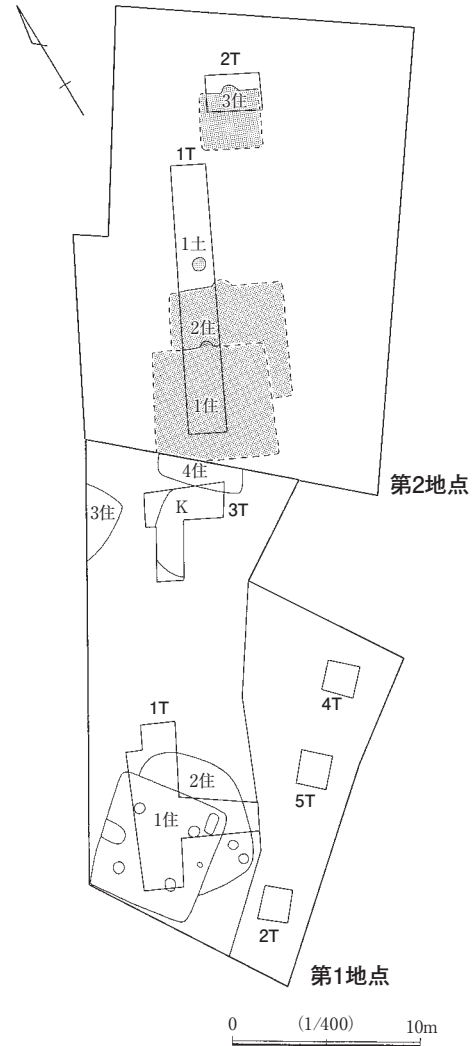
第29図 松崎V遺跡跡（第2地点）1号住居跡出土遺物(2)



第30図 吉高一本松遺跡周辺地形図・トレンチ遺構配置図・出土遺物



第31図 中郷遺跡（第1・2地点）周辺地形図、
中郷遺跡（第1地点）トレンチ遺構配置図



(3) 遺構と遺物 近世以降の溝状遺構が7条検出され、縄文土器約45g・土師器約217gと軽石が出土した。

15. 中郷遺跡（第31～35図、表15、PL3・13・14）

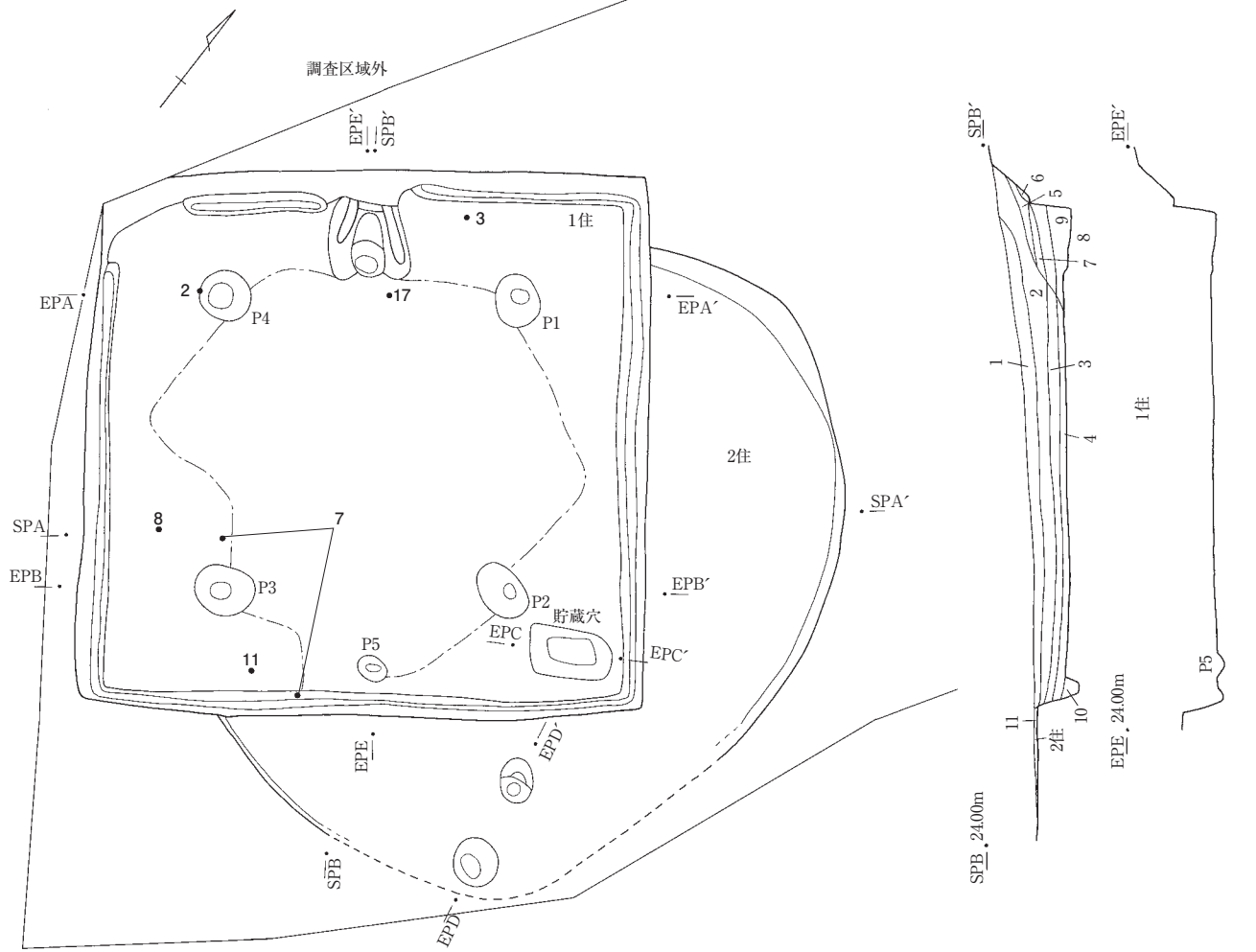
(1) 遺跡の立地 新川北岸の標高約25mの台地上。中郷遺跡第2地点の南側。

(2) 調査の方法 地形に沿ってトレンチを設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。その後、遺構を検出された範囲を拡張し、遺構を精査した。

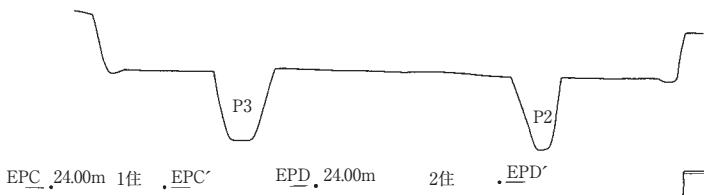
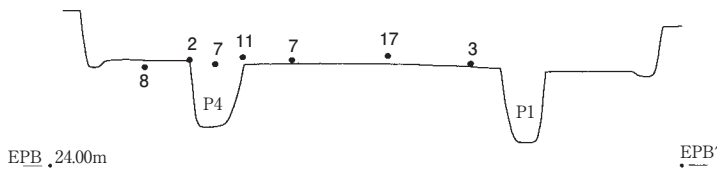
(3) 遺構と遺物 縄文時代前期竪穴住居跡1軒、弥生時代中期竪穴住居跡1軒、古墳時代後期住居跡2軒が検出された。

1号住居跡は、長軸約6.3m、短軸約5.8m、深さ最大約0.85mを測る。2号住居を切っている。北壁中央にカマドを持ち、周溝は北西コーナーを除き廻っている。建物内には、柱穴4基、梯子ピット1基、南西コーナーに貯蔵穴1基が配置されている。住居中央には硬化面が広がる。住居壁際には焼土塊が多く見られる。覆土はレンズ状堆積をしており、自然堆積の可能性が高い。6世紀末から7世紀初頭の築造と考えられる。出土遺物は、土師器約12,421g・須恵器約12g・縄文土器約1,015g・粘土塊約15gである。羽口・ミニチュア土器が出土している。

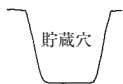
2号住居跡は、遺構の残存状況が良好ではなく、1号住居跡に切られていることもあって、その全容はわ



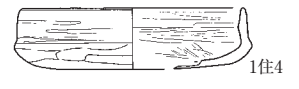
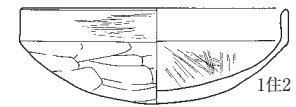
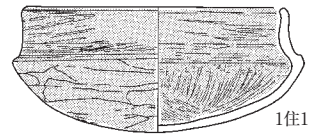
SPA 24.00m SPA'



EPD 24.00m 2住 EPD'

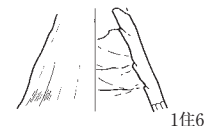
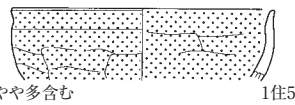


0 (1/80) 2m



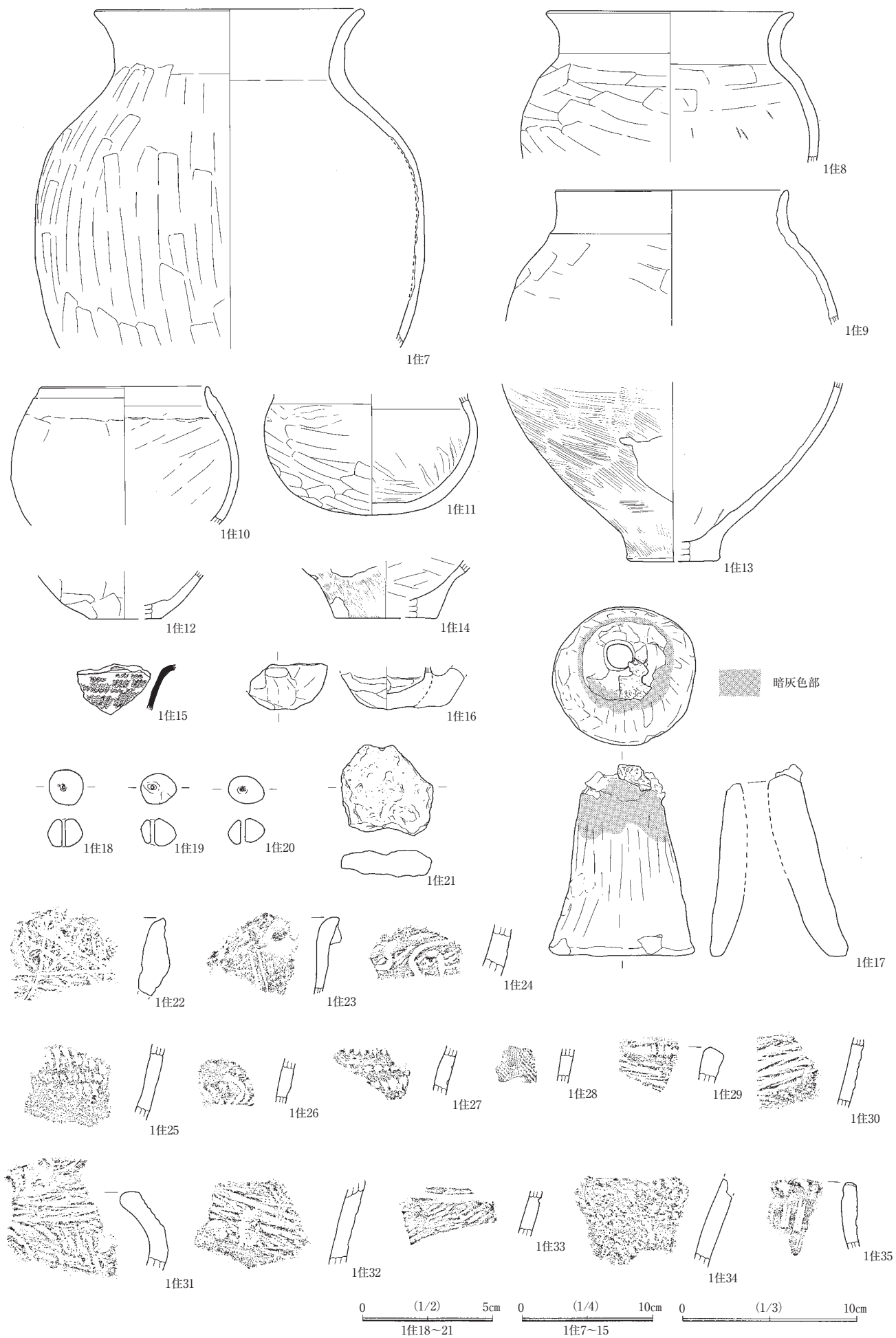
1・2号住居跡SPA-A B-B'土層説明

- | | | | |
|---------|-----------------------------------|----------|--|
| 1. 暗褐色土 | ローム粒(φ1~5mm)少含む | 6. 褐色土 | ローム粒(φ1~2mm)・ロームブロック(φ5cm)少、山砂含む |
| 2. 暗褐色土 | ローム粒(φ1~5mm)、焼土含む | 7. 褐色土 | ローム粒(φ1~2mm)少、山砂やや多含む |
| 3. 暗褐色土 | ローム粒(φ2mm~1cm)やや多含む | 8. 暗褐色土 | ローム粒(φ1~2mm)、山砂少含む |
| 4. 黄褐色土 | ローム粒(φ1~5mm)、ロームブロック(φ2~5cm)やや多含む | 9. 褐色土 | ローム粒(φ1~2mm)・焼土(φ1~2mm)・焼土ブロック(φ1cm)少量、山砂やや多含む |
| 5. 暗褐色土 | ローム粒(φ1~2mm)少含む | 10. 黄褐色土 | ローム粒(φ1~5mm)・ブロック(φ3~10cm)やや多含む |
| | | 11. 灰褐色土 | |

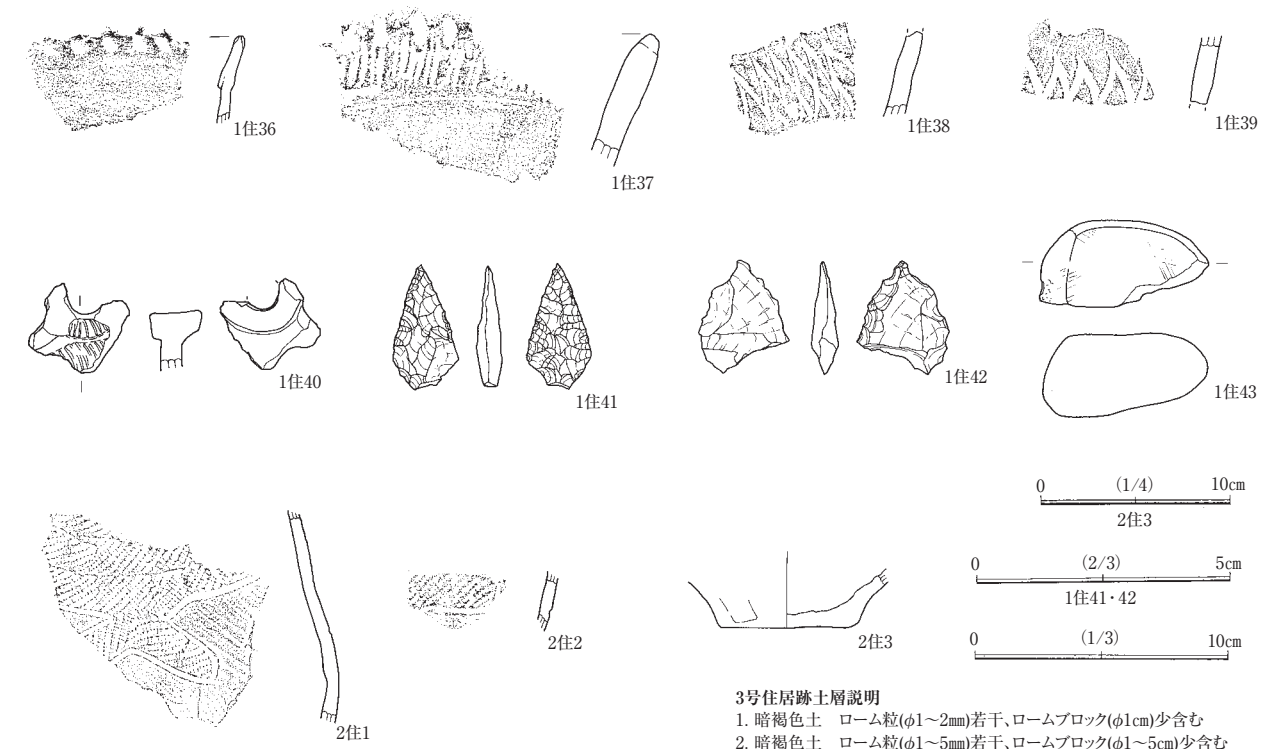


0 (1/4) 10cm

第32図 中郷遺跡(第1地点) 1・2号住居跡図・1号住居跡出土遺物(1)

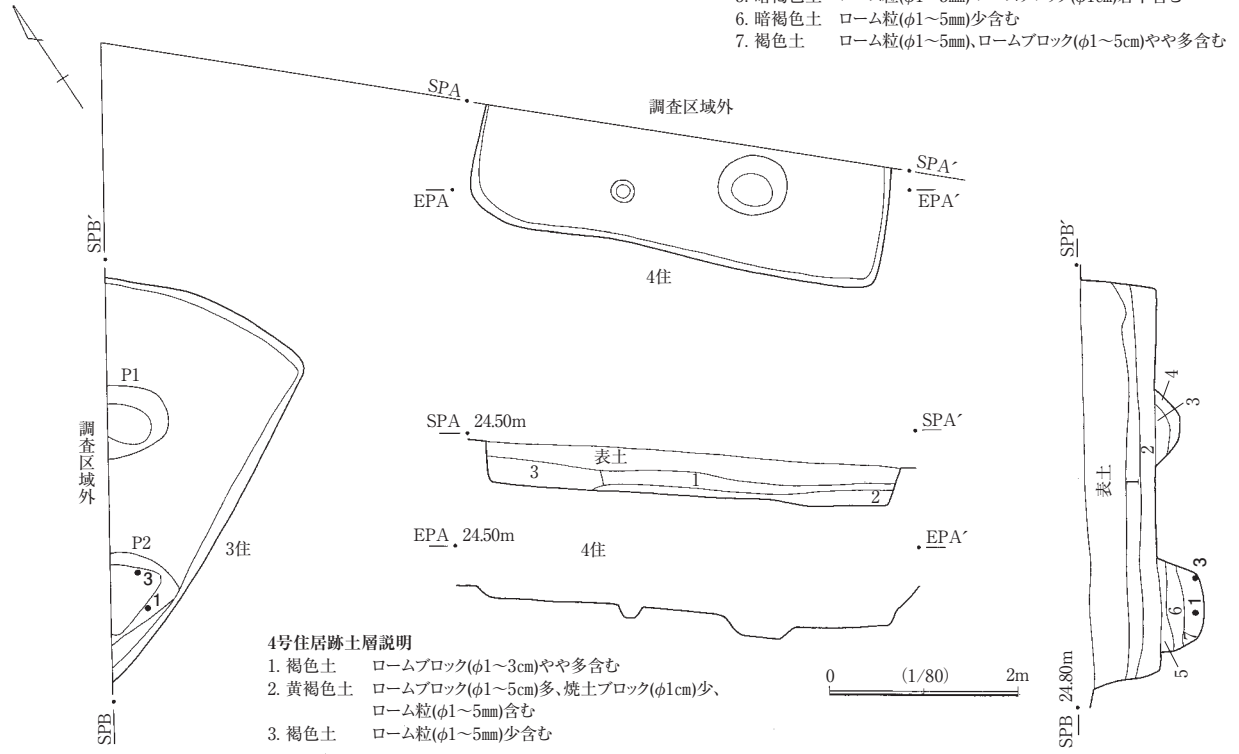


第33图 中郷遺跡（第1地点）1号住居跡出土遺物(1)



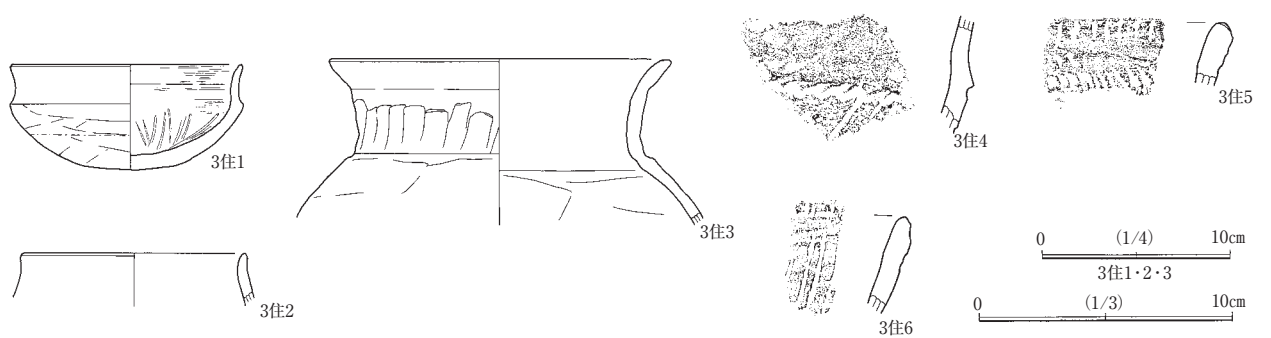
3号住居跡土層説明

1. 暗褐色土 ローム粒(φ1~2mm)若干、ロームブロック(φ1cm)少含む
2. 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)若干、ロームブロック(φ1~5cm)少含む
3. 褐色土 ローム粒(φ1~5mm)、ロームブロック(φ3~5cm)若干含む
4. 黄褐色土 ロームブロック(φ3~5cm)少含む
5. 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)・ロームブロック(φ1cm)若干含む
6. 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少含む
7. 褐色土 ローム粒(φ1~5mm)、ロームブロック(φ1~5cm)やや多含む



4号住居跡土層説明

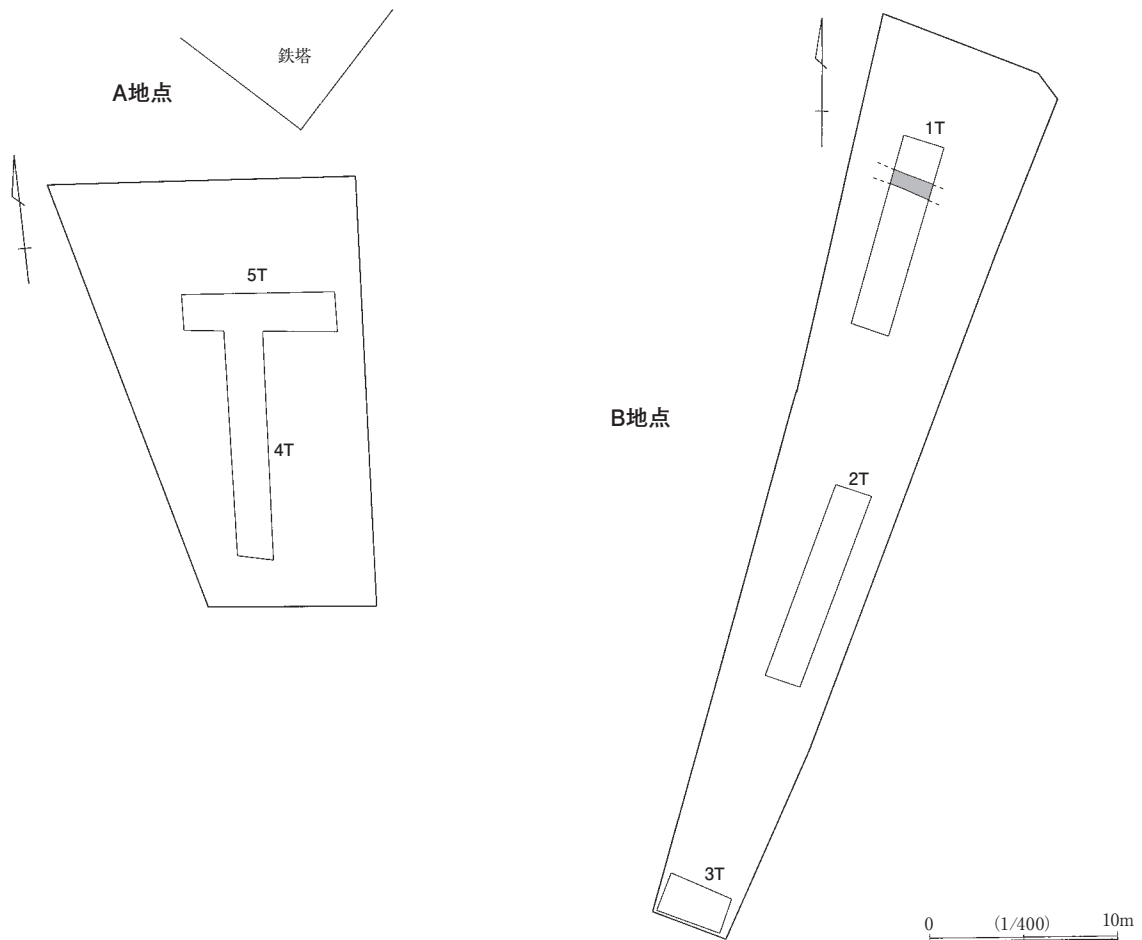
1. 褐色土 ロームブロック(φ1~3cm)やや多含む
2. 黄褐色土 ロームブロック(φ1~5cm)多、焼土ブロック(φ1cm)少、ローム粒(φ1~5mm)含む
3. 褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少含む



第34図 中郷遺跡 (第1地点) 1・2号住居跡出土遺物(2)、3・4号住居跡 同出土遺物



第35图 中郷遺跡（第1・2地点）4号住居跡他出土遺物



第36図 天神台遺跡（第15地点）トレンチ遺構配置図

からない。楕円形を呈すると見られ、長軸約7.7m、深さ約40cmを測る。ピットは2基確認された。覆土は染み状に残るだけである。出土遺物は、縄文・弥生土器約173g・土師器約143g・陶磁器約10gであった。弥生時代中期後半に帰属すると考えられる。

3号住居跡は、その西部分が調査区域外であり、北東コーナー付近だけ調査された。長軸約3.8m以上、短軸約2.25m以上、深さ約0.75mを測る。住居内ではピット2基が発見されたが、それぞれ一部が調査区域外に出ている。調査担当者はP1を柱穴、P2を貯蔵穴と推定している。覆土はレンズ状堆積をしており、自然堆積したと思われる。出土遺物は土師器約784g・縄文土器約92gであった。古墳時代後期に帰属すると判断される。

4号住居跡は、その北部分が調査区域外であり、南側部分のみ調査された。長軸約4.4m、短軸約1.34m以上、深さ約0.45mを測る。西側の壁面の残存状況が悪い。建物内ではピット2基が検出されたが、その性格等は不明である。覆土には混入物が多く、人為的に埋め戻された可能性がある。出土遺物は縄文土器約850g・土師器約44g・陶磁器約310gである。時期は縄文時代前期と考えられる。

なお遺構外の遺物は、縄文・弥生土器約510g・土師器約460g・陶磁器約5g・瓦約25gであった。

16. 天神台遺跡（第15地点）（第36図、PL4）

(1) 遺跡の立地 亀成川北岸標高約25mの台地上。

- (2) **調査の方法** 地形に沿ってトレンチを設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (3) **遺構と遺物** 近世溝状遺構1条を検出した。出土した遺物はなかった。

17. 道作1号墳（周溝確認調査第2次）（第37・38図、表16、PL4・14）

- (1) **遺跡の立地** 利根川南岸の標高約30mの台地上。
- (2) **調査履歴** 道作古墳群は、平成9年には円墳9基、前方後方墳5基、方墳1基とされ、平成10年の印西市教育委員会の調査では、円墳13基、前方後方墳7基とされる⁽¹⁾。

道作1号墳は、前方後円墳で、墳長46m、前方部最大幅推定33m、後円部直径25m、墳丘高4mを測る。平成9年に印西市教育委員会による調査（道作1号墳周溝確認調査第1次⁽²⁾）によって、後円部主体部の位置と北東から北西部の周溝範囲を確認した。さらに平成17年（道作古墳群第1次⁽³⁾）と同20・21年（道作古墳群第2次⁽⁴⁾）に行われた（財）印旛郡市文化財センターの調査でも南東部の周溝の一部と共にソフトロームの削平状況が確認され、関係遺物が出土している。

- (3) **調査の方法** 地形に沿ってトレンチを設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (4) **遺構と遺物** 古墳周溝1条と中近世溝状遺構2条が検出され、旧石器時代ナイフ形石器1点と縄文土器約19g・土師器約63g・須恵器約16gが出土した。検出状況から、周溝は盾形を呈すると考えられる。

注(1) 飯島伸一・鈴木圭一「道作1号墳の調査について」（『印西の歴史』創刊号 1997年）

(2) 注(1) 参照

(3) 宇井義典『千葉県印西市道作古墳群』（財）印旛郡市文化財センター 2007年

(4) 喜多裕明『千葉県印西市道作1号墳（第2次）馬場遺跡第5地点（第1次・第2次）-印西市道00-031号線道作古墳群・馬場遺跡埋蔵文化財調査-』（財）印旛郡市文化財センター 2011年

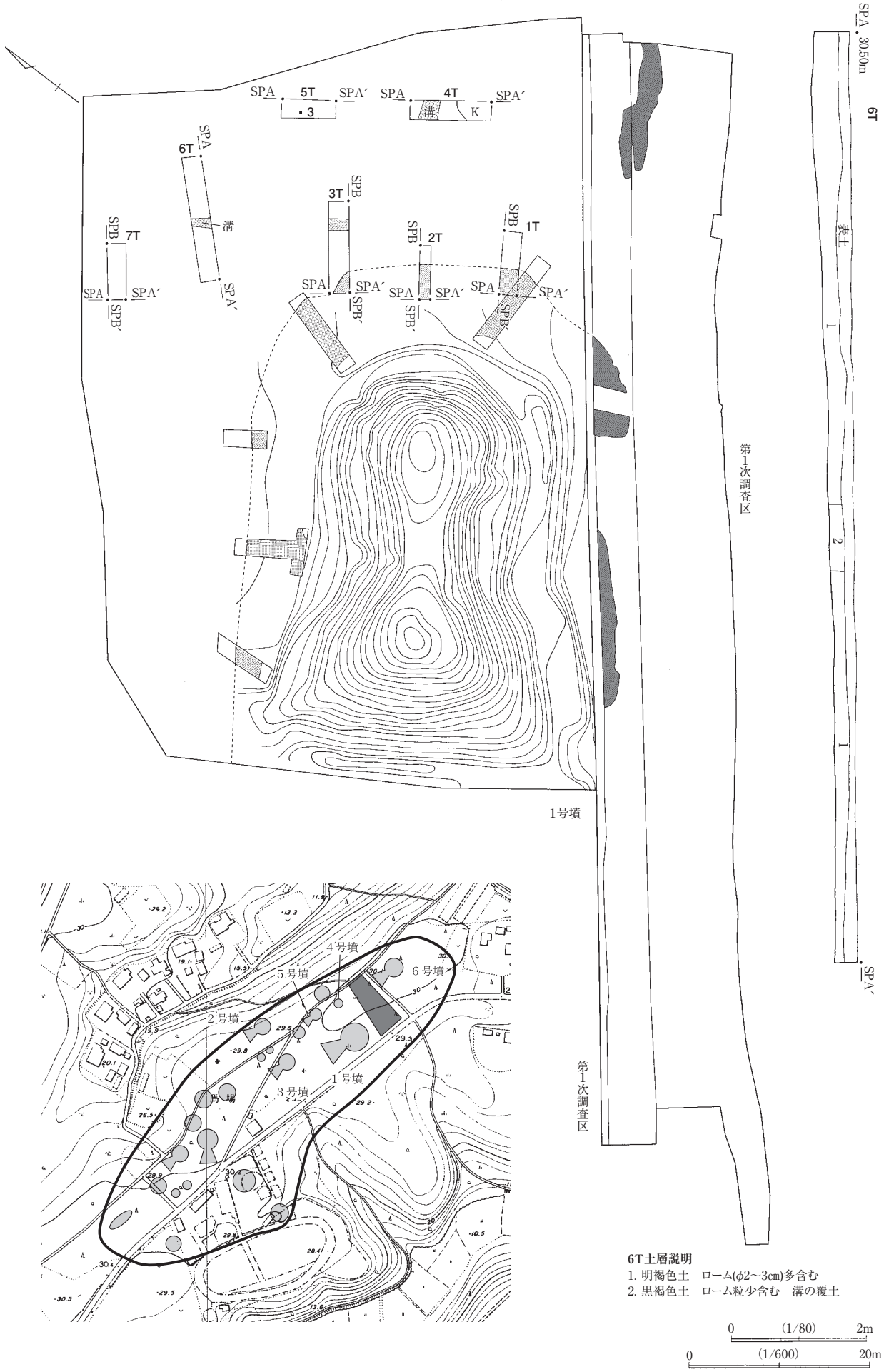
18. 八夜台遺跡（第2地点）（第26・39・40図、表17、PL4・14）

- (1) **遺跡の立地** 利根川と亀成川に挟まれた標高約24mの台地上。八夜台遺跡（第1地点）の南側に位置する。
- (2) **調査の方法** 地形に沿ってトレンチ3本を設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。その後、遺構を検出した部分を拡張し、遺構を精査した。
- (3) **遺構と遺物** 平安時代堅穴住居跡1軒・土坑1基が検出された。1号住居跡は、長軸約4m、短軸約3.3m、深さ約0.42mを測る。カマドは北壁中央にある。周溝は北東コーナーを除いて廻っている。ピットは3基見つかっている。覆土の状況から、時間をかけて人為的に埋没させられたように考えられる。出土した遺物は、土師器約6,973g・須恵器約356g・瓦約1,250g・粘土塊約5g・縄文土器約187g・陶磁器約2gである。9世紀代に帰属すると考えられる。

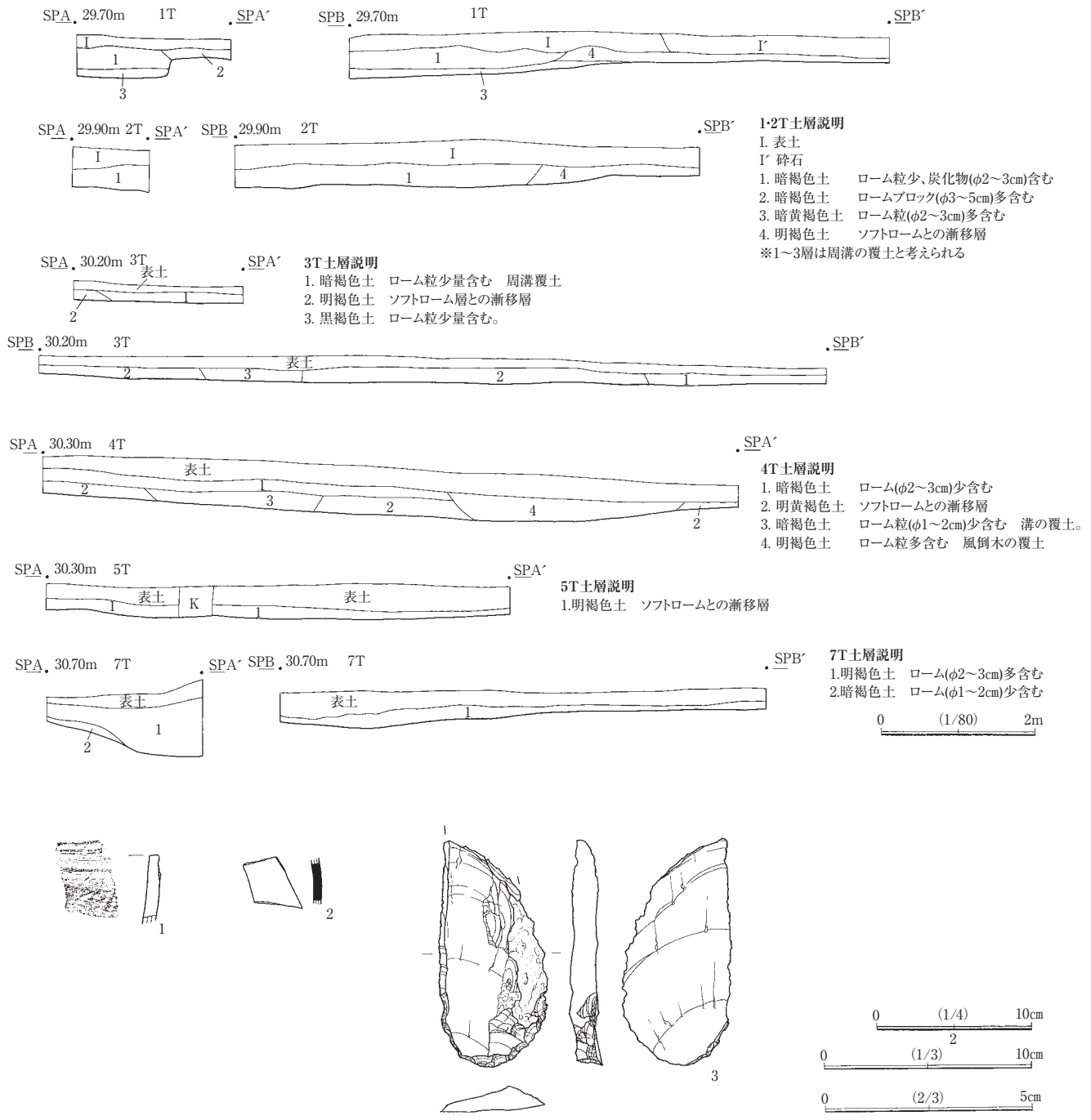
1号土坑は、出土遺物もなく、その性格等は不明である。覆土から短期間に埋立てられたように思われる。ここでは、住居跡と同時期のものと考える。遺構外から出土した遺物は、縄文土器約23g・土師器約396g・須恵器約48g・陶磁器約50gである。

19. 向新田遺跡（第3地点）（第41・42図、表18、PL4・5・15）

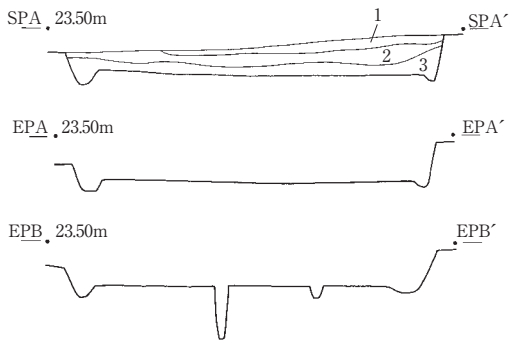
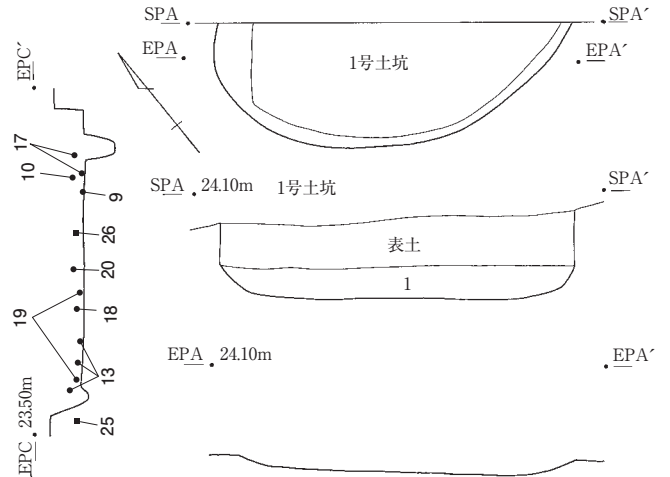
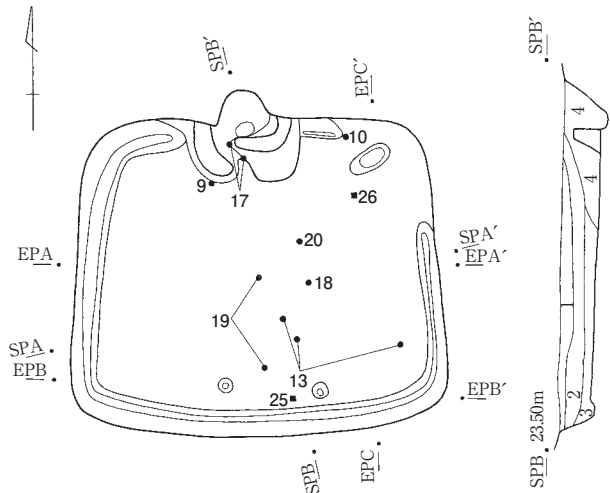
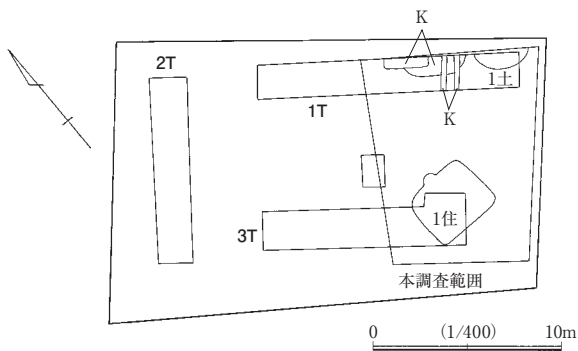
- (1) **遺跡の立地** 神崎川とその支流によって開析された標高約25mの舌状台地の基部。
- (2) **調査履歴** これまでに多数実施されている調査例は、既報告書によって整理されている⁽¹⁾。



第37図 道作1号墳(周溝確認調査第2次)周辺地形図・トレンチ遺構配置図

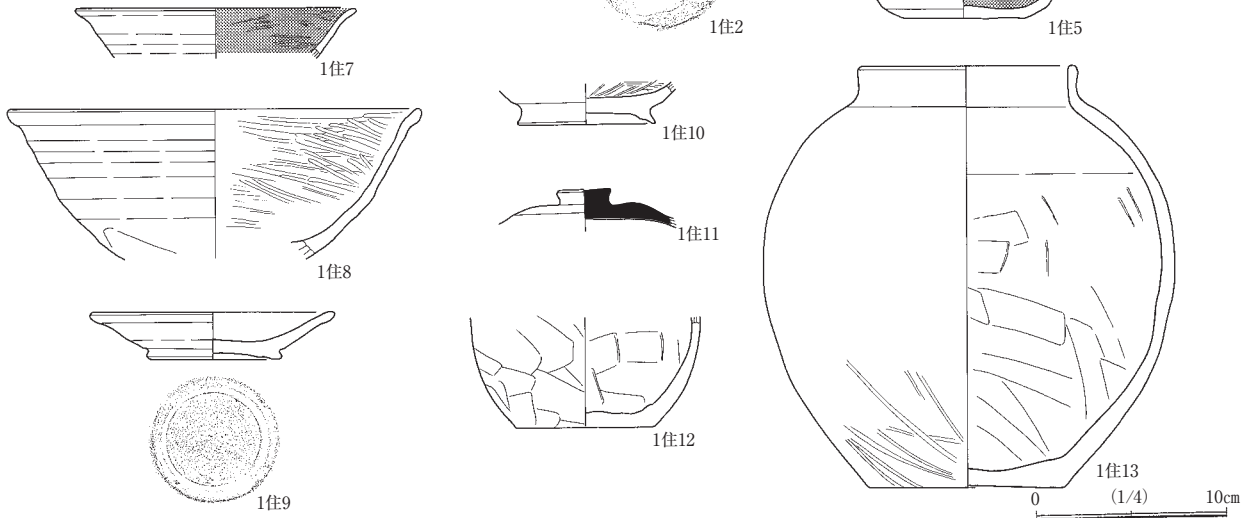


第38図 道作1号墳（周溝確認調査第2次）土層断面図・出土遺物

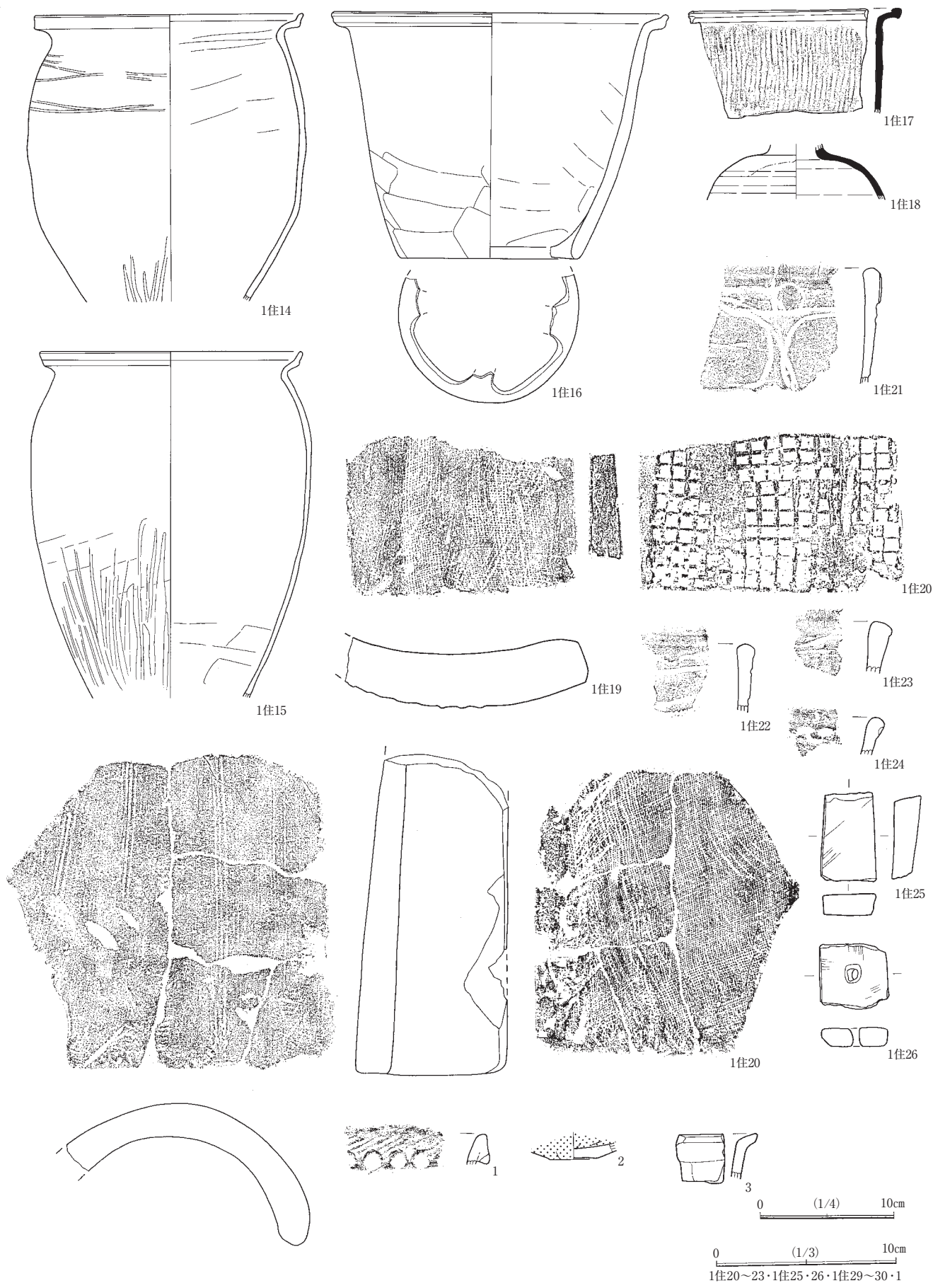


1号住居跡土層説明

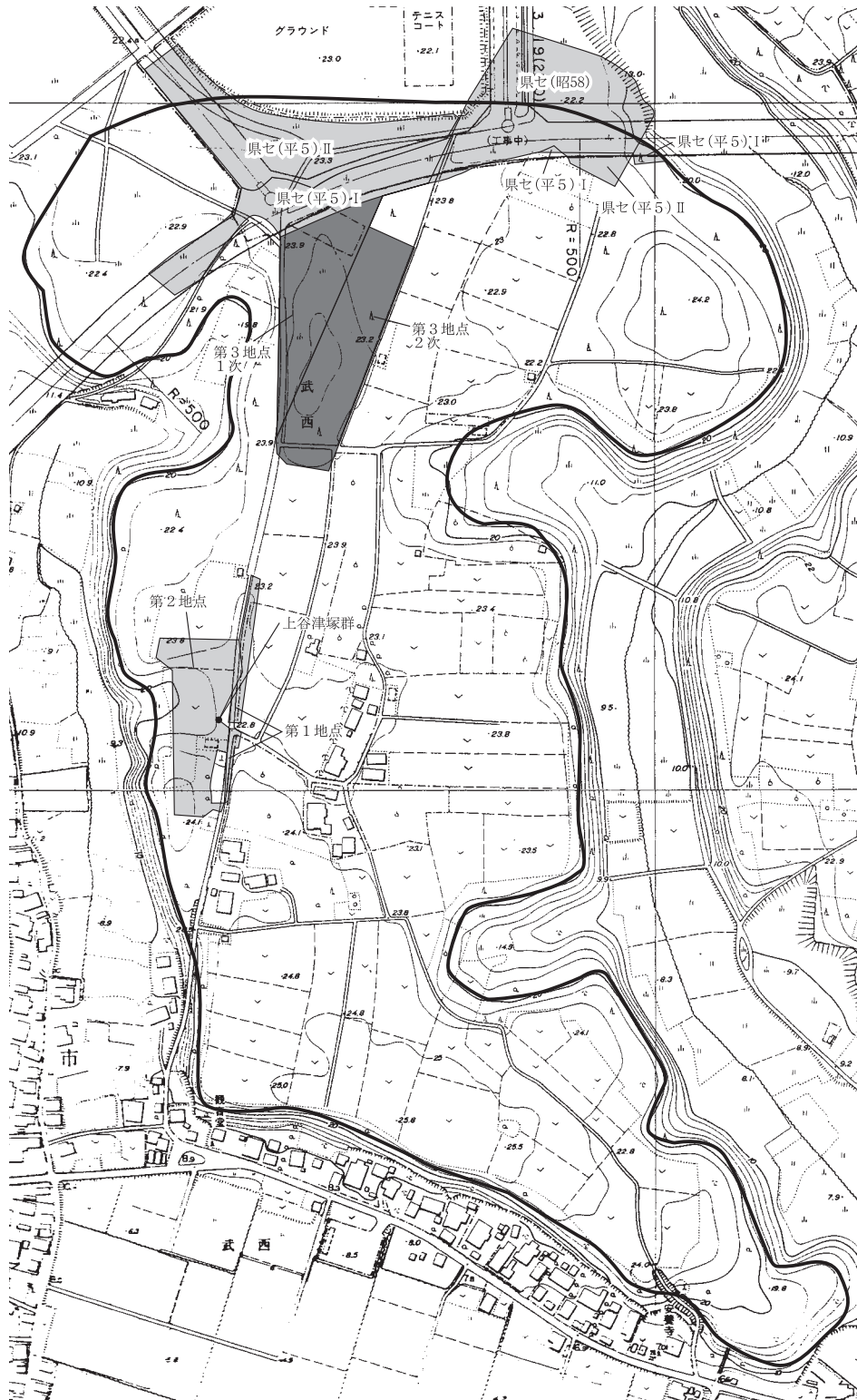
1. 暗褐色土 ローム粒(φ1~2mm)若干、焼土ブロック(φ1~2cm)・炭化ブロック(φ3cm)少含む
2. 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)やや多、焼土ブロック(φ1cm)微、ロームブロック(φ1~2cm)含む
3. 褐色土 ローム粒(φ1~5mm)、ロームブロック(φ1~10cm)多含む
4. 灰褐色土 山砂極多、焼土ブロック(φ1~5mm)・炭化ブロック(φ1~3cm)含む



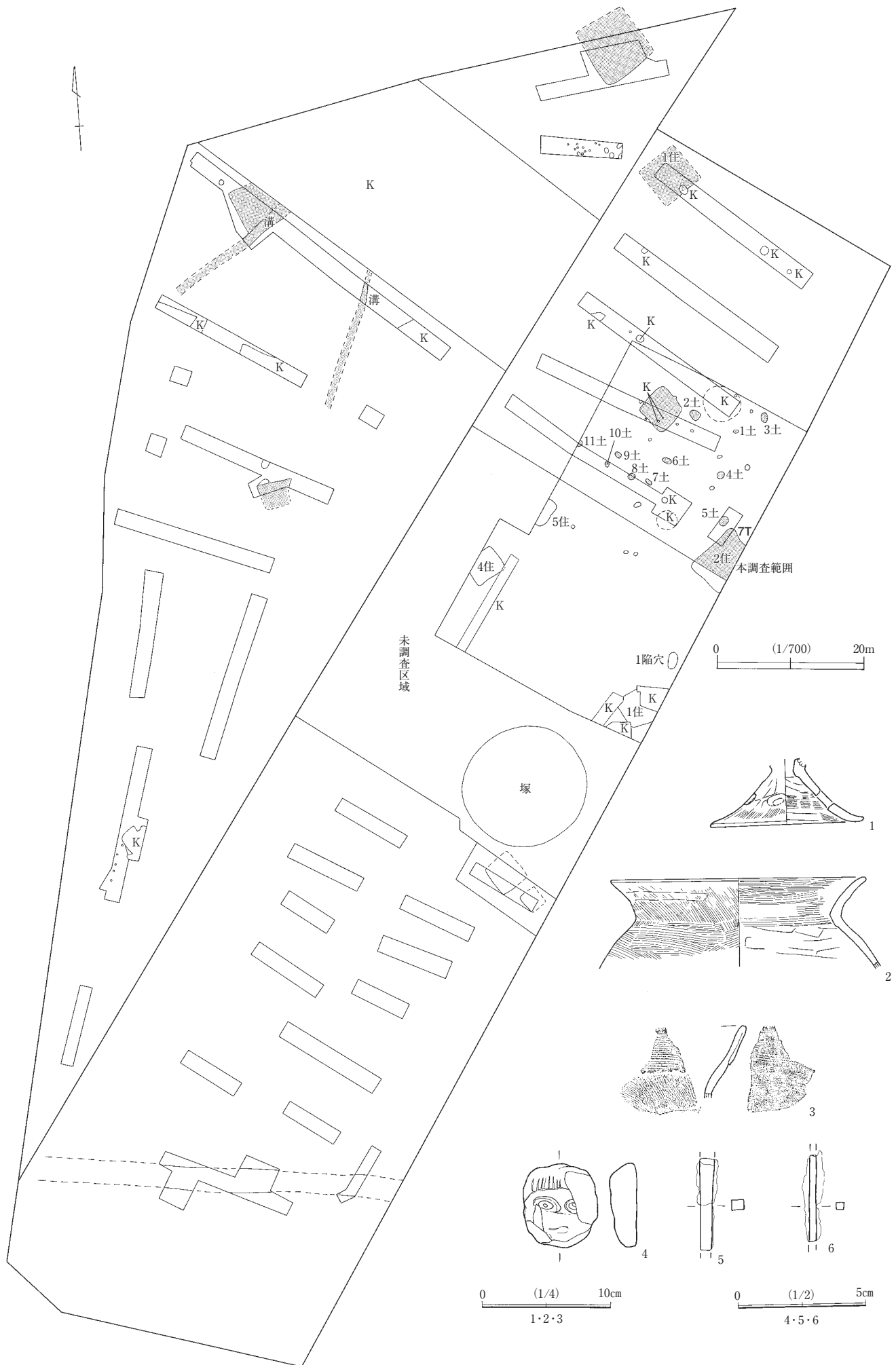
第39図 八夜台遺跡(第2地点) トレンチ遺構配置図・出土遺物(1)



第40図 八夜台遺跡（第2地点）出土遺物(2)



第41図 向新田遺跡（第3地点）周辺地形図



第42図 向新田遺跡（第3地点）トレンチ遺構配置図・出土遺物

- (3) **調査方法** 地形に沿ってトレンチを設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (4) **遺構と遺物** 縄文時代中期堅穴住居跡2軒、古墳時代前期住居跡7軒・土坑7基、近世溝状遺構2条を検出し、土師器約504g・須恵器約3g・陶磁器約29g出土した。なお、この確認調査の結果を基にして、一部は本調査が実施されている⁽²⁾。

注(1) 米倉貴之『千葉県印西市向新田遺跡第3地点-ハートヴィレッチ建設に伴う埋蔵文化財調査-』(助印旛郡市文化財センター 2011年)。ただ、1997年に実施された上谷津塚群の調査は、小倉和重・野村優子『印西市内遺跡発掘調査報告書 上谷津塚群』(印西市教育委員会 1998年)に報告がなされている。

(2) 注(1) 米倉報告。

20. 向ノ地遺跡 (第43図)

- (1) **遺跡の立地** 神崎川および新川北岸の標高約25mの台地上。平成10年度印西市調査区の北隣。
- (2) **調査履歴** 平成4・5年に(助印旛郡市文化財センターによる発掘調査が実施されている⁽¹⁾)。平成11年には印西市教育委員会による調査も行われた⁽²⁾。
- (3) **調査の方法** 地形に沿ってトレンチを設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (4) **遺構と遺物** 遺構・遺物は検出されなかった。

注(1) 「印西町向ノ地遺跡 (09-008)」(『財団法人印旛郡市文化財センター年報9-平成4年度-』1993年)、「印西町向ノ地遺跡 (09-008) 第2次調査」(『財団法人印旛郡市文化財センター年報10-平成5年度-』1994年)

(2) 野村優子『平成10年度印西市内遺跡発掘調査報告書 大久保遺跡 向之地遺跡』1999年

21. 中郷遺跡 (第2地点) (第31・35図、表19、PL5・14)

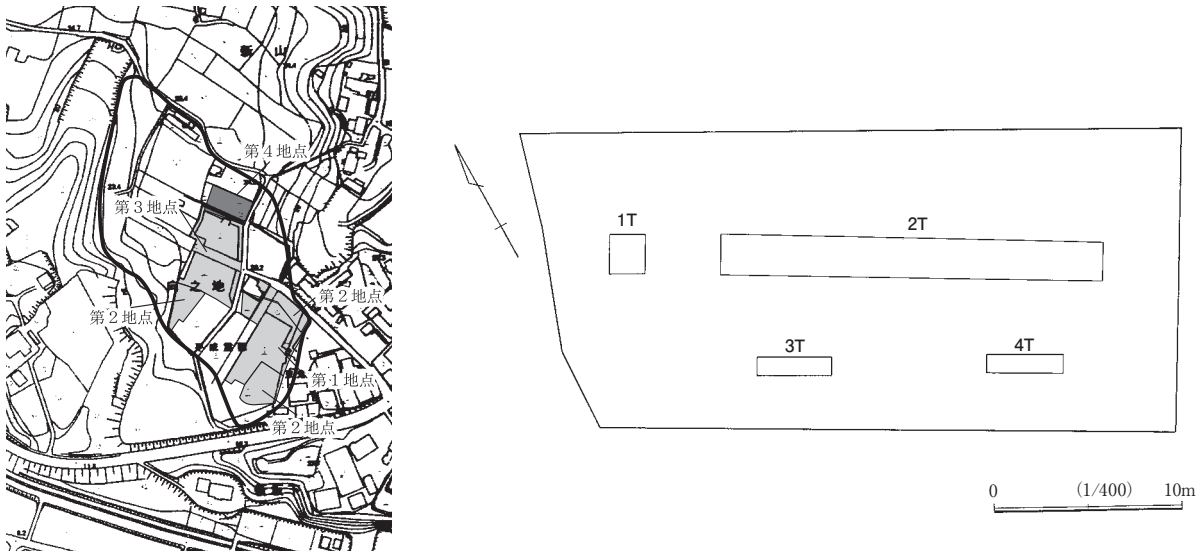
- (1) **遺跡の立地** 新川北岸の標高約25mの台地上。中郷遺跡(第1地点)の北側。
- (2) **調査の方法** 地形に沿ってトレンチを設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (3) **遺構と遺物** 古墳時代後期堅穴住居跡3棟・土坑1基が検出され、縄文土器約15g・土師器約325g・須恵器約19gが出土した。

22. 馬場遺跡 (第7地点) (第44~47図、表20、PL5・15~17)

- (1) **遺跡の立地** 新川北岸の標高約30mの台地上。
- (2) **調査の方法** 地形に沿ってトレンチを設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (3) **遺構と遺物** 古墳時代後期堅穴住居跡3軒、奈良・平安時代堅穴住居跡2軒・土坑3基が検出され、古墳時代後期土師器・須恵器・土製品、奈良・平安時代土師器・須恵器・土製品が出土した。

1号住居跡は、住居跡の北西部分約1/2程度が調査された。長軸約5.3m、短軸3.2m以上、深さ約0.65mであり、カマドは北壁中央にあったと思われ、柱穴は2ヶ所検出された。周溝は廻っていない。覆土はローム粒・ロームブロックを多量に含み、短期間に埋められたように思われる。出土遺物は、土師器約6,291g・須恵器約15g・縄文土器約30gである。

2号住居跡は、長軸約3.2m、短軸約2.8m、深さ約0.48mを測る。4号住居跡とも重複しているが、切合関係ははっきりしない。カマドは北壁中央にあったと思われるが、破壊され袖等は残っていなかった。周溝は北東コーナー付近のみ検出された。柱穴はなく、梯子ピットが1基検出された。覆土は、下層を中心に混入物が多く見られ、埋め戻しの様子が覗える。出土遺物は、土師器約7,032g・須恵器約1,473g・支脚約395g・



第43図 向ノ地遺跡周辺地形図・トレンチ配置図

粘土塊約36gである。

3号住居跡は、南東部分約1/2程度が調査された。長軸約7.9m以上、短軸約4.95m以上、深さ約0.36mを測る。柱穴は2ヶ所確認され、各々抜取り痕がある。東壁脇中央付近に貯蔵穴と思われる土坑がある。覆土は、南部域が短期間に埋め戻された状態であり、北側は少しずつ埋められたものであろうか。土師器約3,087g・須恵器約317gが出土している。

4号住居跡は、長軸約4.65m以上、短軸約2.5m以上、深さ約0.38m。北西壁付近に焼土が堆積しており、カマドの存在が予想される。周溝は検出されなかった。ピットは1ヶ所検出された。覆土は自然堆積の様相である。出土遺物は、土師器約1,706g・須恵器約1,530g・縄文土器約32gであった。

5号住居跡は、トレンチ部分のみ調査を実施している。そのため、周溝と壁面の一部しか確認出来ず、全体の規模等は不明である。覆土は、レンズ状の堆積をしており自然埋没したことが覗える。出土遺物は、土師器約149g・須恵器約520g・縄文土器約59gであった。

土坑は3基検出された。その性格は不明である。遺構外から出土した遺物は、土師器約1,985g・須恵器約147g・縄文土器約43g・瓦約35gである。

23. 木戸場遺跡（第3地点）（第48図、表21、PL6・17）

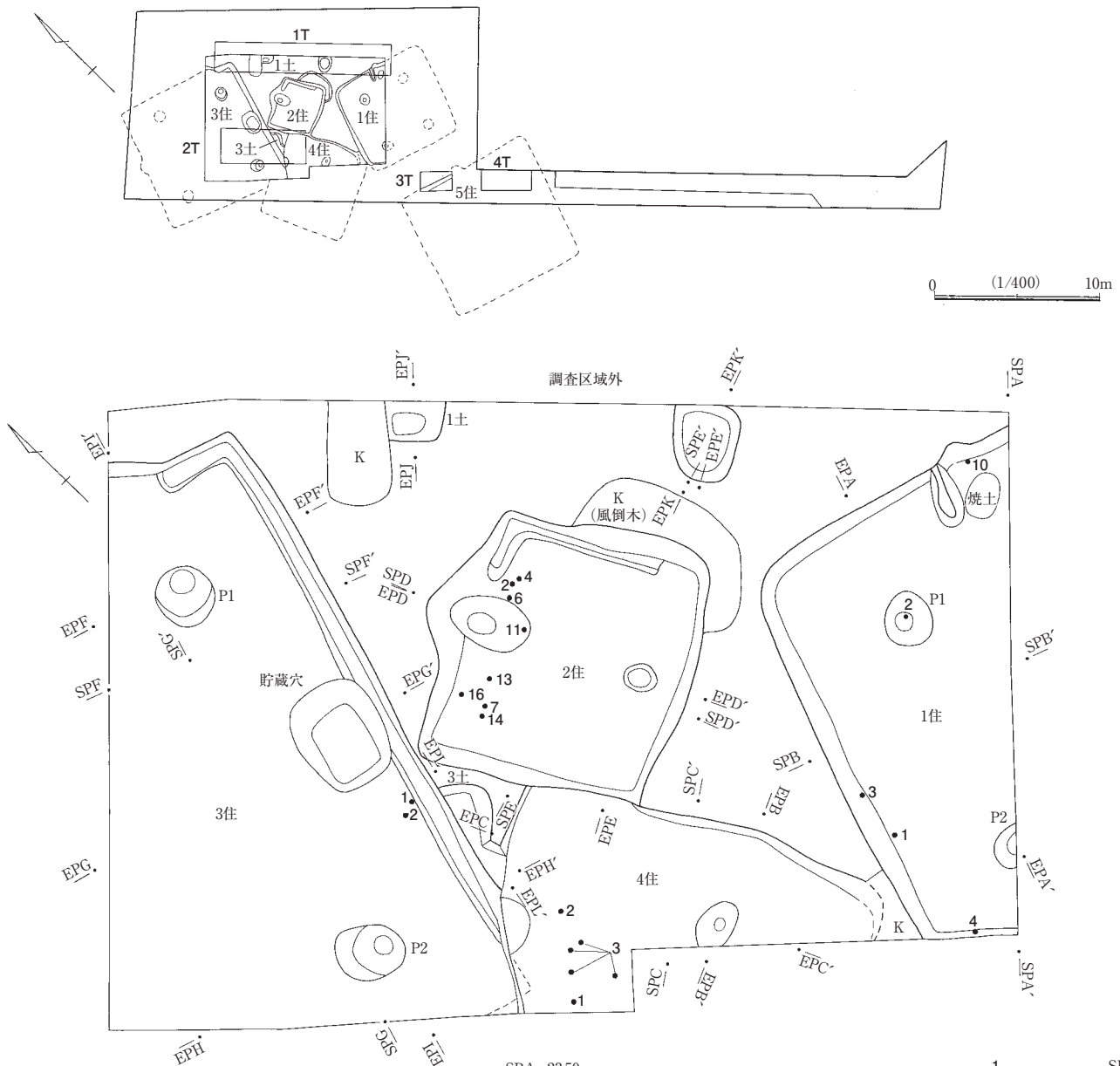
(1) 遺跡の立地 新川北部の樹枝状に侵食を受けた手賀沼南岸の標高約30mの台地上。木戸場遺跡（第2地点）の東隣となる。

(2) 調査の方法 地形に沿ってトレンチを設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。

(3) 遺構と遺物 奈良・平安時代竪穴住居跡1軒、近世土坑1基が検出され、奈良・平安時代土師器約28gが出土した。

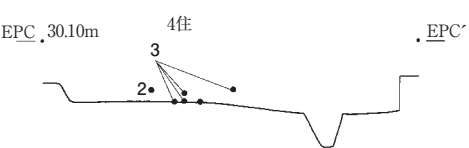
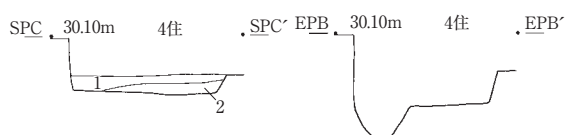
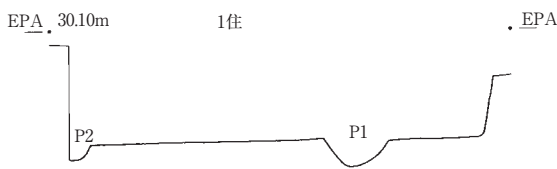
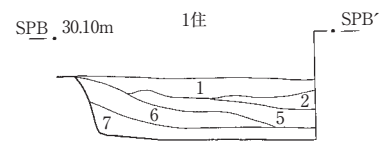
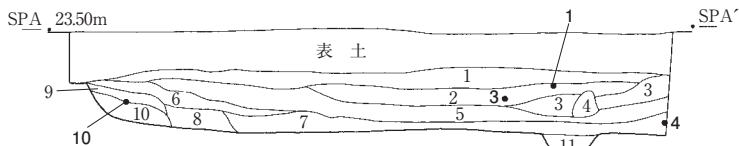
24. 瓜堀込第2遺跡（第49図、PL6）

(1) 遺跡の立地 西印旛沼北岸の標高約28mの台地上。



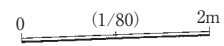
1号住居跡土層説明

- 1. 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)やや多、ロームブロック(φ1~5cm)多含む
- 2. 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)・ロームブロック(φ1~8cm)多含む
- 3. 褐色土 ローム粒(φ1mm~1cm)・ロームブロック(φ1~10cm)多含む
- 4. 褐色土 ローム粒(φ1mm~1cm)・ロームブロック(φ1~8cm)極多、
焼土粒(φ1cm)若干含む。
- 5. 褐色土 ローム粒(φ1mm~1cm)・ロームブロック(φ1~7cm)多含む。
- 6. 暗褐色土 ローム粒(φ1mm~1cm)・ロームブロック(φ1~3cm)やや多、焼土粒(φ1cm)少、
極大ロームブロック(φ20cm)含む
- 7. 暗褐色土 ローム粒(φ1mm~1cm)・ロームブロック(φ1~8cm)やや多、焼土粒(φ5mm~1cm)少含む
- 8. 暗褐色土 ローム粒(φ1mm~1cm)・焼土ブロック(φ1~3cm)・山砂若干、
ロームブロック(φ1~5cm)やや多、粘土ブロック(φ20cm)含む
- 9. 暗褐色土 ローム粒(φ1mm~1cm)・ロームブロック(φ1~2cm)やや多、山砂少含む
- 10. 暗色焼土 ローム粒(φ1mm~1cm)・ロームブロック(φ1~5cm)若干、炭化粒(φ1cm)・山砂少含む
- 11. 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少、ロームブロック(φ3~8cm)やや多含む

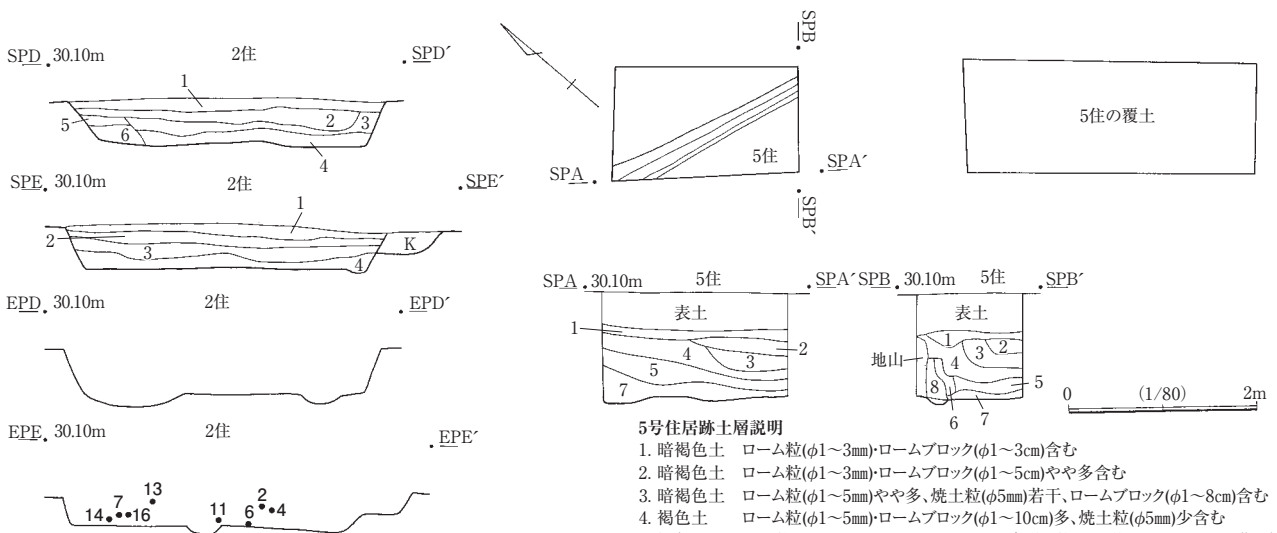


4号住居跡土層説明

- 1. 暗褐色土 ローム粒(φ1mm~1cm)若干、ロームブロック(φ1~2cm)少含む
 - 2. 褐色土 ローム粒(φ1mm~1cm)若干、ロームブロック(φ1~3cm)少含む
- ※自然堆積の覆土



第44図 馬場遺跡(第7地点) トレンチ遺構配置図・遺構平面図



5号住居跡土層説明

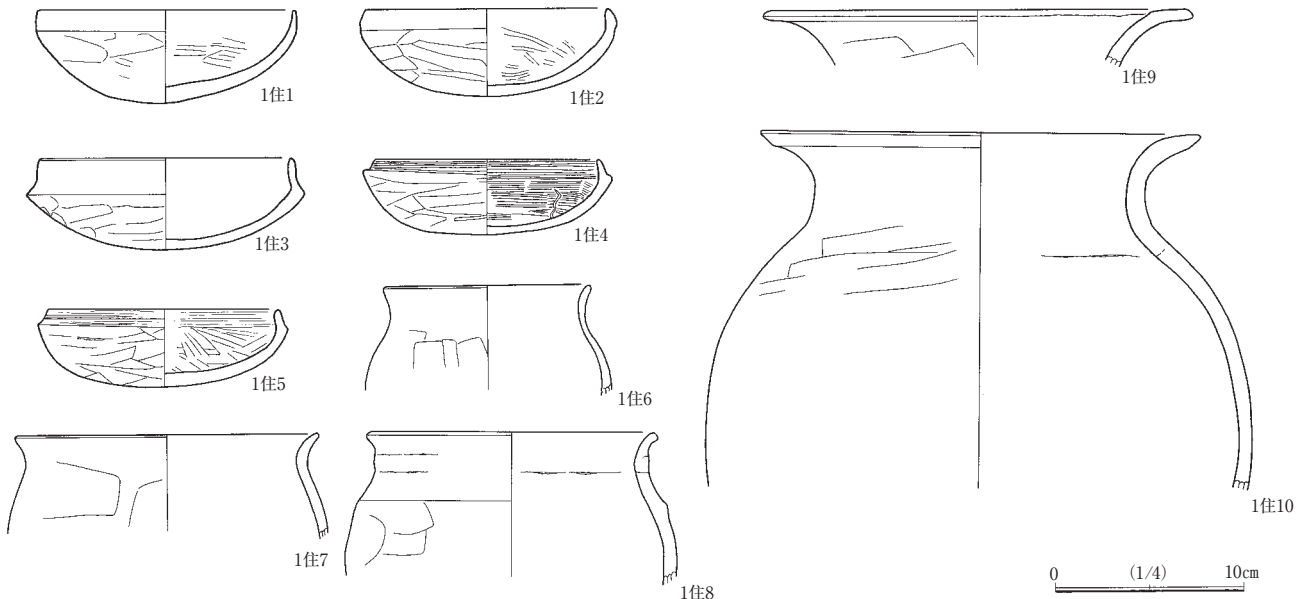
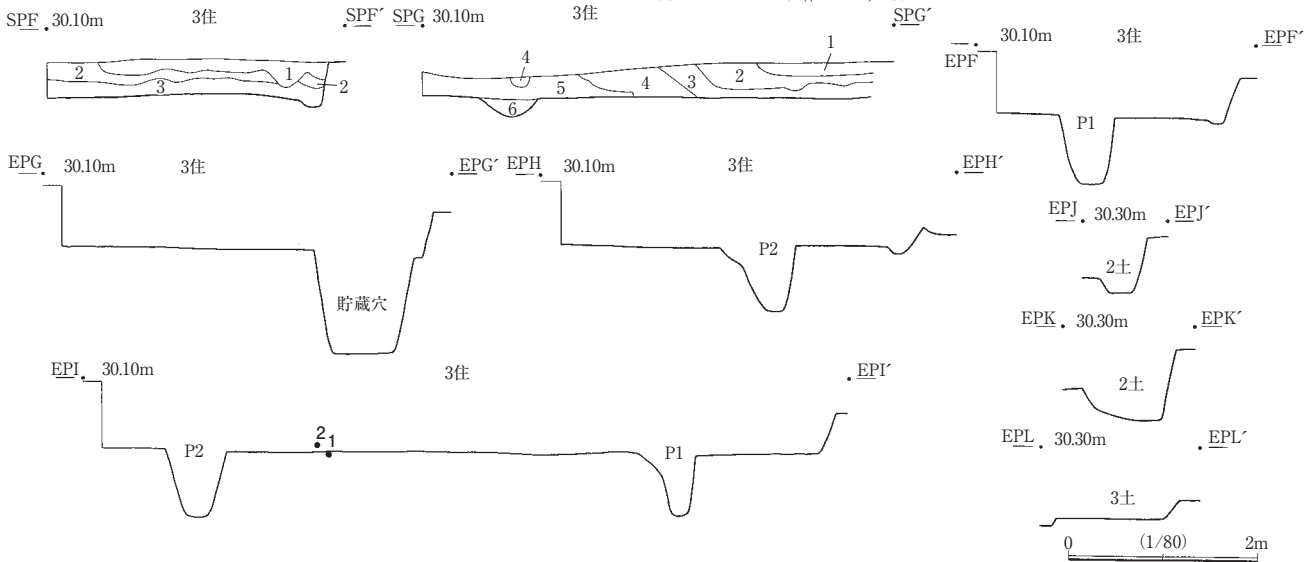
- 1. 暗褐色土 ローム粒(φ1~3mm)・ロームブロック(φ1~3cm)含む
- 2. 暗褐色土 ローム粒(φ1~3mm)・ロームブロック(φ1~5cm)やや多含む
- 3. 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)やや多、焼土粒(φ5mm)若干、ロームブロック(φ1~8cm)含む
- 4. 褐色土 ローム粒(φ1~5mm)・ロームブロック(φ1~10cm)多、焼土粒(φ5mm)少含む
- 5. 褐色土 ローム粒(φ1~5mm)・ロームブロック(φ1~5cm)やや多、焼土粒(φ5mm)・焼土ブロック(φ3~5cm)若干含む
- 6. 赤褐色土 カマド塊跡
- 7. 明褐色土 ローム粒(φ1~5mm)・ロームブロック(φ1~10cm)強多、焼土粒(φ1~2cm)少含む
- 8. 暗褐色土 ローム粒(φ1mm~1cm)・焼土粒(φ1mm~1cm)若干含む

3号住居跡

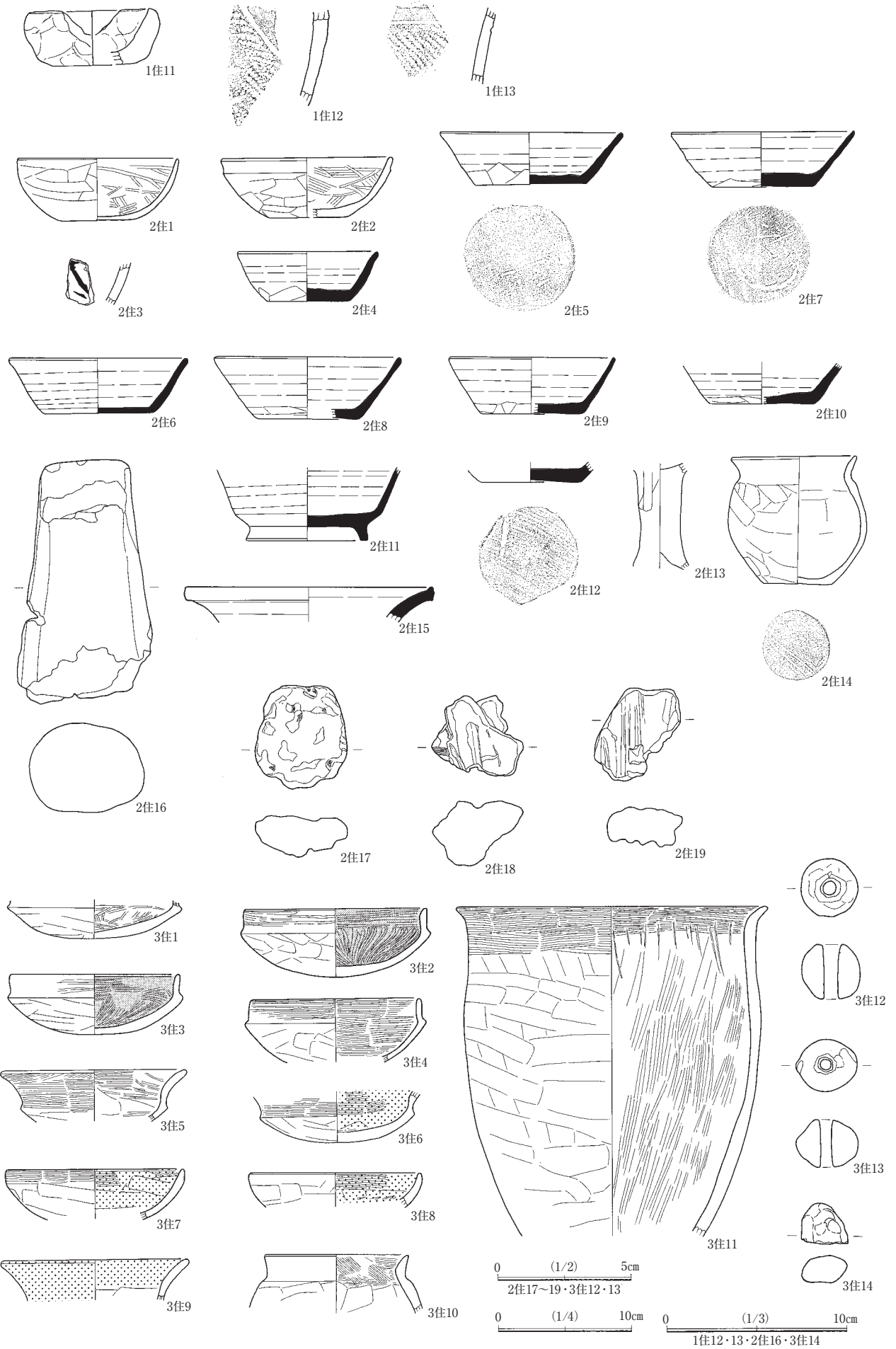
- 1. 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)・ロームブロック(φ1~3cm)若干、焼土粒(φ1cm)少含む
- 2. 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)・ロームブロック(φ1~2cm)若干、焼土粒(φ1cm)少含む
- 3. 褐色土 ローム粒(φ1mm~1cm)・ロームブロック(φ1~5cm)やや多含む
- 4. 暗褐色土 ローム粒(φ1mm~1cm)・ロームブロック(φ1cm)若干含む
- 5. 褐色土 ローム粒(φ1mm~1cm)・ロームブロック(φ1~7cm)多含む。
- 6. 褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少含む

2号住居跡

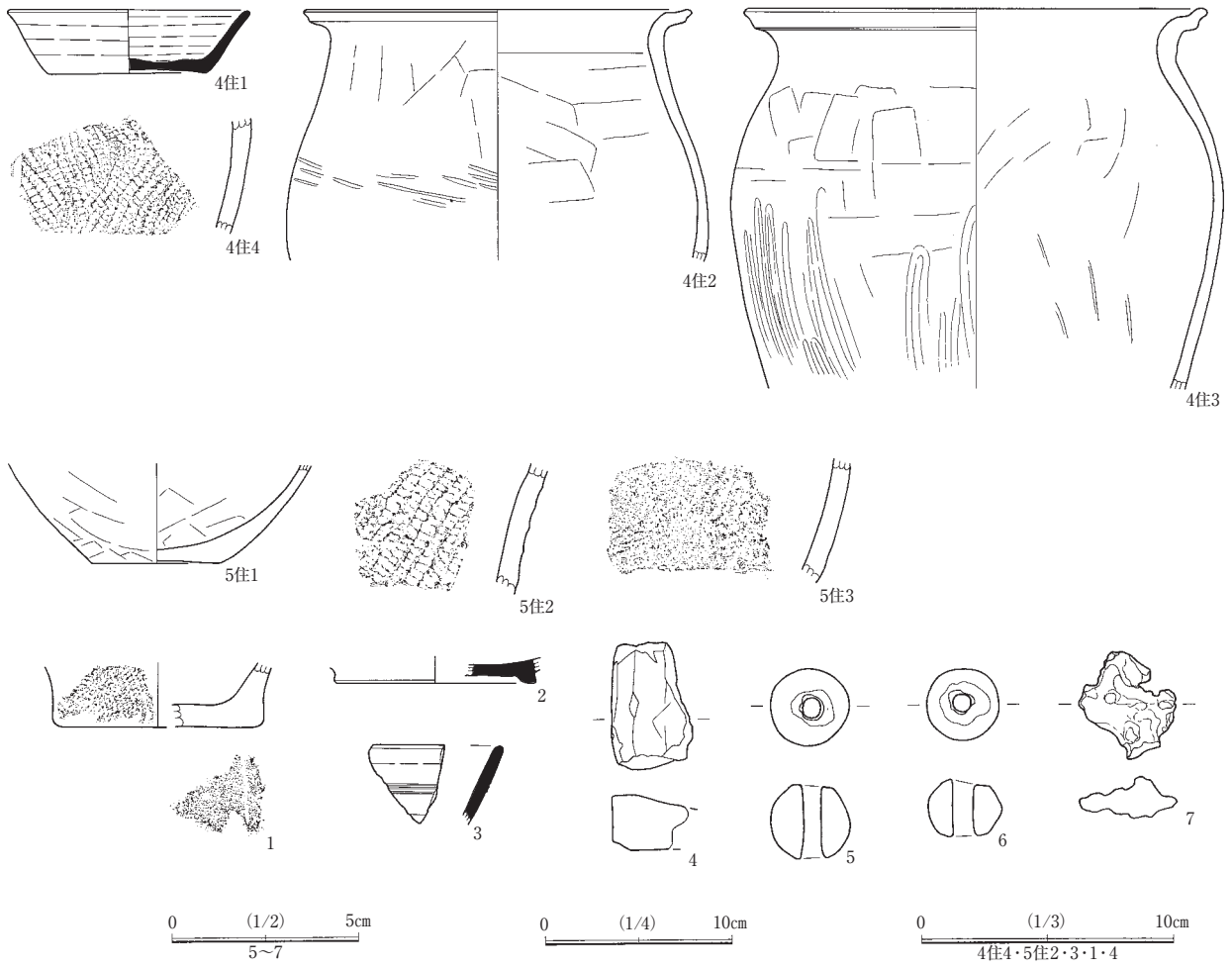
- 1. 暗褐色土 ローム粒(φ1mm~1cm)・焼土粒(φ5mm~3cm)若干、ロームブロック(φ1~2cm)少含む
- 2. 暗褐色土 ローム粒(φ1mm~1cm)・ロームブロック(φ1~3cm)若干、焼土粒(φ5mm)微含む
- 3. 暗褐色土 ローム粒(φ1mm~1cm)・焼土粒(φ1cm)少、ロームブロック(φ1~3cm)若干含む
- 4. 暗褐色土 ローム粒(φ1mm~1cm)若干、ロームブロック(φ1~5cm)やや多、ローム塊(φ20cm)含む
- 5. 暗褐色土 ローム粒(φ1mm~1cm)・ロームブロック(φ1~3cm)・焼土粒(φ3~5mm)・炭化粒(φ5mm)若干、炭化ブロック(φ1~3cm)やや多、山砂少含む
- 6. 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少、ロームブロック(φ2cm)微、炭化粒(φ5mm)・山砂若干、焼土ブロック(φ7cm)含む



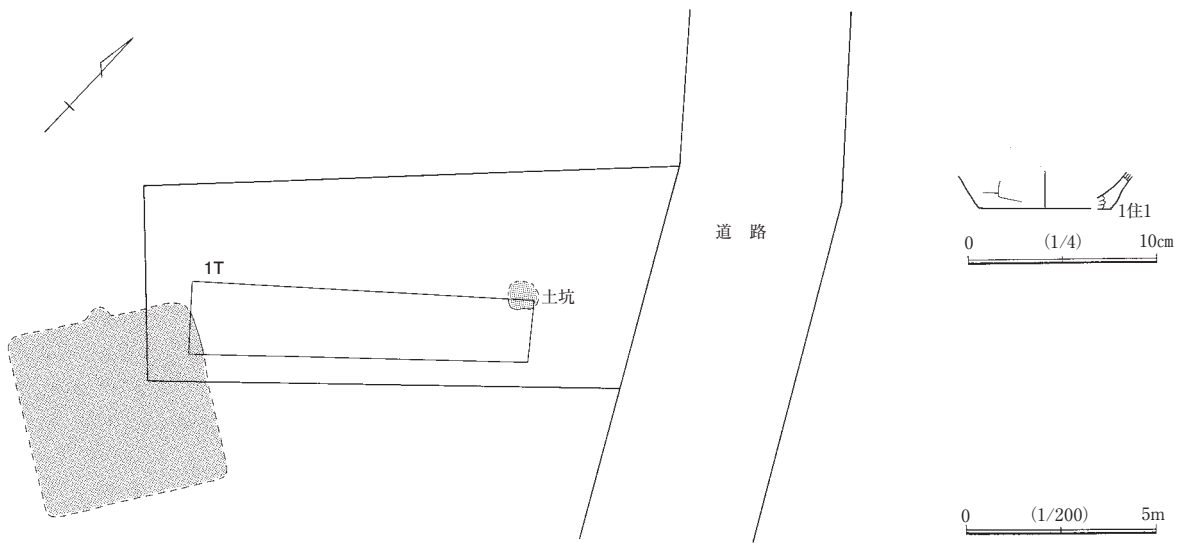
第45図 馬場遺跡(第7地点)遺構図・出土遺物(1)



第46図 馬場遺跡（第7地点）出土遺物(2)



第47図 馬場遺跡（第7地点）出土遺物(3)



第48図 木戸場遺跡（第3地点）トレンチ遺構配置図・出土遺物

- (2) 調査の方法 地形に沿ってトレンチを設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (3) 遺構と遺物 古墳時代後期竪穴住居跡6軒と近世溝状遺構1条が検出された。出土した遺物はなかった。

25. 花作遺跡 (第50図、表22、PL7・17)

- (1) 遺跡の立地 将監川南岸の標高約32mの台地上。
- (2) 調査の方法 地形に沿ってトレンチを10本設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (3) 遺構と遺物 古墳時代竪穴住居跡1軒、奈良・平安時代竪穴住居跡8軒が検出され、土師器約3,593g・須恵器約240g・陶磁器約19gが出土した。

26. 川崎遺跡 (第51図、表23、PL7・17)

- (1) 遺跡の立地 利根川の1.3km南にある標高約28mの台地上。川崎遺跡第2地点の東側。
- (2) 調査の方法 地形に沿ってトレンチを6本設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (3) 遺構と遺物 古墳時代竪穴住居跡9軒・土坑3基が検出され、土師器約1,807g・須恵器約1,901g・縄文土器約11g・陶磁器約191gが出土した。

27. 大越台遺跡 (第2地点) (第52~58図、表24、PL7・8・17~19)

- (1) 遺跡の立地 手賀沼を望む標高約20mの樹枝状台地上。
- (2) 調査履歴 平成17年に印西市教育委員会が発掘調査を行っている⁽¹⁾。
- (3) 調査の方法 地形に沿ってトレンチ19本を設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (4) 遺構と遺物 縄文時代竪穴住居跡4軒・竪穴状遺構1基・土坑2基、古墳時代竪穴住居跡1軒が検出され、縄文土器約26,094g・土師器約845gが出土した。

注(1) 鈴木圭一 『平成17年度印西市内遺跡発掘調査報告書』印西市教育委員会 2006年

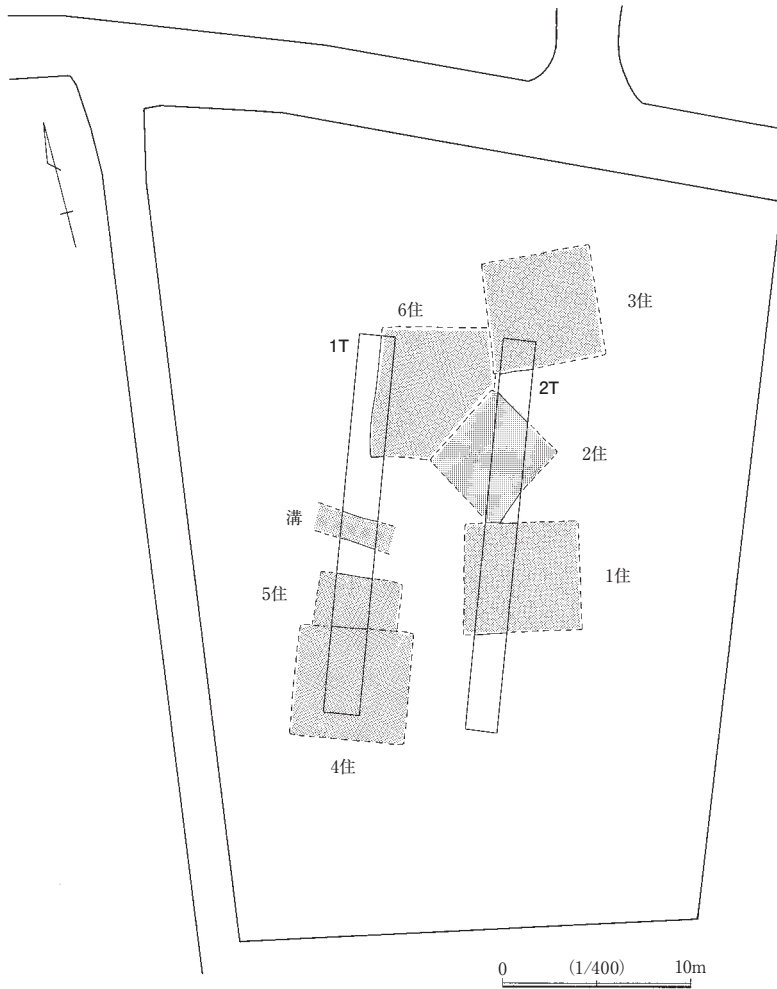
28. 川崎遺跡 (第2地点) (第51・59図、表25、PL8・17)

- (1) 遺跡の立地 利根川の1.3km南にある標高約28mの台地上。川崎遺跡(第1地点)の西側。
- (2) 調査の方法 地形に沿ってトレンチを18本設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (3) 遺構と遺物 古墳時代竪穴住居跡12軒・土坑3基が検出され、縄文土器約44g・土師器約697g・須恵器約9gが出土した。

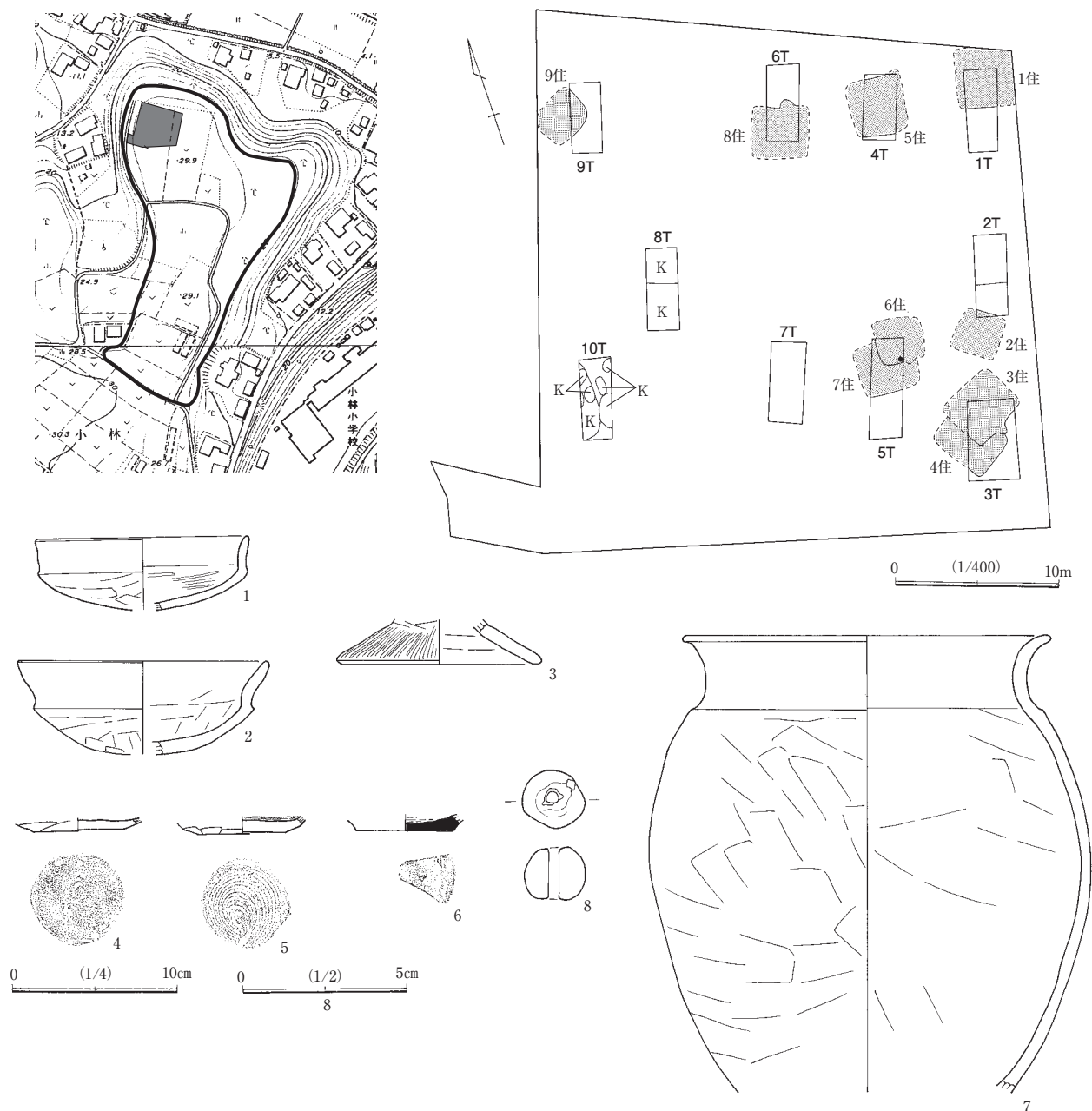
29. 油免遺跡 (第4地点) (第60図、表26、PL8・19・20)

- (1) 遺跡の立地 新川北岸の樹枝状に開析された標高約23mの台地上。
- (2) 調査履歴 平成8年には(財)印旛郡市文化財センターによる発掘調査が実施されている⁽¹⁾。平成13年には印西市教育委員会による確認調査が実施され、その結果を受けて翌年に(財)印旛郡市文化財センターによる本調査が実施された⁽²⁾。平成17年には印西市教育委員会が確認調査を行っている⁽³⁾。これらの調査によって、縄文時代、古墳時代、奈良・平安時代、中世といった各時期の遺構遺物が見つかった。
- (3) 調査の方法 地形に沿ってトレンチを設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (4) 遺構と遺物 近世の溝状遺構2条・土坑1基・ピット6基が検出された。

遺構外出土遺物は、土師器片約32g・縄文土器約203g・近世以降在地産土器約2,131gである。近世以降



第49図 瓜堀込第2遺跡周辺地形図・トレンチ遺構配置図

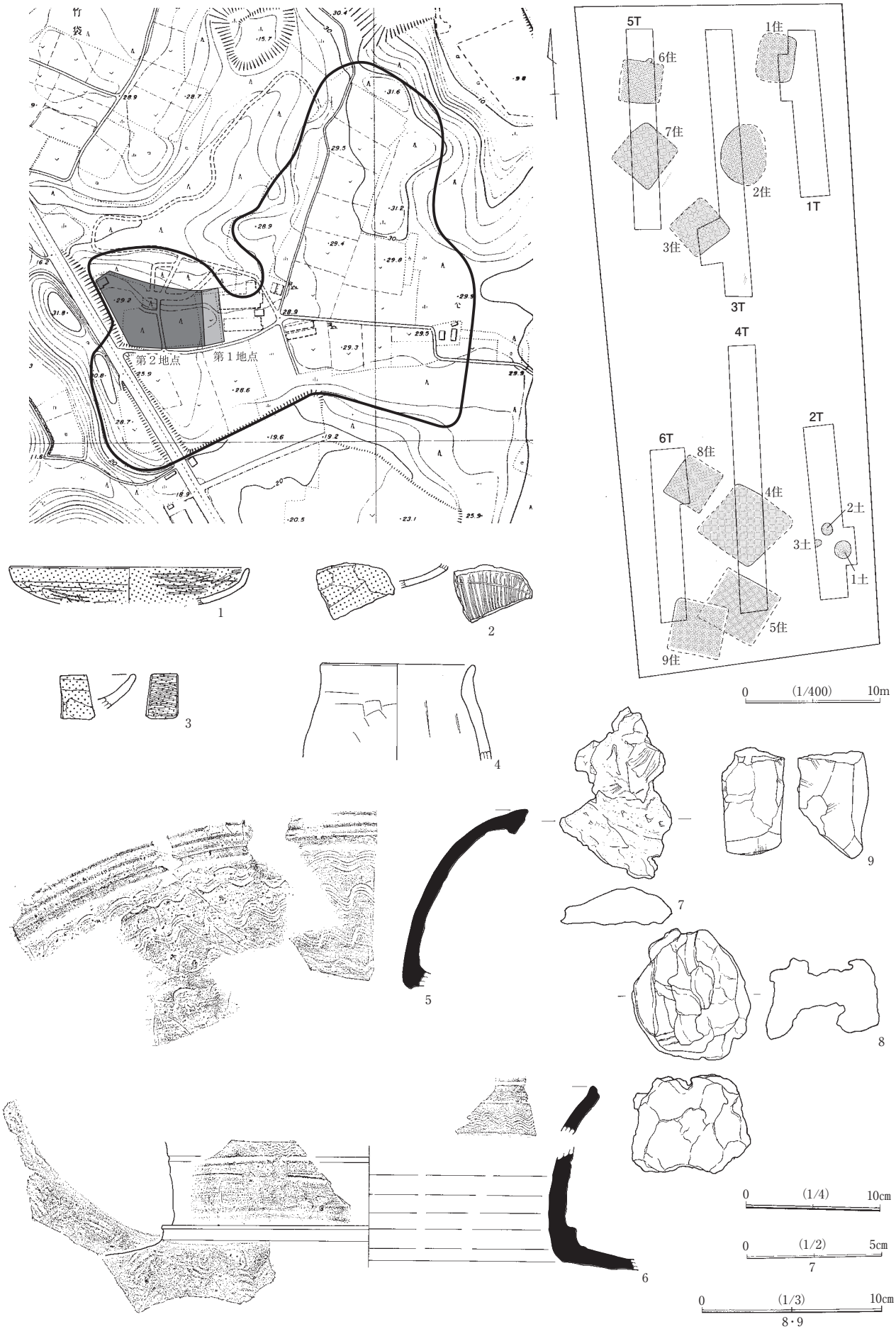


第50図 花作遺跡周辺地形図・トレンチ遺構配置図・出土遺物

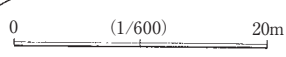
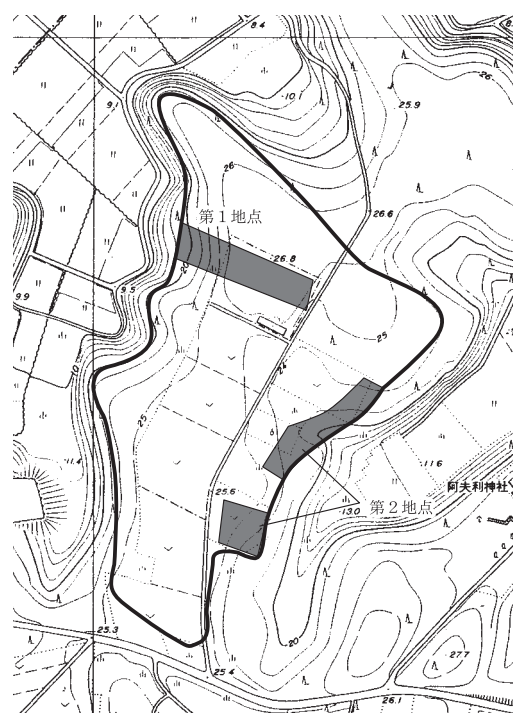
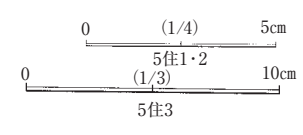
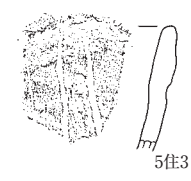
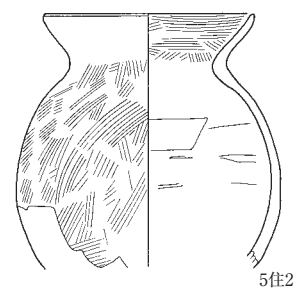
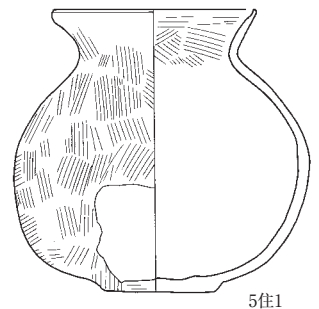
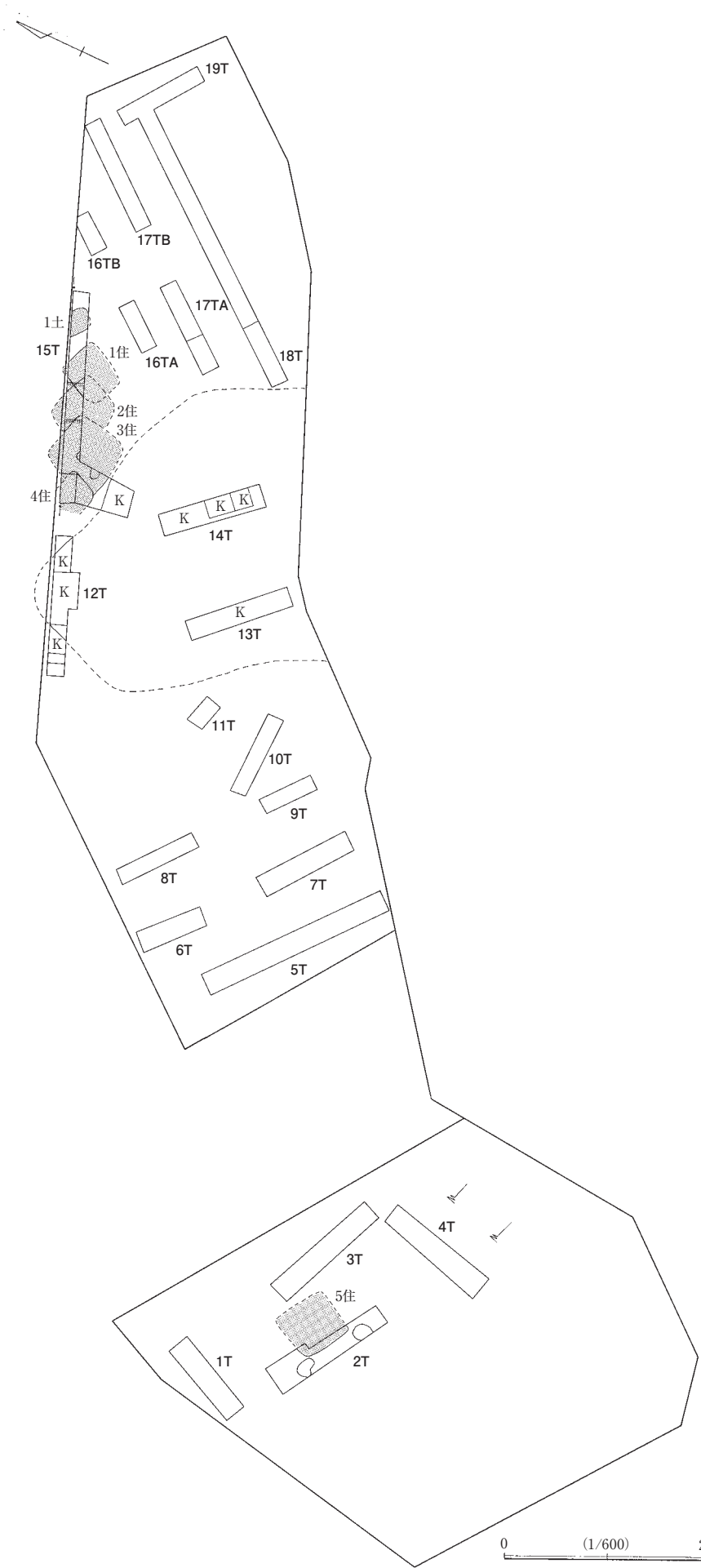
在地産土器のほとんどは、植木鉢と思われる。外面が黒色のものと燈色のものに分けられ、そのなかで数種類の大きさに分けられるようである。

注(1) 「印西市油免遺跡 (09-019)」(『財団法人印旛郡市文化財センター年報13 - 平成8年度 - 』1998年)、(2) 阿部有花『千葉県印西市油免遺跡 (第2地点)』(財)印旛郡市文化財センター 2004年。ただし、印西市教育委員会による確認調査の内容は未報告である。注(2) 報告によってトレンチ配置は、判明するが、その詳細な成果は不明。

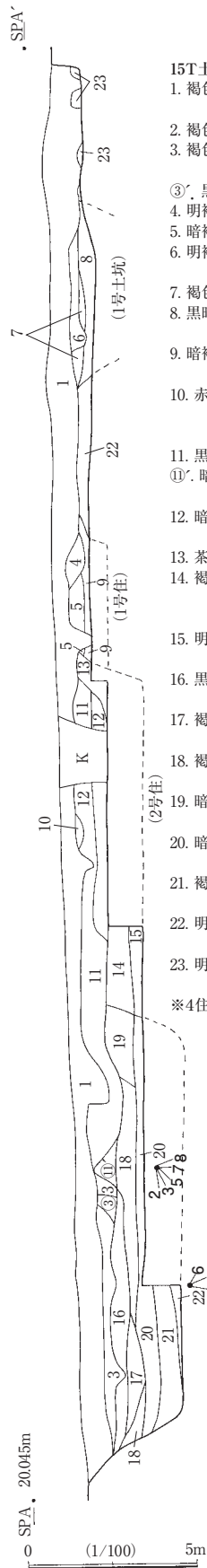
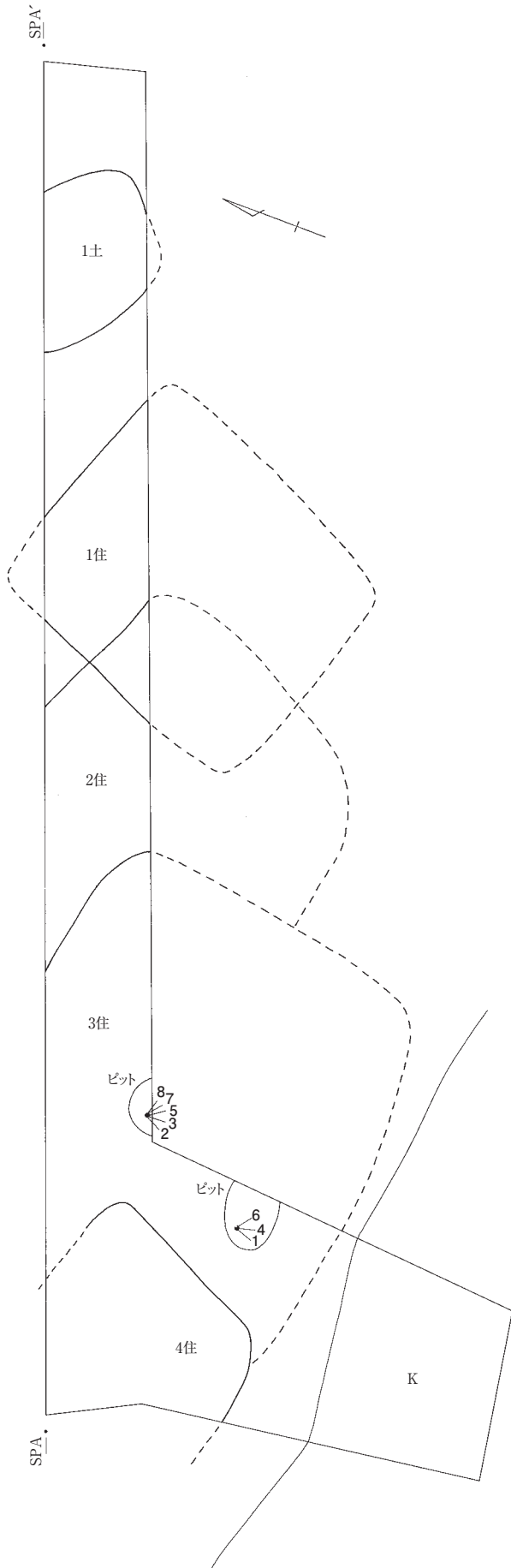
(3) 鈴木圭一『平成17年度印西市内遺跡発掘調査報告書』印西市教育委員会 2006年



第51図 川崎遺跡（第1・2地点）周辺地形図、川崎遺跡（第1地点）トレンチ遺構配置図・出土遺物



第52図 大越台遺跡（第2地点）周辺地形図・トレンチ遺構配置図 出土遺物(1)



15T土層説明

1. 褐色土
ローム粒・焼土・炭化物少含む。しまり弱、粘性やや弱。遺物(縄文多数)出土層
2. 褐色土
ローム粒少、焼土微含む。しまり中、粘性やや強。
3. 褐色土
ローム粒中、焼土・炭化物微含む。しまり・粘性やや強。
- ③. 黒褐色土
16層の混入か?
4. 明褐色土
ローム粒多含む。しまりやや強、粘性有
5. 暗褐色土
ローム粒・焼土・炭化物微含む。しまり・粘性有。
6. 明褐色土
ローム粒主体、黒色土・褐色土少含むしまり・粘性中
7. 褐色土
ローム粒少含む。しまりやや弱、粘性有。
8. 黒暗褐色土
ローム粒少、焼土・炭化物微含む。しまり有、粘性やや弱。
9. 暗褐色土
ローム粒・焼土・炭化物微、褐色土中含む。しまりやや強、粘性有。
10. 赤褐色土
焼土主体、炭化物・暗褐色土少含む。しまり・粘性有。
高さから見ると1住に伴うか別遺構の可能性。
11. 黒暗褐色土
焼土・炭化物・白色粒少含む。しまり有、粘性やや強
- ①. 暗褐色土
ローム粒・黒色土少、焼土・炭化物微含む。しまり強、粘性やや強。
12. 暗褐色土
ローム粒少、焼土・炭化物・白色粒(骨粉か)微量含む。しまり強、粘性やや強。
13. 茶褐色土
ローム粒微含む。しまり有、粘性やや弱。
14. 褐色土
ローム粒・ロームブロック(φ2mm)少、焼土・炭化物・白色粒微含む。しまり強、粘性やや強。
15. 明褐色土
ローム粒多、褐色土中、炭化物微含むしまり・粘性やや強。
16. 黒褐色土
ローム粒・焼土・炭化物微、褐色土中含む。しまり・粘性やや弱。
17. 褐色土
ローム粒・黒色土少、焼土・炭化物微含む。しまり・粘性弱。
18. 褐色土
ローム粒・焼土・炭化物微、黒色土少含むしまり・粘性中
19. 暗褐色土
ローム粒・炭化物少、白色粒微含む。しまりやや強、粘性有。
20. 暗褐色土
ローム粒・焼土・炭化物少、白色粒微含む。しまり・粘性強
21. 褐色土
ローム粒中、ロームブロック(φ2~5mm)・焼土・炭化物微含む。しまり強、粘性やや強。
22. 明褐色土
ソフトローム粒主体、褐色土少含む。しまり・粘性やや強。
23. 明褐色土
ハードローム主体(攪乱によりボロボロ)しまり・粘性強

※4住は土層に反映せず。最上面黒色燃焼痕

第53図 大越台遺跡15トレンチ図



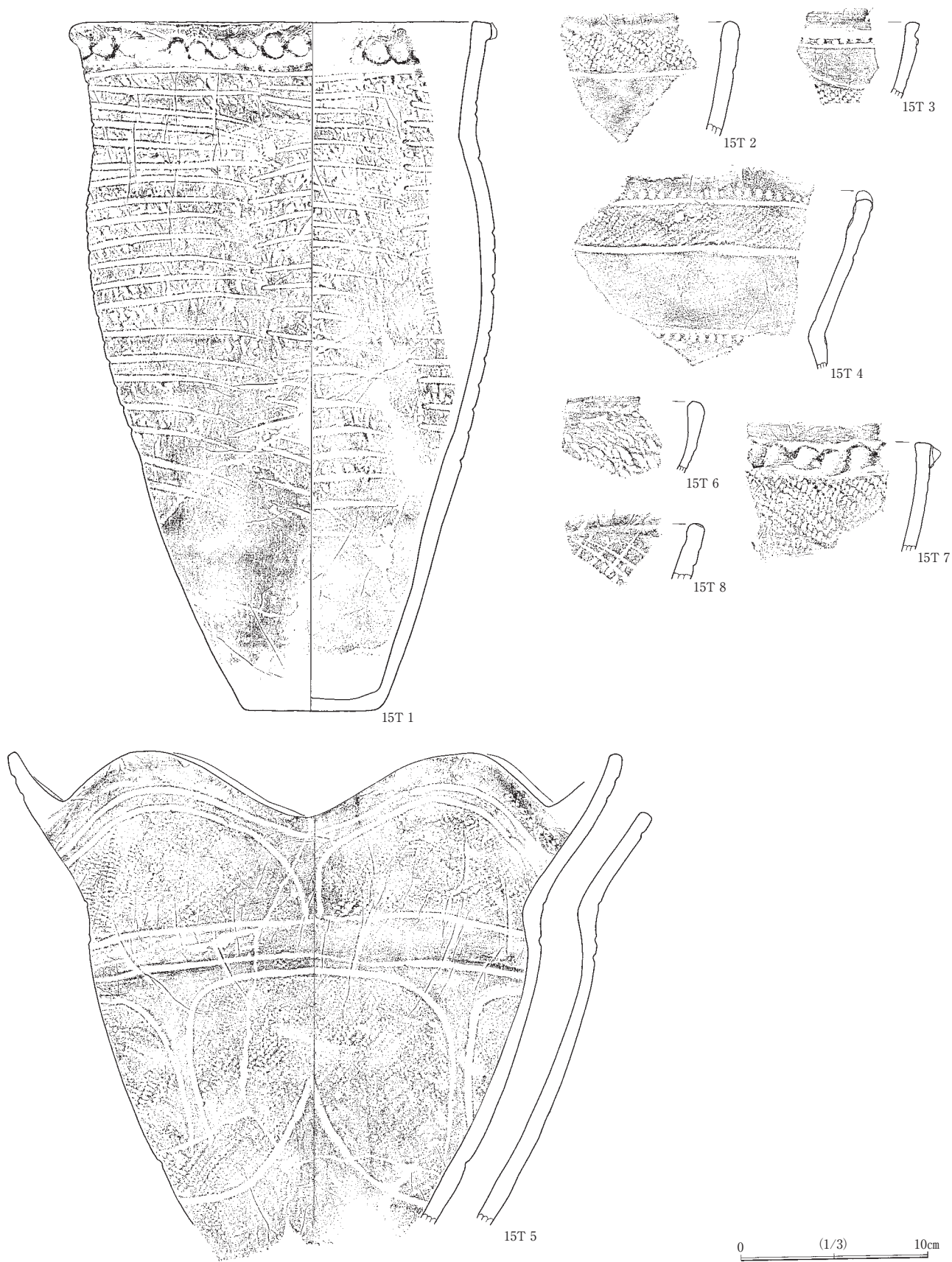
第54図 大越台遺跡出土遺物(2)



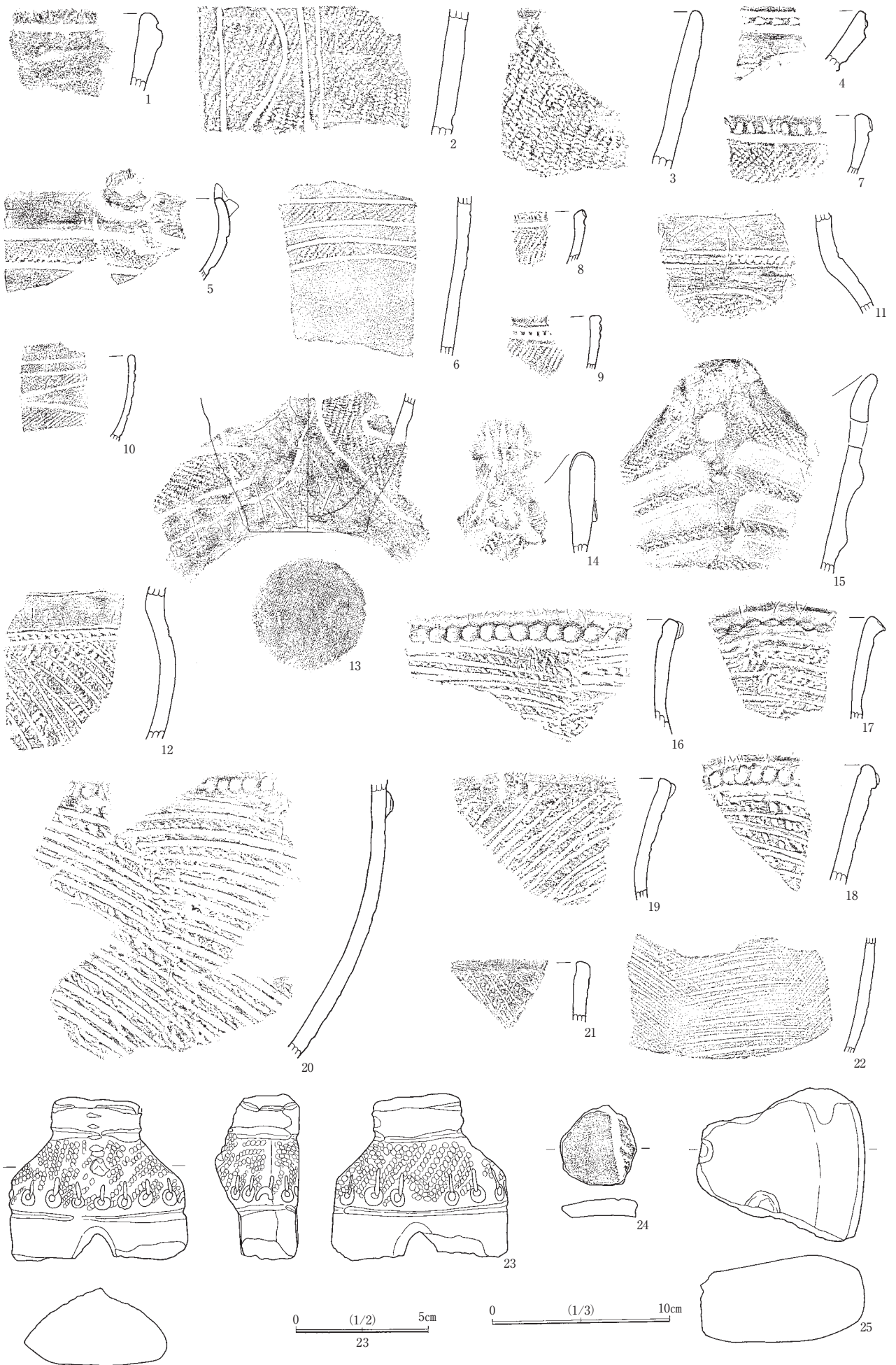
第55図 大越台遺跡出土遺物(3)



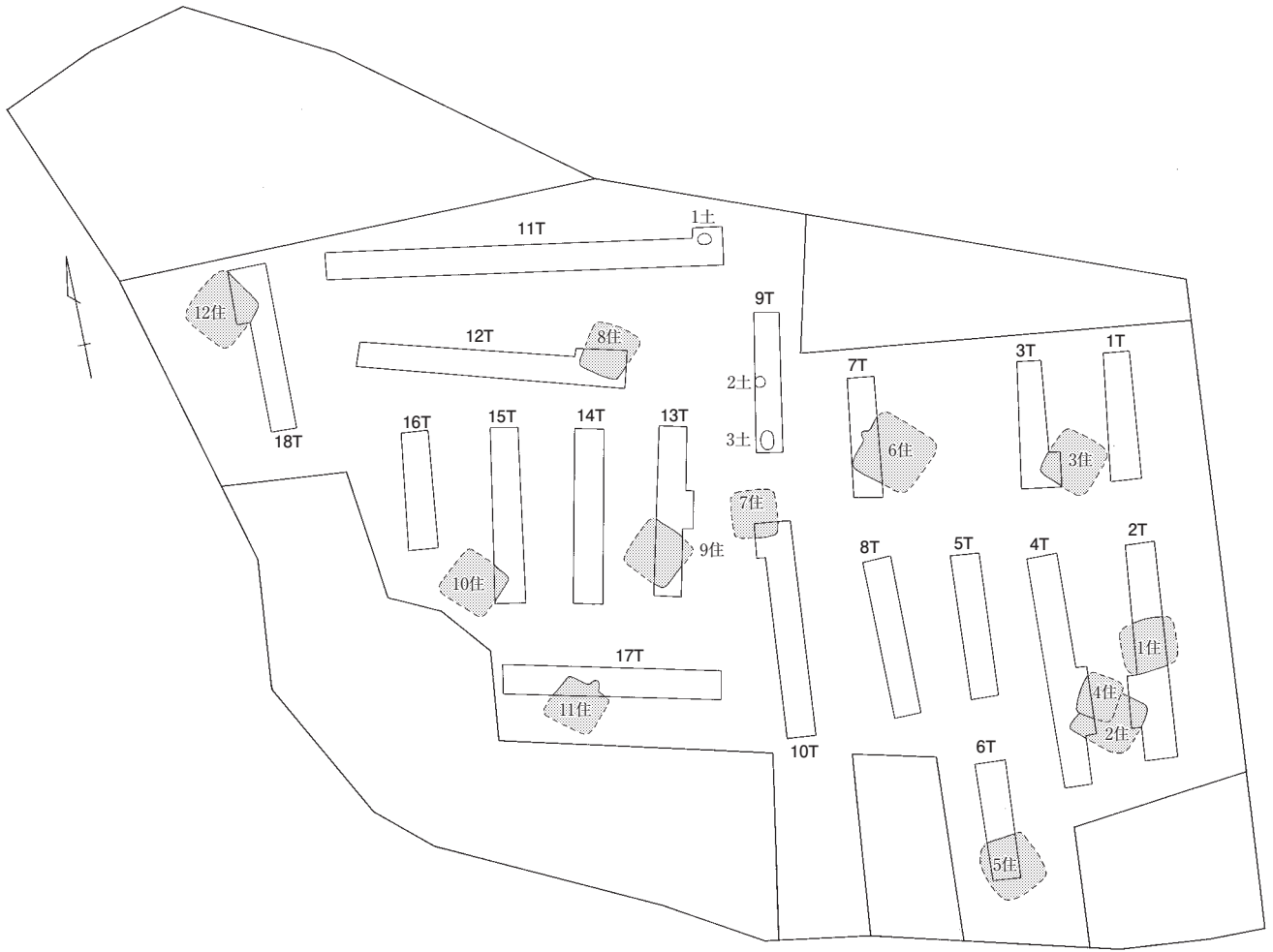
第56図 大越台遺跡出土遺物(4)



第57図 大越台遺跡出土遺物(5)



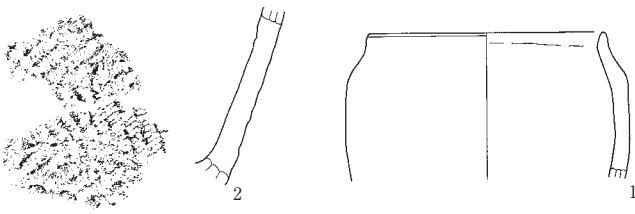
第58図 大越台遺跡出土遺物(6)



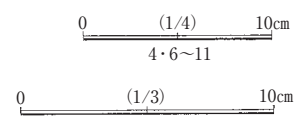
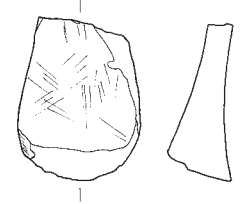
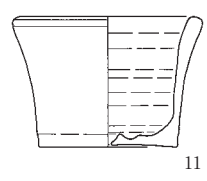
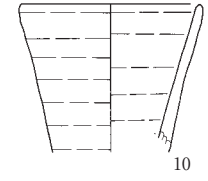
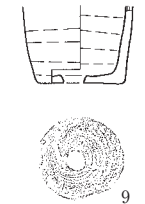
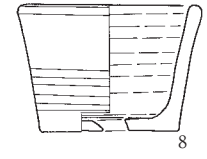
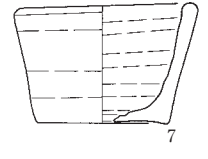
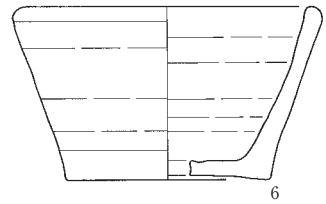
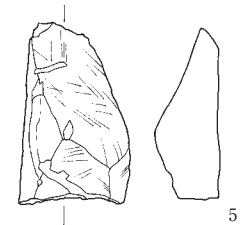
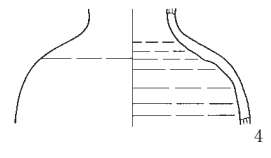
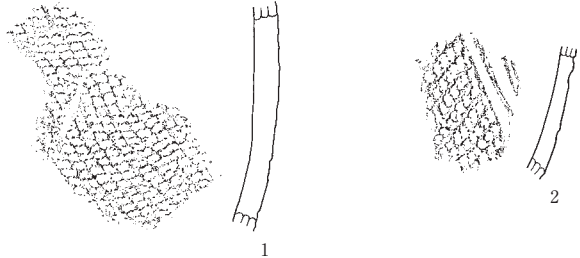
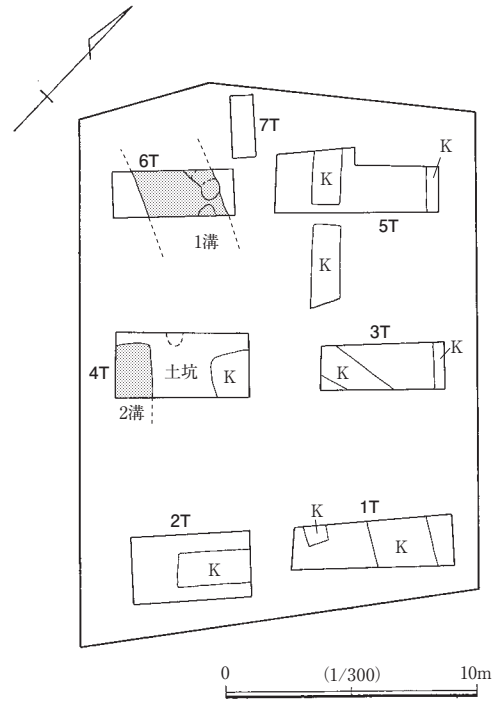
0 (1/600) 20m

0 (1/4) 5cm
2

0 (1/3) 10cm



第59図 川崎遺跡（第2地点）トレンチ遺構配置図・出土遺物



第60図 油免遺跡（第4地点）周辺地形図・トレンチ遺構配置図・出土遺物

第3章 まとめ

大畑遺跡（第2地点）

今回調査した竪穴住居跡は、その一部を調査したにすぎず、攪乱の影響も少なからずあるように思われる。はっきりとした年代を示す遺物がなく、その特定が困難である。奈良平安時代の住居跡と考えられるが、周囲の調査の進展により、比較できる資料の増加を期待したい。

木戸遺跡（第1・2・3地点）

3つの地点が並んでおり、奈良・平安時代の竪穴住居跡10軒・掘立柱建物跡3棟・柵列2条にのぼる集落跡が検出された。集落跡は周辺に広がると考えられる。

馬場遺跡（第4・6地点）

両地点の調査において、縄文時代と中世の遺構が検出され、第5地点における同時代の遺構に連なるものと考えられる。ただ、調査範囲の西側は、遺構が検出されない範囲も多く、遺跡を構成する集落の縁辺部にあたる可能性があるだろう。

迎山遺跡

今回の調査によって、古墳時代前期の集落跡であることが確認された。

前戸遺跡（第2地点）

今回調査した範囲は、平成16年に助千葉県文化財センター調査地点の南隣となる。その際に発見された集落跡の続きが、この調査でも確認できたといえよう。

竜崖遺跡

今回調査した地点は、竜崖遺跡の北端にあたる。調査地点の台地の東側には山王台遺跡が隣接している。山王台遺跡は平成9年に助印旛郡市文化財センターによる調査が実施され、縄文時代（早期・中期）と中世の遺構・遺物が発見された¹⁾。今回の調査結果は、この山王台遺跡の調査結果に連なるものであろう。

八夜台遺跡（第1・2地点）

今回調査した八夜台遺跡は、南北に近接した地点であった。北側の第1地点では、中世以前の溝条遺構1条が検出されたにとどまったが、第2地点では平安時代の住居跡と土坑が発見された。周囲の調査によって、遺跡の詳細な広がり判明されることが期待される。なお、第2地点の1号竪穴住居跡から出土した古代の瓦は、木下別所廃寺や曾谷ノ窪瓦窯跡に関連するものと思われる。

天神前遺跡

この調査区は、天神前遺跡（第2地点）の北側隣接地にあたる。今回検出された奈良・平安時代竪穴住居跡も、第2地点で発見された集落跡に連なるものであろう。

天神台遺跡（第14地点）

今回の調査地の南側近辺では、天神台遺跡第5・8・9地点が発掘されており、縄文土器の散布が認められ、弥生時代から奈良・平安時代に至る集落跡が確認されている。今回発見された遺構群も一連のものであり、集落跡はさらに北へ広がるように思われる。

松崎V遺跡（第2地点）

今まで調査が実施された地点は、遺跡北部の台地縁辺であったが、今回の調査地点は遺跡の南部域である。台地全体に集落跡が広がることが確認され、今後その変遷等が次第に明らかとされるだろう。

吉高一本松遺跡

今回の調査地は、遺跡の南東端にあたる。遺跡の主体は、もっと北西寄りであると思われる。

中郷遺跡（第1・2地点）

隣接する2地点の調査によって、縄文時代・弥生時代・古墳時代の集落跡が広がっていることがわかった。ただ、古墳時代と較べて、縄文時代と弥生時代の集落跡は、北側に展開しない可能性がある。

天神台遺跡（第15地点）

台地の中央付近であるために、遺構密度が低いことが予想される。周辺の調査の進展を期待したい。

道作1号墳（周溝確認調査第2次）

今回の調査によって、道作1号墳の北側周溝の範囲が明確になった。今後、さらなる発掘調査によってその様相が解明されることを期待したい。

向新田遺跡（第3地点）

向新田遺跡は、かなり広範囲な台地上に広がりを持つが、この第3地点の南部は、東から入ってくる谷地形の影響を受けて、遺構分布密度が薄くなるものと思われる。

向ノ地遺跡（第4次）

今回の調査では遺構遺物が発見されなかったが、この南側隣接地は、弥生時代から古墳時代の遺構・遺物が検出されている。このことから、この辺りが集落跡の縁辺になるとと思われる。

馬場遺跡（第7地点）

検出された住居跡の方向と大きさによって2時期に分けられる。

瓜堀込遺跡第2遺跡

今回の調査では、狭い範囲に多くの遺構が検出されたわりには、遺物の出土がなかったため、遺跡の詳細な性格は今後の検討課題である。

花作遺跡

攪乱を受けた箇所も目立ったが、多くの遺構が検出され、今後の調査が期待される。

川崎遺跡（第1・第2地点）

古墳時代の集落跡が確認された。遺構は検出されなかったが、縄文土器も出土しており、周辺の調査時には注意が必要である。

大越台遺跡（第2地点）

縄文時代の集落跡が確認されたが、これは第1地点から連なるものと思われる。台地の基部では、古墳時代の竪穴住居跡が発見され、集落跡が周辺に広がるようである。

油免遺跡（第4地点）

遺跡の西側を調査した第1・3・4地点では、古墳時代・奈良平安時代の明確な遺構が検出されなかったことからすると、当遺跡の集落跡の中心は、第2地点本調査部分を西限として、さらに東方の台地へ広がることが予想される。

注(1) 小倉和重 他 『千葉県印西市 山王台遺跡』(財団法人印旛郡市文化財センター 1998年)

第1表 大畑遺跡(第2地点)遺物観察表

No.	出土地	器種	遺存度	法量(cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	1住	土師器 墨書杯	底部完形、 口縁1/2強	口径10.8 器高3.3 底径4.8	ロクロ整形。底部回転系切り後、未調整。見込み部分に円形の擦れ。	赤色粒子・石英・長石少量。白色針状物微量。橙褐色。焼成は良好。	
2	1住	土師器 杯	口縁1/6、 底部一部	口径(12.0) 器高3.4 底径(4.4)	ロクロ整形。底部調整不明。	赤色粒子少量。石英・長石含む。白色針状物微量。にふい橙色。焼成は良好。	
3	1住	土師器 高杯	脚部2/3	口径一 器高(4.4) 上部径9.8	ロクロ整形。台部内面ナデ。脚部内外面ロクロナデ。脚部裾の一部削込。	石英・長石含む。赤褐色。焼成は良好。	
4	1住	土玉	長さ2.1cm 幅2.1cm 厚さ2.0cm 重量8.5g 孔径0.5cm			赤色粒子・石英・長石微量。褐色。焼成は良好。	
5	1住	土玉	長さ2.0cm 幅2.1cm 厚さ1.7cm 重量7.0g			石英・長石多量。褐色。焼成は良好。	
6	1住	土製品 紡錘車	脚部?1/2	器高(2.9) 底径(4.0) 孔径1.2cm	外面ハケナデ後、ナデ。中央部貫通。	赤色粒子微量。石英・長石多量。褐色。焼成は良好。	
7	3T	縄文土器 深鉢	胴部片	—	RL縄文		
8	3T	土師器 壺	底部1/4弱	口径一 器高(3.1) 底径(10.8)	体部内面ヘラナデ。体部外面ヘラケズリ。	石英・長石多量。黒褐色。焼成は良好。	
9	1住	土師器 高杯	脚部1/3	口径一 器高(2.7) 上部径(6.2)	脚部外面ハケナデ。	石英・長石含む。褐色。焼成は良好。	
10	攪乱	鉄滓	長さ5.9cm 幅4.4cm 厚さ1.6cm 重量53.0g				
11	3T	鉄製品 紡錘車	円盤 径4.4×4.4cm 厚さ0.15cm 重量16.1g 孔径0.4cm				

第2表 木戸場遺跡(第1地点)遺物観察表

No.	出土地	器種	遺存度	法量(cm)	手法上の特徴等	胎土・色調・焼成	備考
1	1住	土師器 杯	底部完形、 口縁部2/3	口径14.4 器高4.0 底径8.4	ロクロ整形。体部内面ヘラミガキ。体部外面ロクロナデ。体部下端回転ヘラケズリ。底部外面回転系切り後、周縁部回転ヘラケズリ。口縁部外面・体部内面タール付着。	赤色粒子少量。石英・長石多量。黄褐色。焼成は良好。	口縁部・体部内面タール付着
2	1住・2住	土師器 杯	ほぼ完形	口径12.8 器高4.1 底径5.8	ロクロ整形。体部内外面ロクロナデ。体部下端・底部外面回転ヘラケズリ。	赤色粒子・雲母多量。石英・長石少量。白色針状物微量。橙色。焼成は良好。	体部外面墨書「生」
3	1住	土師器 杯	底部完形、 口縁部2/3	口径13.2 器高4.4 底径6.0	ロクロ整形。体部内面器面剥離著しい。体部外面ロクロナデ。体部下端回転ヘラケズリ。底部外面剥離の為、調整不明。	石英・長石・白色針状物微量。内)にふい赤褐色。外)暗褐色。	
4	1住	土師器 杯	口縁部1/6、 底部一部	口径(13.0) 器高3.6 底径(6.4)	ロクロ整形。体部内外面ロクロナデ。体部下端・底部外面回転ヘラケズリ。	石英・長石・白色針状物微量。暗褐色。焼成は良好。	
5	1住	土師器 高台付皿	口縁部1/6、 底部1/2	口径(13.0) 器高2.7 上部径6.2	ロクロ整形。体部内面ヘラミガキ。体部外面ロクロナデ。底部外面回転系切り後、高台部ナデ。	赤色粒子・石英・長石少量。白色針状物微量。明褐色。焼成は良好。	体部外面墨書「生」
6	1住	土師器 杯	口縁部	口径一 器高一 底径一	体部外面ナデ。	赤色粒子・石英・長石・雲母少量。白色針状物微量。明赤褐色。焼成は良好。	口縁部片 体部外面墨書口
7	1住	土師器 杯	底部1/2	口径一 器高(11.1) 底径6.5	体部下端回転ヘラケズリ。底部外面回転系切り後周縁部回転ヘラケズリ。体部外面墨書	赤色粒子・雲母多量。にふい橙色。焼成は良好。	底部1/2 体部外面墨書口
8	1住	須恵器 壺	胴部下	—	底部内外面ナデ。	黒色粒子・石英・長石少量。黄灰色。焼成は良好。	底部片
9	1住	支脚	長さ10.5cm 幅4.8cm 厚さ4.1cm 重量203.2g				
10	1住	鉄製品 鎌	長さ5.7cm 幅2.0cm 厚さ0.1cm 重量6.8g 孔径0.35cm				
11	1住	鉄製品 釘	長さ7.3cm 重量7.1g				
12	1住	鉄製品 紡錘車	径5×5cm 高さ3.9cm 重量32.8g				

No.	出土地	器種	遺存度	法量(cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	2住	土師器 杯	底部1/5、口 縁部一部	口径(13.4) 器高4.0 底径6.0	ロクロ整形。体部内外面ロクロナデ。体部下端・底部外面回転ヘラケズリ。底面粗いミガキか?	赤色粒子微量。にふい赤褐色。焼成は良好。	
2	2住	土師器 壺	底部完形、胴 部1/2	口径一 器高(19.0) 底径9.6	胴部内面ヘラナデ。胴部外面棒状工具による縦位ヘラミガキ。	赤色粒子・石英・長石多量。にふい褐色。焼成は良好。	底部木葉痕あり
3	2住	須恵器 壺	底部1/6	口径一 器高(3.2) 底径(19.6)	胴部外面タタキ。胴部内面ナデ。	石英・長石・雲母多量。暗灰色。焼成は良好。	
4	2住	縄文土器 深鉢	口縁部片	—	前期、口縁部横位二重沈線に刺突文。羽状縄文施文。		
5	2住	縄文土器 深鉢	口縁部片	—	4と同一か。		
6	2住	縄文土器 深鉢	口縁部片	—	4と同一か。		
7	2住	縄文土器 深鉢	口縁部片	—	前期。結節縄文。		
8	2住	縄文土器 深鉢	口縁部片	—	前期。羽状縄文施文後横位沈線。		
9	2住	縄文土器 深鉢	口縁部片	—	中期。結節沈線文、キヤタビ区画。阿玉台la式。		

No.	出土地	器種	遺存度	法量(cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	2掘	須恵器 長頸瓶	口縁部一部	—	一部に自然釉。口唇部上下に凸。	黒色粒子・石英・長石少量。灰色。焼成は良好。	口唇部片

No.	出土地	器種	遺存度	法量(cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	3T	縄文土器 深鉢	胴部片	—	前期。結節縄文後横位沈線。		
2	一括	土師器 杯	2/3	口径12.2 器高3.7 底径8.0	ロクロ整形。体部内外面ロクロナデ。体部下端未調整。底部外面回転系切り後周縁部回転ヘラケズリ。	赤色粒子・雲母多量。石英・長石少量。明褐色。焼成は良好。	
3	一括	土師器 杯	底部3/4、 口縁部一部	口径(11.0) 器高5.0 底径(8.8)	ロクロ整形。体部内外面ロクロナデ。体部下端手持ちヘラケズリ。底部静止系切り後、手持ちヘラケズリ。体部内外面に煤付着	白色粒子少量。石英・長石多量。明赤褐色～黒褐色。焼成は良好。	体部内外面に煤付着 第2地点資料と接合

第3表 馬場遺跡(第4地点 第1次)遺物観察表

No.	出土地	器種	遺存度	法量(cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	2T	縄文土器 深鉢	胴部片	—	前期。縦維土器。		
2	1T	土師器 壺	底部片	口径— 器高(2.0) 底径—	底部内面ヘラナデ。外面ヘラケズリ。	白色粒子多量。石英・長石少量。明赤褐色。焼成は良好。	

第4表 馬場遺跡 第4地点(第2次)遺物観察表

No.	出土地	器種	遺存度	法量(cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	1T	縄文土器 深鉢	口縁部片	—	縄文施文後、横位沈線間に刻み。		
2	1T	縄文土器 深鉢	胴部片	—	縄文施文後、隆帯による区画磨消。		
3	1T	縄文土器 深鉢	口縁部片	—	縄文施文後、横位沈線。口縁部磨消。		
4	2T	縄文土器 深鉢	胴部片	—	杵状文施文し、縄文充填		
5	2T	縄文土器 深鉢	胴部片	—	縄文施文後、横位沈線。表面かなり摩耗。		
6	2T	縄文土器 深鉢	胴部片	—	後期。横位沈線後、豚鼻状貼付文、		
7	1T	土師器 壺	底部2/3	口径— 器高(1.8) 底径6.8	内外面とも器面剥離が著しく調整は不明。	白色粒子多量。石英・長石少量。赤褐色。焼成は不良・2次焼成?	
8	1T	陶器 炮烙	底部一部	口径— 器高(4.4) 底径—	内外面口ロナデ。底部手持ちヘラケズリ。	内)褐色。外)黒褐色。	
9	1T	陶器 小皿	完形	口径8.2 器高1.3 底径3.4	外面施釉。外面下部重ね焼痕。底部回転糸切り。	素地)灰褐色。釉)褐色。	

第5表 迎山遺跡遺物観察表

No.	出土地	器種	遺存度	法量(cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	2T	土師器 壺か	胴部片	—	外面ハケ目。	石英・長石少量。外面褐色。内面黒色。焼成は良好。	

第6表 前戸遺跡(第2地点)遺物観察表

No.	出土地	器種	遺存度	法量(cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	4T	縄文土器 深鉢	—	—	加曾利B式。粗製土器。地文に縄文施文し、口縁部に紐線文を貼付し、条線文施文。		
2	4T	縄文土器 深鉢	—	—	加曾利E式。縄文施文後、縦位沈線間磨消。		
3	6T	縄文土器 深鉢	—	—	縄文施文		
4	4T	須恵器 坏	口縁部・底部 一部	口径(13.4) 器高3.6 底径(8.0)	ロク口整形。体部下端回転ケラケズリ。底部手持ちヘラケズリ。	石英・長石少量。雲母微量。灰色。焼成は良好。	
5	1T住居	須恵器 蓋	1/4	口径(16.0) 器高(2.15) 底径—	ロク口整形。	石英・長石・雲母多量。褐色。焼成は不良。	
6	1T住居	土師器 壺	口縁部1/8	口径(25.1) 器高(6.5) 底径—	口縁部内外面ヨコナデ。胴部内面ヘラナデ。胴部外面ナデ。	石英・長石・雲母多量。褐色。焼成は良好。	
7	4T	土師器 壺	口縁部一部、 胴部肩1/4弱	口径(22.0) 器高(14.9) 底径—	口縁部内外面ヨコナデ。胴部内面ヘラナデ。胴部外面ナデ後ミガキ。	石英・長石・雲母多量。褐色。焼成は良好。	
8	4T	土師器 壺	口縁部一部、 胴部肩1/5弱	口径(15.8) 器高(14.0) 底径—	口縁部内外面ヨコナデ。胴部内面ナデ。胴部外面縦位ミガキ。	石英・長石・雲母多量。にぶい褐色。焼成は良好。	
9	4T	須恵器 壺	口縁部一部	—	口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面平行タキ痕あり。	白色粒子・石英・長石少量、雲母多量。灰黄褐色。焼成は良好。	
10	4T	須恵器 壺	口縁部一部	—	口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面平行タキ痕あり。	白色粒子・石英・長石・雲母少量。灰黄褐色。焼成は良好。	
11	5T	陶器 鍋か	口縁部一部	—	口縁部内外面ヨコナデ。	白色粒子・石英・長石少量、雲母多量。褐色。焼成は良好。	
12	4T	砥石	長さ8.3cm 幅3.9cm 厚さ3.1cm(最大) 重量96.7g 凝灰岩製。				

第7表 木戸場遺跡(第2地点)遺物観察表

No.	出土地	器種	遺存度	法量(cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	1住	土師器 坏	ほぼ完形	口径12.6 器高3.8 底径7.8	口縁部外面ヨコナデ。体部内面粗いミガキ。体部外面ヘラケズリ後、ミガキ。	赤色粒子微量。石英・長石多量。赤褐色。焼成は良好。	体部外面墨書口
2	1住	土師器 坏	口縁部一部 欠損	口径12.4 器高3.7 底径7.5	体部内面粗いミガキ。体部外面ヘラケズリ後、ミガキ。口縁部外面ヨコナデ。	赤色粒子・石英・長石少量。にぶい赤褐色。焼成は良好。	体部外面墨書口
3	1住	土師器 坏	口縁部1/2 弱、底部完形	口径(12.4) 器高4.0 底径7.2	ロク口整形。体部下端・底部周縁部手持ちヘラケズリ。底部回転糸切り後ナデ。	赤色粒子少量。石英・長石多量。暗赤褐色。焼成は良好。	底部外面墨書「山」
4	1住	土師器 坏	1/2強	口径12.0 器高3.5 底径6.9	体部内面ミガキ。体部外面ヘラケズリ後、ナデ。見込み部分剥落多。	赤色粒子・石英・長石少量。暗赤褐色。焼成は良好。	
5	1住	土師器 坏	1/2弱	口径(13.1) 器高4.0 底径(7.6)	体部内面ヘラミガキ。体部外面ヘラケズリ後、ミガキ。	赤色粒子少量。石英・長石微量。橙色。焼成は良好。	
6	1住	土師器 坏	1/2	口径15.6 器高5.3 底径8.3	体部内面ヘラミガキ。体部外面ヘラケズリ後、ナデ。	赤色粒子微量。石英・長石多量。赤褐色。焼成は良好。	
7	1住	土師器 坏	口縁部1/6、 底部一部	口径(16.2) 器高5.0 底径(8.8)	ロク口整形。体部下端回転ヘラケズリ。底部回転ヘラケズリ。	赤色粒子微量。石英・長石少量。暗赤褐色。焼成は良好。	
8	1住	土師器 坏	口縁部1/3、 底部一部	口径(12.8) 器高3.6 底径—	ロク口整形。体部下端回転ヘラケズリ。	赤色粒子・石英・長石微量。褐色。焼成は良好。	
9	1住	土師器 坏	口縁部1/6	口径(12.4) 器高3.2 底径—	ロク口整形。	赤色粒子・石英・長石微量。にぶい橙色。焼成は良好。	体部外面墨書口
10	1住	土師器 坏	口縁部片	口径— 器高— 底径—	ロク口整形。	赤色粒子少量。石英・長石微量。白色針状物微量。赤褐色。焼成は良好。	体部外面墨書口

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
11	1住	須恵器 坏	口縁部1/2 弱、底部完形	口径13.1 器高3.65 底径8.5	ロクロ整形。体部下端未調整。底部へラ切り後、手持ちへラケズリ。	石英・長石・雲母多量。灰白色。焼成は良好。	
12	1住	須恵器 坏	口縁部1/3、 底部完形	口径(13.0) 器高3.2 底径7.0	ロクロ整形。体部下端未調整。底部回転へラケズリ。	石英・長石多量。白色針状物微量。灰色。焼成は良好。	
13	1住	須恵器 坏	口縁部1/2、 底部一部	口径13.0 器高3.9 底径7.4	ロクロ整形。体部下端回転へラケズリ。底部調整不明。	石英・長石多量。青灰色。焼成は良好。	
14	1住	須恵器 坏	口縁部1/3	口径(12.0) 器高(3.3) 底径—	ロクロ整形。体部下端未調整。	黒色粒子・石英・長石少量。青灰色。焼成は良好。	
15	1住	須恵器 蓋	1/4	口径(13.2) 器高2.7 つまみ径1.8	ロクロ整形。天井部回転へラケズリ。	黒色粒子・石英・長石微量。雲母多量。灰色。焼成は良好。	
16	1住	須恵器 蓋	つまみ部片	口径— 器高(2.9) つまみ径3.0	天井部回転へラケズリ。	石英・長石少量、雲母多量。にぶい橙灰色。焼成は不良。	
17	1住	土師器 壺	口縁部1/4	口径(23.6) 器高(8.0) 底径—	口縁部内外面ヨコナデ。胴部内面へラナデ後、ナデ。胴部外面ナデ。	石英・長石・雲母多量。赤褐色。焼成は良好。	
18	1住	土師器 壺	底部ほぼ完 形～胴部	口径— 器高(8.0) 底径8.6	胴部内面へラナデ。胴部外面縦位へラミガキ。	石英・長石・雲母多量。褐色。焼成は良好。	
19	1住	土師器 瓶	口縁部1/2～ 胴部	口径24.2 器高(11.3) 底径—	口縁部内外面ヨコナデ。胴部内面へラナデ。胴部外面へラケズリ後、粗いミガキ。胴部穿孔1、未穿孔1あり。	赤色粒子・石英・長石少量。褐色。焼成は良好。	
20	1住	須恵器 壺	底部1/3強	口径— 器高(7.6) 底径(14.5)	胴部内面ナデ、当具痕あり。胴部外面へラケズリ。	石英・長石・雲母多量。灰色。焼成は良好。	
21	1住	須恵器 小型矩頸壺 か	口縁部1/2、 底部完形	口径10.0 器高7.0 台部径6.6	ロクロ整形。胴部外面下端ナデ。底部全面へラ切り後、ナデ。付高台。	黒色粒子・石英・長石少量。灰色。焼成は良好。	
22	1住	灰釉陶器 壺	肩部片?	口径— 器高— 底径—	外面施釉。	黒色粒子少量。石英・長石微量。灰白色。焼成は良好。	
23	1住	灰釉陶器か 長頸瓶	口縁部片	口径(9.2) 器高(1.1) 底径—	内外面施釉。	黒色粒子・石英・長石微量。にぶい灰褐色。焼成は良好。	
24	1住	軽石	長さ5.9cm 幅5.0cm 厚さ3.7cm 重量22.0g				
25	1住	石炭	長さ2.1cm 幅1.3cm 厚さ0.55cm 重量0.8g メノウ製。				
26	1住	刀子	長さ3.6×幅1.0×厚さ0.25cm 長さ2.5×幅1.0×厚さ0.25cm 長さ5.15×幅0.4×厚さ0.2cm 合計重量10.7g				

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	2住	須恵器 坏	口縁部1/4	口径(13.6) 器高(3.8) 底径—	ロクロ整形。体部内外面ロクロナデ。	石英・長石・雲母多量。暗灰褐色。焼成は良好。	
2	2住	須恵器 坏か	底部完形	口径— 器高(1.3) 底径8.0	体部内面ロクロナデ。体部下端手持ちへラケズリ。底部外面へラ切り後、周縁部手持ちへラケズリ。	赤色粒子・雲母多量。石英・長石少量。灰黄褐色。焼成は良好。	
3	2住	土師器 壺	口縁部1/6～ 胴部	口径(16.4) 器高(9.0) 底径—	口縁部内外面ヨコナデ。胴部内面へラナデ。胴部外面縦位へラケズリ。	赤色粒子・石英・長石少量。明褐色。焼成は良好。	
4	2住	土師器 壺	口縁部一部、 底部1/3弱	口径(24.0) 器高(32.5) 底径(9.4)	口縁部内外面ヨコナデ。胴部内面へラナデ。胴部外面上半部ナデ。胴部外面縦位へラミガキ。	赤色粒子・石英・長石少量、雲母多量。にぶい褐色。焼成は良好。	
5	2住	土師器 瓶	底部1/6	口径— 器高(7.2) 底径(10.6)	胴部内面へラナデ。胴部内面下端へラケズリ。胴部外面縦位へラケズリ。	石英・長石多量。雲母少量。褐色。焼成は良好。	
6	2住	鉄製品 釘	長さ(11.2)cm 幅0.5cm 厚さ0.4cm 重量10.3g 木質部一部付着。				

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	3住	土師器 坏	口縁部1/3	口径(13.0) 器高(3.1) 底径—	ロクロ整形。体部内外面ロクロナデ。	赤色粒子・石英・長石・多量。白色針状物微量。褐色。焼成は良好。	
2	3住	土師器 坏	1/4	口径(12.8) 器高3.9 底径(6.4)	口縁部外面ヨコナデ。体部内面へラミガキ。体部・底部外面手持ちへラケズリ。	石英・長石少量。暗褐色。焼成は良好。	
3	3住	須恵器 坏	口縁部1/3、 底部1/2	口径(12.8) 器高3.9 底径7.4	ロクロ整形。体部内外面ロクロナデ。体部下端・底部外面手持ちへラケズリ。	黒色粒子・石英・長石少量。雲母多量。灰オリブ色。焼成は良好。	
4	3住	須恵器 坏	1/4	口径(13.6) 器高3.6 底径(7.4)	ロクロ整形。体部内外面ロクロナデ。体部下端・底部外面手持ちへラケズリ。	黒色粒子少量。石英・長石多量。暗灰色。焼成は良好。	
5	3住	須恵器 坏	口縁部2/3、 底部完形	口径12.1 器高3.8 底径6.4	ロクロ整形。体部内外面ロクロナデ。底部回転糸切り後、周縁部回転へラケズリ。	白色粒子少量。石英・長石微量。灰色。焼成は良好。	
6	3住	土師器 小型壺	口縁部1/3	口径(14.4) 器高(7.2) 胴部径(14.4)	口縁部内外面ヨコナデ。胴部内面へラナデ、輪積痕あり。胴部外面縦位へラケズリ。	赤色粒子・石英・長石少量。暗褐色。焼成は良好。	
7	3住	土師器 小型壺	口縁部1/3	口径(14.0) 器高(5.2) 底径—	口縁部内外面ヨコナデ。口縁部外面輪積痕あり。胴部内面へラナデ。胴部外面縦位へラケズリ。	赤色粒子・石英・長石多量。暗褐色。焼成は良好。	
8	3住	土師器 壺	口縁部1/3	口径(11.4) 器高(3.7) 底径—	口縁部内外面ヨコナデ。口縁部外面輪積痕あり。胴部内面へラナデ。	赤色粒子少量。石英・長石多量。暗褐色。焼成は良好。	
9	3住	土製品 円盤か 土師器坏の高台部分を加工か。	長さ3.2cm 幅3.3cm 厚み0.45cm 重量5.6g。			赤色粒子少量。にぶい橙褐色。焼成は良好。	
10	3住	縄文土器 深鉢	胴部片	—	後期。縄文施文後、沈線による区画。		
11	3住	鉄製品 鐵	長さ3.8cm 幅0.8cm 重量3.1g				
12	3住	鉄製品 鐵	長さ6.2cm 幅2.6cm 重量12.3g				

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	一括	縄文土器 深鉢	胴部片	—	横位結節縄文。		
2	一括	砥石	長さ6.4cm 幅3.9cm 厚さ1.5cm 重量66.1g 凝灰岩製。				

第8表 竜崖遺跡遺物観察表

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	一括	縄文土器 深鉢	口縁部片	—	早期。口唇部に刺突文。条痕文を地文とし、沈線による櫛状の区画文を配し、内区画内に刺突文を充填する。区画交点には円形竹管文による刺突文を施す。		
2	一括	縄文土器 深鉢	胴部片	—	早期。地文条痕文。貼付隆帯に刺突文。		
3	一括	縄文土器 深鉢	胴部片	—	早期。条痕文。外面剥離か。		
4	一括	縄文土器 深鉢	胴部片	—	早期。二重沈線内に刺突文		

第9表 馬場遺跡(第6地点)遺物観察表

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	3T	縄文土器 深鉢	口縁部片	—	後期。口縁部横位沈線後RL縄文充填。		
2	9T	縄文土器 深鉢	口縁部片	—	後期。波状口縁。口唇部扇形突起の左右小突起に沈線。RL縄文後横位二重沈線内磨消。貼付文に刺突文。豚鼻形貼付文に刺突文のび微隆帯。		
3	9T	縄文土器 深鉢	口縁部片	—	後期。口縁部RL縄文後沈線しコンパス文。		
4	9T	縄文土器 深鉢	口縁部片	—	後期。RL縄文後棒状沈線磨消。縦位貼付文		
5	9T	縄文土器 深鉢	口縁部片	—	後期。RLR縄文後貝殻縁縁押し、沈線。		
6	9T	縄文土器 深鉢	口縁部片	—	後期。LR縄文後、横位沈線。		
7	9T	縄文土器 深鉢	底部	—	後期。RL縄文。		
8	8T	縄文土器 浅鉢	口縁部1/4	口径(10.8) 器高(5.5) 底径—	後期。黒褐色。RL縄文後口縁部二重沈線し貼付文。胴部沈線にて区画し磨消。		
9	8T	縄文土器 深鉢	口縁部片	—	にふい橙色。後期。LR縄文後口唇部ナデ。口縁部沈線にて区画し下部磨消。		
10	8T	縄文土器 深鉢	胴部片	—	後期。LR縄文後細条線文。		
11	10T	縄文土器 深鉢	口縁部片	—	後期。口縁部縦位ミガキ。		
12	10T	縄文土器 深鉢	口縁部片	—	後期。縄文施文後横位四重沈線。胴部ナデ。		
13	8T	土製円盤	長さ3.9cm 幅3.2cm 厚さ0.8cm 重量11.6g				
14	9T	土製円盤	長さ3.5cm 幅3.5cm 厚さ0.4~0.55cm 重量7.4g				
15	9T	須恵器 皿か	底部1/5	口径— 器高(3.6) 底径(10.7)	ロクロ整形。体部外面回転ヘラケズリ。	白色粒子・石英・長石少量。灰黄色。焼成は良好。	
16	9T	磁器 染付皿	底部1/2	口径— 器高(1.7) 底径(6.0)	肥前。内外面施釉。付高台。		
17	4T	陶器 焙烙	口縁部一部、 底部1/4	口径(44.6) 器高6.35 底径37.8	体部内面・外面上半口ロコナデ。体部内面輪積痕あり。体部外面下半手持ちヘラケズリ。	赤色粒子・石英・長石微量。内)灰黄褐色。外)黒色。焼成は良好。	
18	5T	陶器 七厘か	底部1/4	口径— 器高(5.2) 底径(17.0)	体部内面ヘラナデ。体部外面ナデ。底部内面ナデ。脚部剥離面あり。底部外面未調整か。	赤色粒子少量。橙色。焼成は良好。	
19	9T	陶器 内耳鍋	口縁部、底部 一部	—	口縁部内外コナデ。		
20	6T	陶器 搦鉢	底部1/6	口径— 器高(3.4) 底径(19.0)	備前系か。体部内面櫛目あり。体部外面回転ヘラケズリ。	白色粒子・石英・長石含む。赤色。焼成は良好。	
21	6T	陶器 搦鉢	底部一部	口径— 器高— 底径—	瀬戸美濃系。体部外面回転ヘラケズリ。	暗赤褐色。焼成は良好。	
22	9T	陶器 搦鉢	底部1/2	口径— 器高(7.3) 底径12.8	瀬戸美濃系。体部内面櫛目あり。体部外面回転ヘラケズリ。底部静止糸切り。	暗赤褐色。	
23	10T	平瓦	—	—	内面ナデ。内面下端櫛目痕あり。外面刷毛痕あり。		
24	9T	砥石	長さ9.8cm 幅7.2cm 厚さ8.0cm 重量374.6g 軽石質凝灰岩。被熱。				
25	10T	鉄製品	長さ4.0cm 幅4.0cm 厚さ0.45~0.65cm 重量19.2g				
26	10T	鉄製品	長さ3.8cm 幅2.6cm 厚さ0.6×0.6cm 重量6.5g				

第10表 八夜台遺跡(第1地点)遺物観察表

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	一括	土師器 坪	底部1/2	口径— 器高(2.2) 底径6.2	ロクロ整形。体部内外面ロクロナデ。体部下端回転ヘラケズリ。底部回転糸切り。	赤色粒子微量。にふい橙色。焼成は良好。	底部外面墨書口
2	一括	須恵器 壺	口縁部	口径— 器高(5.8) 底径—	口縁部内外面コナデ。胴部内面ヘラナデ。胴部外面縦位の平行タキ痕あり。	白色粒子少量。石英・長石・雲母多量。灰黄褐色。焼成は良好。	
3	一括	陶器 灯明皿	完形	口径7.0 器高1.4 底径3.4	内外面ロクロナデ。外面施釉。刷毛塗り痕あり。底部回転ヘラケズリ	素地)暗灰黄色。釉)暗オリーブ褐色。	

第11表 天神前遺跡遺物観察表

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	3T	弥生土器 甕	胴部片	—	撫糸文R。		
2	3T	須恵器 坪	1/6	口径(14.2) 器高4.3 底径(8.8)	ロクロ整形。体部内外面ロクロナデ。体部下端回転ヘラケズリ。底部周縁ナデ。	砂粒子・雲母含む。灰黄色。焼成は良好。	
3	3T	須恵器 高台付坪	底部1/6	口径— 器高(2.9) 底径—	内面ロクロナデ。体部下端ナデ。高台部貼りつけ。	白色・砂粒子少量。灰白色。焼成は良好。	
4	3T	須恵器 高台付か	底部1/6	口径— 器高(2.4) 底径(13.8)	内面ロクロナデ。体部下端ナデ。高台部貼りつけ。	白色・砂粒子多量。暗青灰色。焼成は良好。	
5	3T	須恵器 壺	口縁部片	口径— 器高(3.7) 底径—	外面にタキ目あり。	赤色・砂粒子・雲母含む。にふい赤褐色。焼成は良好。	

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
6	3T	須恵器 壺	口縁部片	口径一 器高(3.3) 底径一	外面にタタキ目あり。	赤色・砂粒子・雲母含む。にふい赤褐色。焼成は良好。	

第12表 天神台遺跡(第14地点)遺物観察表

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	13T	縄文土器 深鉢	胴部片	—	後期。RL縄文施文後横位沈線。		
2	9T	縄文土器 深鉢	胴部片	—	後期。沈線による区画。		
3	11T	土師器 甕	底部1/5	口径一 器高(10.3) 底径(13.8)	胴部外面ヘラケズリ。胴部内面ヘラナデ。	砂粒少量。外>橙色、内>明褐色。小生は良好。	
4	13T	須恵器 壺か	胴部片	—	外面タタキ痕。	砂粒子・雲母少量。黒褐色。焼成は良好。	
5	1T	鉄滓	長さ3.2cm 幅3.7cm 厚さ1.6cm 重さ16.6g				
6	4T	鉄滓	長さ3.3cm 幅2.8cm 厚さ2.2cm 重さ19.2g				

第13表 松崎V遺跡(第2地点)遺物観察表

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	1住	土師器 坏	口縁部一部 欠損	口径12.9 器高4.45 底径6.9	ロクロ整形。体部内外面ロクロナデ。体部下端回転ヘラケズリ。底部回転ヘラケズリ後ナデ。	白色粒子・雲母少量。橙褐色。焼成は良好。	
2	1住	土師器 坏	1/2弱	口径(13.0) 器高3.8 底径(7.0)	ロクロ整形。体部下端回転ヘラケズリ。底部回転糸切後周縁部ヘラケズリ。	赤色粒子多量・雲母少量。橙色。焼成は良好。	底部外面墨書口
3	1住	土師器 坏	1/4弱	口径(14.0) 器高4.5 底径(6.9)	ロクロ整形。体部下端回転ヘラケズリ。	赤色粒子多量・雲母少量。橙色。焼成は良好。	
4	1住	土師器 坏	1/4弱	口径(12.0) 器高3.5 底径(6.0)	ロクロ整形。体部下端回転ヘラケズリ。底部回転糸切後周縁部ヘラケズリ。	赤色粒子多量・雲母少量。橙色。焼成は良好。	体部および底部 外面墨書口
5	1住	土師器 坏	口縁部一部 欠損	口径11.8 器高3.7 底径6.4	ロクロ整形。体部内外面ロクロナデ。体部下端回転ヘラケズリ。底部回転糸切。	赤色粒子少量。浅黄褐色。焼成は良好。	体部外面墨書口
6	1住カマド	土師器 坏	口縁部1/3、 底部1/4	口径(12.0) 器高3.8 底径(6.3)	ロクロ整形。体部内外面ロクロナデ。体部下端手持ヘラケズリ。底部ヘラケズリ。	赤色粒子・雲母少量。橙色。焼成は良好。	
7	1住	土師器 坏	口縁部1/8、 底部1/3	口径(11.4) 器高3.0 底径(6.0)	ロクロ整形。体部内外面ロクロナデ。体部下端回転ヘラケズリ。底部回転糸切後周縁部ヘラケズリ。	赤色粒子多量。橙色。焼成は良好。	
8	1住	土師器 坏	口縁部1/5	口径(14.0) 器高(3.3) 底径一	ロクロ整形。体部内外面ロクロナデ。	赤色粒子・白色粒子・長石・石英少量。橙色。焼成は良好。	体部外面墨書口
9	1住	土師器 坏	口縁部片	—	ロクロ整形。	雲母・長石・石英多量。橙色。焼成は良好。	体部外面墨書口
10	1住	土師器 坏	口縁部1/4、 底部1/2強	口径(14.5) 器高4.4 底径7.2	ロクロ整形。体部内面ミガキ。体部下端回転ヘラケズリ。底部回転糸切後周縁部ヘラケズリ。	雲母多量、長石・石英少量。外>黄褐色。内>黒色。焼成は良好。	
11	1住	土師器 坏	底部1/2弱	口径一 器高(2.7) 底径(8.2)	ロクロ整形。体部外面回転ヘラケズリ。体部内面ミガキ。底部手持ヘラケズリ。	赤色粒子・白色粒子・雲母少量。外>黄褐色。内>黒色。焼成は良好。	
12	1住	土師器 坏	1/3	口径(13.3) 器高3.8 底径(8.2)	ロクロ整形。口縁部ナデ。体部内外面ロクロナデ。体部下端・底部手持ヘラケズリ。	白色粒子・雲母少量。内外>黒色。焼成は良好。	
13	1住	土師器 坏	1/5	口径(14.0) 器高4.0 底径(7.7)	ロクロ整形。体部内外面ロクロナデ。体部下端・底部手持ヘラケズリ。	白色粒子・雲母少量。内外>黒色。焼成は良好。	
14	1住	土師器 台付坏	底部1/3	口径一 器高(2.4) 底径(7.6)	ロクロ整形。底部回転糸切。付高台。	白色粒子・赤色粒子少量。橙色。焼成は良好。	
15	1住	土師器 壺	口縁部1/4	口径(16.0) 器高(4.0) 底径一	口縁部ヨコナデ。体部内外ヘラナデ。	赤色粒子・長石・石英少量。明赤褐色。焼成は良好。	
16	1住	土師器 壺	口縁部1/5	口径(21.0) 器高(10.5) 底径一	口縁部ヨコナデ。体部内部ヘラナデ。体部外面ナデ。	赤色粒子・長石・石英少量。明赤褐色。焼成は良好。	
17	1住カマド	土師器 壺	口縁部1/2	口径16.0 器高(10.4) 底径一	口縁部ナデ。体部内部ヘラナデ。体部外面ヘラケズリ。	白色粒子少量。赤褐色。剥落多。	
18	1住	土師器 壺	口縁部1/3	口径(15.0) 器高(4.2) 底径一	口縁部ヨコナデ。体部内部ヘラナデ。体部外面ヘラケズリ。	白色粒子・雲母少量、赤色粒子微量。橙色。剥落多。	
19	1住	土師器 壺	口縁部1/3	口径(10.7) 器高(5.9) 底径一	口縁部ヨコナデ。体部内部ヘラナデ。体部外面ヘラケズリ。	白色粒子微量。明赤褐色。焼成は良好。	
20	1住	土師器 壺	口縁部片	—	口縁部二重沈線。	白色粒子多量。赤色粒子少量。橙色。焼成は不良。	
21	1住	須恵器 壺	口縁部1/6	口径(26.2) 器高(8.3) 底径一	口縁部ヨコナデ。体部内部ヘラナデ。体部外面タタキ。	白色粒子・雲母少量。灰茶色。焼成は良好。	
22	1住	須恵器 壺	口縁部1/4	口径(26.0) 器高(9.4) 底径一	ロクロ整形。	白色粒子少量。灰色。焼成は良好。	
23	1住	須恵器 壺	口縁部片	—	ロクロ整形。	白色粒子少量。灰黒色。焼成は不良。	
24	1住	縄文土器 深鉢	胴部片	—	擦糸文。		
25	1住	縄文土器 深鉢	胴部片	—	沈線。		
26	1住	砥石	長さ4.7cm 幅3.2cm 厚さ1.1cm 重さ22.9g 流紋岩製。				

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	一括	土師器 坏	口縁部1/2、 底部2/3	口径11.8 器高3.8 底径6.0	ロクロ整形。体部内外面ロクロナデ。体部下端手持ヘラケズリ。底部回転糸切後周縁手持ヘラケズリ。	白色粒子・針状粒子少量。橙色。焼成は良好。	
2	一括	土師器 坏	口縁部1/2、 底部2/4	口径11.8 器高3.8 底径6.1	ロクロ整形。体部内外面粗いミガキ。体部下端回転ヘラケズリ。底部回転糸切後周縁手持ヘラケズリ。	白色粒子微量。赤色粒子少量。内>黒色。外>橙色。焼成は良好。	
3	一括	土師器 高台付坏	底部1/3強	口径一 器高(0.8) 底径(3.6)	ロクロ整形。体部内粗いミガキ。底部回転糸切後周縁手持ヘラケズリ。高台剥落か。	白色粒子・雲母微量。内>黒色。外>浅黄褐色。焼成は良好。	
4	一括	須恵器 壺	口縁部片	—	ロクロ整形。体部内外面ナデ。	白色粒子少量。灰青色。焼成は不良。	
5	一括	焼成粘土塊	長さ4.85cm 幅4.00cm 厚さ1.85cm 重さ24.1g				

第14表 吉高一本松遺跡遺物観察表

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	1T	縄文土器 深鉢	口縁部片	—	口縁部LR縄文施文し、横位沈線。口唇部に刻み。		
2	1T	縄文土器 深鉢	口縁部片	—	口唇部に刻み。		
3	1T	縄文土器 深鉢	口縁部片	—	口唇部に刻み。格子状沈線。		
4	1T	縄文土器 深鉢	胴部片	—	紐線文に刻み。		
5	1T	土師器 壺	口縁部片	口徑一 器高(3.7) 底徑一	ヨコナデ。	白色粒子・長石・石英少量、赤色粒子少量。にぶい黄褐色。	
6	1T	軽石	長さ6.5cm 幅6.0cm 厚さ3.4cm 重さ162.2g				

第15表 中郷遺跡(第1地点)遺物観察表

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	1住	土師器 坏	口縁部1/2、 底部ほぼ完 形	口徑14.3 器高6.6 底徑一	口縁部内外・体部内面ミガキ。体部外面ヘラケズリ後ナデ。	体部外面黒色。口縁部・体部内面漆塗。焼成は良好。	
2	1住	土師器 坏	口縁部1/4、 底部完形	口徑14.2 器高5.0 底徑一	口縁部内外ヨコナデ。体部外面ヘラケズリ後ナデ。体部内 面粗いミガキ。	白色粒子・長石・石英少量。褐色。焼成は良好。	
3	1住	土師器 坏	ほぼ完形	口徑13.6 器高4.1 底徑一	口縁部内外ヨコナデ。体部内面ヘラナデ後粗いミガキ。体 部外面ヘラケズリ後ナデ。	白色粒子・長石・石英少量。褐色。焼成は良好。	
4	1住	土師器 坏	1/5弱	口徑(12.0) 器高3.2 底徑一	口縁部内外・体部内面ミガキ。体部外面ヘラケズリ後ナデ。	白色粒子微量。黄褐色。焼成良好。	
5	1住	土師器 坏	口縁部1/4弱	口徑(14.0) 器高(3.8) 底徑一	口縁部内外ヨコナデ。体部内面ヘラナデ。体部外面ヘラケ ズリ後ナデ。	白色粒子・長石・石英少量。赤彩。焼成良好。	
6	1住	土師器 高坏	脚部	口徑一 器高<5.5> 底徑一	内外面ヘラナデ。体部内面ヘラナデ。体部外面ヘラケズリ 後ナデ。	黒色粒子微量。赤彩か。焼成良好だが剥落多。	
7	1住	土師器 壺	口縁部1/2 弱、胴部	口徑20.8 器高<26.2> 底徑一	口縁部内外ヨコナデ。体部外面縦ヘラケズリ後ナデ。	白色粒子少量。明赤褐色。焼成良好だが内面剥落多。	
8	1住	土師器 壺	口縁部1/3、	口徑(19.2) 器高<11.6> 底徑一	口縁部内外ヨコナデ。体部外面ヘラケズリ後ナデ。体部内 面ヘラナデ。	白色粒子少量。長石・石英微量。内>黒色。外>暗褐色。焼成良好。	
9	1住	土師器 壺	口縁部1/4弱	口徑(18.0) 器高<10.4> 底徑一	口縁部内外ヨコナデ。体部外面ヘラケズリ後ナデ。	白色粒子少量。暗赤褐色。内面剥落多。	
10	1住	土師器 壺	口縁部1/2弱	口徑(13.0) 器高<10.6> 底徑一	口縁部内外ヨコナデ。体部内外面ヘラケズリ後ナデ。	白色粒子少量。暗褐色。	
11	1住	土師器 壺	底部ほぼ完 形	口徑一 器高<9.3> 底徑一	頸部ナデ後粗いミガキ。外面ヘラケズリ。内面ヘラナデ後ミ ガキ。	白色粒子多量。褐色。焼成良好。	
12	1住	土師器 壺	底部完形	口徑一 器高<3.7> 底徑5.6	胴部外面ヘラケズリ。	白色粒子多量・長石・石英少量。褐色。内面剥落多。	
13	1住	土師器 壺	底部1/2弱、 胴部	口徑一 器高<13.8> 底徑(7.3)	胴部外面ハケ。	白色粒子・長石・石英微量。褐色。内面剥落多。	
14	1住	土師器 壺	底部1/3弱	口徑一 器高<4.4> 底徑(8.0)	胴部外面ハケ。胴部内面ヘラナデ。	白色粒子・赤色粒子微量。灰白色。焼成良好。	
15	1住	須恵器 壺	頸部片	—	外面タタキ痕。	白色粒子少量。灰黒色。焼成良好。	
16	1住	手捏ね土器	一部欠損	器高<2.5>	内面ヘラナデ。	白色粒子微量。黄褐色。焼成良好。	
17	1住	羽口	一部欠損	長さ11.0cm 幅8.0~4.3cm 厚さ2.5~1.5cm 重さ419.3g 孔径1.7cm。先端部に鉄?付着。			
18	1住	土玉	完形	長さ1.35cm 幅1.25cm 厚さ1.10cm 重さ21g 孔径0.1cm。			
19	1住	土玉	完形	長さ1.2cm 幅1.35cm 厚さ1.0cm 重さ1.0g 孔径0.1×0.15cm。			
20	1住	土玉	完形	長さ1.0cm 幅1.40cm 厚さ1.0cm 重さ1.4g 孔径0.1×0.15cm。			
21	1住	鉄滓	—	長さ3.45cm 幅3.5cm 厚さ1.0cm 重さ15.3g			
22	1住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	諸磯式。沈線後格子状条線。		
23	1住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	諸磯式。波状口縁。波頂部貼付文。縄文施文後縦位沈線。		
24	1住	縄文土器 深鉢	胴部	—	諸磯式。コンバス文。		
25	1住	縄文土器 深鉢	胴部	—	諸磯式。貝殻腹縁文。		
26	1住	縄文土器 深鉢	胴部	—	諸磯式。波状貝殻文。		
27	1住	縄文土器 深鉢	胴部	—	諸磯式。刺突文。		
28	1住	縄文土器 深鉢	胴部	—	諸磯式。条線。		
29	1住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	諸磯式。口唇部格子状紐貼付。口縁部横位紐貼付。		
30	1住	縄文土器 深鉢	胴部	—	諸磯式。RL縄文施文後浮線文。		
31	1住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	諸磯式。頸部斜位浮線文後口縁部横位浮線文。		
32	1住	縄文土器 深鉢	胴部	—	諸磯式。横位浮線文。		
33	1住	縄文土器 深鉢	胴部	—	縄文施文後横位沈線。		
34	1住	縄文土器 深鉢	胴部	—	粗製土器。		
35	1住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	浮島式。口唇部刻み。縦位平行沈線。		
36	1住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	浮島式。口縁部内側折り返し。口唇部内外押圧。		
37	1住	縄文土器 深鉢	口縁部片	—	浮島式。口唇部刻み。口縁部縦位条線。		
38	1住	縄文土器 深鉢	胴部	—	浮島式。波状貝殻文。		

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
39	1住	縄文土器 深鉢	胴部	—	浮島式。波状貝殻文。		
40	1住	縄文土器 深鉢	胴部	—	波状口縁。条線後波頂部穿孔。		
41	1住	石鏝	長さ2.4cm 幅1.3cm 厚さ0.5cm 重さ1.3g	チャート製。			
42	1住	石鏝	長さ2.5cm 幅1.8cm 厚さ0.5cm 重さ1.4g	チャート製。未成品か。			
43	1住	磨石	長さ3.4cm 幅6.7cm 厚さ3.3cm 重さ102.4g	石英斑岩製。			

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	2住	弥生土器 壺	頸部～胴部	—	頸部～胴上半部にかけて、単節LR縄文による斜縄文帯(残存部3段)及び結紐文を施す。施文後下端部を沈線区画する。		
2	2住	弥生土器 壺	胴部	—	胴部に沈線区画による斜縄文(単節LR)を施す。		
3	2住	弥生土器 壺	底部1/2	口径— 器高(3.1) 底径7.4	無文。体部外面ヘラケズリ。底部ヘラナデ。内面剥落多。		

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	3住	土師器 坏	口径部1/2、 底部完形	口径12.4 器高5.5 底径—	口径部内外ヨコナデ。体部外面ヘラケズリ後ナデ。体部内面ミガキ。	白色粒子・赤色粒子・長石・石英少量。黄褐色。内面外面上部赤彩。内面剥落多。	
2	3住	土師器 壺	口径部1/4	口径(12.0) 器高(2.8) 底径—	口径部内外ヨコナデ。	白色粒子少量。内面外面上部赤彩。	
3	3住	土師器 壺	口径部1/2	口径18.2 器高(8.8) 底径—	口径部内外ヨコナデ。頸部外面縦にヘラケズリ。胴部ヘラケズリ。体部内面ヘラナデ。	白色粒子・長石・石英多量、赤色粒子少量。褐色。	
4	3住	縄文土器 深鉢	胴部	—	前期。斜位条線施文。粗貼隆帯後貝殻コンパス文。		
5	3住	縄文土器 深鉢	口径部	—	前期。口唇部刻み。竹管文		
6	3住	縄文土器 深鉢	口径部	—	前期。口唇部刻み。条線		

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	4住	縄文土器 深鉢	底部完形	底径6.8	RL縄文。		
2	4住	縄文土器 深鉢	胴部	—	LRL縄文。		
3	4住	縄文土器 深鉢	口径部1/2	—	内面条痕文。		
4	4住	縄文土器 深鉢	胴部	—	内面条痕文。		
5	4住	縄文土器 深鉢	口径部	—	内面条痕文。		
6	4住	縄文土器 深鉢	胴部	—	内面条痕文。		
7	4住	縄文土器 深鉢	胴部	—	隆帯文に刻み。内面条痕文。		
8	4住	縄文土器 深鉢	胴部	—	条痕文。		
9	4住	縄文土器 深鉢	胴部	—	条痕文。		
10	4住	縄文土器 深鉢	口径部	—	RL縄文。		
11	4住	鉄滓	—	長さ4.95cm 幅3.6cm 厚さ2.4cm 重さ20.8g			
12	4住	鉄滓	—	長さ3.3cm 幅2.2cm 厚さ1.3cm 重さ15.1g			

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	一括	縄文土器 深鉢	胴部	—	前期。波状貝殻文。		
2	一括	縄文土器 深鉢	胴部	—	前期。貝殻腹縁押し、沈線		
3	一括	縄文土器 深鉢	胴部	—	後期。縄文施文縦位沈線。		
4	1T	土師器 高坏	脚部1/2	口径— 器高(3.0) 底径(6.8)	外面ハケ目。内面ナデ。	白色粒子・長石・石英多量、赤色粒子少量。褐色。	
5	一括	土師器 高坏か	脚部	—	外面ハケ目	白色粒子微量。灰色。	

第16表 道作1号墳遺物観察表

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	3T	縄文土器 深鉢	口径部?	—	後期。縄文施文後上層磨消。		
2	3T	須恵器 壺か	胴部片	—	口クロ整形	灰色。灰釉。焼成良好。	
3	5T	石器 ナイフ形	先端部欠損	長さ55.6mm 幅26.55mm 厚さ7.55mm 重量9.9g	メノウ製。		

第17表 八夜台遺跡(第2地点)遺物観察表

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	1住	土師器 坏	口径部1/5、 底部完形	口径13.3 器高3.8 底径7.3	口クロ整形。体部内外面口クロナデ。体部下端回転ヘラケズリ。底部外面回転糸切後、周縁部ヘラケズリ。	白色粒子・赤色粒子少量。褐色。焼成は良好。	
2	1住カマド	土師器 坏	口径部1/3 強、底部ほぼ 完形	口径12.8 器高3.8 底径7.5	口クロ整形。体部内外面口クロナデ。体部下端手持ヘラケズリ。底部外面回転糸切後、周縁部回転ヘラケズリ。	白色粒子多量・石英・長石・雲母少量。暗褐色。焼成は良好。	

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
3	1住	土師器 坏	底部ほぼ完 形	口径一 器高(1.5) 底径6.4	体部下端回転ヘラケズリ。底部外面回転系切り後、周縁部 回転ヘラケズリ。	赤色粒子・白色粒子少量。橙色。焼成は良好。	
4	1住	土師器 坏	口縁部1/5	口径(14.6) 器高(4.0) 底径一	ロクロ整形。体部内面粗いミガキ。体部外面ロクロナデ。	白色粒子・雲母少量。黄褐色。焼成は良好。	
5	1住	土師器 坏	口縁部一部、 底部完形	口径(13.1) 器高3.8 底径6.6	ロクロ整形。体部内外面ロクロナデ。体部下端・底部外面 回転ヘラケズリ。	白色粒子少量。褐色。内面・底部外面黒色処理。焼成は良好。	
6	1住	土師器 坏	底部1/2	口径一 器高(1.3) 底径10.0	底部外面回転系切り後周縁回転ヘラケズリ。底部内面ミガ キ。	白色粒子少量。黄褐色。内面黒色処理。焼成は良好。	
7	1住	土師器 坏	口縁部1/4	口径(15.0) 器高(2.65) 底径一	ロクロ整形。口縁部内外ヨコナデ。体部外面ロクロナデ。体 部内面ミガキ。	白色粒子少量。黒褐色。焼成は良好。	
8	1住	土師器 鉢	口縁部1/4	口径(22.0) 器高(7.9) 底径一	ロクロ整形。体部内面ミガキ。	白色粒子少量。橙色。内外面剥落あり。	
9	1住	土師器 高台付皿	口縁部2/3、 底部完形	口径13.0 器高2.5 底径7.1	ロクロ整形。体部内外面ロクロナデ。底部外面回転系切り。	白色・赤色粒子少量。橙色。焼成は良好。	
10	1住	土師器 高台坏	底部完形	口径一 器高(2.2) 底径7.3	内面ミガキ。外面・高台部ロクロナデ。底部外面回転系切り 後、周縁部ナデ。	白色粒子・雲母少量。橙色。焼成は良好。	
11	1住	須恵器 蓋	つまみ部	口径一 器高(2.2) つまみ径2.8	ロクロ整形。つまみ部ナデ。	石英・長石多量。灰色。焼成は良好。	
12	1住	土師器 壺	底部1/2	口径一 器高(5.8) 底径7.2	胴部内面ヘラナデ。胴部外面手持ちヘラケズリ。底部外面 ヘラケズリ後ナデ。	白色粒子少量。橙褐色。焼成は良好。	
13	1住	土師器 壺	口縁部一部、 底部完形	口径(11.7) 器高22.2 底径10.5	口縁～胴部上半部内外面ナデ。胴部下半ヘラケズリ後粗 いミガキ。底部ヘラケズリ後ナデ。	白色粒子多量。赤色粒子・雲母・石英少量。暗褐色。焼成は良好。	
14	1住	土師器 壺	口縁部ほぼ 完形～胴部	口径23.0 器高(21.5) 底径一	口縁部内外面ヨコナデ。胴部内面ヘラナデ。胴部外面ナデ 後、ミガキ。	石英・長石・雲母多量。褐色。焼成は良好。	
15	1住	土師器 壺	口縁部1/3～ 胴部	口径(19.8) 器高(25.7) 底径一	口縁部内外面ヨコナデ。胴部内面下端ヘラナデ。胴部外面 下半部ヘラケズリ後、ミガキ。	雲母多量。褐色。焼成は良好。	
16	1住	土師器 瓶	2/5	口径25.3 器高18.3 底径13.6	口縁部内外面ヨコナデ。胴部内外面ヘラナデ。	赤色・白色粒子・石英・長石少量。橙色。焼成は良好。	
17	1住	須恵器 瓶か	口縁部1/6弱	口径一 器高(7.8) 底径一	ロクロ整形。外面タタキ痕。	雲母多量。石英・長石少量。灰褐色。焼成は良好。	
18	1住	須恵器 瓶	肩部1/3	口径一 器高(4.1) 底径一	ロクロ整形。内外面ロクロナデ。	黒色粒子含む。灰色。自然釉。焼成は良好。	
19	1住	平瓦	欠損	長さ17.9cm 幅13.6m 厚さ9.3cm 重量726g 凸面平行叩き			
20	1住	平瓦	欠損	長さ8.9cm 幅13.7cm 厚さ3.0cm 重量523.4g 凸面正格子叩き			
21	1住	縄文土器 深鉢	口縁部片	—	加曾利B式。口縁部折り返し。杵状沈線を施し、円状粘土貼付		
22	1住	縄文土器 深鉢	口縁部片	—	後期。加曾利B式。口唇部玉状。杵状沈線。		
23	1住	縄文土器 深鉢	胴部片	—	後期。玉縁状口縁。		
24	1住	縄文土器 深鉢	口縁部片	—	後期。口縁部竹管文。		
25	1住	砥石	欠損	長さ5.0cm 幅3.1m 厚さ1.7cm 重量37.3g 流紋岩製。			
26	1住	砥石	欠損	長さ3.6cm 幅3.9cm 厚さ1.0cm 重量25.1g 孔径0.5cm 流紋岩製。			

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	1T	縄文土器 深鉢	口縁部片	—	後期。口縁部折り曲げて縄文施文後指頭押接。		
2	一括	土師器 坏	底部完形	口径一 器高(1.2) 底径3.5	体部外面下端手持ちヘラケズリ。底部外面回転系切り後周 縁ヘラナデ。	白色粒子・石英・長石少量。暗褐色。内外面赤彩。焼成は良好。	
3	3T	土師器 壺	口縁部片	口径一 器高(2.8) 底径一	口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面ヘラナデ。	白色粒子少量。外)黒褐色。内)褐色。焼成は良好。	

第18表 向新田遺跡(第3地点)遺物観察表

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	3T	土師器 高坏	脚部2/3	口径一 器高(6.1) 底径12.0	内面横位ハケ目。外面縦位ハケ目後ナデ。	砂粒子・白色針状物少量。明褐色。焼成は良好。	
2	3T	土師器 壺	口縁部1/4	口径(19.8) 器高(6.9) 底径一	口縁部内面体部外面横位ハケ目・ナデ。口縁部外面縦位 ハケ目後横位ハケ目。体部内外面ヘラナデ。	砂粒子・赤色粒子少量。黄褐色。焼成は良好。	
3	3T	土師器 壺	口縁部片	口径一 器高(6.37) 底径一	口縁部折り返し。口縁部内外面横位ハケ目。体部外面縦位 ハケ目。	砂粒子・赤色粒子少量。褐色。焼成は良好。	
4	3T	土製品 泥面子	一部欠損	長さ3.2cm 幅2.9cm 厚さ1.0cm 重さ6.0g			
5	1T	鉄製品 釘か	一部欠損	長さ(3.6)cm 幅0.5cm 厚さ0.4cm 重さ2.6g			
6	1T	鉄製品 釘か	一部欠損	長さ(3.5)cm 幅0.3cm 厚さ0.3cm 重さ2.3g			

第19表 中郷遺跡(第2地点)遺物観察表

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	2T	土師器 壺	口縁部1/6	口径(21.6) 器高(5.7) 底径一	口縁部内外ヨコナデ。体部内面ヘラナデ。	白色粒子・長石・石英・雲母多量。褐色。焼成は良好。	

第20表 馬場遺跡(第7地点)遺物観察表

No.	出土地	器種	遺存度	法量(cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	1住	土師器 坏	口縁部2/3、 底部完形	口径13.5 器高4.9 底径—	体部外面ヘラズリ後ナデ、輪積痕あり。	白色粒子多量、石英・長石・雲母少量。にぶい黄褐色。焼成は良好。	
2	1住	土師器 坏	口縁部1/2、 底部完形	口径12.9 器高4.7 底径—	口縁部内外面ヨコナデ。体部内面ミガキ。体部外面ヘラズリ後、ナデ。	白色粒子・石英・長石少量。褐色。焼成は良好。	
3	1住	土師器 坏	完形	口径13.4 器高4.8 底径—	口縁部内外面ヨコナデ。体部内面ナデ。体部外面ヘラズリ後、ナデ。	赤色・白色粒子・石英・長石・雲母含む。にぶい黄褐色。焼成は良好。	
4	1住	土師器 坏	口縁部1/2強、 底部完形	口径12.0 器高4.0 底径—	口縁部外面ハケ目。体部内面ハケ目。体部外面ヘラズリ後、ナデ。	白色粒子・石英・長石少量。にぶい赤褐色。焼成は良好。	
5	1住	土師器 坏	ほぼ完形	口径12.0 器高4.1 底径—	口縁部内外面ハケ目後ヨコナデ。体部内面ミガキ。体部外面ヘラズリ後ナデ、輪積痕あり。	白色粒子少量。にぶい褐色。焼成は良好。	
6	1住	土師器 壺	口縁部1/2弱	口径(11.1) 器高(5.5) 底径—	口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面ヘラズリ後、ナデ。	白色粒子多量、石英・長石・雲母少量。褐色。	
7	1住	土師器 壺	口縁部1/6	口径(16.1) 器高(5.1) 底径—	口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面ナデ。	白色粒子・石英・長石多量、赤色粒子少量。にぶい赤褐色。	
8	1住	土師器 壺	口縁部1/6	口径(15.4) 器高(7.6) 底径—	頸部内外面輪積痕あり。胴部外面ヘラズリ後、ナデ。	白色粒子・黒色粒子少量。にぶい褐色。	
9	1住	土師器 壺	口縁部1/4	口径(22.8) 器高(2.9) 底径—	口縁部下端ヘラズリ。	白色粒子多量、石英・長石少量。明褐色。焼成は良好。	
10	1住	土師器 壺	口縁部1/8～ 胴部	口径(23.2) 器高(18.8) 底径—	胴部内面輪積痕あり。口縁部～胴部外面ヘラズリ後、ナデ。胴部内面ヘラナデ。	雲母多量、白色粒子・石英・長石少量。にぶい黄褐色。焼成は良好。	
11	1住	手捏ね土器	1/3	口径(6.6) 器高3.1 底径(4.8)	内面指押痕あり。外面ヘラズリ後、指押痕あり。	白色粒子多量、石英・長石・雲母少量。褐色。	
12	1住	縄文土器 深鉢	胴部片	—	後期。縄文施文し、沈線区画し擦消。		
13	1住	縄文土器 深鉢	胴部片	—	後期。縄文施文し、沈線区画し擦消。		

No.	出土地	器種	遺存度	法量(cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	2住	土師器 坏	ほぼ完形	口径12.0 器高4.7 底径5.0	体部内面ヘラミガキ。体部外面ヘラズリ後、ナデ。	白色粒子・石英・長石・雲母少量。にぶい黄褐色。焼成は良好。	
2	2住	土師器 坏	1/3	口径(12.9) 器高4.5 底径(6.0)	口縁部内外面ヨコナデ。体部内面ミガキ。体部外面ヘラズリ後、ナデ。	白色粒子少量。にぶい赤褐色。焼成は良好。	
3	2住	土師器 坏か	体部片	口径— 器高(2.6) 底径—	体部外面ヘラナデ。	赤色粒子少量。内)にぶい黄褐色。外)にぶい褐色。焼成は良好。	体部外面墨書口
4	2住	須恵器 坏	口縁部1/3、 底部完形	口径(10.6) 器高3.7 底径6.0	口コ整形。体部下端手持ちヘラズリ。底部外面ヘラズリ。	赤色・白色粒子少量。青灰色。焼成は良好。	
5	2住	須恵器 坏	口縁部2/3、 底部ほぼ完形	口径13.7 器高3.9 底径(8.2)	口コ整形。体部下部手持ちヘラズリ。底部外面ヘラズリ。	白色粒子・雲母多量、石英・長石少量。オリーブ灰色。焼成は良好。	
6	2住	須恵器 坏	口縁部1/2、 底部ほぼ完形	口径13.4 器高4.1 底径8.2	口コ整形。体部下端回転ヘラズリ。底部外面ヘラズリ。	白色粒子・雲母多量、石英・長石少量。オリーブ灰色。焼成は良好。	
7	2住	須恵器 坏	口縁部2/3、 底部完形	口径(13.8) 器高4.1 底径7.4	口コ整形。体部下端手持ちヘラズリ。底部外面回転ヘラズリ。	白色粒子・雲母多量、石英・長石少量。オリーブ灰色。焼成は良好。	
8	2住	須恵器 坏	1/3	口径(14.0) 器高4.7 底径(7.6)	口コ整形。体部下端手持ちヘラズリ。	雲母多量、白色粒子・石英・長石少量。灰オリーブ色。焼成は良好。	
9	2住	須恵器 坏	口縁部一部、 底部1/2弱	口径(12.4) 器高4.2 底径(7.4)	口コ整形。体部下端手持ちヘラズリ。底部外面ヘラズリ。	白色粒子多量、石英・長石・雲母少量。灰オリーブ色。焼成は良好。	
10	2住	須恵器 坏	底部1/3	口径— 器高(3.1) 底径(7.8)	口コ整形。体部下端手持ちヘラズリ。底部外面ヘラズリ。	雲母多量、白色粒子・赤色粒子・石英・長石少量。にぶい黄褐色。	
11	2住	須恵器 高台付坏	底部5/6	口径— 器高(5.5) 底径(9.2)	口コ整形。体部外面口コナデ。体部下端～底部外面回転ヘラズリ。	赤色粒子少量。にぶい褐色。焼成は良好。	
12	2住	須恵器 壺	底部3/4	口径— 器高(1.5) 底径(7.4)	底部外面静止糸切。	赤色粒子少量。黄褐色。焼成は良好。	
13	2住	土師器 高坏脚部	脚部	口径— 器高(7.8) 底径—	脚部ヘラズリ後、ナデ。	赤色・白色粒子少量。褐色。焼成は良好。	
14	2住	土師器 小型壺	口縁部2/3、 底部完形	口径9.5 器高5.6 底径5.2	口縁部内外面ヨコナデ。胴部内面ヘラナデ。胴部外面ヘラズリ。底部外面手持ちヘラズリ。	石英・長石少量。明赤褐色～黒褐色。焼成は良好。	
15	2住	須恵器 壺	口縁部1/8	口径(18.8) 器高(2.6) 底径—	口縁部内外面ヨコナデ。頸部内外面口コナデ。	石英・長石少量。灰黄色。焼成は良好。	
17	2住	土製品 支脚	長さ13.6cm 幅6.45cm 厚さ5.0cm 重量386.7g				
18	2住	焼成粘土塊	長さ3.85cm 幅3.45cm 厚さ1.5cm 重量14.2g				
19	2住	焼成粘土塊	長さ2.95cm 幅3.4cm 厚さ2.4cm 重量11.8g				
20	2住	焼成粘土塊	長さ3.5cm 幅3.25cm 厚さ1.5cm 重量9.4g				

No.	出土地	器種	遺存度	法量(cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	3住	土師器 坏	底部1/2強	口径— 器高(3.0) 底径—	口縁部内外面ヨコナデ。体部内面ヘラナデ後、ミガキ。体部外面ヘラズリ後ナデ。	白色粒子微量。黒色粒子少量。にぶい黄褐色。焼成は良好。	
2	3住	土師器 坏	口縁部2/3、 底部完形	口径13.8 器高5.1 底径—	口縁部外面ミガキ。口縁下部ナデ。体部内面放射状ミガキ。体部外面ヘラズリ。	石英・長石・雲母少量。赤褐色。内面黒色処理。焼成は良好。	
3	3住	土師器 坏	口縁部一部、 底部1/2	口径(12.8) 器高4.0 底径—	口縁部内外面ミガキ。体部内面放射状ミガキ。体部外面ヘラズリ。	白色粒子少量。にぶい褐色。内面黒色処理。焼成は良好。	
4	3住	土師器 坏	口縁部1/2弱	口径(12.8) 器高(4.7) 底径—	口縁部外面刷毛ナデ。体部内面刷毛ナデ。体部外面ヘラズリ。	石英・長石・雲母少量。黒褐色～にぶい黄褐色。焼成は良好。	
5	3住	土師器 坏	口縁部1/6	口径(14.0) 器高(3.8) 底径—	内面ヘラナデ、刷毛ナデ後、ミガキ。外面刷毛ナデ。	白色粒子・黒色粒子・石英・長石少量黒色粒子少量。にぶい褐色。焼成は良好。	
6	3住	土師器 坏	底部1/4弱	口径— 器高(3.8) 底径—	口縁部外面刷毛ナデ。体部内面ヘラナデ、刷毛ナデ。体部外面ヘラズリ。	白色粒子多量。にぶい褐色。内面赤色処理。焼成は良好。	
7	3住	土師器 坏	底部1/4弱	口径(13.4) 器高(3.7) 底径—	口縁部内外面刷毛ナデ。体部内面ヘラナデ。体部外面ヘラズリ。	白色粒子少量。にぶい褐色。内面外面上部赤色処理。焼成は良好。	

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
8	3住	土師器 坏	口縁部1/3	口径(12.8) 器高(2.5) 底径—	口縁部内面ハケナデ。体部内面ヘラナデ後ミガキ。口縁部外 面ヨコナデ。体部外面ヘラケズリ後ナデ。	白色粒子多量。にぶい橙褐色。内面赤色処理。焼成は良好。	
9	3住	土師器 壺	口縁部1/4弱	口径(14.2) 器高(3.0) 底径—	口縁部内外面ヨコナデ。体部内面ヘラナデ。	白色粒子少量。暗赤褐色。内外面赤色処理。焼成は良好。	
10	3住	土師器 小型壺	口縁部1/6弱	口径(10.8) 器高(4.3) 底径—	口縁部内外面ヨコナデ。胴部内面ヘラナデ。胴部外面ヘラ ケズリ。	白色粒子・雲母少量。暗褐色。焼成は良好。	
11	3住	土師器 壺	口縁部1/5～ 胴部	口径(23.4) 器高(24.5) 底径—	口縁部内外面ハケナデ。胴部内面上部ヘラケズリ。胴部内 面棒状工具によるミガキ。胴部外面ヘラケズリ。	白色粒子・赤色粒子・石英・長石多量。にぶい黄褐色。焼成は良 好。	
12	3住	土玉	長さ2.15cm 幅2.15cm 厚さ2.05cm 重量8.8g				
13	3住	土玉	長さ1.95cm 幅2.35cm 厚さ1.8cm 重量7.2g				
14	3住	石	長さ2.3cm 幅2.55cm 厚さ1.55cm 重量11.2g メノウ。				

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	4住	須恵器 坏	完形	口径13.0 器高3.5 底径8.2	ロク口整形。体部内外面ロクロナデ。底部手持ちヘラケズ リ。	白色粒子・石英・長石少量。黒色粒子微量。黄灰色。焼成は良好。	
2	4住	土師器 壺	口縁部1/3～ 胴部	口径(20.8) 器高(13.3) 底径—	口縁部内外面ヨコナデ。胴部内面ヘラナデ。胴部外面ヘラ ケズリ後、ナデ。胴部外面一部ヘラのタタキ痕？	白色粒子少量。石英・長石・雲母多量。にぶい橙褐色。焼成は良好。	
3	4住	土師器 壺	口縁部ほぼ 完形～胴部	口径24.7 器高(20.3) 底径—	口縁部内外面ヨコナデ。胴部内面ヘラナデ。胴部外面上部 ヘラナデ。胴部外面下部棒状工具によるミガキ。	白色粒子少量。石英・長石・雲母多量。にぶい橙褐色。焼成は良好。	
4	4住	縄文土器 深鉢	胴部片	—	後期。LR縄文。		

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	5住	土師器 壺	底部ほぼ完 形	口径— 器高(5.3) 底径6.6	胴部内面ヘラナデ。胴部外面ヘラケズリ。底部外面ヘラケ ズリ。	白色粒子・石英・長石多量。にぶい赤褐色。焼成は良好。	
2	5住	縄文土器 深鉢	胴部片	—	LR縄文施文。		
3	5住	縄文土器 深鉢	胴部片	—	縄文施文。表面磨滅。		

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	一括	縄文土器 深鉢	底部片	口径— 器高(2.1) 底径(6.4)	擦糸文施文。		
2	4T	須恵器 高台付 坏か	底部片	口径— 器高(1.4) 底径(10.7)	底部内面ロクロナデ。高台部ヨコナデ。	白色粒子少量。灰黄色。焼成は良好。	
3	4T	須恵器 坏か	口縁部片	口径— 器高(4.2) 底径—	内外面ロクロナデ。外面沈線あり。外面下端回転ヘラケズ リ。	白色粒子多量。石英・長石少量。灰色。焼成は良好。	
4	1T	瓦	長さ5.05cm 幅3.1cm 厚さ2.2cm 重量34.7g				
5	一括	土玉	長さ2.05cm 幅2.15cm 厚さ2.0cm 重量8.1g				
6	一括	土玉	長さ1.85cm 幅1.95cm 厚さ1.55cm 重量5.3g				
7	一括	鉄滓	長さ2.85cm 幅2.1cm 厚さ1.1cm 重量5.6g				

第21表 木戸場遺跡(第3地点)遺物観察表

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	1住	土師器 坏	底部1/8	口径— 器高(2.0) 底径(7.0)	体部外面下端ヘラケズリ。	白色粒子・雲母少量。にぶい橙褐色。焼成は良好。	

第22表 花作遺跡遺物観察表

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	6T	土師器 坏	1/4	口径(13.0) 器高4.4 底径—	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ヘラケズリ後ナデ。体部 内面ヘラナデ。	白色粒子・長石・石英多量。暗褐色。焼成は良好。	
2	6T	土師器 坏	1/2	口径15.3 器高5.7 底径—	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ヘラケズリ。体部内面ヘラ ナデ。	白色粒子多量。長石・石英少量。褐色。焼成は良好。	
3	6T	土師器 高坏	脚部1/2弱	口径— 器高(2.7) 底径(12.5)	脚部外面ナデ後ミガキ。脚部内面回転ヘラナデ。	白色粒子多量。橙褐色。外面赤色処理。焼成は良好。	
4	4T	土師器 坏	底部完形	口径— 器高(0.6) 底径5.6	底部外面回転糸切後ナデ。	白色粒子少量。にぶい黄褐色。焼成は良好。	
5	1T	土師器 坏	底部ほぼ完 形	口径— 器高(1.0) 底径(5.5)	底部外面回転糸切。底部内面ミガキ。体部外面手持ちヘラ ケズリ。	白色粒子多量。赤色粒子少量。黒褐色。内面黒色処理。焼成は良 好。	
6	一括	須恵器 坏	底部1/8	口径— 器高(1.05) 底径(5.8)	ロク口整形。底部外面回転糸切後ナデ。	赤色粒子微量。にぶい橙褐色。焼成は良好。	
7	5T	土師器 壺	口縁部一部 ～胴部1/2	口径22.4 器高(2.0) 底径(7.6)	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ヘラケズリ後ナデ。体部 内面ヘラナデ。	白色粒子・長石・石英多量。褐色。内面一部剥離。	
8	1住	土玉	完形	長さ1.6cm 幅1.85cm 厚さ1.75cm 重さ5.0g			

第23表 川崎遺跡(第1地点)遺物観察表

No.	出土地	器種	遺存度	法量(cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	3T	土師器 坏	口縁部1/4	口径(18.0) 器高(2.7) 口径一 底径一	口縁部外面ヨコナデ。体部外面ヘラズリ後ナデ。体部内 面ミガキ。	白色粒子少量。橙褐色。内外面赤彩。焼成は良好。	
2	2T	土師器 坏	体部片	口径(1.4) 口径一 底径一	体部外面ヘラズリ後ナデ。体部内面ミガキ。	白色粒子少量。橙色。内外面赤彩。焼成は良好。	
3	2T	土師器 坏	口縁部片	口径(2.4) 口径一 底径一	体部外面ヘラズリ後ナデ。体部内面ミガキ。	白色粒子少量。橙色。内外面赤彩。焼成は良好。	
4	3T	土師器 甕	口縁部1/5	口径(11.6) 器高(7.0) 口径一 底径一	口縁部外面ヨコナデ。体部外面ヘラズリ後ナデ。体部内 面ヘラナデ。	白色粒子多量。赤色粒子・長石・石英少量。にふい橙褐色。焼成は 良好。	
5	5T	須恵器 甕	口縁部片	口径(13.4) 口径一 底径一	体部外面波状沈線	白色粒子・長石・石英・雲母多量。灰黒色。焼成は良好。	
6	5T	須恵器 甕	口縁部一部 ~胴部1/3	口径(11.1) 口径一 底径一	頸部横位沈線区画し波状沈線。胴部内面タキ痕。	白色粒子多量。長石・石英少量。灰黒色。焼成は良好。	
7	3T	焼成粘土塊	長さ6.4cm 幅4.1cm 厚さ1.35cm 重さ23.0g				
8	3T	焼成粘土塊	長さ5.5cm 幅6.6cm 厚さ1.35cm 重さ189.8g				
9	1住	砥石	長さ6.0cm 幅3.3cm 厚さ4.0cm 重さ81.5g。一部欠損。凝灰岩製。				

第24表 大越台遺跡(第2地点)遺物観察表

No.	出土地	器種	遺存度	法量(cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	1住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	堀之内式。波状口縁。口縁部刺突文。矢羽状沈線。		
2	1住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	堀之内式。波状口縁?口縁部刺突文後横位沈線。縄文施文後縦位蛇行沈線。		
3	1住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	堀之内式。口縁部裏沈線1条。口縁部横位沈線後紐線文。		
4	1住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	堀之内式。地文縄文施文。縦位蛇行沈線後、二条一組の沈線による施文。		
5	1住	縄文土器 深鉢	胴部	—	堀之内式。地文縄文施文。縦位蛇行沈線後、斜位沈線による施文。		
6	1住	縄文土器 深鉢	胴部	—	堀之内式。地文縄文施文。斜位沈線による施文。		
7	1住	縄文土器 深鉢	胴部	—	堀之内式。地文縄文施文後縦位二条沈線。		
8	1住	縄文土器 深鉢	胴部	—	堀之内式。RL縄文施文後縦位に刺突文をし、三重沈線。		
9	1住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	堀之内式。RL縄文施文。		
10	1住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	堀之内式。地文縄文施文。		
11	1住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	加曾利B式。地文縄文施文後区画沈線内擦消。		
12	1住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	加曾利B式。口縁部裏沈線1条。格子状沈線。		
13	1住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	加曾利B式。口縁部裏沈線1条。口縁部紐線文に指頭押圧。		
14	1住	縄文土器 深鉢	底部	—	加曾利B式。網代敷物痕有。		
15	1住	石製品 敲き石	欠損	長さ7.7cm 幅5.5cm 厚さ5.5cm 重さ204.8g			
16	1住	石製品 磨製石斧	欠損	長さ8.6cm 幅4.7cm 厚さ2.7cm 重さ163.9g。独鈷石に再加工の可能性。			

No.	出土地	器種	遺存度	法量(cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	2住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	堀之内式。口唇部沈線。波状口縁に横位沈線。縄文施文後、縦位二条沈線。		
2	2住	縄文土器 深鉢	胴部	—	堀之内式。縄文施文後縦位二条沈線。		
3	2住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	加曾利B式。口唇部刻目。口縁部横位縄文に平行する紐線文に刻目。		
4	2住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	加曾利B式。RL縄文後横位沈線・連弧沈線後磨消。		
5	2住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	粗製土器。LR縄文施文。		
6	2住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	粗製土器。横位ナデ。		
7	2住	縄文土器 深鉢	底部	—	後期。網代敷物痕。		
8	2住	縄文土器 内盤	長さ3.7cm 幅4.2cm 厚さ0.8cm 重さ9.2g。連弧沈線。				
9	2住	石	長さ4.8cm 幅3.8cm 厚さ1.3cm 重さ24.1g。メノウ。				

No.	出土地	器種	遺存度	法量(cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	3住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	堀之内式。口縁部RL縄文施文後、横位二重沈線を廻らし、突出渦巻文に連なる。		
2	3住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	堀之内式。口縁部小突起に刺突。縄文後横位沈線、杵状沈線。		
3	3住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	堀之内式。口縁部紐線文。RL縄文後斜位二条沈線。		
4	3住	縄文土器 深鉢	胴部	—	堀之内式。LR縄文後縦位沈線後一部擦消。		
5	3住	縄文土器 深鉢	胴部	—	堀之内式。櫛歯状工具による縦位施文。		
6	3住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	加曾利B式。口縁部微隆文に刻目。口唇部にL字状沈線。頸部RL縄文施文後、横位沈線し、磨消。		
7	3住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	加曾利B式。口唇部角形。口縁部三条沈線。LR縄文後連弧文を施し擦消。		
8	3住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	加曾利B式。赤彩。口唇部沈線。口縁部二重沈線。RL縄文後連弧文外磨消。		

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
9	3住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	加曾利B式。口唇部刺突文後横位沈線。連弧文内RL縄文充填。		
10	3住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	加曾利B式。口縁部地文LR縄文施文。橋門状沈線区画後擦消。		
11	3住	縄文土器 浅鉢	頸部	—	加曾利B式。地文縄文施文後平行沈線区画磨消。		
12	3住	縄文土器 深鉢	底部	—	加曾利B式。横位沈線後LR縄文。		
13	3住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	粗製土器。口縁部裏沈線1条。口唇部紐線文に刻目。		
14	3住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	粗製土器。地文縄文。口縁部刺突文。		
15	3住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	粗製土器。口縁部裏に沈線1条。口唇部紐線文に指頭押圧。頸部縄文施文後横位沈線。		
16	3住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	粗製土器。口縁部裏に沈線1条。口唇部紐線文に指頭押圧。頸部縄文施文後横位沈線。		
17	3住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	粗製土器。口縁部裏に沈線1条。口唇部紐線文に指頭押圧。頸部縄文施文後横位沈線。		
18	3住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	粗製土器。口縁部裏に沈線1条。口唇部紐線文に指頭押圧。頸部縄文施文後横位沈線。		
19	3住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	粗製土器。地文縄文施文後横位条線文。横位紐線文に刺突文後に縦位紐線文に刺突文後平行に沈線。		
20	3住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	粗製土器。焼成良好。		
21	3住	縄文土器 深鉢	胴部	—	粗製土器。横～斜位に密な条線。焼成良好。		
22	3住	縄文土器 注口土器	注口	—	焼成良好。ミガキ		
23	3住	石皿	一部欠損。長さ(9.1)cm 幅(7.3)cm 厚さ5.2cm 重さ440g。安山岩。				
24	3住	磨石	一部欠損。長さ(5.0)cm 幅(5.0)cm 厚さ3.3cm 重さ123g。石英斑岩製。被熱。				

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	4住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	堀之内式。地文縄文。口縁部横位押圧文。内面赤彩?		
2	4住	縄文土器 深鉢	胴部	—	堀之内式。縄文施文後縦位条線・斜位条線。		
3	4住	縄文土器 深鉢	胴部	—	加曾利B式。口唇部刻目。口縁部横位沈線区画内縄文施文。		
4	4住	縄文土器 深鉢	頸部	—	加曾利B式。頸部沈線後押圧文。胴部斜位・横位条線。		
5	4住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	加曾利B式。波状口縁。口縁部に顕著な緊ぎ目。		
6	4住	縄文土器 深鉢	胴部	—	粗製土器。地文縄文施文後斜位条線。		

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	5住	土師器 壺	口縁部完形、 底部1/2	口径10.8 器高15.0 底径6.0	口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケ目、体部内面ナデ	白色粒子・赤色粒子少量。にぶい黄褐色。焼成良好。	
2	5住	土師器 壺	口縁部1/2～ 胴部	口径11.2 器高<13.4> 底径—	口縁部外面ヨコナデ、口縁部内面・体部外面ハケ目、体部内面ヘラナデ	白色粒子・赤色粒子少量。にぶい黄褐色。焼成良好。	
3	5住	縄文土器 深鉢	口縁部	—	縦位2条条線。2次加工?		

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	1土	縄文土器 深鉢	口縁部	—	堀之内式。口縁部横位微隆帯後沈線。		
2	1土	縄文土器 深鉢	口縁部	—	堀之内式。沈線文様。		
3	1土	縄文土器 深鉢	口縁部	—	加曾利B式。縄文施文。口縁部裏二条沈線。		
4	1土	縄文土器 深鉢	口縁部	—	加曾利B式。口縁部紐線文に刺突文。		
5	1土	縄文土器 深鉢	底部	—	加曾利B式。焼成良好。		

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	15T	縄文土器 深鉢	口縁部1/3～ 胴部	—	加曾利B式。波状口縁。地文縄文。横位沈線・入組文後擦消。		
2	15T	縄文土器 深鉢	口縁部	—	加曾利B式。RLR縄文施文、横位沈線後磨消。		
3	15T	縄文土器 深鉢	口縁部	—	加曾利B式。口唇部2重沈線後刺突文。口縁部地文縄文弧状沈線後磨消。		
4	15T	縄文土器 深鉢	口縁部	—	加曾利B式。口唇部刻み。口縁部地文縄文後横位沈線区画。頸部擦消。胴部弧状沈線し、横位刺突文。		
5	15T	縄文土器 深鉢	ほぼ完形	—	粗製土器。加曾利B2式。口唇部紐線文に刻み。地文縄文後柱状単位の短条線。		
6	15T	縄文土器 深鉢	口縁部	—	粗製土器。地文縄文。口唇部紐線文刺落か。		
7	15T	縄文土器 深鉢	口縁部	—	粗製土器。地文縄文。口唇部紐線文に指押圧文。		
8	15T	縄文土器 深鉢	口縁部	—	粗製土器。格子状条線。		

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	一括	縄文土器 深鉢	口縁部	—	堀之内式。口縁部に横位沈線・微隆帯。		
2	一括	縄文土器 深鉢	胴部	—	堀之内式。地文縄文。縦位2条1組沈線・弧状沈線。		
3	一括	縄文土器 深鉢	口縁部	—	堀之内式。LR縄文。		

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
4	一括	縄文土器 深鉢	口縁部	—	堀之内式。口唇部二重沈線に刺突文。口縁部横位沈線。		
5	一括	縄文土器 深鉢	口縁部	—	加曾利B式。口唇部貼付文に刺突文。LR縄文後二重沈線を施し磨消。		
6	一括	縄文土器 深鉢	胴部	—	加曾利B式。口縁部沈線区画による縄文帯・無文帯。		
7	一括	縄文土器 深鉢	口縁部	—	加曾利B式。口唇部微隆帯に刺突文。口縁部LR縄文後横位沈線。		
8	一括	縄文土器 深鉢	口縁部	—	加曾利B式。口唇部刻目。口縁部LR縄文後横位沈線。		
9	一括	縄文土器 深鉢	口縁部	—	加曾利B式。口縁部LR縄文施文し、二重沈線に刺突文。		
10	一括	縄文土器 深鉢	口縁部	—	加曾利B式。口縁部横位二条沈線。弧文状縄文帯。		
11	一括	縄文土器 深鉢	頸部	—	加曾利B式。頸部二重沈線に刺突文。胴部弧状縄文帯。		
12	一括	縄文土器 深鉢	頸部	—	加曾利B式。頸部二重沈線に刺突文。胴部地文縄文後斜位条線。		
13	一括	縄文土器 深鉢	底部	—	加曾利B式。杵状沈線内縄文。		
14	一括	縄文土器 深鉢	口縁部	—	安行式。波状口縁。扇状突起に刻目。豚鼻状貼付文。口縁部横位置沈線・刺突文。		
15	一括	縄文土器 深鉢	口縁部	—	安行式。波状口縁。横位縄文帯・無文帯。穿孔後縦位2箇所貼付文。		
16	一括	縄文土器 深鉢	口縁部	—	粗製土器。口唇部紐線文に押圧文。口縁部・頸部外面縄文施文後横位条線。口縁部内面沈線。		
17	一括	縄文土器 深鉢	口縁部	—	粗製土器。口唇部紐線文に押圧文。口縁部外面縄文施文後横位条線。口縁部内面沈線。		
18	一括	縄文土器 深鉢	口縁部	—	粗製土器。口唇部紐線文に押圧文。口縁部縄文施文後横位条線。		
19	一括	縄文土器 深鉢	口縁部	—	粗製土器。口唇部紐線文に刻み。口縁部縄文施文後横位条線。口縁部内面沈線。外面磨減。		
20	一括	縄文土器 深鉢	胴部	—	粗製土器。頸部紐線文に押圧文。体部地文縄文後横位条線。		
21	一括	縄文土器 深鉢	口縁部	—	粗製土器。外面格子状条線。内面沈線。		
22	一括	縄文土器 深鉢	胴部	—	粗製土器。横位条線。		
23	一括	土偶	胴部～脚部	長さ<6.3>cm 幅<6.8>cm 厚さ3.3cm 重さ111.3g。中央微隆帯に刻目。横位二重沈線内RL縄文後竹管文に縦位沈線。			
24	一括	土製品 円盤	完形	長さ4.5cm 幅4.3cm 厚さ1.1cm 重さ21.9g。沈線。			
25	一括	石皿	欠損	長さ<8.75>cm 幅<9.4>cm 厚さ4.9cm 重さ555g。安山岩製。			

第25表 川崎遺跡(第2地点)遺物観察表

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	13T	土師器 甕	口縁部1/3	口径(12.6) 器高<7.7> 底径—	口縁部内外面ヨコナデ。体部内面ハケ目後ナデ。体部外面ヘラケズリ後ナデ。	白色粒子。赤色。焼成は良好。	
2	18T	縄文土器 深鉢	胴部	—	前期。RLを結び合わせた羽状縄文。		

第26表 油免遺跡(第4地点)遺物観察表

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	1溝	縄文土器 深鉢	胴部片	—	加曾利B式。RLR複節縄文を縦回転に施す。		
2	1溝	縄文土器 深鉢	胴部片	—	中期。樞糸文を施す。		
3	1溝	縄文土器 深鉢	胴部片	—	加曾利B式。2条の沈線の下部に、LRL複節縄文を横回転に施す。		
4	1溝	陶器 瓶か	肩部片	口径— 器高(6.0) 底径—	瀬戸美濃系。ロクロ整形。内外面口ロナデ。外面施釉。	素地)浅黄色。釉)にぶい黄色。	
5	1溝	砥石	一部欠損。	長さ7.2cm 幅4.4cm 厚さ2.6cm 重量75.7g 凝灰岩製。			

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
6	2溝	瓦質土器 鉢	口縁部1/3、 底部1/2	口径(16.4) 器高9.2 底径(10.8)	内外面口ロナデ。外面はなでられ、ロクロ痕は薄い。体部下端回転ヘラケズリ。	白色粒子少量。石英・長石・雲母多量。焼成は良好。黒褐色。焼成は良好。	
7	2溝	瓦質土器 鉢	2/3	口径9.7 器高6.3 底径7.0	内外面口ロナデ。底部ナデ。	砂粒子・白色針状物含む。黒褐色～黒色。焼成は良好。	
8	2溝	瓦質土器 鉢	口縁部1/2強	口径(9.7) 器高6.8 底径7.2	内外面口ロナデ。外面はなでられ、ロクロ痕は見えない。底部ヘラケズリ。底部孔は中心からずれている。	白色粒子・石英・長石少量。暗灰黄色。焼成は良好。	
9	2溝	土師質土器 鉢	底部完形	口径— 器高(4.05) 底径4.6	内外面口ロナデ。底部回転系切り後、周縁部ヘラナデ。	黒色粒子・石英・長石少量。橙色。焼成は良好。	
10	2溝	土師質土器 鉢	口縁部1/2	口径(9.8) 器高(7.7) 底径—	内外面口ロナデ。	黒色粒子少量。橙色。焼成は良好。	

No.	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・焼成	備考
11	5T	瓦質土器 鉢	口縁部一部、 底部1/2弱	口径(10.1) 器高6.9 底径7.4	ロクロ整形。内外面口ロナデ。外面はなでられ、ロクロ痕が見えない。底部外面ヘラケズリ。	白色粒子少量。石英・長石多量。白色針状物微量。黒褐色。焼成は良好。	
12	4T	砥石	一部欠損。	長さ6.5cm 幅4.9cm 厚さ2.6cm 重量77.9g 流紋岩製。			

写 真 图 版



大畑遺跡（第2地点）作業風景



1号住居跡完掘



1号土坑・2号土坑完掘



木戸場遺跡（第1地点）調査前風景



重機稼働状況



1号住居跡完掘



2号住居跡完掘



1号掘立柱建物跡完掘



2・3号掘立柱建物跡完掘
1号・2号土坑完掘



掘立柱建物群



1号土坑完掘



2号土坑セクション



調査区遠景



前戸遺跡（第2地点）調査前風景



1 T遺構検出状況



2 T 遺構検出状況



木戸場遺跡 (第2地点)
1号住居跡遺物出土状況



1号住居跡カマド部遺物出土状況



1号住居跡土層断面図



2号住居跡土層断面図



3号住居跡セクション



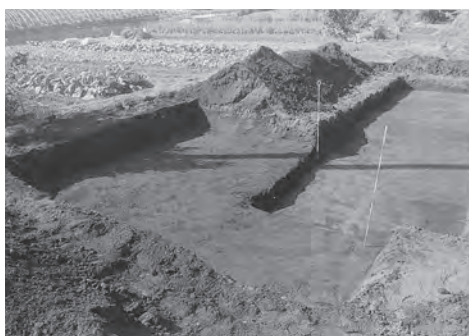
1号柵列



竜崖遺跡調査前風景



トレンチ配置



トレンチ遺構検出状況



馬場遺跡 (第6地点) トレンチ配置



3号トレンチ遺構検出状況



6号トレンチ遺構検出状況



八夜台遺跡 (第1地点) 1号溝完掘



1号溝土層断面



埋め戻し



天神前遺跡（第2地点）トレンチ配置状況



遺構検出状況



天神台遺跡（第14地点）調査前風景



4 T 遺構検出状況



11 T 遺構検出状況



松崎V遺跡（第2地点）調査前風景



1号住居跡完掘



1号住居跡カマド完掘



吉高一本松遺跡作業風景



トレンチ遺構検出状況



中郷遺跡（第1地点）
1号住居跡完掘（東から）



1号住居跡カマド（東から）



2号住居跡完掘（東から）



3号住居跡完掘（南から）



4号住居跡完掘



4号住居跡炉跡完掘



天神前遺跡（第15地点）遺構検出状況



道作古墳群（1号墳）2 T遺構検出状況



3 T遺構検出状況



4 T遺構検出状況



八夜台遺跡（第2地点）
1号住居跡完掘（南から）



1号住居跡遺物出土（北から）



1号住居跡A-A'セクション



1号住居跡カマド（西から）



1号土坑完掘セクション



調査区全景



新田遺跡（第3地点）1 T遺構検出状況



3 T遺構検出状況（北から）



8 T遺構検出状況（南から）



1 T遺構検出状況



2 T遺構検出状況



重機稼働状況



中郷遺跡(第2地点) 1 T遺構検出状況



2 T遺構検出状況(南から)



埋め戻し



馬場遺跡(第7地点) 遺構検出状況(西から)



1号住居跡完掘(南から)



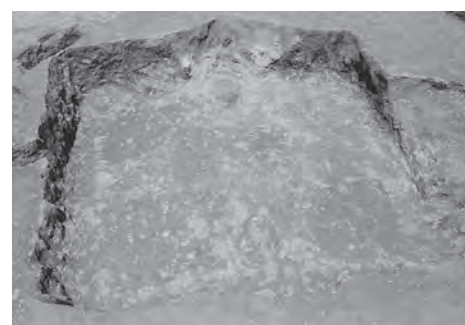
1号住居跡遺物出土状況(東から)



1号住居跡カマド(南から)



1号住居跡
セクションA(西から)→B(北から)



2号住居跡完掘(東から)



2号住居跡遺物出土状況(南から)



2号住居跡Bセクション(東から)



3号住居跡完掘(南から)



3号住居跡遺物出土状況（南から）



3号住居跡Aセクション（北から）



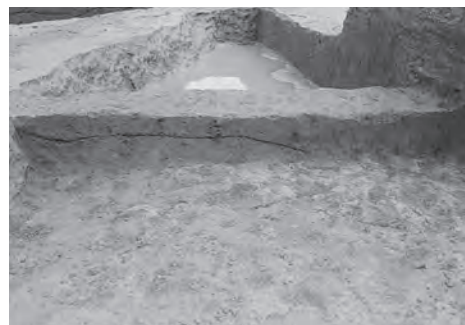
4号・5号住居跡完掘（東から）



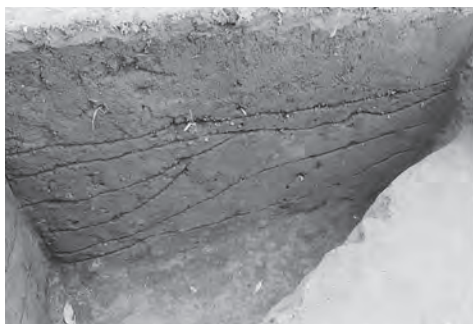
4号竪住居跡遺物出土状況（南から）



4号住居跡遺物出土状況（南から）



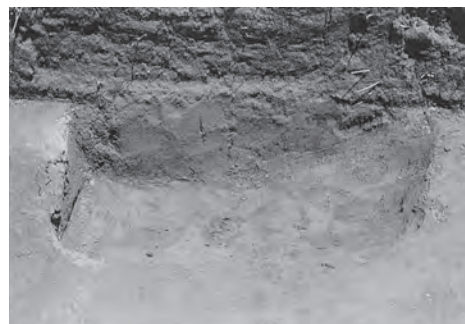
4号住居跡セクション（西から）



5号住居跡Bセクション（北から）



1号土坑完掘（南から）



2号土坑完掘（南から）



全景（南から）



木戸場遺跡（第3地点）作業風景



1号住居跡検出状況



1T遺構検出状況（北から）



瓜堀込第2遺跡作業風景



1T遺構検出状況（南から）



2 T 遺構検出状況 (南から)



花作遺跡 1 T 遺構検出状況 (南から)



4 T 遺構検出状況 (南から)



5 T 遺構検出状況 (南から)



6 T 遺構検出状況 (南から)



9 T 遺構検出状況 (北から)



埋め戻し



川崎遺跡 (第1地点)
1 T 遺構検出状況 (北から)



3 T 遺構検出状況 (南から)



5 T 遺構検出状況 (北から)



全景



埋め戻し



大越台遺跡 (第2地点) 調査前風景



2 T 遺構検出状況



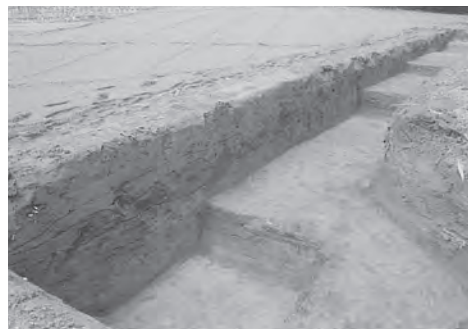
15 T 遺物出土状況



15Tセクション (北東から)



15Tセクション (北東から)



15Tセクション (東から)



15Tセクション (東から)



川崎遺跡 (第2地点) 調査前風景



3 T 遺構検出状況 (南から)



6 T 遺構検出状況 (南から)



7 T 遺構検出状況 (南から)



12T 遺構検出状況 (東から)



18T 遺構検出状況 (北から)

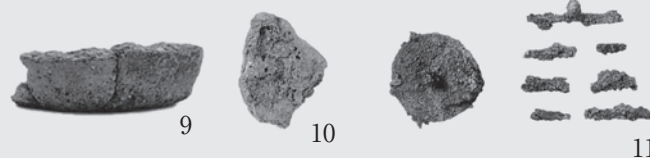


油免遺跡 (第4地点)
4 T 遺構検出状況 (北から)

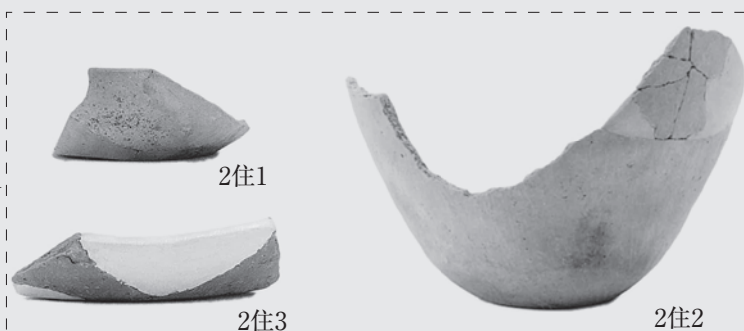
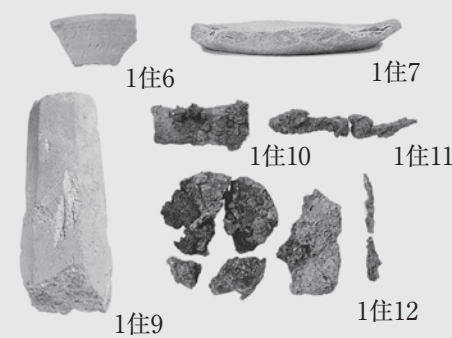
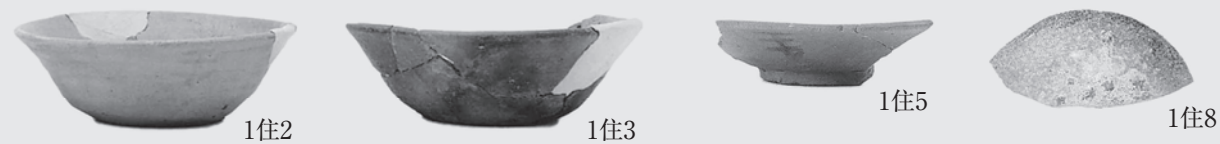
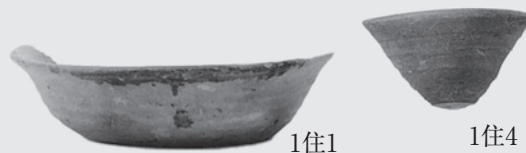


遺構検出状況 (南東から)

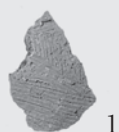
大畑遺跡 (第2地点)



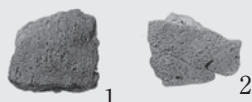
木戸場遺跡 (第1地点)



迎山遺跡



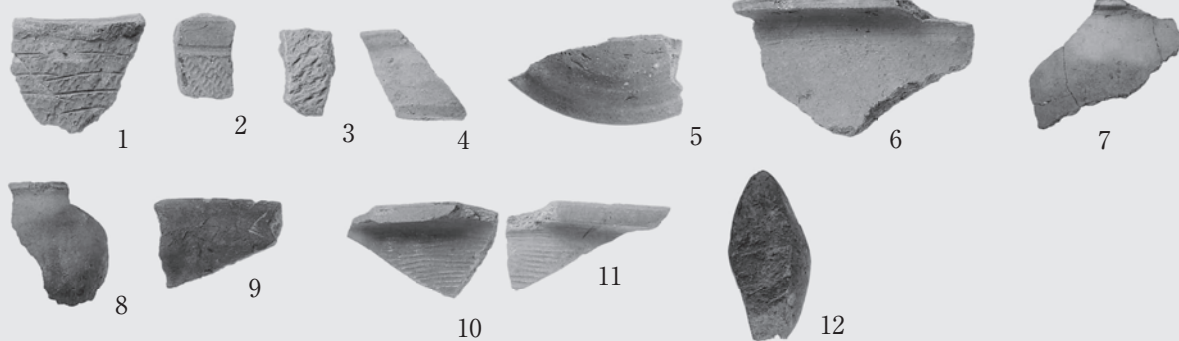
馬場遺跡 (第4地点第1次)



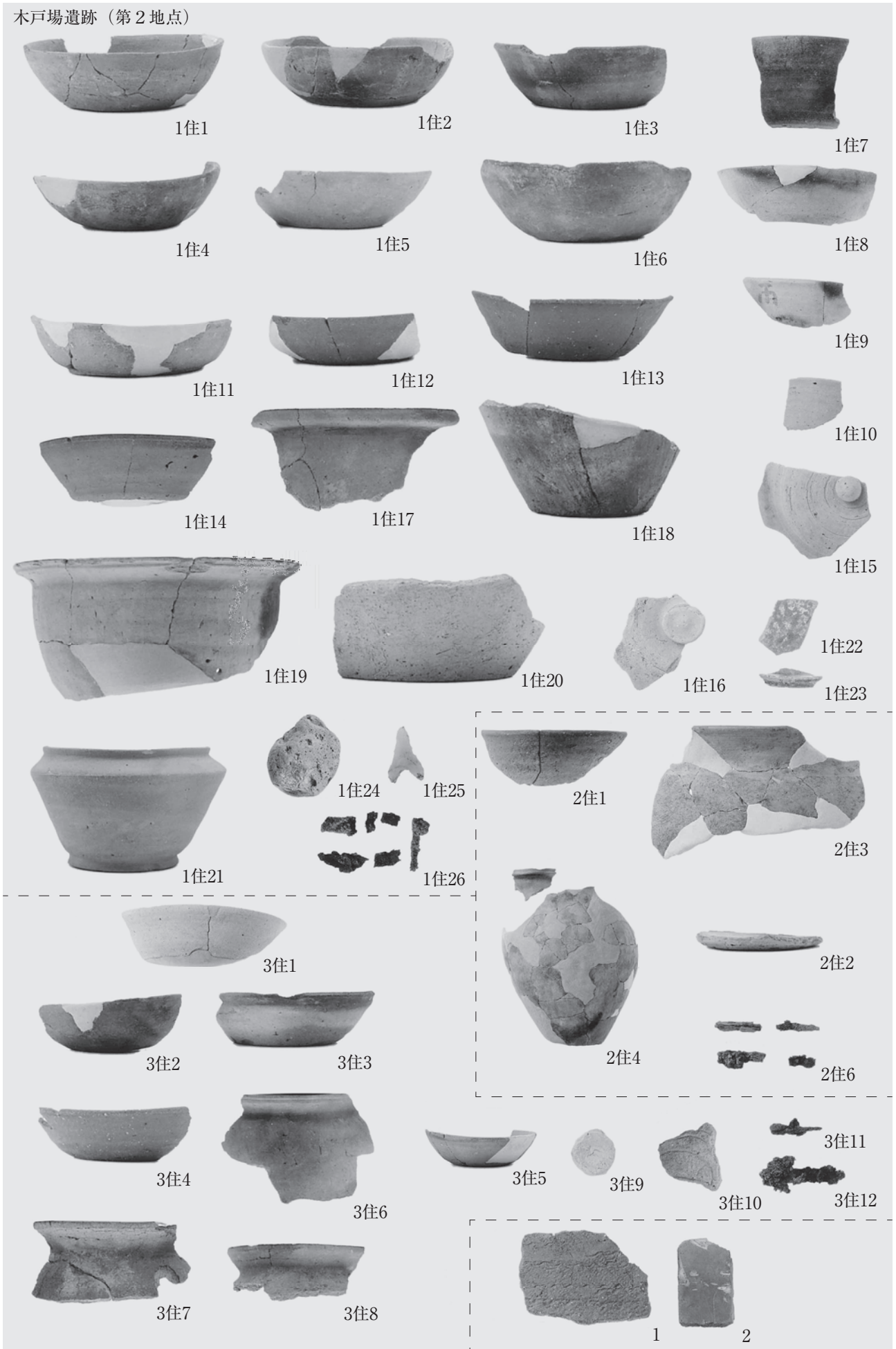
馬場遺跡 (第4地点第2次)



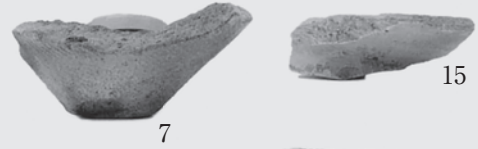
前戸遺跡 (第2地点)



木戸場遺跡 (第2地点)



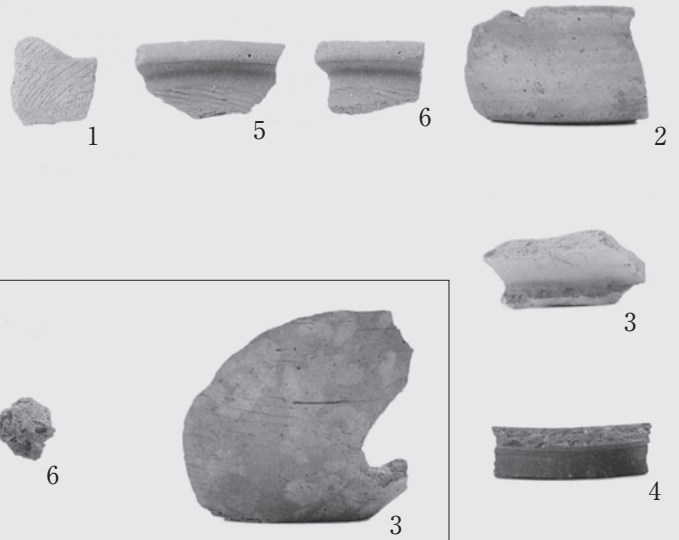
竜崖遺跡



馬場遺跡 (第6地点)



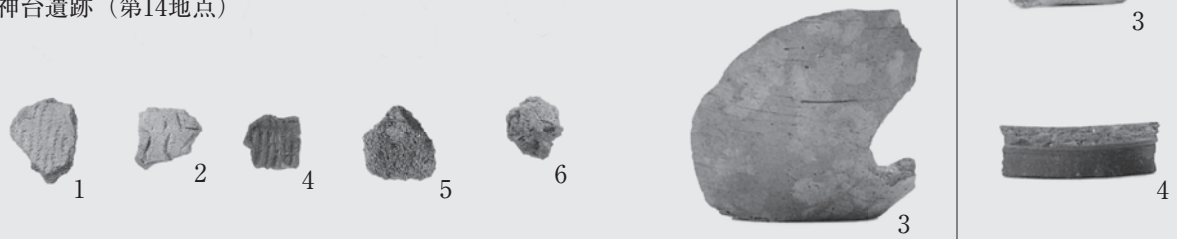
天神前遺跡



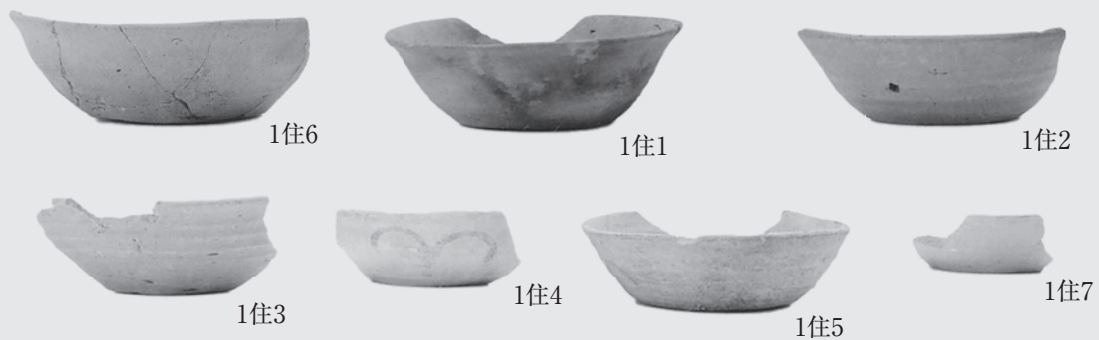
八夜台遺跡 (第1地点)



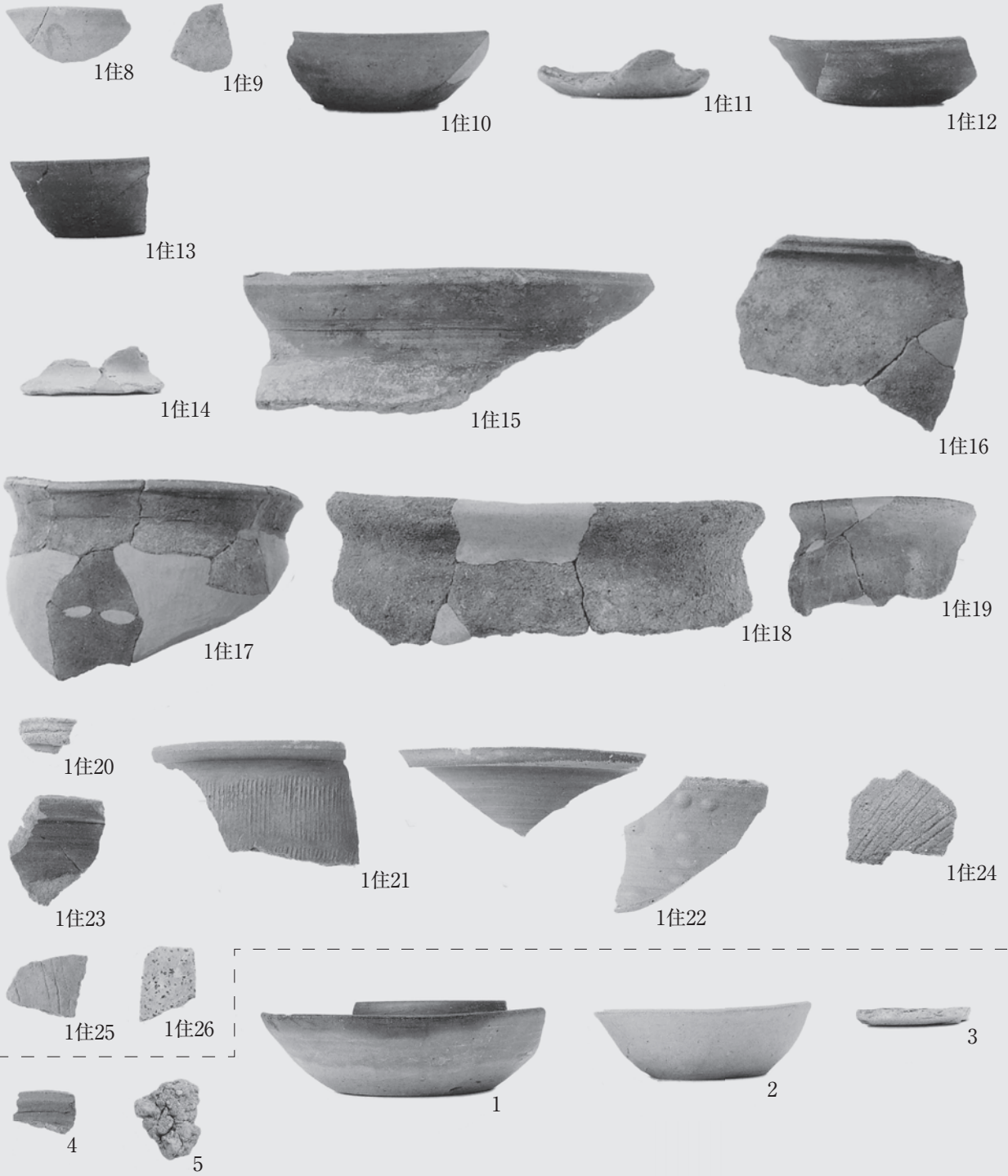
天神台遺跡 (第14地点)



松崎V遺跡 (第2地点)



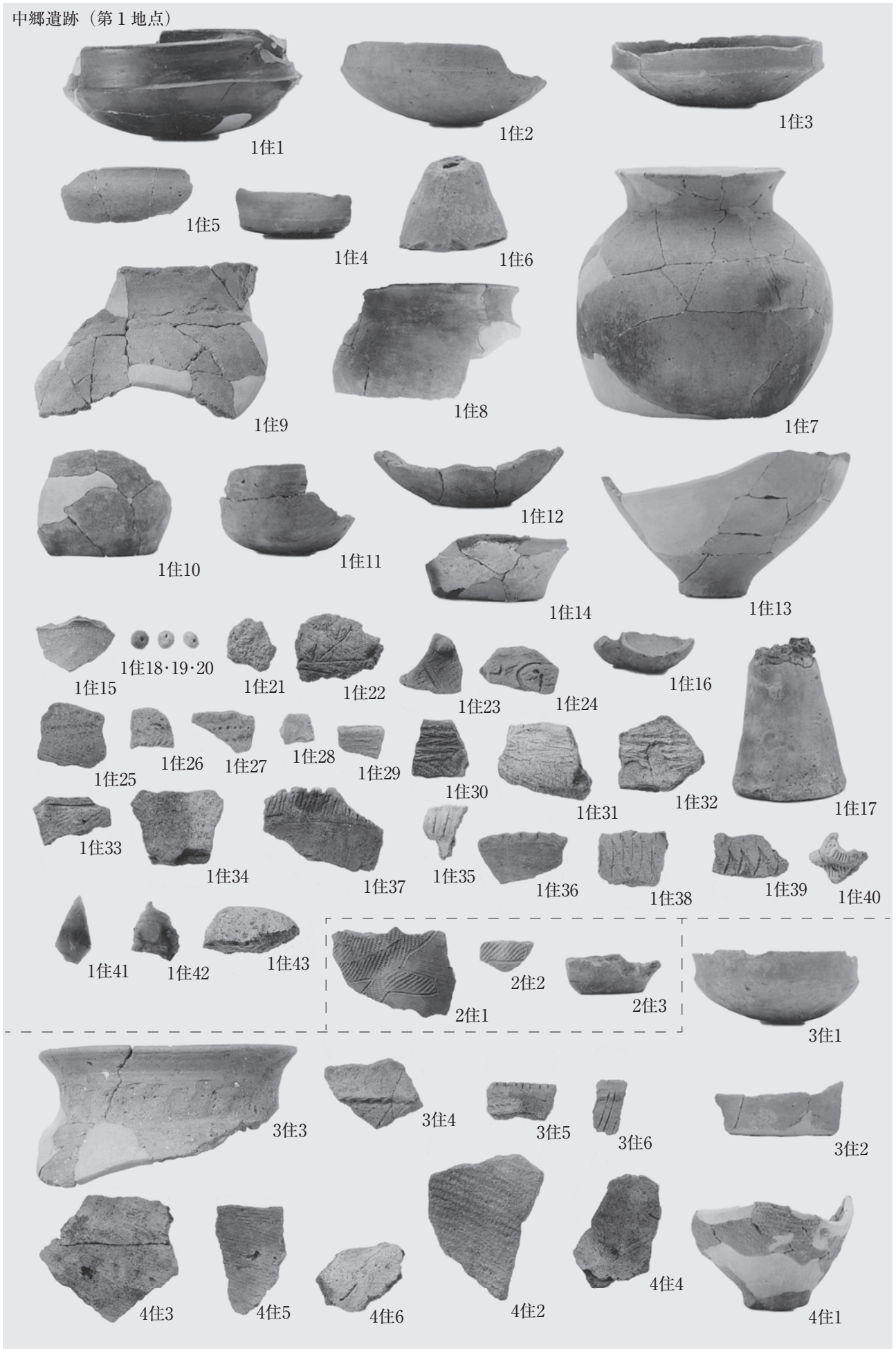
松崎V遺跡 (第2地点)

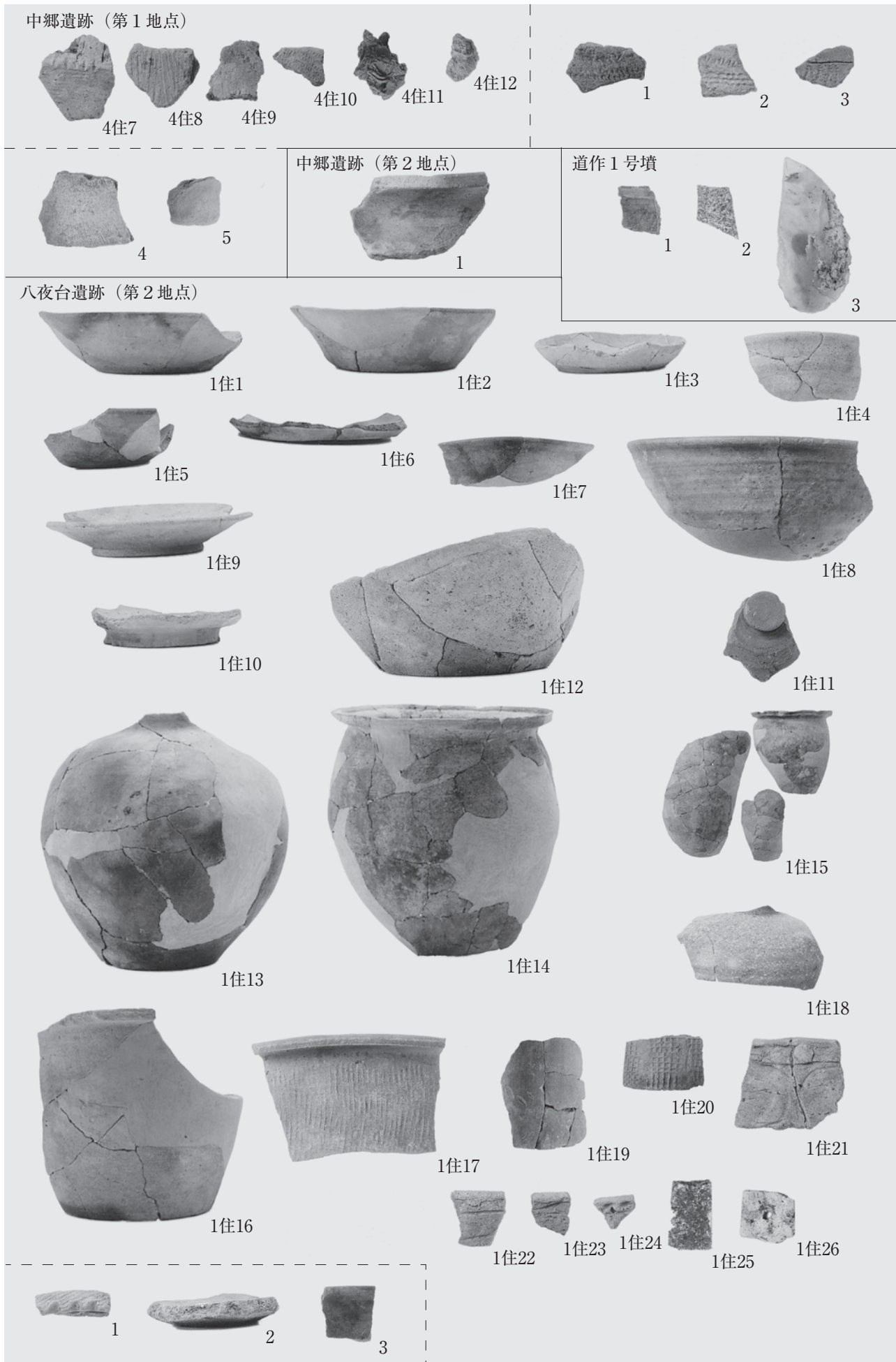


吉高一本松遺跡

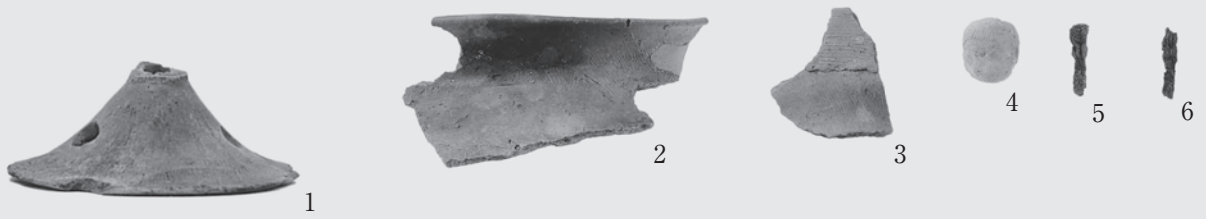


中郷遺跡 (第1地点)

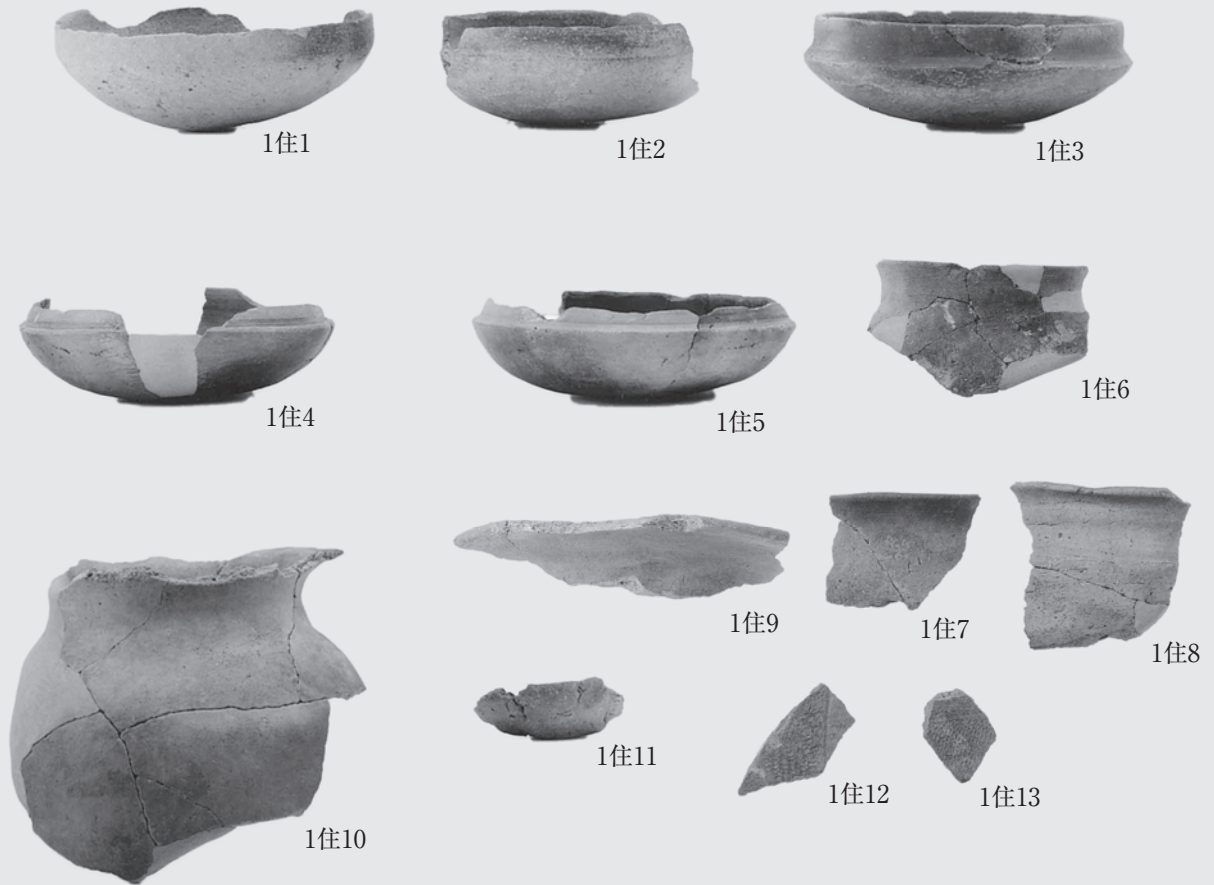




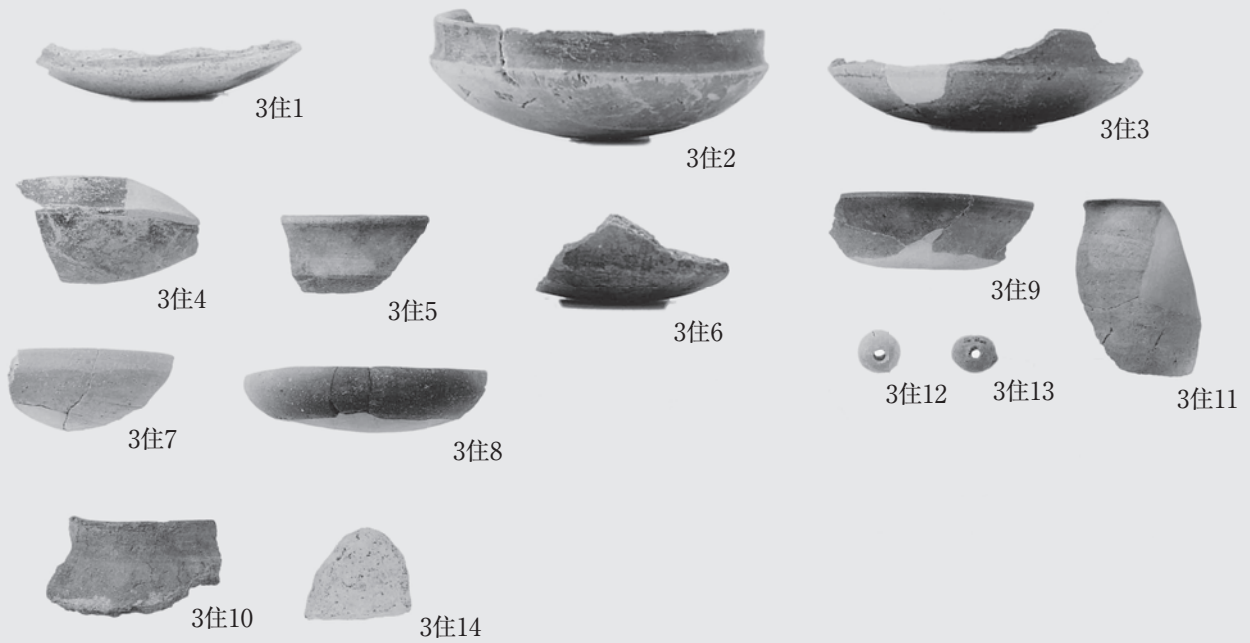
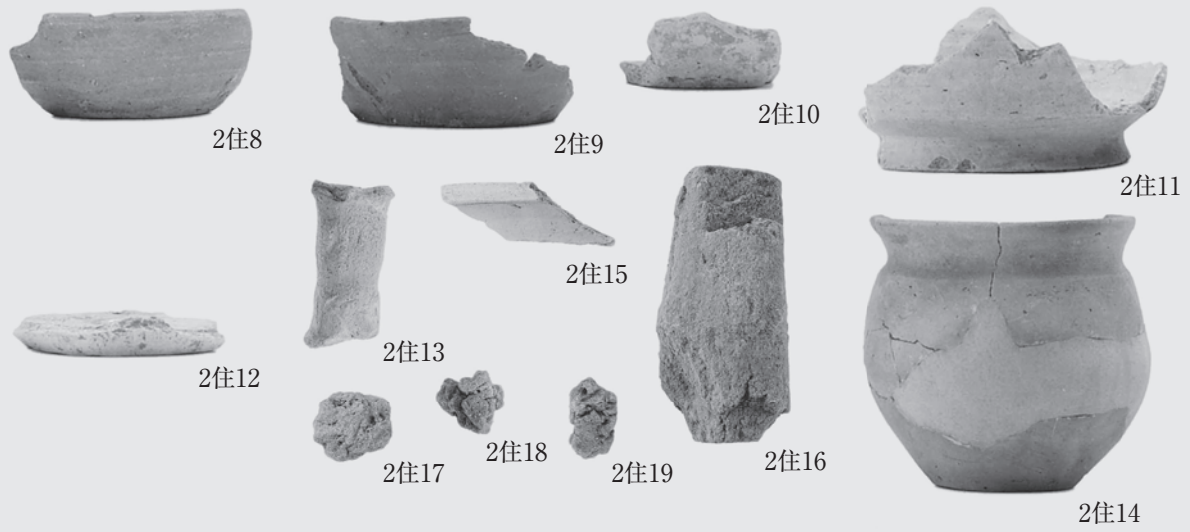
向新田遺跡 (第3地点)



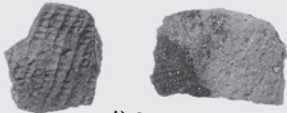
馬場遺跡 (第7地点)



馬場遺跡 (第7地点)



馬場遺跡 (第7地点)



5住2

5住3

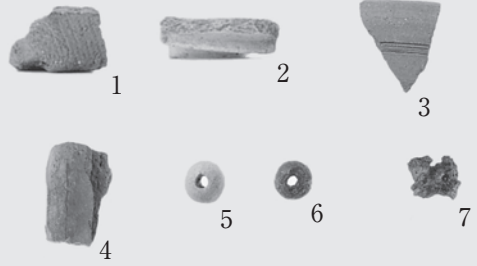


5住1

木戸場遺跡 (第3地点)



1



1

2

3

4

5

6

7

花作遺跡



1



2



3



7



4



5



6

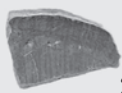


8

川崎遺跡 (第1地点)



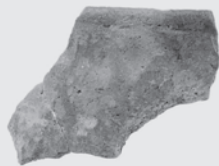
1



2



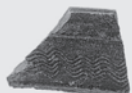
3



4



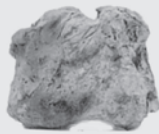
5



6



7

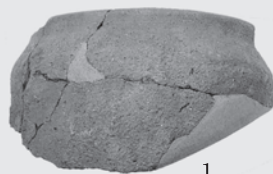


8



9

川崎遺跡 (第2地点)



1

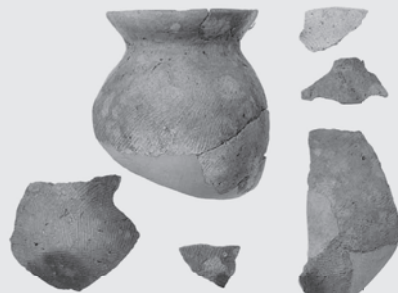


2

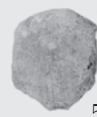
大越台遺跡 (第2地点)



5住1



5住2



5住3



1住1



1住2



1住3



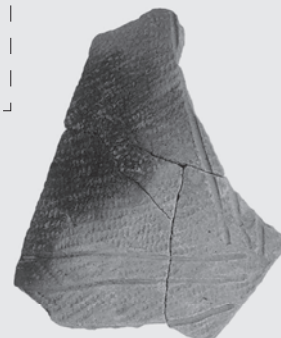
1住5



1住7

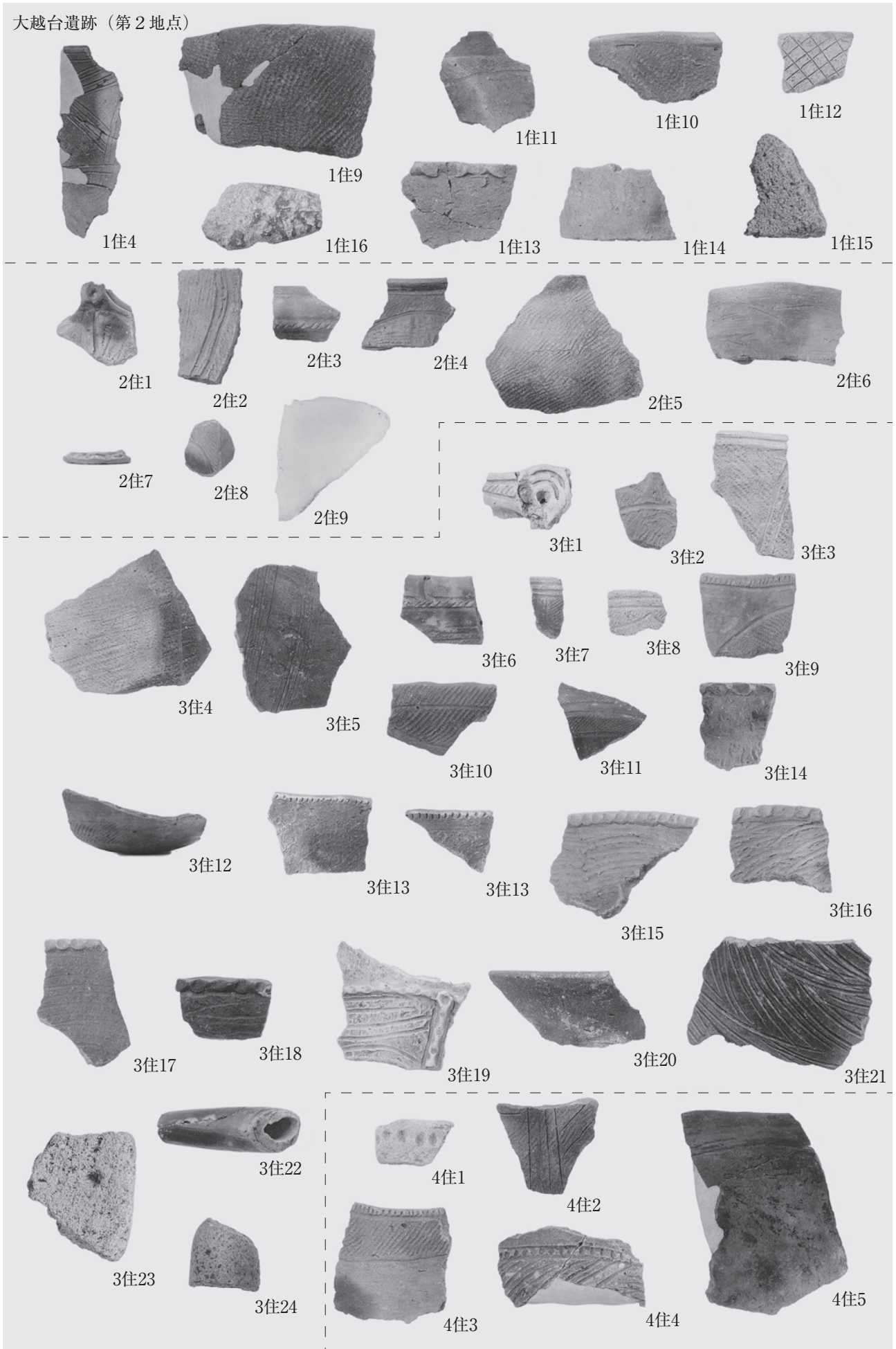


1住8

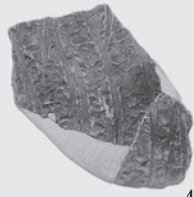


1住6

大越台遺跡 (第2地点)



大越台遺跡 (第2地点)



4住6



1土1



1土2



1土3



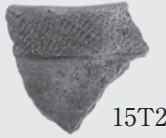
1土4



1土5



15T1



15T2



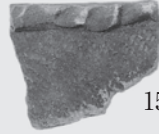
15T3



15T4



15T6



15T7



15T5



15T8



4



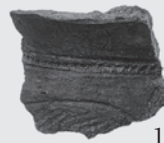
5



6



10



11



12



13



7



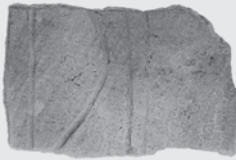
8



9



1



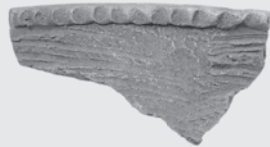
2



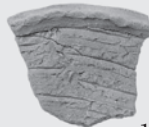
3



15



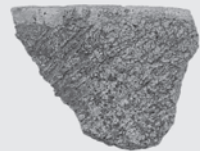
16



17



18



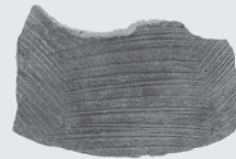
19



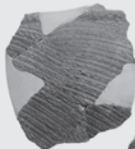
21



24



22



20



23



25

油免遺跡 (第4地点)



1



2



3



4



5

油免遺跡 (第4地点)



6



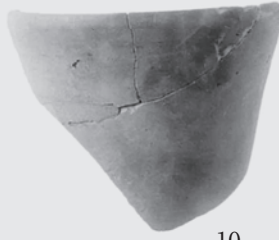
7



8



9



10



11



12

報告書抄録

ふりがな	へいせい17～24ねんど いんざいしなにいせきはっくつちょうさほうこくしょ								
書名	平成17～24年度 印西市内遺跡発掘調査報告書								
副書名									
巻次	単巻								
シリーズ名									
シリーズ番号									
編著者名	日暮冬樹								
編集機関	公益財団法人 印旛都市文化財センター								
編集機関所在地	〒285-0025 千葉県佐倉市春路1-1-4 TEL.043-484-0126								
発行年月日	2014年 月 日								
ふりがな 所収遺跡名	地点名	コード		ふりがな 所在地	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡						
ばばいせき 馬場遺跡	第4地点 第1次	12231	09-055	ちばけんいんざいしこぼやし2820ぼんの1 千葉県印西市小林2820番1	35°40'43"	140°15'21"	2005年7月11日	120㎡/2,400㎡	グループホーム建設による
ばばいせき 馬場遺跡	第4地点 第2次	12231	09-056	ちばけんいんざいしこぼやし2820-2、2810-7 千葉県印西市小林2820-2、2810-7	35°42'15"	140°13'47"	2005年11月16日	22㎡/87.66㎡	グループホーム建設による
きとばいせき 木戸場遺跡	第1地点	12231	09-054	ちばけんいんざいしふなおあざきとば424ぼんの3、 424ぼんの4 千葉県印西市船尾字木戸場424番3、424番4	35°41'36"	140°14'07"	2006年1月18日	160㎡/495.86㎡	個人住宅建設による
おおばたけいせき 大畑遺跡	第2地点	12231	09-053	ちばけんいんざいしおおりあまはたけ1988 千葉県印西市大森字前畑1988	35°43'30"	140°13'23"	2006年3月6日～ 2006年3月7日	77㎡/232.48㎡	個人住宅建設による
きとばいせき 木戸場遺跡	第2地点	12231	09-059	ちばけんいんざいしふなおあざきとば424ぼんの5 千葉県印西市船尾字木戸場424番5	35°43'47"	140°15'09"	2006年4月5日～ 2006年4月19日	40㎡/330.59㎡	個人住宅建設による
まえどいせき 前戸遺跡	第2地点	12231	09-058	ちばけんいんざいしまつざきあざなかごう3951ぼんの1 千葉県印西市松崎字中郷395番1	35°43'50"	140°12'12"	2006年4月25日～ 2006年4月27日	158㎡/1,299㎡	資材置き場及び駐車場建設による
むかいやまいせき 迎山遺跡		12231	09-057	ちばけんいんざいししかくろあざむかいち697-2、 698-2、699-3 千葉県印西市鹿黒字向地697-2、698-2、699-3	35°43'02"	140°14'11"	2006年5月17日	21.5㎡/585.37㎡	個人住宅建設による
りゅうがいのせき 竜崖遺跡		12231	09-060	ちばけんいんざいしうらべ547ぼん 千葉県印西市浦部547番	35°40'59"	140°14'45"	2006年11月10日	24㎡/110㎡	携帯電話無線基地建設による
ばばいせき 馬場遺跡	第6地点	12231	09-061	ちばけんいんざいしこぼやしあざとば2810-2、3ぼん 千葉県印西市小林字馬場2810-2、3番地	35°43'11"	140°13'53"	2007年1月24日	180㎡/1,849㎡	資材置き場及び駐車場建設による
はちやだいいせき 八夜台遺跡	第1地点	12231	09-062	ちばけんいんざいしおおりあざしむじく2264ぼんの2 千葉県印西市大森字下宿2264番2	35°44'09"	140°10'55"	2007年6月18日～ 2007年6月21日	107㎡/345.76㎡	個人住宅建設による
てんじんだいいせき 天神台遺跡	第14地点	12231	09-064	ちばけんいんざいしおおりあざそやく12427ぼんの 7、10 千葉県印西市大森字曾谷2427番7、10	35°43'12"	140°14'24"	2009年1月14日～ 2009年1月16日	210㎡/2,100㎡	駐車場建設による
てんじんまえいせき 天神前遺跡		12231	09-063	ちばけんいんざいしこぼやしあざてんじんまえ1929ぼ んの3 ほか 千葉県印西市小林字天神前1929番3 他	35°43'44"	140°15'09"	2009年2月17日～ 2009年2月18日	80㎡/777㎡	墓地造成による
まつざきごいせき 松崎V遺跡	第2地点	12231	09-065	ちばけんいんざいしまつざきあざだ1,440ぼんの1の いちぶ 千葉県印西市松崎字境田1,440番1の一部	35°46'43"	140°08'45"	2009年5月27日 2009年6月9日～ 2009年6月16日	44㎡/330㎡	個人住宅建設による
よしたかいはっぴんまついせき 吉高一本松遺跡		12231	09-066	ちばけんいんざいしよしたかあざごとて1786ぼんの1 ほか 千葉県印西市吉高字小手1786番1 他	35°41'00"	140°14'25"	2010年6月15日～ 2010年6月18日	160㎡/1,558㎡	老人福祉施設建設による
てんじんだいいせき 天神台遺跡	第15地点	12231	09-068	ちばけんいんざいしおおりあざののみち2,233ぼん お5 ほか 千葉県印西市大森字呑内2233番5 他	35°41'42"	140°15'37"	2010年8月3日	62㎡/617.17㎡	駐車場建設による
むかいしんでんいせき 向新田遺跡	第3地点	12231	09-071	ちばけんいんざいしおさきあざのえつかつ1267ぼん の2 ほか 千葉県印西市武西字康塚1267番2 他	35°43'32"	140°11'29"	2010年5月18日～ 2010年5月25日	498㎡/4,978㎡	老人福祉施設建設による
どうさくこふんぐん 道作古墳群		12231	09-069	ちばけんいんざいしこぼやしあざとば2826-5 千葉県印西市小林字馬場2826-5	35°41'54"	140°14'53"	2010年9月28日～ 2010年10月4日	114㎡/4,181㎡	遺跡範囲確認による
なかごういせき 中郷遺跡	第1地点	12231	09-067	ちばけんいんざいしまつざきあざなかごう478ぼん の3 ほか 千葉県印西市松崎字中郷478番3 他	35°45'11"	140°08'27"	2011年1月7日～ 2011年1月14日	32㎡/320.4㎡	個人住宅建設による
はちやだいいせき 八夜台遺跡	第2地点	12231	09-070	ちばけんいんざいしおおりあざしむじく2264ぼんの1 千葉県印西市大森字下宿2264番1	35°43'02"	140°14'10"	2011年1月25日～ 2011年1月31日	33㎡/326.87㎡	個人住宅建設による
ばばいせき 馬場遺跡	第7地点	12231	09-074	ちばけんいんざいしこぼやしあざはなざく2721ぼん の7、9 千葉県印西市小林字花作2721番7、9	35°38'53"	140°14'33"	2011年5月13日～ 2011年5月20日	32㎡/302.66㎡	個人住宅建設による
むかいのちいせき 向ノ地遺跡		12231	09-072	ちばけんいんざいしふなおあざむかいのち582ぼん 千葉県印西市船尾字向ノ地582番	35°43'06"	140°14'05"	2011年7月5日～ 2011年7月6日	52㎡/514㎡	墓地造成による
きとばいせき 木戸場遺跡	第3地点	12231	09-075	ちばけんいんざいしふなおあざきとば424ぼんの1 千葉県印西市船尾字木戸場424番1	35°41'02"	140°15'12"	2011年10月17日	13.5㎡/71㎡	駐車場建設による
なかごういせき 中郷遺跡	第2地点	12231	09-073	ちばけんいんざいしまつざきあざなかごう533ぼんの4 千葉県印西市松崎字中郷533番4	35°43'54"	140°12'10"	2012年3月8日	38㎡/380㎡	個人住宅建設による
はなざくいせき 花作遺跡		12231	09-077	ちばけんいんざいしこぼやしあざはなざく2606ぼん、 2593ぼんのいちぶ 千葉県印西市小林字花作2606番、2593番の一部	35°41'06"	140°13'52"	2012年5月1日～ 2012年5月2日	113㎡/989㎡	個人住宅建設による
うりほりごめだいにいせき 瓜堀込第2遺跡		12231	09-076	ちばけんいんざいしうらべあざみちさく1844ぼんの1 ほか 千葉県印西市岩戸字道作1844番1 他	35°41'06"	140°13'52"	2012年5月31日	82㎡/1,441㎡	資材置き場建設による
おおこしだいいせき 大越台遺跡	第2地点	12231	09-079	ちばけんいんざいしこうさいしんでんあざおおこしだ い220-2 ほか 千葉県印西市高西新田字大越台220-2 他	35°41'06"	140°13'52"	2012年6月11日～ 2012年6月15日	493㎡/3,072㎡	農地造成、資材置き場建設による
かわさきいせき 川崎遺跡	第1地点	12231	09-078	ちばけんいんざいしあけぶくろあざいなりとけ265ぼ んの2 千葉県印西市竹袋字稲荷峠265番2	35°41'06"	140°13'52"	2012年6月19日～ 2012年6月20日	204㎡/991㎡	駐車場建設による
かわさきいせき 川崎遺跡	第2地点	12231	09-080	ちばけんいんざいしあけぶくろあざいなりとけ265- 2、265-6、265-10 千葉県印西市竹袋字稲荷峠265-2、265-6、265-10	35°41'06"	140°13'52"	2012年10月9日～ 2012年10月16日	598㎡/4,790㎡	駐車場建設、オフロード建設による
あぶらめいせき 油免遺跡	第4地点	12231	09-081	ちばけんいんざいしふなおあざむかいち782-1、 785-6のいちぶ、786-5のいちぶ 千葉県印西市船尾字向窪782-1、785-6の一部、 786-5の一部	35°47'38"	140°07'46"	2012年12月19日	77.36㎡/319.76㎡	個人住宅建設による

所収遺跡名	地点名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
ばばいせき 馬場遺跡	第4地点 第1次	集落跡	縄文時代、近世	縄文時代竪穴建物跡1軒、近世塚2基	縄文土器、古墳時代土師器・須恵器	
ばばいせき 馬場遺跡	第4地点 第2次	集落跡	縄文時代、中近世	縄文時代土坑1基、中近世溝状遺構2条	縄文土器、古墳時代土師器・須恵器、中近世陶磁器	
きとばいせき 木戸場遺跡	第1地点	集落跡	奈良・平安時代、近世	奈良・平安時代竪穴建物跡2軒・掘立柱建物跡3棟、土坑3基・欄列2条	縄文土器、奈良・平安時代土師器・須恵器	
おおたけいせき 大畑遺跡	第2地点	集落跡	奈良・平安時代	奈良・平安時代竪穴建物跡1軒・土坑2基	縄文土器、奈良・平安時代土師器・須恵器	
きとばいせき 木戸場遺跡	第2地点	集落跡	奈良・平安時代、近世	奈良・平安時代竪穴建物跡4軒、近世土坑5基	縄文土器、平安時代土師器・須恵器	
まえどいせき 前戸遺跡	第2地点	集落跡	奈良平安時代	奈良・平安時代竪穴建物跡3軒・土坑1基、溝状遺構1条・道路状遺構1条	縄文土器、平安時代土師器・須恵器、中近世陶磁器	
むかいやまいせき 迎山遺跡		集落跡	古墳時代	古墳時代竪穴建物跡1軒	古墳時代土師器	
りゅうがいのせき 竜崖遺跡		散布地	縄文時代、中近世	中世溝状遺構1条	縄文土器、土師器・須恵器	
ばばいせき 馬場遺跡	第6地点	集落跡	縄文時代、古墳時代、中近世	縄文時代竪穴建物跡3軒・土坑8基、中世竪穴状遺構2基・土坑7基・溝状遺構1条	縄文土器、古墳時代土師器・須恵器、中近世陶磁器	
はちやだいいせき 八夜台遺跡	第1地点	散布地	縄文時代、奈良・平安時代	中世溝状遺構1条	縄文土器、奈良・平安時代土師器・須恵器、中近世陶磁器	
てんじんだいいせき 天神台遺跡	第14地点	集落跡	縄文時代、古墳時代	古墳時代竪穴建物跡4軒・土坑2基、中近世溝状遺構1条	縄文土器、古墳時代土師器・須恵器	
てんじんまゐいせき 天神前遺跡		集落跡	縄文時代、奈良・平安時代	奈良平安時代住居跡1軒、中近世溝状遺構1条	縄文土器、奈良・平安時代土師器・須恵器	
まつぎきこいせき 松崎V遺跡	第2地点	集落跡	縄文時代、奈良・平安時代	奈良・平安時代竪穴建物跡2軒	縄文土器、奈良平安時代土師器	
よしたかいぼんまついせき 吉高一本松遺跡		集落跡	縄文時代	近世溝状遺構5条	縄文土器、土師器	
てんじんだいいせき 天神台遺跡	第15地点	散布地	縄文時代、古墳時代	近世溝状遺構1条		
むかいしんでんいせき 向新田遺跡	第3地点	集落跡	縄文時代、古墳時代、中近世	縄文時代竪穴建物跡2軒、古墳時代竪穴建物跡7軒・土坑7基、近世溝状遺構2条	古墳時代土師器・須恵器、中近世陶磁器	
どうさくこふんぐん 道作古墳群		古墳	古墳時代	古墳周溝1条、中近世溝状遺構2条	旧石器時代石器、縄文土器、古墳時代土師器・須恵器	
なかごういせき 中郷遺跡	第1地点	集落跡	縄文時代、弥生時代、古墳時代	縄文時代竪穴建物跡1軒、弥生時代竪穴建物跡1軒、古墳時代竪穴建物跡2軒	縄文土器、古墳時代土師器	
はちやだいいせき 八夜台遺跡	第2地点	集落跡	奈良・平安時代	奈良・平安時代竪穴建物跡1軒・土坑1基	縄文土器、奈良・平安時代土師器・須恵器、中近世陶磁器	
ばばいせき 馬場遺跡	第7地点	集落跡	縄文時代、古墳時代、中近世	古墳時代竪穴建物跡3軒、奈良・平安時代竪穴建物跡2軒・土坑3基	古墳時代土師器・須恵器、奈良・平安時代土師器・須恵器・土製品	
むかいのちいせき 向ノ地遺跡		散布地	旧石器時代、縄文時代、弥生時代、古墳時代、奈良・平安時代、中近世	—	—	
きとばいせき 木戸場遺跡	第3地点	集落跡	奈良・平安時代、近世	奈良・平安時代竪穴建物跡1軒、近世土坑1基	奈良・平安時代土師器	
なかごういせき 中郷遺跡	第2地点	集落跡	縄文時代、古墳時代	古墳時代竪穴建物跡3軒・土坑1基	縄文土器、古墳時代土師器・須恵器	
はなさくいせき 花作遺跡		集落跡	古墳時代、奈良・平安時代	古墳時代竪穴建物跡1軒、奈良・平安時代竪穴建物跡8軒	古墳時代土師器・須恵器、奈良・平安時代土師器・須恵器	
うりほりごめだいにいせき 瓜堀込第2遺跡		集落跡	古墳時代	古墳時代竪穴建物跡6軒、近世溝状遺構1条	—	
おおこしだいいせき 大越台遺跡	第2地点	集落跡	縄文時代、古墳時代	縄文時代竪穴建物跡4軒、竪穴状遺構1基・土坑2基、古墳時代竪穴建物跡1軒	縄文土器、古墳時代土師器	
かわさきいせき 川崎遺跡	第1地点	集落跡	古墳時代	古墳時代竪穴建物跡9軒・土坑3基	縄文土器、古墳時代土師器・須恵器	
かわさきいせき 川崎遺跡	第2地点	集落跡	古墳時代	古墳時代竪穴建物跡12軒・土坑3基	縄文土器、古墳時代土師器・須恵器	
あぶらめんいせき 油免遺跡	第4地点	集落跡	縄文時代、古墳時代、奈良・平安時代、中近世	近世溝状遺構2条・土坑1基・ピット6基	縄文土器、土師器、中近世陶磁器・土製品	

平成17年度～平成24年度
印西市内遺跡発掘調査報告書

平成26年 3月26日 印刷
平成26年 3月28日 発行

発 行 印西市教育委員会
千葉県印西市大森2364-2
印 刷 株式会社 エリート情報社[印刷出版局]
千葉県成田市東和田415-10